

**Canon**

**ColorWave 3800**

**操作ガイド**



# 著作権および商標

## 著作権

Copyright 2020 Canon Production Printing.

このマニュアルのいかなる部分も、Canon Production Printing の事前の書面による許可なしに、いかなる形態または手段であっても、電子的、手動、またはその他の方法でコピー、改変、複製、または転送することはできません。図やプリンタ出力画像はシミュレートされたものであり、各地域の市場で供給されている製品やサービスには適用されない場合があります。このマニュアルの内容は、特定の性質または仕様に関する保証としても、特定の用途への技術的性能または適合性に関する保証としても解釈しないでください。このマニュアルの内容は予告なくその時々に変更することがありますのでご了承ください。

CANON PRODUCTION PRINTING 社は、このマニュアルの内容の使用から生じる、いかなる直接的、間接的、または派生的な損害に対しても、損失または費用に対しても、一切の責任を負いません。

## 言語

イギリス英語の説明書原文。

## 商標

Canon は Canon Inc. の登録商標です。ColorWave は Canon Production Printing Netherlands B.V. の商標または登録商標です。

Adobe, Acrobat および PostScript は、米国あるいは他の国における Adobe Systems の登録商標または商標です。

Microsoft, Windows および Internet Explorer は、米国あるいは他の国における Microsoft Corp の登録商標または商標です。

その他の商標はすべて各社に帰属することをここに明記します。

# 目次

## 第1章

はじめに.....	9
ColorWave 3800 について .....	10
ユーザーについて.....	11
本書の注意事項.....	12
関連マニュアル.....	14

## 第2章

プリントシステムについて.....	17
ハードウェア.....	18
プリンタの主なコンポーネント (前面).....	18
プリンタの主なコンポーネント (背面).....	20
用紙引き出し .....	21
ClearConnect 操作パネル.....	22
スキャナのコンポーネント (オプション).....	24
排紙先.....	26
仕上げデバイスの構成を選択します。.....	28
Scanner Professional (オプション).....	29
折り機 (オプション).....	30
巻き取りモジュール (オプション) およびロール ワインド モジュール (オプション).....	31
「ロール ツー ロール」モードの構成.....	31
耐震対策.....	32
プリントシステムの接続.....	33
プリンタの作業エリア (設置面積).....	33
電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続.....	34
プリントシステムのスイッチ オン.....	36
プリントシステムのスイッチをオフにする.....	38
システムの移動 .....	40
ClearConnect 操作パネルのワークフロー .....	44
ホーム画面.....	44
ジョブ キューおよびシステム メニュー.....	46
プリセット、テンプレート、および詳細設定.....	48
ジョブのプレビュー.....	50
クラウド.....	51

## 第3章

WebTools Express を使用したワークフローの定義.....	53
ご使用にあたって.....	54
WebTools Express.....	54
WebTools Express 用に別の言語を設定する.....	55
アクセス管理.....	56
権限のあるユーザーとしてログインする.....	57
セッション後にログアウトする.....	58
権限のあるユーザーのパスワード、またはパスワードの暗号化キーを変更する.....	59
ジョブの状態.....	60
システム モニタ .....	61
システムを再起動またはシャットダウンする.....	63
デフォルトの定義.....	64
WebTools Express のデフォルト設定について.....	64

設定を編集するには	65
設定を表示して確認	66
設定をファイルに保存	67
ファイルから設定を読み込み	68
工場出荷時のデフォルトを復元	69
プリント ジョブのデフォルト設定の指定	70
コピー ジョブのデフォルト設定の指定	73
スキャン ジョブのデフォルト設定の指定	74
Smart Inbox 設定の設定	75
Smart Inbox およびキューの概念	75
「Jobs (ジョブ)」 タブの「Smart Inbox」	76
Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox	78
Smart Inbox を閉じるか削除します。	81
ジョブ管理設定の構成	82
ネットワークおよびセキュリティ設定の構成	83
WebTools Express のネットワーク設定の構成	83
Microsoft Internet Explorer 用のセキュリティ設定を設定する	84
Mozilla Firefox 用のセキュリティ設定を設定する	85
Google Chrome 用のセキュリティ設定を設定する	86
Microsoft Edge 用のセキュリティ設定を設定する	87
リンク速度およびデュプレックス モードの設定	88
ユーザー認証の有効化	89
アクセス コントロールの有効化	90
IPsec を有効にする	91
アクセス コントロールと IPsec の設定	92
電子断裁機能の有効化または無効化	93
電子断裁アルゴリズムの選択	94
上書きパスの回数の指定	95
リモート セキュリティ	96
証明書リクエストを生成する	97
CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のインポート	98
CA 署名の証明書のインポート: 中間証明書のインポート	99
CA 署名の証明書のインポート	100
CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のチェックおよびインポート	101
証明書認証に関する情報を見つける	102
プリセットの設定	103
プリセットについて知っておくべきこと	103
デフォルトのコピー プリセットの設定	104
カスタムのコピー プリセットの構成	105
デフォルトのプリント プリセットの設定	106
カスタムのプリント プリセットの構成	107
操作パネルでのカスタムのプリセットの使用	108
テンプレートの設定	109
折りおよびスキャン テンプレート	109
新規テンプレートの作成	110
すべてのテンプレートの削除	111
テンプレートのエクスポート	112
テンプレートのインポート	113
テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元	114
スキャン テンプレートを有効または無効にする	115
場所の設定	116
場所の設定	116
USB の有効化または無効化	117
ホーム フォルダの有効化および編集	118
PlanWell Collaborate の有効化 (オプション)	119
外部の場所の作成	120
デフォルトの外部の場所の設定	122
デフォルトのプリント保存先を設定	123
FTP での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)	124
SMB での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)	127

WebDAV での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後).....	129
プリンタ設定の構成.....	130
地域設定の指定.....	130
ユーザー セッション タイムアウトの設定.....	131
作業時間の設定.....	132
省電力モードを設定する.....	133
用紙要求タイムアウトの設定.....	134
用紙ロールのコア サイズの構成.....	135
ペン設定の構成.....	136
WebTools Express での「ロール ツー ロール」モードの設定.....	137
仕上げ設定の構成.....	138
Finishing Assistant の設定.....	138
カスタム折りテンプレートの折り設定.....	139
組み込み折りテンプレートの折り設定.....	142
デフォルト折りテンプレート.....	143
プリント品質およびプリント生産性の調整.....	144
プリント品質の設定.....	144
ロングプロットモードの設定.....	146
自動ロール切り替えの設定.....	147
スプールしきい値の設定.....	148
回転モードを設定する.....	149
アライメントモードを設定する.....	150
PDF レンダリング エンジンの設定.....	151
PDF の透明の平板化の設定.....	152
Print Assistant の動作の設定.....	153
プリント生産性の最適化.....	154
カラー管理について.....	155
カラー管理とは?.....	155
入力プロファイル/標準化とは?.....	156
カラー フィールドとは?.....	159
カラー レンダリングとは?.....	160
カラー レンダリングの定義.....	160
カラー レンダリング: 知覚的 (フォト).....	161
カラー レンダリング: 彩度 (ビジネス グラフィックス).....	162
カラー レンダリング: 相対カラーメトリック.....	163
カラー レンダリング: 絶対カラーメトリック.....	164
出力プロファイルとは?.....	165
WebTools Express のカラー マネジメント設定.....	166
カラー マネジメント設定およびジョブの送信.....	167
カラー設定の優先順位.....	168
HP-GL、HP-GL/2 および HP-RTL ファイルのカラー マネジメント設定.....	170
TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (RGB 入力).....	171
TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (CMYK 入力).....	172
PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力).....	173
PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力).....	174
PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力).....	175
PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力).....	176
PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (グレイ入力).....	177
用紙の管理.....	178
用紙プロファイルとは?.....	178
カスタムの用紙種類の作成.....	179
適切な用紙カテゴリの選択.....	180
用紙プロパティの調整.....	181
用紙プロファイルを設定する.....	183
用紙プロファイルをインストールする.....	184
カスタムの用紙サイズの作成.....	185
用紙サイズの構成.....	186
モバイル プリントおよびスキャンの構成.....	187
Publisher Express.....	187
モバイル接続用の WebTools Express 設定の指定.....	189

クイックレスポンスカードを生成します.....	190
モバイル デバイスを Publisher Express に接続する.....	191
<b>第 4 章</b>	
<b>プリントシステムの使用.....</b>	<b>193</b>
原稿を挿入する方法.....	194
原稿を自動挿入するには.....	195
「ロール ツー ロール」モードでの用紙のカット方法.....	196
プリント ジョブ - ジョブ送信ツール.....	197
Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する.....	197
Smart Inbox を使用してプリント ジョブを送信する.....	199
Publisher Select 3 を使用してプリント ジョブを送信する.....	200
Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する.....	202
Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ を使用してプリント ジョブを送信する.....	204
Publisher Mobile を使用してプリント ジョブを送信する.....	205
モバイル デバイスからのプリント.....	207
FTP を使用してプリント ジョブを送信する.....	209
LPR を使用してプリント ジョブを送信する.....	210
クラウドを使用してプリント ジョブを送信する.....	211
ホーム フォルダを使用してプリント ジョブを送信する.....	212
プリント ジョブ送信のトラブルシューティング.....	213
プリント ジョブ.....	214
デフォルトのプリント ジョブを実行する.....	214
ダイレクト プリント.....	216
USB キーからのプリント.....	217
操作パネルでのプリント プリセット.....	218
プリント ジョブに対するイメージプリセット.....	219
プリント ジョブのための詳細設定.....	220
コピー ジョブ.....	225
デフォルトのコピー ジョブを実行する.....	225
操作パネルでのコピー プリセット.....	226
コピー ジョブのイメージプリセット.....	227
コピー ジョブの詳細設定.....	228
コピー ジョブの推奨設定.....	237
原稿の種類.....	239
ハーフ サイズ コピーを作成する.....	241
コピーを作成して余白を追加する.....	242
コピーを作成して余白を削除する.....	243
原稿の特定の領域のコピーを作成する.....	244
コピーを作成して原稿の特定の領域を削除する.....	245
コピーを作成して別のサイズにスケールする.....	246
濃い原稿のコピーの作成 (青焼き).....	247
強調表示されたカラーが含まれた原稿のコピーの作成.....	248
セットごとのコピー.....	249
スキャン ジョブ.....	250
デフォルトのスキャン ジョブを実行する.....	250
操作パネルでのスキャン テンプレート.....	251
スキャン ジョブの詳細設定.....	252
スキャン ジョブの推奨設定.....	258
原稿の種類.....	260
ファイルの種類.....	262
スキャンを作成して余白を削除する.....	264
USB キーへのスキャン.....	265
ホーム フォルダへのスキャン.....	266
モバイル デバイスにスキャン済みドキュメントを保存する.....	267
アクティブなジョブの一時停止、再開または停止.....	268
システム設定のクリア.....	270

<b>第5章</b>		
<b>プリントシステムのメンテナンス</b>		<b>271</b>
システムの更新		272
ソフトウェアを更新する		272
操作パネルでのシステム ソフトウェアの更新		273
WebTools Express でのシステム ソフトウェアの更新		274
WebTools Express へのシステム セキュリティ パッチのインストール		275
用紙の交換		276
用紙引き出し		276
ロール紙の取り外し		277
ロール紙をパッケージから取り出す		281
ロール紙の装着		283
カスタム ロール紙の装着		287
手動でのカット		292
用紙の種類		293
用紙サイズ		295
カスタム用紙の仕様		297
トナーの補充		298
トナー カートリッジの交換		298
メンテナンストレイの交換		301
スキャナのメンテナンス		305
スキャナのクリーニング		305
スキャナの調整		308
<b>第6章</b>		
<b>ライセンス管理</b>		<b>309</b>
ライセンス管理について		310
ライセンスを確認する		311
現在アクティブなライセンスの保存		312
新しいライセンス ファイルの取得		313
新しいライセンスをアクティベート		314
<b>第7章</b>		
<b>アカウント管理</b>		<b>315</b>
アカウント管理について		316
WebTools Express でのアカウント管理の有効化		317
Océ Account Center の概要		319
Océ Account Console ®		320
Océ Account Console について		320
Océ Account Console の概要		321
アカウント ワークフロー		323
プリンタでのワークフロー		323
<b>第8章</b>		
<b>問題の解決</b>		<b>325</b>
ジョブに関する問題を解決するには		326
プリント サーフェスをクリーニングします		327
スキャナで原稿の詰まりを解消するには		331
ネットワーク ケーブルおよび電源ケーブルの取り外し		332
イベント メッセージ		334
エラーの場合の設定		338
デモ プリントの作成		339
テスト プリントの作成		340
<b>第9章</b>		
<b>サポート</b>		<b>341</b>

カウンタ履歴.....	342
監査ログ.....	343
リモート サービス: プロキシの設定.....	344
リモート サービス: 接続の確認.....	345
リモート サービス: リモート アシスタンスの許可.....	346
製品のダウンロードとサポート.....	347



# 第1章

## はじめに

## ColorWave 3800 について

### はじめに

ColorWave 3800 は、特許取得済みの CrystalPoint テクノロジーを使用するワイド フォーマット TonerPearl プリンタです。



### ColorWave 3800 プリント システムの主なコンポーネント

コンポーネント	説明/機能
ColorWave 3800	ColorWave 3800 はプリント済み出力を作成します。統合 Scanner Express (オプション) により、コピーおよびスキャンのジョブも実行することができます。ClearConnect マルチタッチ ユーザー パネルを使って、ジョブを簡単に構成し、送信することができます。
WebTools Express	WebTools Express は、複数のユーザーにシステムのリモート表示、およびシステムのワークフロー管理機能を提供します。ソフトウェアのインストールは必要ありません。 [システム管理者] または [キー オペレータ] は、WebTools Express を使用して、システムを構成したり、システムを微調整して、顧客企業のワークフローおよびプロセスに合わせて最適化することができます。

# ユーザーについて

## はじめに

WebTools Express の設定値を設定および管理することによって、ColorWave 3800 のパフォーマンスを最適化することができます。

WebTools Express のすべての設定を表示できますが、設定の値を変更する場合にはメッセージが表示されます。このメッセージには、設定がパスワード保護されていることが表示されます。設定を変更するには、パスワードを使用してログインする必要があります。



### 重要

すべてのパスワードの取り扱いおよび保存に十分な注意を払ってください。パスワードを忘れた場合は、サービス技術者がパスワードをリセットできますが、これはサービス技術者の権限が有効になっている場合に限られます([セキュリティ] - [設定] - [サービスの許可] - [サービス技術者にパスワードのリセットを許可する])。そうではない場合、システム ソフトウェアを再インストールする必要があります。



### メモ

システムの日常的な使用においては、パスワードは必要ありません。

## ユーザーの役割および権限の概要

次の表に、ユーザーの役割とそれらの役割に属する権限を示します。

ユーザーの役割	説明
[キー オペレータ]	システムの通常の使用以外に、キー オペレータは日常的なメンテナンスも担当します。 WebTools Express で特定のキー オペレータ設定の値を変更するには、キー オペレータとしてログインする必要があります。
[システム管理者]	システム管理者は、カスタマの IT インフラストラクチャへのシステムの統合を担当します。 WebTools Express で特定のシステム管理者の値を変更するには、システム管理者としてログインする必要があります。
[パワー ユーザー]	パワーユーザーは、サービス設定を除く、WebTools Express のすべての機能にアクセスする権限があります。

[サービス]の役割は主に、プリンタのインストールとサービスに関する設定値の設定に使用します。

## 本書の注意事項

### タイポグラフィ

本書では、ユーザー インターフェイスの一部要素を次のタイポグラフィを使用して示しています。




タイポグラフィ	で表す内容
[括弧間のテキスト]	ボタン、タイル、設定、値、その他のユーザー インターフェイスのオプションの名前
<かぎ括弧間のテキスト>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードのキーの名前</li> <li>次の変数名:コンテキストによって異なるアイテム</li> </ul>
Courier フォントで表示されるテキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルパス</li> <li>コマンド プロンプトのコメント</li> </ul>
[menucascade]→[で表示される]→[テキスト]	固定順序で使用されるオプションの名前

### 安全に関する記号

本製品を使用する前に、製品に付属する安全情報をご確認ください。安全情報については、"<http://downloads.cpp.canon>"を参照してください。また、製品に記載されている警告や手順に必ず従ってください。

本書では、次の安全に関する記号を使用して、危険と予防策について説明しています。

マーク	記号の種類	で表す内容
	警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。 この表示は、特殊な注意記号を持つ危険と関連する場合があります。「高温面」、「感電」、「可動部」、「レーザー光」の注意は、次のように表示されます。
	注意	<b>高温面</b> 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	注意	<b>感電</b> 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	注意	<b>可動部</b> 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

マーク	記号の種類	で表す内容
	注意	<b>レーザー光</b> 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	重要	操作上の要件または制限を示します。機器、ソフトウェア、データ、用紙、または資産の損傷を防ぐために、これらの項目を必ずお読みください。
	メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

## 身体保護に関する記号

本書では、次の身体保護に関する記号を使用して、特定の作業や行動を実行する前に身体保護が重要であることを示します。

マーク	記号の種類	で表す内容
	重要	<b>手の保護</b> この仕事や作業を行うときは、指示された種類の手袋を着用してください。
	重要	<b>目の保護</b> この仕事や作業を行うときは、指示された種類の目の保護具を用いてください。
	重要	<b>身体の保護</b> この仕事や作業を行うときは、指示された種類の身体の保護具を着用してください。
	重要	<b>足の保護</b> この仕事や作業を行うときは、指示された種類の足の安全具を着用してください。

## 関連マニュアル

### はじめに

本書は、マニュアルセットの一部です。次の表に、関連マニュアルの概要を示します。



#### メモ

最新のマニュアルについては、インターネットでダウンロードページをご覧になり、プリンタに関するすべての情報を入手してください。

### 使用可能なマニュアル

マニュアル	提供場所
ユーザー マニュアル - 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (<a href="http://downloads.cpp.canon">"http://downloads.cpp.canon"</a>)。多言語の PDF ファイル型式</li> </ul>
オンライン ヘルプ - WebTools Express	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションからアクセス可能 多言語で利用可能</li> </ul>
ユーザー マニュアル - 安全ガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (<a href="http://downloads.cpp.canon">"http://downloads.cpp.canon"</a>)。多言語の PDF ファイル型式</li> </ul>
ColorWave-PlotWave Connectivity Manual for Windows - Administration guide	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (<a href="http://downloads.cpp.canon">"http://downloads.cpp.canon"</a>)。英語の PDF ファイルで提供しております。</li> </ul>
PlotWave-ColorWave Systems Security - Administration guide	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (<a href="http://downloads.cpp.canon">"http://downloads.cpp.canon"</a>)。英語の PDF ファイルで提供しております。</li> </ul>

### 使用可能なマニュアル Driver Select for Microsoft® Windows®

マニュアル	提供場所
ユーザー ガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (<a href="http://downloads.cpp.canon">"http://downloads.cpp.canon"</a>)。PDF ファイルを各言語で提供しております。</li> </ul>
オンライン ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションに組み込まれています。各言語で提供されます。</li> </ul>

### 使用可能なマニュアル Driver Express for Adobe® Postscript® 3™

マニュアル	提供場所
インストール ガイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (<a href="http://downloads.cpp.canon">"http://downloads.cpp.canon"</a>)。PDF ファイルを各言語で提供しております。</li> </ul>
オンライン ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションに組み込まれています。各言語で提供されます。</li> </ul>

## 使用可能なマニュアル Publisher Select 3

マニュアル	提供場所
ユーザー ガイド	<ul style="list-style-type: none"><li>ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (<a href="http://downloads.cpp.canon">"http://downloads.cpp.canon"</a>)。多言語の PDF ファイル形式</li></ul>
オンライン ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"><li>アプリケーションからアクセス可能 多言語で利用可能</li></ul>



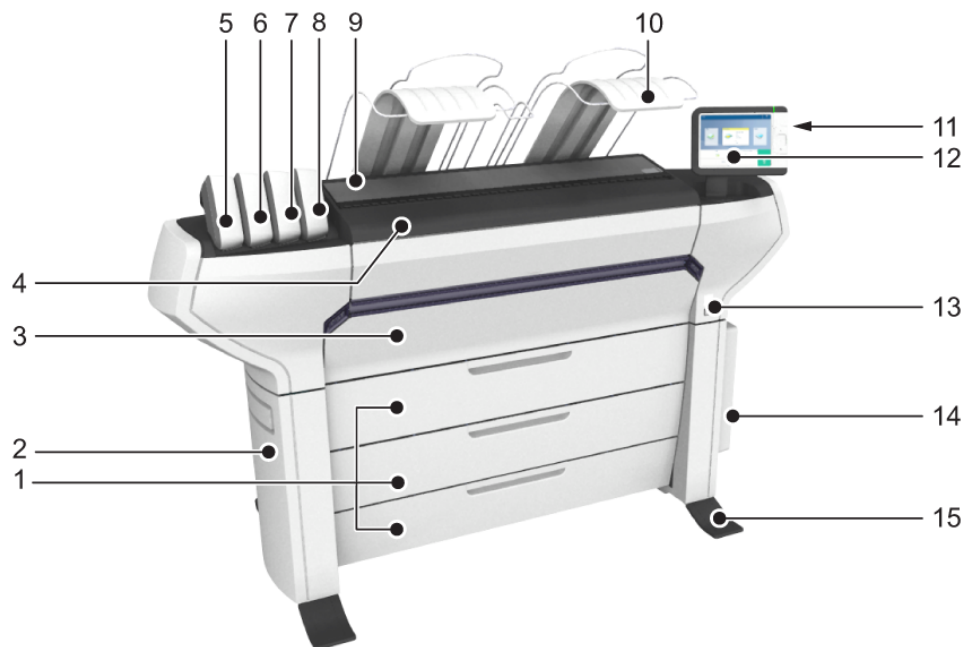


## 第2章

### プリント システムについて

# ハードウェア

## プリンタの主なコンポーネント (前面)



### コンポーネント - 機能表

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[用紙引き出し]	用紙ロール 2 本が入る用紙引き出し。
2	[左下サイド カバー]	装置の左下のカバー。
3	[下フロント カバー]	用紙搬送経路にアクセスするためのドア。
4	[上部カバー]	装置の上面をカバーするコンポーネント。
5	[トナー カートリッジ (シアン)]	シアン TonerPearls® 用トナー カセット
6	[トナー カートリッジ (イエロー)]	イエロー TonerPearls® 用トナー カセット
7	[トナー カートリッジ (ブラック)]	ブラック TonerPearls® 用トナー カセット
8	[トナー カートリッジ (マゼンタ)]	マゼンタ TonerPearls® 用トナー カセット
9	[トランスペアレント上部カバー]	プリント面/用紙出力セクションにアクセスするためのドア。
10	[上部排紙トレイ]	プリント済み出力を収容する排紙トレイ。
11	[USB ポート]	プリント元またはスキャン先として USB キーを使用するための USB コネクタ。

番号	コンポーネント	説明/機能
12	マルチタッチ[ユーザ パネル]	ClearConnect 操作パネルを使用すると、コピー、スキャン、プリントのジョブを開始し、システムおよびジョブ ステータスをモニタリングすることができます。
13	[オン/オフ ボタン]	プリンタを起動またはシャットダウンするためのボタン。 このボタンは、WebTools Express の [シャット ダウン] ボタンに相当します。
14	[右下サイド カバー]	コントローラをカバーするコンポーネント。
15	[フット]	プリンタの下部にあるコンポーネント、レバーとして使用。

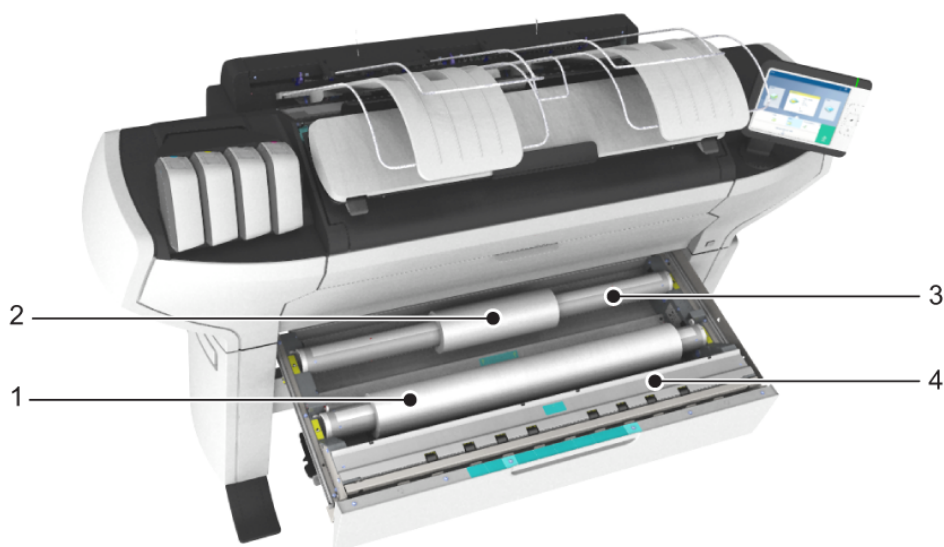
## プリンタの主なコンポーネント (背面)



### コンポーネント - 機能表

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[ホイール]	ブレーキ付きのキャスター。
2	[折り機接続パネル]	折り機を接続するコンポーネント。
3	[メンテナンス トレイ引き出し]	メンテナンス トレイにつながる引き出しで、残存トナーを収容します。
4	[上バック カバー]	デバイスの背面にあるカバーで、エラー修復のためにマシンにアクセスするために使います。
5	[電源スイッチ]	主電源のオン/オフを切り替えます。 電源スイッチの上にあるステッカーにプリンタのシリアル番号が記載されています。

## 用紙引き出し



### コンポーネント - 機能表



#### 重要

傷などのないロール紙のみを使用してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、[イメージングデバイス] が損傷する場合があります。

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[用紙ロール] 1	最初の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
2	[用紙ロール] 2	2 番目の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
3	[ロールホルダ]	ロール紙を装着します。
4	[ロールローディングステーション]	用紙引き出しの前部カバーの後ろに統合された溝。

## ClearConnect 操作パネル

### はじめに

ClearConnect は、プリンタのマルチタッチ操作パネルです。



番号	コンポーネント	機能
1.	[ステータス ライト]	プリンタのステータスに関するフィードバックを表すライト。 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑のライトは、プリンタがスキャン中またはプリント中であることを示します。</li> <li>緑のライトの点滅は、プリンタが移行状態 (スタートアップ、シャットダウン、一時停止) であることを示します。</li> <li>赤のライトは、エラーが発生したか、プリンタ キューが一時停止したことを示します。</li> <li>ライトが消灯しているときは、システムが準備状態であるかシャットダウンしています。</li> </ul>
2.	[スリープ ボタン]	ボタン: <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタのスリープ モードを解除します。</li> <li>機能を完全に活用するために、プリンタのスリープ モードを解除します。</li> </ul>
3.	[USB ポート]	USB キーの挿入: <ul style="list-style-type: none"> <li>USB キーから直接ファイルをプリントします。</li> <li>USB キーに直接スキャン ファイルを保存します。</li> </ul> データ転送中は、ポートの緑のライトが点滅します。
4.	[停止ボタン]	ボタン、赤のライトが点灯: <ul style="list-style-type: none"> <li>スキャン ジョブを直ちに中断します。</li> <li>プリント中のページのプリント後プリント ジョブを停止します。</li> </ul>

番号	コンポーネント	機能
5.	[ホーム ボタン]	ボタン: <ul style="list-style-type: none"><li>• 操作パネルのホーム画面に戻ります。</li><li>• ボタンを2回押して、設定をデフォルトにリセットします。</li></ul>
6.	[緑色のボタン] (タッチ)	操作パネル画面の動的なタイル: <ul style="list-style-type: none"><li>• 操作パネル上でスキャンジョブ、プリント ジョブまたはコピー ジョブを開始します。</li></ul>

## スキャナのコンポーネント (オプション)

### はじめに

組み込みスキャナはプリンタのオプションです。

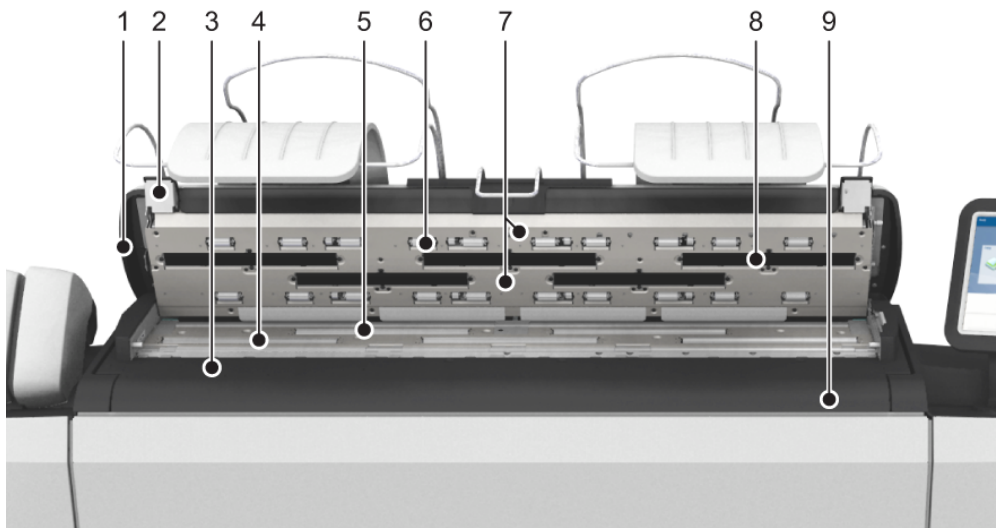
### スキャナのコンポーネント (上カバーは閉じた状態)



	コンポーネント	説明/機能
1	[上部カバー]	スキャナを保護します。
2	[出力再給紙プロテクタ]	出力がスキャナに再給紙されるのを防ぎます。
3	[原稿排出口]	スキャン済み原稿が排紙されます。
4	[原稿フィード テーブル]	原稿フィード テーブルを使用して、(表向きに) 原稿をスキャナに給紙します。
5	[オープン レバー]	オープン レバーを使用して、スキャナの上カバーを開きます。



スキャナのコンポーネント (上カバーは開いた状態)

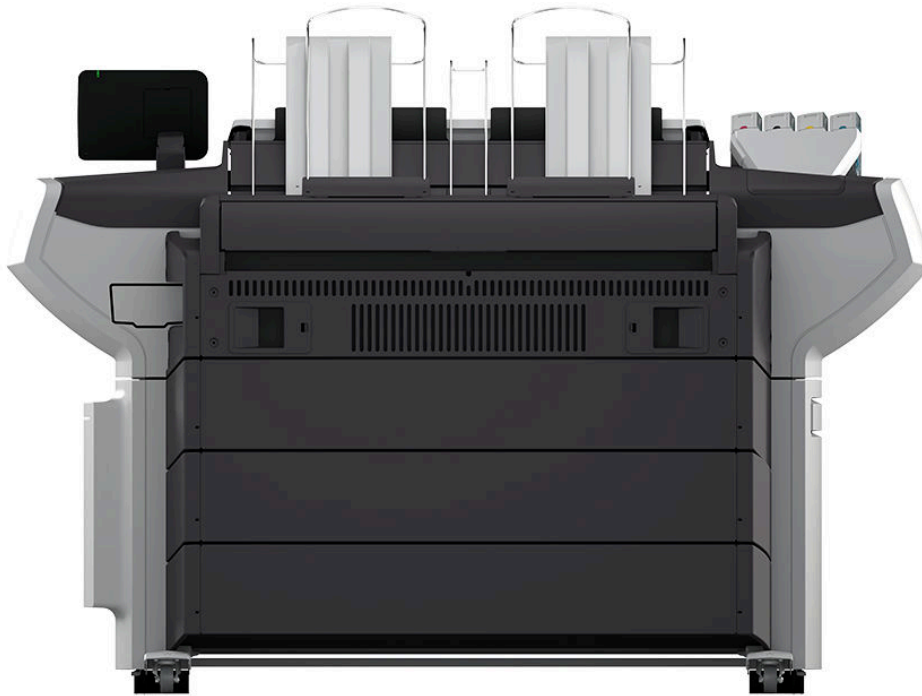


	コンポーネント	説明/機能
1	[上部カバー]	スキャナを保護します。
2	[オープン レバー]	オープン レバーを使用して、スキャナの上カバーを開きます。
3	[原稿サイズ定規]	この定規を使用して原稿の長さを測定します。
4	[原稿フィード ローラー]	原稿の搬送に使用されるローラー。
5	[原稿サポート ローラー]	原稿ガイド用のローラー。
6	[スキャナ上部カバー ローラー]	上部カバーに搭載された原稿ガイド用のローラー。
7	[原稿センサー]	原稿検出用のセンサー。
8	[透明コンタクト プレート]	イメージ センサーのカバー。
9	[原稿フィード テーブル]	原稿フィード テーブルを使用して、(表向きに) 原稿をスキャナに給紙します。

## 排紙先

### はじめに

ColorWave 3800 には、プリント出力を収容するための上部排紙トレイが付属しています。



上部排紙トレイには、長さ 1200mm (48 インチ) までの普通紙プリント出力を 50 ~ 100 枚収容することができます。出力の収容容量は、使用する用紙の種類によって異なります。

WebTools Express では、プリント済み出力のデフォルトの [プリント排紙] を定義することができます。デフォルトの [プリント排紙] を設定するには、[プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを選択します。

- 標準の 3 インチ用紙コアではなく、2 インチ用紙コアを使用する場合、プリント出力は自動的にプリンタの背面に排紙されます。このため、いずれかの仕上げオプションを接続することをお勧めします。
- 用紙によっては、特定の出力排紙先が必要となる場合があります。たとえば、厚手紙や手動でのカットが必要な用紙は、自動的にプリンタの後部に排紙されます。これは用紙の種類のプロパティに定義されています。
- [上部排紙トレイ (TDT)] を選択すると、デフォルトでは標準の上部排紙トレイにプリント出力が排紙されます。
- [背面出力] を選択すると、デフォルトではプリンタの背面にプリント出力が排紙されます。この場合、次のいずれかの仕上げオプションを使用してプリンタを拡張することができます。

### 仕上げオプション

[仕上げデバイスの構成を選択します。\(28 ページ\)](#) も参照してください。

<p><b>[排紙ラック (バスケット)]</b></p> <p>[排紙ラック (バスケット)] は、プリンタの背面にフックで固定されます。2～5枚のプリント出力を収容することができます。[排紙ラック (バスケット)] では、プリント出力が湾曲します。用紙の種類によっては、この仕上げオプションは適しません。</p> <p> <b>メモ</b> [排紙ラック (バスケット)] は折り機、巻き取りモジュール、または Stacker Select と組み合わせて使用することはできません。</p>	<p>☒</p> 
<p><b>折り機</b></p> <p>折り機とは、サイズの大きいプロットを自動的に折るデバイスです。</p> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [排紙ラック (バスケット)] は巻き取りモジュール、または Stacker Select と組み合わせて使用することはできません。</li> </ul>	<p>☒</p> 
<p><b>Stacker Select</b></p> <p>Stacker Select とは、プリンタの背面に接続される平らなトレイです。スタッカには、最大 D/A1 サイズが 400 枚 (75 g) のプリント出力を収容することができます。</p> <p> <b>メモ</b> Stacker Select は、[排紙ラック (バスケット)]、折り機または巻き取りモジュールと組み合わせて使用することはできません。</p> <p> <b>メモ</b> Stacker Select のインストールおよびシステムの構成は、サービス技術者が行う必要があります。</p> <p>Stacker Select については、マニュアルがウェブサイトからダウンロードできます ("<a href="http://downloads.cpp.canon">http://downloads.cpp.canon</a>")。</p>	<p>☒</p> 

仕上げデバイスの構成を選択します。

巻き取りモジュール (TUM) / ロールワインドモジュール (RWM)	図
<p>巻き取りモジュールおよびロールワインドモジュールを使用して、プリントジョブをカットせずに、ロールに巻き取ることができます。プリントを搬送する場合や、後でプリントの仕上げを行う場合に便利です。プリンタに巻き取りモジュールまたはロールワインドモジュールが取り付けられている場合は、まずプリンタを「ロール ツー ロール」モードにする必要があります。WebTools Express またはユーザパネルで、「ロール ツー ロール」モードを有効にすることができます。</p> <p> <b>メモ</b> 巻き取りモジュールおよびロールワインドモジュールは、[排紙ラック (バスケット)]、折り機または Stacker Select と組み合わせて使用することはできません。</p> <p><i>巻き取りモジュール (オプション) およびロールワインドモジュール (オプション) (31 ページ)、WebTools Express での「ロール ツー ロール」モードの設定 (137 ページ)、および「ロール ツー ロール」モードの構成 (31 ページ) を参照してください</i></p>	

仕上げデバイスの構成を選択します。

#### 使用する場合

操作パネルでは、仕上げデバイスのタイプを選択できます。デフォルト値は「[フィニッシャなし]」です。

#### 手順

1. 動的なバーで、システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイの右側のリストで、「[仕上げ装置] (「ロール ツー ロール」オプション)」をタップします。
3. キー オペレータとしてログインします。  
ウィザードが開きます。
4. ウィザードの手順に従って操作します。

#### 結果

手順が完了したら、システムを再起動して構成を適用してください。

## Scanner Professional (オプション)

### はじめに

プリンタはスタンドアロン スキャナの Scanner Professional 付きで提供される場合があります。



#### メモ

- スキャナのインストールおよびシステムの構成は、サービス技術者が行う必要があります。
- 詳細については、"<http://downloads.cpp.canon>"をご覧ください。

## 折り機(オプション)

### はじめに

プリンタは、外部折り機付きでも提供されます。ColorWave 3800 は、Folder Express 3011 および Folder Professional 6011/6013 とに互換性があります。



#### メモ

- 折り機の設置およびシステムの構成は、サービス技術者が行う必要があります。
- 設置後、仕上げデバイスのタイプを変更するには、キー オペレータとしてログインする必要があります。
- 折り機の詳細については、"<http://downloads.cpp.canon>"をご覧ください。

### 折り機との用紙の互換性

以下の用紙は折り機と互換性を持ちます。

- 普通紙: 60-110 g
- ベラム、トランスルーセント、および Tyvek: 折りの品質は使用する用紙によります

## 巻き取りモジュール(オプション)およびロールワインドモジュール(オプション)

### はじめに

ColorWave 3800 はオプションの巻き取りモジュールおよびロールワインドモジュールに対応しています。

巻き取りモジュールおよびロールワインドモジュールは「ロール ツー ロール」モードでのプリントを可能にします。このモジュールにより、プリントジョブをカットせずに、自動的にコアに巻き取ることができます。プリントを搬送したり、自動的にクリーンカットまたはトリミングしたり、ラミネート処理や、接着剤付きの裏地にマウントする場合に便利です。

巻き取りモジュールを使用する前に、プリンタを「ロール ツー ロール」モードに設定する必要があります。「ロール ツー ロール」モードは WebTools Express またはユーザパネルで有効にできます。

[WebTools Express での「ロール ツー ロール」モードの設定 \(137 ページ\)](#) および [「ロール ツー ロール」モードの構成 \(31 ページ\)](#) を参照してください。

デフォルトでは、プリンタは「ロール ツー シート」モードで排紙されます。このモードでは、プリンタによって各プリントがカットされ、選択した排紙先に排紙されます。

## 「ロール ツー ロール」モードの構成

### はじめに

巻き取りユニットを使用する場合、プリンタが「ロール ツー ロール」モードに設定されている必要があります。「ロール ツー ロール」モードを有効にすると、ページの間でカットは行われません。WebTools Express で、「ロール ツー ロール」モードを構成することもできます。



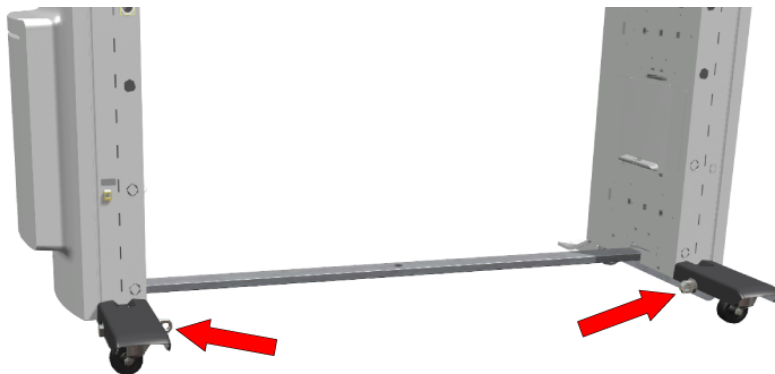
#### メモ

- 「ロール ツー ロール」モードが有効の場合、プリントの排紙先として [上部排紙トレイ] が設定されている場合でも、プリントジョブは [背面出力] に排紙されます。
- プリンタの調整を行う場合、「ロール ツー ロール」モードを無効にする必要があります。
- プリンターが「ロール ツー ロール」モードである場合、トナーカートリッジを交換する前に、用紙をカットする必要があります。

### 手順

1. システムメニューサムネイルをタップします。システムメニューが開きます。
2. ディスプレイの右側のリストで、「[ロールツーロール オプション]([「ロール ツー ロール」 オプション])」をタップします。
3. キーオペレータとしてログインします。
4. 「[ロールツーロールが無効]」または「[ロールツーロールが有効]」を選択します。
5. [OK]をタップして確定するか、[キャンセル]をタップして入力を取り消します。

## 耐震対策



独立型プリンタは地震の際に移動する場合があります、それにより人が負傷したり、出口が塞がれたりします。用意された耐震対策リングを用いて、プリンタを建物に取り付けて、プリンタを最初に設置した場所に安全に固定することができます。

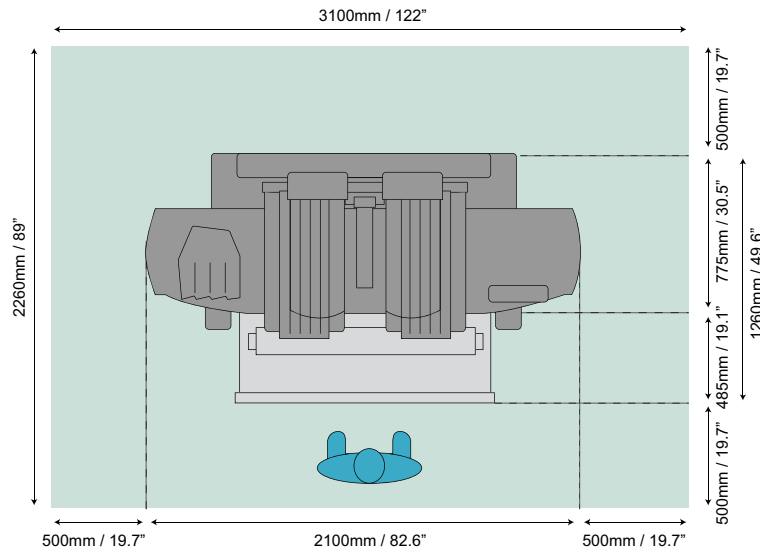
このリングは、プリンタの据え付けの際に、取り付けることができます。



# プリントシステムの接続

## プリンタの作業エリア (設置面積)

ColorWave 3800 では、3100 x 2260 mm (122 x 89 インチ) 以上の床面積/作業エリアが必要です。



## 電源ケーブルおよびネットワークケーブルの接続

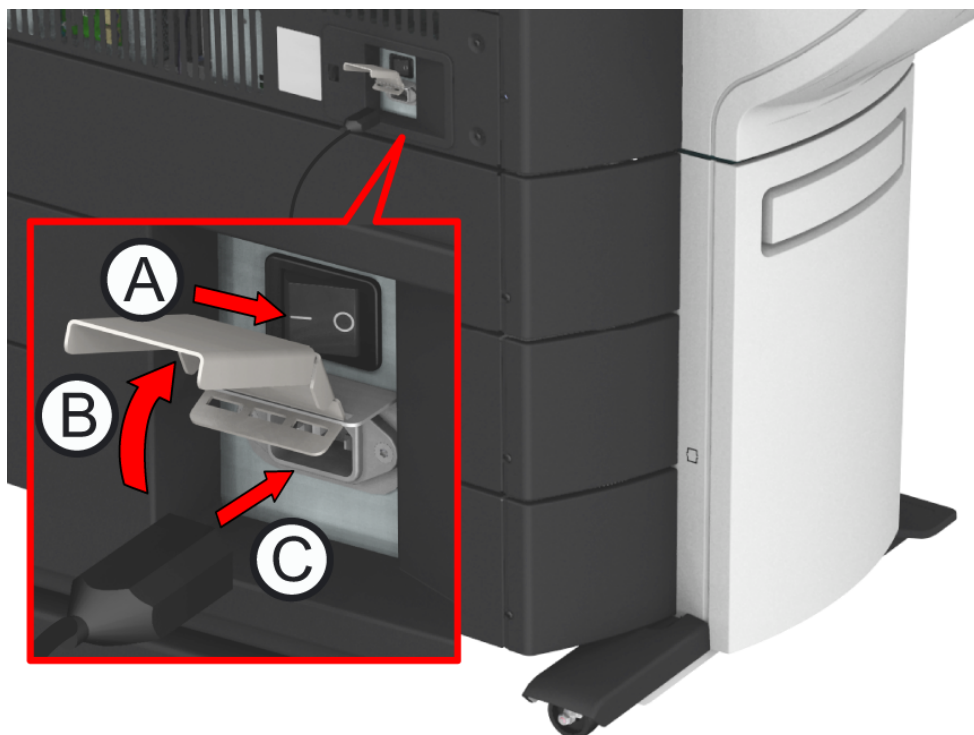
### 手順



**重要**

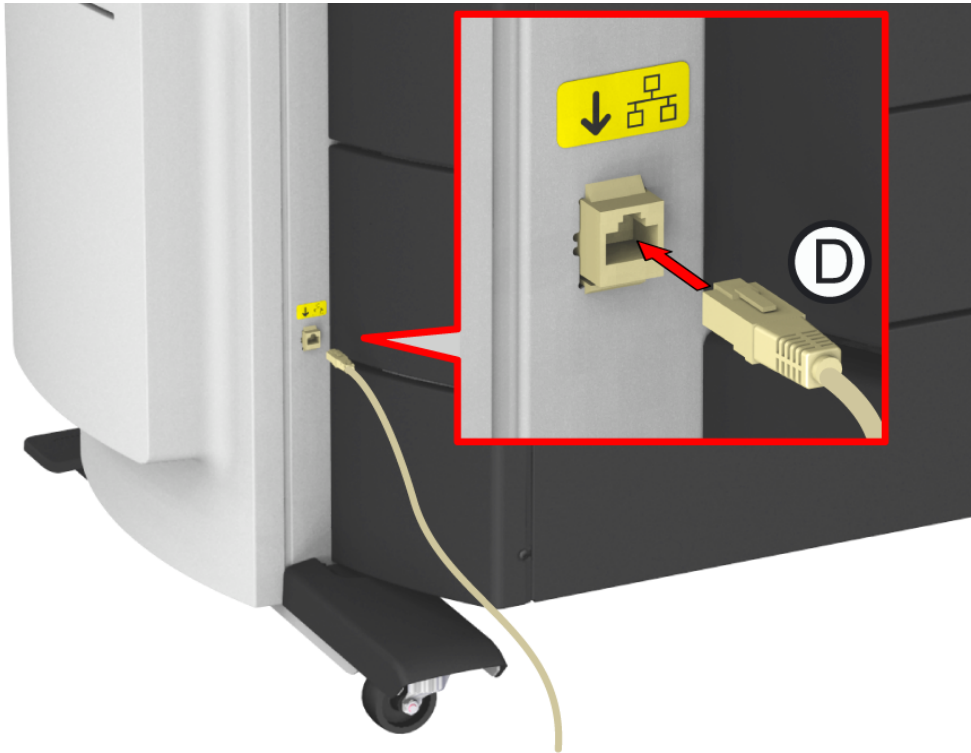
電源スイッチ [A] が「オフ」の位置にあることを確認してください。

1. 保護カバーを持ち上げます [B]。



2. 電源ケーブルを、プリンタ背面の電源接続端子 [C] に接続します。
3. 電源ケーブルのもう一方の端をコンセントに接続します。
4. ネットワークケーブルの一方の端が、企業ネットワークに接続されていることを確認します。

5. ネットワークケーブルのもう一方の端をプリンタ左側背面のネットワーク接続端子 [D] に接続して、プリンタを企業ネットワークに接続します。



## プリントシステムのスイッチオン



### 重要

- 電源ケーブルが接続されていることを確認します。
- ネットワークケーブルが接続されていることを確認します。

詳細については、[電源ケーブルおよびネットワークケーブルの接続 \(34 ページ\)](#) を参照してください

### 手順

1. プリンタの背面にある電源スイッチをオンにします。



2. プリンタ前部のオン/オフ ボタンを押して、システムを開始します。



## プリントシステムのスイッチをオフにする

### はじめに

プリントシステムのスイッチを完全にオフにする場合、いくつかの手順に従う必要があります。

### 手順

1. プリンタ前面のオン/オフ ボタンを押して、プリントシステムのスイッチをオフにします。



メモ

WebTools Express の [シャット ダウン] ボタンを使用することもできます。



重要

オン/オフ ボタンの点滅が停止するまで待ちます。

2. プリントシステム背面の電源スイッチをオフにします。



## システムの移動

### はじめに

プリンタを新しい場所に移動することができます。

### 始める前に



#### 重要

- プリンタが接続されている場合は、まずスイッチをオフにしてからプリンタの接続を外します（「[プリントシステムのスイッチをオフにする \(38 ページ\)](#)」および「[ネットワーク ケーブルおよび電源 ケーブルの取り外し \(332 ページ\)](#)」を参照）。
- 用紙引き出しを閉じます。



#### メモ

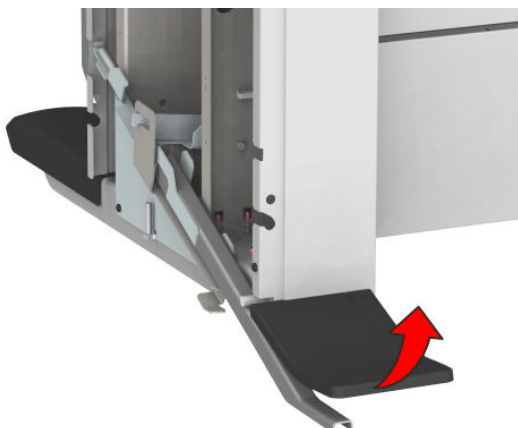
プリンタの作業エリアのサイズに注意してください（「[プリンタの作業エリア \(設置面積\) \(33 ページ\)](#)」を参照）。

### 手順

1. 両手で引っ張って左側のカバーを外します。

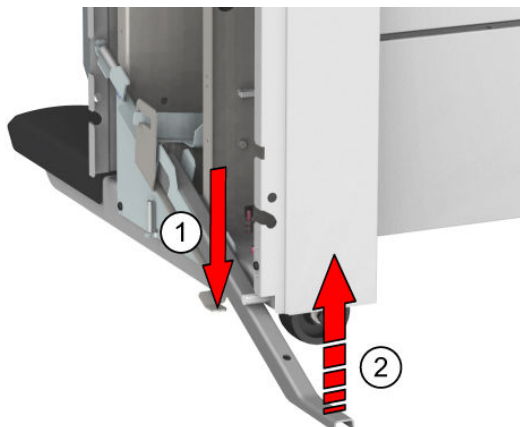


2. 左側のフット カバーを引っ張って取り外します。

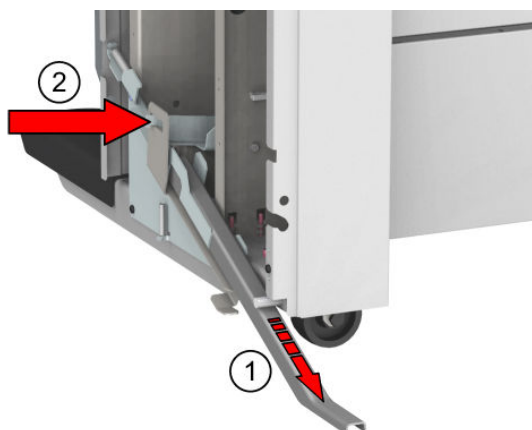




3. レバーを押します [1]。フットが跳ね上がります [2]。



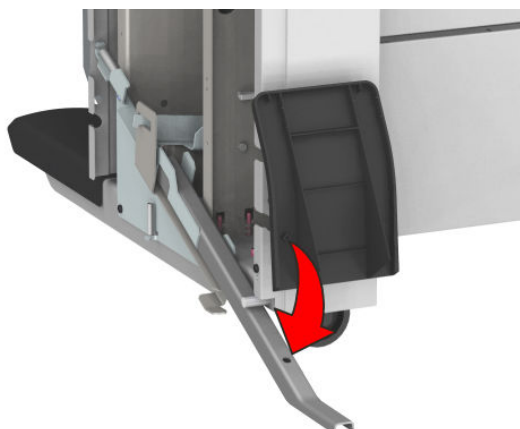
4. 右側のカバーについて、手順 1～3 を繰り返します。
5. プリンタを指定した場所に移動します。プリンタの作業エリアに注意してください。
6. 左側のフット [1] を、床面に届き、ロックされるまで [2] 引っ張ります。カチッと音がしてロックされます。



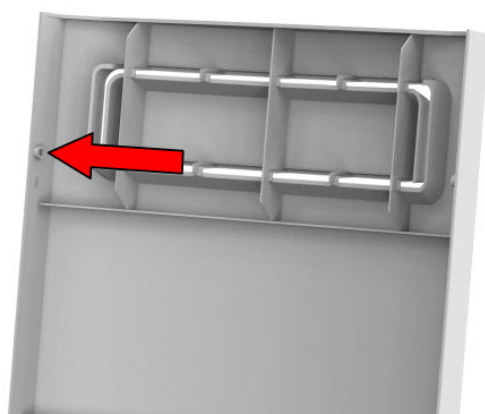
## メモ

カチッと音がしない場合、プリンタのフット [1] に足を乗せ、カチッと音がするまで、ゆっくりとプリンタを押します。

7. フットカバーを取り付けます。ノッチにピンを取り付けます。



8. ノッチにピンを取り付けて、左側のカバーを取り付けます。  
ピン:



ノッチ:



9. カバーを押してはめ込みます。



10. 右側のカバーについて、手順6～9を繰り返します。

# ClearConnect 操作パネルのワークフロー

## ホーム画面

### はじめに

ClearConnect 操作パネルのデフォルト画面は、ホーム画面です。

ホーム画面から、ジョブを管理したり、システム メニューを入力したりできます。

### ホーム画面



番号	コンポーネント	機能
1.	動的なバーおよび [アクティブ ジョブ]	<p>動的なバーでは、システム ステータス (ウォーミングアップ、クリーニングなど) や、アクティブなジョブがある場合はそのジョブを表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブなジョブをタップすると、ジョブ キューが待機中のジョブのリストとともに表示されます。</li> <li>アクティブなジョブをタップすると、一時停止タイルが表示され、これを使用してプリント処理を一時停止することができます。</li> </ul>
2.	[システム メニュー]	<p>動的なバーでは、システム メニューにアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム メニューのサムネイルをタップすると、システムとプリンタのセットアップの設定に関する動的な表示が含まれた新しいウィンドウが開きます。</li> </ul>

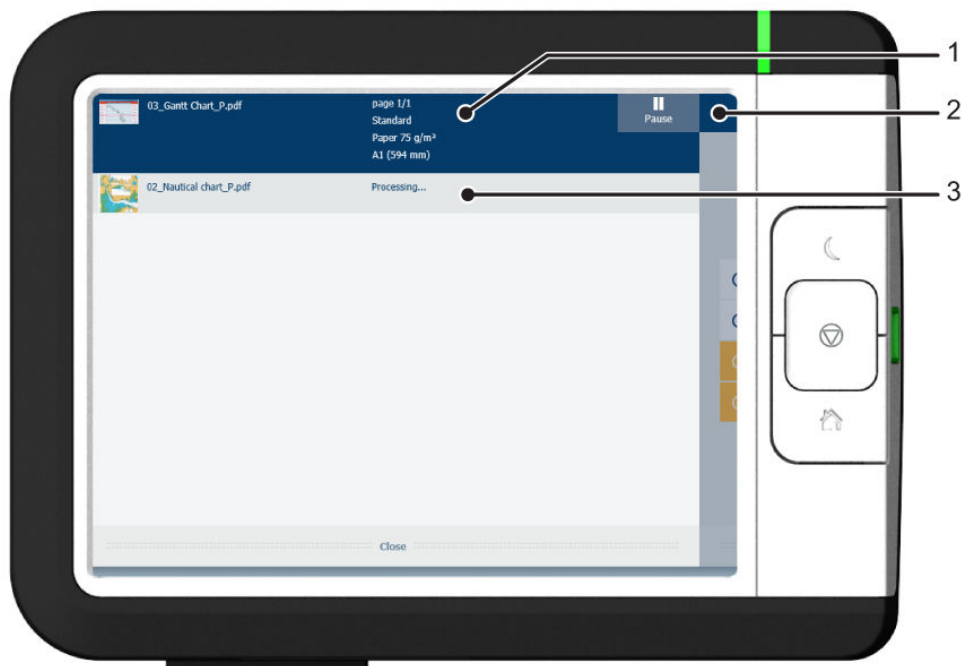
番号	コンポーネント	機能
3.	[コピー タイル] [スキャン タイル] [プリント タイル]	これらの動的なタイルは、コピー、スキャンおよびプリントのジョブに役立ちます。ジョブに合った適切なタイルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• いずれかのタイルをタップしてから Smart Access を使用すると、ジョブを直ちに開始することができます。</li><li>• デフォルトでプリント タイルが選択されていますが、スキャナに原稿を挿入するとコピー タイルが選択されます。原稿および USB キーを挿入するとスキャン タイルが選択されます。</li><li>• さらに多くの設定を指定するには、タイルを 2 回タップしてプリセットまたは設定が表示された新しいウィンドウを開くことができます。</li></ul>
4.	Smart Access	動的な Smart Access はプリント、コピー、またはスキャン ジョブの専用に変更し、迅速にジョブを開始するのに役立ちます。
5.	[ライブ スキャン ビュー]	ライブ スキャン表示は、Smart Access で表示されます。これには文書の幅と位置合わせが表示されるとともに、Smart Access がスライド表示されます。
6.	[緑色のボタン]	グリーン ボタンは動的であり、ディスプレイの右下隅ですべての画面に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ボタンが緑の場合、ジョブを処理するプリンタの準備が整っています。</li><li>• ボタンがグレイの場合、ジョブを処理するプリンタの準備は整っていません。</li></ul>

## ジョブキューおよびシステムメニュー

### はじめに

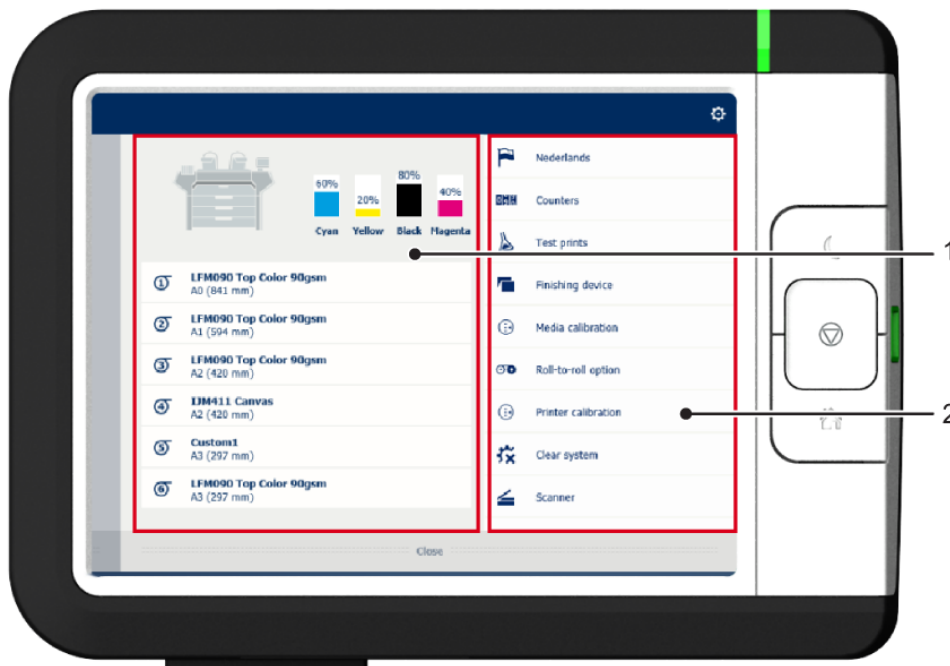
動的なバーは、操作パネルのディスプレイのホーム画面上部に配置されます。動的なバーは、ジョブキューのあるジョブステータス、プリンタステータス、およびシステムメニューで構成されます。

### アクティブなジョブおよびジョブキュー



番号	コンポーネント	機能
1.	ジョブとプリンタステータス	ジョブおよびプリントシステムに関する情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• アクティブなジョブのジョブ情報などが含まれます。</li> <li>• プリンタステータス (印刷中、トナー残量低下、折り機が接続されているなど)。</li> </ul>
2.	システムメニュー	システムメニューにアクセスするには、システムメニューのサムネイルをタップします。
3.	ジョブキュー	ジョブキューウィンドウを開くには、アクティブなジョブをタップします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• リストに記載されたすべてのジョブを表示し、ジョブ設定をタップしてそれらにアクセスします。</li> <li>• リストされたジョブを上下に移動します。</li> </ul>

「システム」メニュー



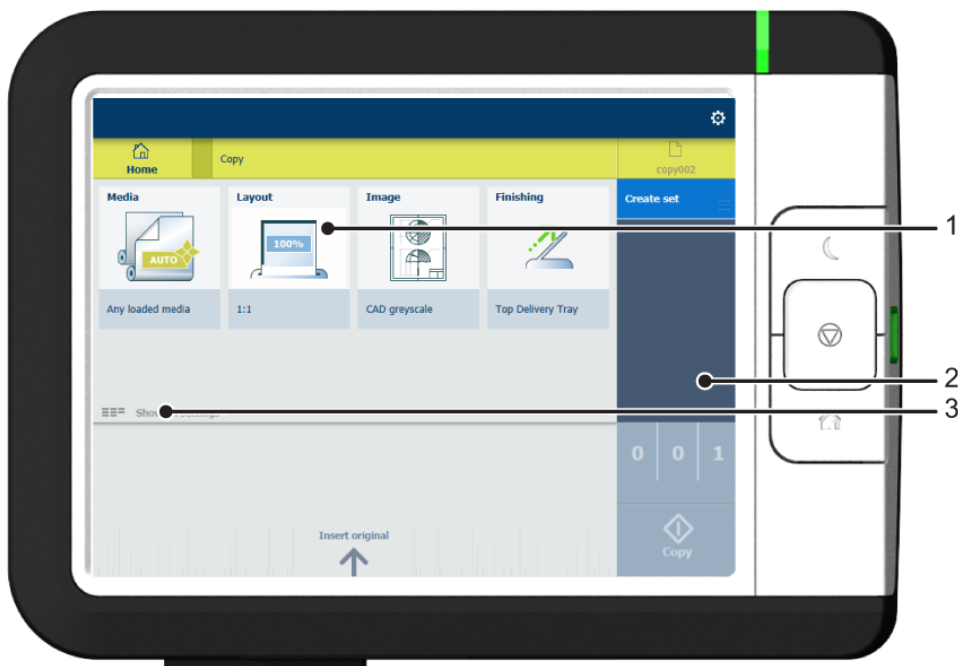
番号	コンポーネント	機能
1.	プリント システム、用紙、およびトナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタ内に取り付けられた用紙が表示されます。</li> <li>カラーごとに使用できるトナーが表示されます。</li> <li>ウィザードが表示され、用紙を変更したりトナーを補充したりするのに役立ちます。</li> </ul>
2.	[設定メニュー]	<p>[設定メニュー] は、プリンタに関する一般的な情報を提供します。リスト内で以下にアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第 1 言語と第 2 言語の切り替え</li> <li>[カウンタ]</li> <li>[プリントのテスト]</li> <li>[仕上げ装置]</li> <li>[用紙の調整]</li> <li>[ロールツーロール オプション] (オプションの巻き取りモジュール付き)</li> <li>[プリンタの調整]</li> <li>[システムのクリア]</li> <li>[スキャナ] (オプションのスキャナー付き)</li> <li>[ネットワーク設定]</li> <li>[セキュリティ]</li> <li>[システムの更新]</li> <li>[について]</li> </ul>

## プリセット、テンプレート、および詳細設定

### はじめに

プリセットとテンプレートは、迅速かつ容易にジョブを送信するために役立ちます。詳細設定はジョブの設定を微調整するのに役立ち、すべての設定に対するアクセスを提供します。

ホーム画面でコピー タイルをタップすると、コピーのプリセットおよび詳細設定が含まれたウィンドウが開きます。スキャン タイルをタップすると、スマート アクセス内にテンプレートが表示されます。スキャン タイルをもう一度タップすると、詳細設定が含まれたウィンドウが開きます。プリント タイルをタップして、リストに表示されたジョブの設定をタップすると、プリントのプリセットおよび詳細設定が含まれたウィンドウが表示されます。



番号	コンポーネント	機能
1.	[プリセット タイル]	<p>プリセット タイルは、ジョブのデフォルト設定を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリセットは、[用紙] や [レイアウト] などのカテゴリに分けられます。</li> <li>• プリセット タイルをタップすると、選択可能な他のプリセットの簡単なリストに対するすばやいアクセスを提供します。</li> </ul>
2.	[ジョブ ペイン]	<p>[ジョブ ペイン] は、ジョブを管理するのに役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ジョブに関する情報が提供されます。</li> <li>• セットの処理。</li> <li>• ジョブの削除。</li> <li>• プリセット/設定のウィンドウと文書のプレビューが表示されたウィンドウを切り替えるには、タイルをタップします (Smart Inbox のジョブのみ)。</li> <li>• グリーン ボタンでジョブを開始します。</li> </ul>



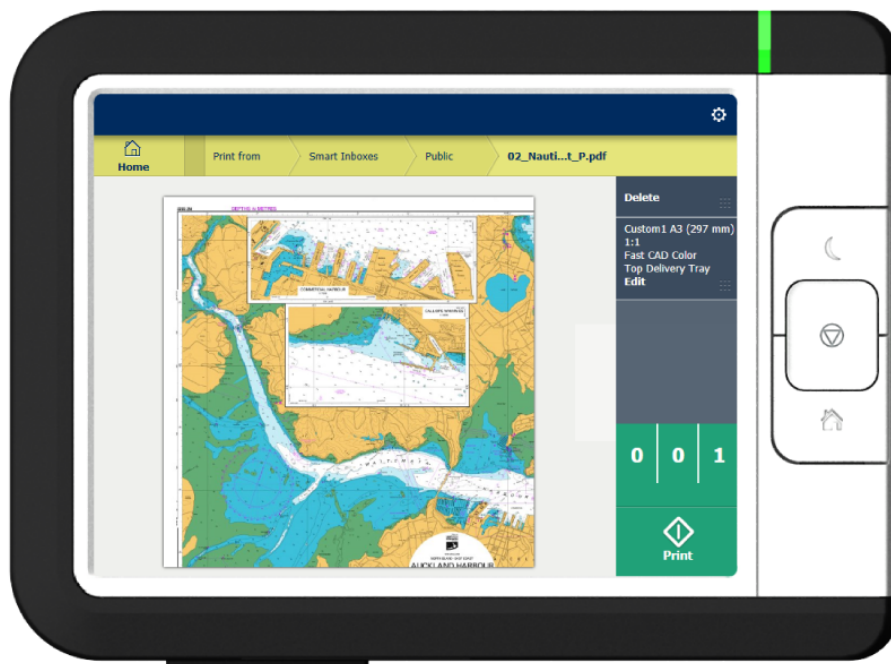
番号	コンポーネント	機能
3.	[すべての設定を表示] (詳細設定)	[すべての設定を表示] をタップすると、すべての詳細設定が含まれたリストが開きます。スキャンの場合、詳細設定はあらかじめ表示されています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 詳細設定は、タイルとしてカテゴリ化されて表示されます。</li><li>• タイルをタップすると、設定を微調整できます。</li></ul>


## ジョブのプレビュー

### はじめに

マルチタッチ操作パネルを使用すると、ジョブの詳細なプレビューが提供されます。プレビューサムネイルをタッチしてプレビューウィンドウにアクセスします。

### ジョブのプレビュー



コンポーネント	機能
ジョブのプレビュー	<p>詳細を表示するには、イメージをパンすることができます。1つの場所の一部であるさまざまなジョブファイルの間を切り替えることができます。他のジョブファイルを表示するには、左か右にスワイプします。</p> <p>プリセットウィンドウを開くには、ジョブペイン内で編集タイルをタップします。</p> <p>プレビューウィンドウに戻るには、プリセットウィンドウ内で表示タイルをタップします。</p> <p> <b>メモ</b> 複数ページのジョブがある場合、最初のページのみを表示できません。</p>

# クラウド

## はじめに

マルチタッチ操作パネルは、さまざまな場所をプリント元およびスキャン先とする機会をユーザーに提供します。このような場所の 1 つはクラウドです。

WebDAV 経由でクラウドを入力して、それをネットワークドライブとして使用できます。この方法によって、任意のクラウドアプリケーションにアクセスすることができます。



### メモ

- 外部の場所としてクラウドを設定する方法については、「[外部の場所の作成 \(120 ページ\)](#)」を参照してください。
- WebDAV は、クラウドの場所を作成する際に選択された種類であることに注意してください。プリントジョブにクラウドを使用する方法については、「[クラウドを使用してプリントジョブを送信する \(211 ページ\)](#)」を参照してください。

## クラウドの概念

クラウドは、ファイルの送信先として使用する仮想ネットワークドライブとして見なすことができますが、ファイルの保存と共有の場所としても見なすことができます。

SharePoint などの汎用のクラウドアプリケーションや HTTP URL 経由のアプリケーションなどがありますが、企業は独自のプライベートクラウドや社内クラウドを使用することもできます。

ColorWave 3800 でのクラウドを使用した作業は、非常に簡単です。

手順	説明	経由
接続	指定したクラウドアプリケーションとプリンタの間に接続を確立します。 これを実行するには、WebDAV 経由で WebTools Express 内に外部の場所を作成します。	WebTools Express
プリントジョブの場合:	ローカルでクラウドアプリケーションを開きます。	PC またはモバイルデバイス
	クラウド内でプリントするファイルを追加して保存します。あるいは、クラウド内でプリンタにファイルを送信します。	PC またはモバイルデバイス
	プリントタイルの Smart Access 内で、場所としてクラウドアプリケーションを開きます。	操作パネル
	プリントするファイルを選択します。	操作パネル
	グリーンボタンをタップします。	操作パネル
スキャンジョブの場合:	原稿を挿入して、スキャンタイルを選択します。	操作パネル
	Smart Access で、クラウドが保存先として設定されているテンプレートを選択します。	操作パネル
	グリーンボタンをタップします。	操作パネル
	PC またはモバイルデバイス上でクラウドを開き、スキャン済みファイルをそこから検索します。	PC またはモバイルデバイス



## 第3章

# WebTools Express を使用したワークフローの定義

# ご使用にあたって

## WebTools Express

### はじめに

WebTools Express は、プリンタ上で稼働するアプリケーションです。ご使用のコンピュータまたはモバイル デバイス上で WebTools Express のホームページを開くには、最新のインターネット ブラウザ (Google Chrome、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer、または Mozilla Firefox) を使用してください。

### 定義

次を実行するために、WebTools Express を使用できます:

- プリント、コピー ジョブ、およびスキャン ジョブを管理します。
- Publisher Express を使用したプリンタにプリント ジョブを送信します。
- このアプリケーションを使用して設定にアクセスし、プリント システムの構成およびプリファレンスを管理することができます。

WebTools Express 内で設定を変更すると、事前定義された 3 つのユーザー ロールのいずれかを使用してログインする必要があります。詳細については、[ユーザーについて \(11 ページ\)](#) を参照してください。

- プリント システムのステータスをモニタリングします。

### WebTools Express アクセス方法

WebTools Express へのアクセス方法:

- ワークステーションの Web ブラウザに、ホスト名としてプリンタの製品名、例えば `http://ColorWaveXXXX` を入力します。  
または
- ワークステーションの Web ブラウザに、プリンタの IP アドレス、例えば `http://123.123.23.123` を入力します。



#### メモ

WebTools Express が表示されない場合、ネットワーク管理者に問い合わせるネットワーク パラメータを確認します。ネットワーク インフラで、プリンタのネットワーク設定が登録されていることを確認します。

# WebTools Express 用に別の言語を設定する

## はじめに

使用するインターネット ブラウザの言語設定によって、WebTools Express の言語が定義されます。

## 別の言語を設定

インターネット ブラウザで WebTools Express の言語設定を変更できます。ご使用のインターネット ブラウザによっては、言語の設定を変更するのにいくつかのステップを実行する必要があります。詳しくは、ご使用のブラウザで該当するヘルプ情報を参照してください。次のインターネット ブラウザがサポートされています。Google Chrome、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer および Mozilla Firefox。

次の言語がサポートされています: オランダ語、英語 (英国)、ドイツ語、フランス語、英語 (米国)、スペイン語、デンマーク語、イタリア語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語、ポルトガル語、ポーランド語、ハンガリー語、チェコ語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、ロシア語、韓国語。



### メモ

- 言語設定は、ユーザー パネルの言語には反映されません。操作パネルでは、[第 1 言語] または [第 2 言語] のどちらかを選択できます。WebTools Express の地域設定で [第 1 言語] および [第 2 言語] の値を定義することができます。
- 選択した言語がサポートされていない場合、WebTools Express のデフォルト言語は英語 (米国) です。

## アクセス管理

### はじめに

アクセス管理はプリンタに標準で装備されており、ユーザー認証オプションで有効・無効にすることができます。アクセス管理は、機密情報や慎重に扱うべきプリント ジョブを不正なアクセスから保護する目的で設計されています。ジョブにはそのジョブの所有者のみがアクセスできます。

### 安全なプリントおよびスキャン

ユーザー認証を有効にすると、

- ジョブの所有者が送信した慎重に扱う必要のあるプリント ジョブは、ジョブ所有者がシステム操作パネルで認証し、印刷のためにリリースするまで印刷されません。
- プrint ジョブはプリンタに保存され、ジョブ所有者以外はそのジョブにアクセスできません。
- コピーおよびスキャン作業は、ユーザーがシステム操作パネルで認証した後にのみ、可能になります。

次の 3 種類の方法がユーザー認証に用いられます：

- ユーザー名およびパスワード：  
プリンタ操作パネルでは、ユーザー名およびパスワードが必要です。
- スマート カード：  
有効なスマート カードをスマート カードリーダーに挿入します (プリンタの USB ポートに接続)。
- 非接触型カード：  
有効な非接触型カードを、非接触型カードリーダーの近くでしっかりと保持します (USB ソケットに接続)。

これらの認証方法は、Microsoft Active Directory を使用した Windows ベースの環境を対象としたものです。

### ホーム フォルダをスキャン先およびプリント元とする

ホーム フォルダをスキャン先およびプリント元とするオプションは、ユーザー名とパスワード認証方法により、使用することができます。プリンタ操作パネルで認証を入力した後、Microsoft Active Directory でご自分のアカウントに設定したように、ネットワーク上のホーム ディレクトリにファイルをスキャンする (あるいはファイルからプリントする) ことができます。認証により LDAP プロトコルを介して、ホーム ディレクトリにアクセスすることができます。ホームをスキャン先にするオプションには、ワークステーション上でご自身のアカウントの認証を行った後、ホーム フォルダにあるスキャンを取得することのみ可能です。



#### メモ

ホーム フォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な、自分用の安全な外部の場所です。



## 権限のあるユーザーとしてログインする

特定の設定を変更するには、権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。3つのユーザーの役割があります (システム管理者、キー オペレータおよびパワーユーザー)。これらの役割には、特定の設定のグループを編集する権限があります。セッションを開始する前にログインする必要はありません。特別な操作を実行する場合、ログイン画面のみが表示されます。



### 重要

[セキュリティ] - [設定] - [ユーザ アクセス構成] セクションの WebTools Express でローカルアカウントを無効にし、ネットワーク認証を有効にすることができます。ネットワーク認証が有効な場合、AD ユーザー名はユーザーの役割 (システム管理者、キー オペレータ、パワー ユーザー) にマッピングされます。AD 資格情報でログインしている場合、ユーザーは再度ログインする必要なく、WebTools Express で自身のユーザーの役割に一致するすべての設定を変更できる権限を有しています。ネットワーク認証の詳細については、"<http://downloads.cpp.canon>"で PlotWave-ColorWave Systems Security - Administration guide を参照してください。

## ログイン後



### メモ

- 1 度ログインすると、ブラウザ セッションが終了するまでログイン状態が持続します。30 分以上操作を実行しないと、セッションの有効期限が切れ、再度ログインする必要があります。
- セキュリティを確保するため、3つのアクセス モード (キー オペレータ、システム管理者、パワーユーザー) のパスワードを定期的に変更することをお勧めします。  
ローカルアカウントのためには、これを WebTools Express で実行することができます。  
ネットワーク認証が有効な場合、これは IT パスワード ポリシーにより扱われます。

## 手順

1. 編集する設定の値をクリックします。ログイン ウィンドウが開きます。
2. ドロップダウン リストからユーザーの役割を選択します。
3. パスワードを入力します。
4. [OK] をクリックして、入力内容を確認します。

## セッション後にログアウトする

### 目的

設定の変更が終了したら、ログアウトすることをお勧めします。

### 手順

1. 画面**右上**角のログアウト ハイパーリンクをクリックします。  
または
2. インターネット ブラウザのウィンドウを閉じます。

## 権限のあるユーザーのパスワード、またはパスワードの暗号化キーを変更する

### 使用する場合

セキュリティを確保するため、3つのアクセスモード (キー オペレータ、システム管理者、パワーユーザー) のパスワードを定期的に変更することをお勧めします。

ローカルアカウントのためには、これを WebTools Express で実行することができます。

ネットワーク認証が有効な場合、これは IT パスワード ポリシーにより扱われます。

### [パスワードの暗号化キー]

このキーは、デバイスに保存されたすべてのパスワードを安全に暗号化するために使用されています。このキーを知らずに、サードパーティが保存されたパスワードの暗号を解読することは不可能です。システムのインストール、アンインストール、またはアップグレードを実行した後は、システムデフォルトパスワードの暗号化キーを変更することをお勧めします。

この設定は、パスワードと同じセクションにあります。



#### 重要

すべてのパスワードの取り扱いおよび保存に十分な注意を払ってください。パスワードを忘れた場合は、サービス技術者がキー オペレータ、システム管理者、パワーユーザーのパスワードをリセットできますが、これはサービス技術者の権限が有効になっている場合に限られます。([セキュリティ] - [設定] - [サービスの許可] - [サービス技術者にパスワードのリセットを許可する] - [はい])。そうではない場合、装置を再インストールする必要があります。

### 手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. 変更する設定に応じて、[パスワード] セクションで、[ローカル キー オペレーターのパスワード]、[ローカル システム管理者のパスワード]、[ローカル パワー ユーザーのパスワード]、または [パスワードの暗号化キー] を選択します。新しいウィンドウが開きます。
3. 以下のようにログインします。
  - キー オペレータのパスワードを変更するには、キー オペレータ。キー オペレータのデフォルトのパスワードは「KeyOp」です。
  - システム管理者のパスワードを変更するには、システム管理者。システム管理者のデフォルトのパスワードは「SysAdm」です。
  - すべてのパスワードを変更するには、パワーユーザー。パワーユーザーのデフォルトのパスワードは「PowUsr」です。
  - パスワードの暗号化キーを変更するには、システム管理者またはパワー ユーザーです。



#### メモ

パスワードとパスワードの暗号化キーでは、大文字と小文字を区別してください。次の範囲の文字のみを使用できます:

A-Z (アルファベット大文字)	a-z (アルファベット小文字)
0-9	_ - ~ ! ? @ # \$ % ^ * + = , . : ; /   [ ] ( ) { }

日本語および中国語の文字またはキリル文字は使用できません。

4. 確認のため、新しい設定を 2 回入力します。入力は表示されません。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## ジョブの状態

### はじめに

ジョブが Smart Inbox またはジョブ キューに格納されている場合、ジョブ名の前にあるアイコンによって、ジョブの状態に関する情報が表示されます。

### Smart Inbox に格納されたジョブの状態の概要

状態	アイコン	説明
受信中		Smart Inbox でジョブ データを受信中であることを表します。
新規		Smart Inbox に新しいジョブがあることを表します。
キュー済み		ジョブがキューにコピーされ、プリント待ちであることを表します。
プリント済み		ジョブがプリントされたことを表します。
注意が必要		一般的なエラー メッセージ。
アカウント データがありません		ジョブのアカウント データがない場合に表示されます。

### ジョブ キューに格納されたジョブの状態の概要

状態	アイコン	説明
受信中		キューでジョブ データを受信中であることを表します。
処理中		キューでジョブ データを処理中であることを表します。
プリントできます		ジョブのプリント準備ができたことを表します。
スケジュール済み		ジョブがプリント待ちであることを表します。
プリント		ジョブが現在プリント中であることを表します。
注意が必要		一般的なエラー メッセージ。

## システム モニタ

### はじめに

システム モニタを開いて、プリントシステムの現在のステータスの概要を取得することができます。画面左下隅にある「システム」タブをクリックすると、システム モニターが開きます。



システム ステータス (たとえば、[プリント中:]) が、WebTools Express のシステム モニタ セクションの右上に表示されます。

### システムの状態の概要



状態	アイコン	説明
[ユーザーによる操作が必要です]		ユーザーは、プリンタに移動し、操作パネルに表示される指示に従うよう求められます。
[システム メモリがフルです]		システム メモリがフルのためプリントできない場合に表示されるステータス メッセージ。
[トナー切れ]		トナー切れのためプリントできない場合に表示されるステータス メッセージ。
[スリープ中...]		省エネルギー状態: プリンタがスリープ中のため、一部の機能は使用できない状態です。
[ウォームアップ中...]		プリンタがウォームアップ中のため、一部の機能は使用できない状態です。
[初期化中...]		システム ソフトウェアが初期化中の状態です。
[プリンター一時停止]		システムによってプリント キューが一時停止されていますが、その他のすべての機能にアクセスすることができます。
[処理中...]		システムはデータを受信または処理しています。
[プリントできます]		アクティブなジョブおよび待機中のジョブがない状態です。受信されたジョブのプリントを開始するために、ユーザーの操作は必要ありません。
[プリント中:] <job-name>		プリント ジョブがアクティブな状態です。
[処理中:] <job-name>		システムはジョブ データを処理しています。
[受信中:] <job-name>		システムはジョブ データを受信しています。
[プリント品質の最適化中。お待ちください...]		システムはプリント品質を最適化するために設定を実行しています。
'Media indication' (用紙表示)		各ロールのロール用紙およびロール幅の表示。

### スキャナの状態



状態	アイコン	説明
[ユーザーによる操作が必要です]		一般的なエラー メッセージ。

状態	アイコン	説明
[スキャナはビジーです]		スキャナはアクティブな状態です。
[スキャナは使用可能です]		スキャナはスキャン ジョブを開始する準備ができています。


## トナーの状態

アイコン	説明
	トナーに問題はありません
	トナーの残量が少ないか、トナーが空です。


## リモートサービスの状態

アイコン	説明
アイコンなし	プリンタは [Remote Service] に接続されています
	[Remote Service] は次のうちのどちらかひとつです： <ul style="list-style-type: none"> <li>無効、または</li> <li>有効。ただし [Remote Service] への接続はできません</li> </ul> ツールチップに追加情報が表示されます。
	システムへのリモート アシスタンスが有効になっており、現在、接続を受け入れています。

## 電子断裁の状態

アイコン	説明
アイコンなし	電子断裁が無効です。
	電子断裁が有効またはビジーです。 ツールチップに追加情報が表示されます。

## 「ロール ツー ロール」の状態

アイコン	説明
アイコンなし	システムは、「ロール ツー シート」モードです
	システムは、「ロール ツー ロール」モードです。プリンタは、ページ間でプリントをカットします。巻き取り装置を使用することができます。

## システムを再起動またはシャットダウンする



### メモ

この手順には、システム管理者としてログインする必要があります。

プリントシステムをリモートからシャットダウンするには、WebTools Express の [サポート] タブで [シャットダウン] をクリックします。

プリントシステムを再起動するには、WebTools Express の [サポート] タブで [再起動] をクリックします。

# デフォルトの定義

## WebTools Express のデフォルト設定について

### 定義

プリンタにジョブを送信する前に、次の点に注意してください。

WebTools Express で定義される値は、一般的なシステム動作のためのデフォルト値です。プリンタドライバまたはジョブ送信ツールで、いくつかのジョブ設定を定義することができます。プリンタドライバやジョブ送信ツールで定義した設定は、WebTools Express で定義した設定よりも常に優先的に使用されます。



## 設定を編集するには

### はじめに

WebTools Express では、プリント システムをカスタマイズする設定を指定できます。



#### メモ

- 設定または設定グループを編集するには、権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。
- 設定を変更した後、システムの再起動が必要になる場合があります。

### 手順

1. 編集する設定を参照します。例: [プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [地域設定]。
2. 1 つの設定を編集するには、設定の値を直接クリックします。  
または  
グループ内で複数の設定を編集するには、設定グループ バーの [編集] をクリックして、すべての設定が含まれたウィンドウにアクセスします。
3. 設定を変更します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## 設定を表示して確認

### はじめに

WebTools Express では、設定を表示して確認できます。工場出荷時のデフォルト値から変更された設定も確認できます。

### 手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [コンフィギュレーションの表示] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. 設定のリストをスクロールします。1 列目に設定、2 列目に値が表示されます。「\*」は、現在の設定値が工場出荷時のデフォルト値と異なることを表します。



メモ

ブラウザ標準のプリント機能を使用して情報をプリントすることができます。

## 設定をファイルに保存

### はじめに

WebTools Express で設定した設定および値をファイルに保存します。

同じ種類の別のプリンタに設定を簡単に複製するには、設定をファイルに保存します。



#### メモ

設定ファイルには、すべての設定が保存されるわけではありません。ネットワーク設定は別のプリンタに転送することができないため、ネットワーク設定はファイルから除外されます。セキュリティを確保するため、外部の場所に対する権限のあるユーザーとパスワードはファイルから除外されます。また、ライセンス情報もファイルには含まれません。

### 手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [コンフィギュレーションの保存] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. ネットワーク上でファイルを保存する場所を参照します。
4. settings<hostname of printer><date>.xml ファイルを保存します。ファイル名は固定されていません。必要に応じて名前を変更することができます。
5. [OK] をクリックして確認するか、[キャンセル] をクリックしてファイルを保存せずにウィンドウを閉じます。

## ファイルから設定を読み込み

### はじめに

WebTools Express 用の設定および値をファイルから読み込みます。同じ種類の別のプリンタに設定を簡単に複製するには、設定をファイルから読み込みます。



#### メモ

- 設定ファイルには、すべての設定が保存されるわけではありません。ネットワーク設定は別のプリンタに転送することができないため、ネットワーク設定はファイルから除外されます。セキュリティを確保するため、外部の場所に対する権限のあるユーザーとパスワードはファイルから除外されます。また、ライセンス情報もファイルには含まれません。
- この手順には、キー オペレータ、システム管理者、またはパワーユーザーとしてログインする必要があります。読み込まれる設定は、ログイン プロファイルによって異なります。ユーザー ログインに対応する設定のみが読み込まれます。

### 手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [コンフィギュレーションの復元] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. ネットワーク上の場所を参照し、設定ファイルを選択します。
4. [OK] をクリックして設定ファイルを読み込むか、[キャンセル] をクリックして設定ファイルを読み込まずにウィンドウを閉じます。  
再起動を求めるダイアログが表示される場合があります。

### 結果

設定ファイルに保存された設定の値により、現在の値が上書きされます。接続に関する問題の発生を防ぎ、パスワードの整合性を確保するため、システムのネットワーク設定およびパスワードは読み込まれません。

## 工場出荷時のデフォルトを復元

### はじめに

場合によっては、初期設定の復元が必要になることがあります。WebTools Express では、工場出荷時のデフォルト設定を復元できます。



#### メモ

キー オペレータの設定を復元するだけの場合は、キー オペレータとしてログインします。システム管理者の設定を復元するだけの場合は、システム管理者としてログインします。すべての出荷時デフォルト設定を復元するには、パワー ユーザーとしてログインする必要があります。

### 手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [デフォルトの復元] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. [OK] をクリックして工場出荷時のデフォルト設定を復元するか、[キャンセル] をクリックして工場出荷時のデフォルト設定を復元せずにウィンドウを閉じます。

## プリントジョブのデフォルト設定の指定

WebTools Express では、プリントジョブ設定のデフォルト値を指定できます。

プリントジョブ設定は、[プリファレンス]-[プリントジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、最も重要なプリントジョブのデフォルト設定について簡単に説明します。プリントジョブのデフォルト設定では、ユーザパネルで表示されるプリントプリセットも定義できます。プリントプリセットの詳細については、[デフォルトのプリントプリセットの設定 \(106 ページ\)](#) を参照してください。



メモ

プリンタドライバまたはジョブ送信ツールでプリントジョブ設定を定義すると、それらの値は、WebTools Express で定義されたデフォルト値よりも常に優先されます。


### [プリントジョブのデフォルト]-[基本]の設定の概要

[プリファレンス]-[プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。「[基本]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[セットの部数]	ジョブをプリントする回数のデフォルト値を入力します。
[丁合い]	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力をセットごとにソートするには (123 - 123)、[オン (セットごとにソート)] を選択します。</li> <li>出力をページごとにソートするには (11 - 22 - 33)、[オフ (ページごとにソート)] を選択します。</li> </ul>
[プリント排紙]	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力のデフォルト排紙先を上部排紙トレイに指定するには、[上部排紙トレイ (TDT)] を選択します。</li> <li>出力のデフォルト排紙先をプリンタの背面に指定するには、[背面出力] を選択します。</li> </ul>
[カラーモード]	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーでプリントするには、[カラー] を選択します。</li> <li>グレイスケールでプリントするには、[グレイスケール] を選択します。</li> </ul>

### [プリントジョブのデフォルト]-[シート]設定の概要

[プリファレンス]-[プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。[シート]に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[用紙ソース]	<p>プリンタで使用する用紙のデフォルト出力の素材と形式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用紙を自動的に選択するには、[自動] を選択します。</li> <li>デフォルトで使用する用紙の特定のロール紙番号を選択します。</li> </ul> <p>プリンタユーザパネルのシステム画面に、取り付けられたロール紙が表示されます。</p> <p> <b>メモ</b> 用紙ソースが [自動] に設定されている場合は、用紙選択ポリシー設定のみを指定できます。</p>

設定	説明
[用紙選択ポリシー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確なサイズが使用できない場合に、プリント サイズよりも大きい用紙ロールの使用をプリンタに許可するには、[自動で次に大きいサイズ] を選択します。</li> <li>プリントの用紙サイズに正確に一致する用紙ロールのみの使用をプリンタに許可するには、[自動で完全一致] を選択します。正確なサイズの用紙ロールを使用できない場合、用紙要求がポップアップ表示されます。</li> </ul>
[カット方式]	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントを定型用紙サイズ (DIN、ANSI など) にカットするには、[標準] を選択します。</li> <li>プリントをイメージの終わりでカットするには、[シンクロ] を選択します。</li> <li>プリントを特定の長さでカットするには、[カスタム] (数値) を選択します。</li> </ul>
[カスタム プリント長]	プリント ジョブのカットの長さを入力します。
[先端余白の追加]	値を入力した場合、プリンタによって、出力の上部に指定された長さの余白が追加されます。
[後端余白の追加]	値を入力した場合、プリンタによって、出力の下部に指定された長さの余白が追加されます。

### [プリント ジョブのデフォルト]-[レイアウト]の設定の概要

[プリファレンス]-[プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。「[レイアウト]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[スケール]	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージを用紙サイズに合わせて拡大するには、[自動で用紙サイズに合わせてスケール] を選択します。</li> <li>原稿より 1 サイズ小さなフォーマットにイメージを縮小するには、[イメージが用紙より大きい場合に自動で縮小] を選択します。</li> <li>独自の拡大/縮小のパーセンテージを入力するには (拡大/縮小なしの場合は 100 パーセント)、[カスタム スケール倍率] を選択します。</li> </ul>
[ミラー]	垂直軸 (用紙の移動方向) にそってイメージをミラー処理するには、[オン] を選択します。
[回転]	<p>イメージを反時計回りに回転させるには、任意のオプションを選択します。</p> <p>高速にプリントするには、[横送り] を選択します。用紙の移動が少なくなるため、より生産的にプリントすることができます。</p> <p>最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動用紙節約] を選択します。</p> <p>詳細については、<a href="#">回転モードを設定する (149 ページ)</a> を参照してください。</p>
[アラインメント]	<p>用紙のどの部分にイメージをそろえるのかを定義するには、任意のオプションを選択します。</p> <p>詳細については、<a href="#">アラインメント モードを設定する (150 ページ)</a> を参照してください。</p>
[横シフト]	選択されたアラインメントの位置で、水平方向にシフトさせる距離を定義します。

設定	説明
[縦シフト]	選択されたアラインメントの位置で、垂直方向にイメージをシフトさせる距離を定義します。

### [プリントジョブのデフォルト]-[イメージ]の設定の概要

[プリファレンス]-[プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。「[イメージ]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[プリント品質]	[プリントアシスタント]を選択すると、ファイルの内容に基づき、最適なプリント品質が自動的に選択されます。または手動で、プリント品質を自分で選ぶこともできます。 プリント品質を選ぶと、ジョブの速度およびトナーカバレッジに影響します。 詳細についての参照先: <a href="#">プリント品質の設定 (144 ページ)</a>



## コピー ジョブのデフォルト設定の指定

WebTools Express では、コピー ジョブ設定のデフォルト値を設定できます。

コピー ジョブ設定は、[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、全般的なコピー ジョブ設定について簡単に説明します。コピー ジョブのデフォルト設定では、ユーザ パネルで表示されるコピー プリセットの設定も定義できます。コピー プリセットの詳細については、[デフォルトのコピー プリセットの設定 \(104 ページ\)](#) を参照してください。

### [コピー ジョブのデフォルト] - [全般的なコピー ジョブ設定] の概要

[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] の設定タブを開きます。[全般的なコピー ジョブ設定] の右上角の「編集」をクリックします。

設定	説明
[用紙選択ポリシー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きなサイズの用紙を使用したプリントを継続するには、[次に大きいサイズ] を選択します。</li> <li>指定された用紙サイズが使用可能な場合にのみプリントを継続するには、[実寸] を選択します。</li> </ul>
[コピー ジョブ名内の ### の開始値]	コピー ファイルの名前内の # (ハッシュ) を置き換える数字を入力します。数字が増えます。
[ Smart Inbox へのコピーのファイル名]	Smart Inbox へのコピーの保存に使用するコピー ファイル名を入力します。コピー ファイル名に 1 つまたは複数の # (ハッシュ) が含まれる場合、# (ハッシュ) は昇順の数字で置き換えられます。

## スキャンジョブのデフォルト設定の指定

WebTools Express では、スキャンジョブ設定のデフォルト値を設定できます。

スキャンジョブ設定は、[プリファレンス]-[スキャンジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、全般的なスキャンジョブ設定について簡単に説明します。



メモ

スキャンジョブのデフォルトで定義されたファイル拡張子は、Smart Inbox から変更することはできません。

### [スキャンジョブのデフォルト]-[全般的なスキャンジョブ設定]の概要

[プリファレンス]-[スキャンジョブのデフォルト] タブを開きます。[全般的なスキャンジョブ設定] セクションの右上角の「編集」をクリックします。

設定	説明
[スキャン to PDF 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は PDF へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: pdf)。
[スキャン to TIFF 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は TIFF へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: tif)。
[スキャン to JPEG 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は JPEG へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: jpg)。
[スキャン to CALS 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は CALS へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: cal)。
[スキャン配信再試行の間隔]	リモートの場所にスキャンが送信される際にスキャンの送信が失敗すると、ここで設定した時間の後にプリンタがリトライします。

# Smart Inbox 設定の設定

## Smart Inbox およびキューの概念

### 定義

Smart Inbox を使用して、ジョブ管理をカスタマイズすることができます。Smart Inbox は、ジョブのプリント元、ジョブの保存先、およびジョブのスキャン先として使用できる、個人のメールボックスとして機能します。処理待機中のジョブは、キュー内に表示されます。

#### Smart Inbox およびキューの概念

コンセプト	用途
キュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジョブを可能な限り速やかにプリントする。</li> <li>プリンタ進行状況のフィードバックの取得</li> <li>要求のキャンセル。</li> <li>優先順位の変更 (ローカル)。</li> </ul>
Smart Inbox	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムにジョブを送信する。</li> <li>出所の異なる文書のセットをまとめる</li> <li>ジョブを簡単に取得するため、様々な Smart Inbox を通じて文書を整理する</li> <li>プリンタに送信済みのジョブをリプリントまたは設定を変更する</li> </ul>

### インボックスに入れる Smart Inbox

Smart Inboxes を使用してジョブを管理できます。WebTools Express でジョブ タブを開くと、Smart Inbox セクションに Smart Inboxes の概要が表示されます。1 つまたは複数の Smart Inbox 名を指定して、ジョブを簡単に整理してアクセスすることができます。詳細については、「[「Jobs \(ジョブ\)」タブの「Smart Inbox」\(76 ページ\)](#)」および「[Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(78 ページ\)](#)」を参照してください。

プリンタ ドライバ、アプリケーションまたはジョブ サブミッタでは、プリント先の特定の Smart Inbox を選択することができます。ジョブが Smart Inbox に保持されている場合、ユーザ パネルまたは WebTools Express から手動でプリント ジョブを開始できます。

「[プリファレンス]」 - 「[システムのデフォルト]」 - 「[ジョブ管理]」では、権限を決定し、Smart Inbox の設定を作成し、一般的なジョブ管理についてさらに設定を行うことができます。詳細については、[ジョブ管理設定の構成 \(82 ページ\)](#) を参照してください

## 「Jobs (ジョブ)」 タブの「Smart Inbox」

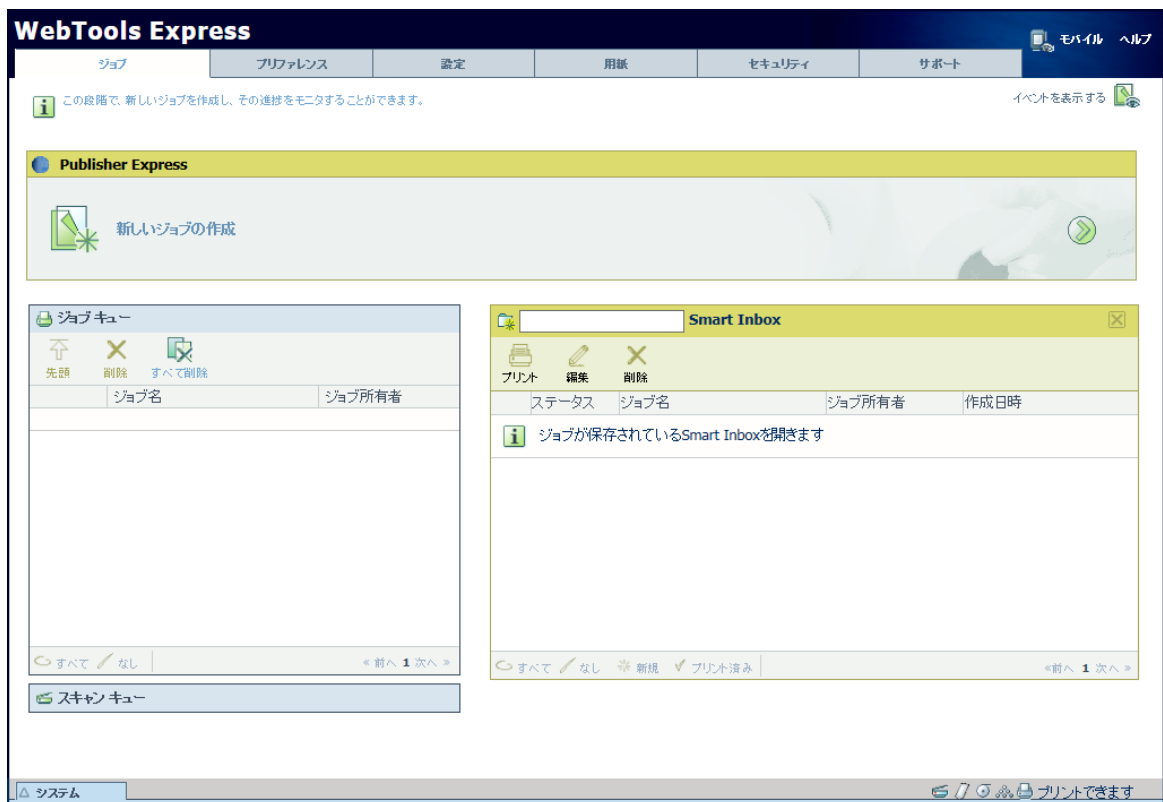
### はじめに

「Jobs (ジョブ)」 タブでは、ジョブを作成したり、キューや「Smart Inbox」内でジョブを管理したりできます。



メモ  
[ユーザー認証] 設定を有効にした場合、「Jobs (ジョブ)」 タブでの権限や表示が異なる可能性があります。

### 「ジョブ」タブ



### 「Publisher Express」セクションで、新しいジョブを作成します。

新しいジョブを送信する際は、[新しいジョブの作成] をクリックします。新しいウィンドウが開きます。ここでいくつかの基本的なジョブ設定を定義したり、プリントするファイルを参照したりできます。

### キューセクションでは、ジョブをモニタリングします。

ジョブ キューおよびスキャン キューでは、プリントを待機しているジョブまたは送信を待機しているスキャンの概要を取得できます。キュー セクションの先頭にリストで表示されたオプションを使用すると、選択したジョブをキューの先頭へ移動したり、ジョブを削除したり、ジョブの送信をリトライしたり、スキャンしたジョブを特定の場所へ送信したりできます。[すべて削除] をクリックすると、キューからすべてのジョブが削除されます。

## Smart Inbox セクション内でジョブを制御します。

「Smart Inbox」セクションで、Smart Inbox を作成したり開いたりできます。詳細については、[Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(78 ページ\)](#) を参照してください。

システム上のすべての Smart Inboxes の概要が表示されます。「[スマート インボックスを開く]」をクリックします。白いスペース部分をクリックし、リストから Smart Inbox 名を選択します。下に Smart Inbox が表示されます。

「Smart Inbox」でジョブに対してアクションを実行します。「Smart Inbox」内でジョブを選択すると、「Smart Inbox」セクションの先頭にリストされたオプションを使ってジョブをプリント、編集、送信、保存、または削除することができます。



### メモ

選択されたジョブによって、使用可能なアクションは異なります。

システム上のすべてのジョブの概要が表示されます。「[プリファレンス]」 - 「[システムのデフォルト]」 - 「[ジョブ管理]」 - 「[すべての Smart Inbox ジョブについてビューを表示]」設定を有効にした場合、1つの概要にすべてのジョブを表示できます。

## Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox

### はじめに

Smart Inbox はプリント元、スキャン先、または保存先の個人用フォルダとして使用します。「WebTools Express」では、次の場所で Smart Inbox を作成できます。

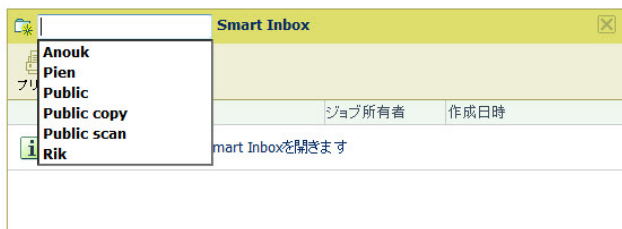
- 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクション
- 「[ジョブ]」タブ - 「Publisher Express」セクション
- 「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクション



#### メモ

- 3つある方法のうちどの方法を使って作成するかによって、Smart Inbox の動作は異なる場合があります。
- ユーザー認証を有効にした場合、Smart Inbox 権限は異なる場合があります。

### 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクションで Smart Inbox を作成



#### メモ

- 「Smart Inbox」セクションで作成された Smart Inboxes は、空の時は個人ブラウザにのみ表示されます。特定の Smart Inbox にジョブがある場合、Smart Inbox は操作パネルおよび他のブラウザセッションにも表示されるようになります。
- 「Smart Inbox」セクションで作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox が空になると、操作パネルおよび非個人ブラウザセッションでは表示されなくなります。

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを選択します。
2.	[Smart Inbox を開きます] をクリックします。
3.	空白のフィールドをクリックすると、ドロップダウン リストが開き、システムで使用可能な Smart Inboxes が表示されます。
4.	新しい Smart Inbox の名前を入力して <Enter> を押すか、リストから対象の Smart Inbox を選択します。
5.	Smart Inbox セクションに Smart Inbox が表示されるようになります。

## 「[ジョブ]」タブ - 「Publisher Express」セクションで Smart Inbox を作成

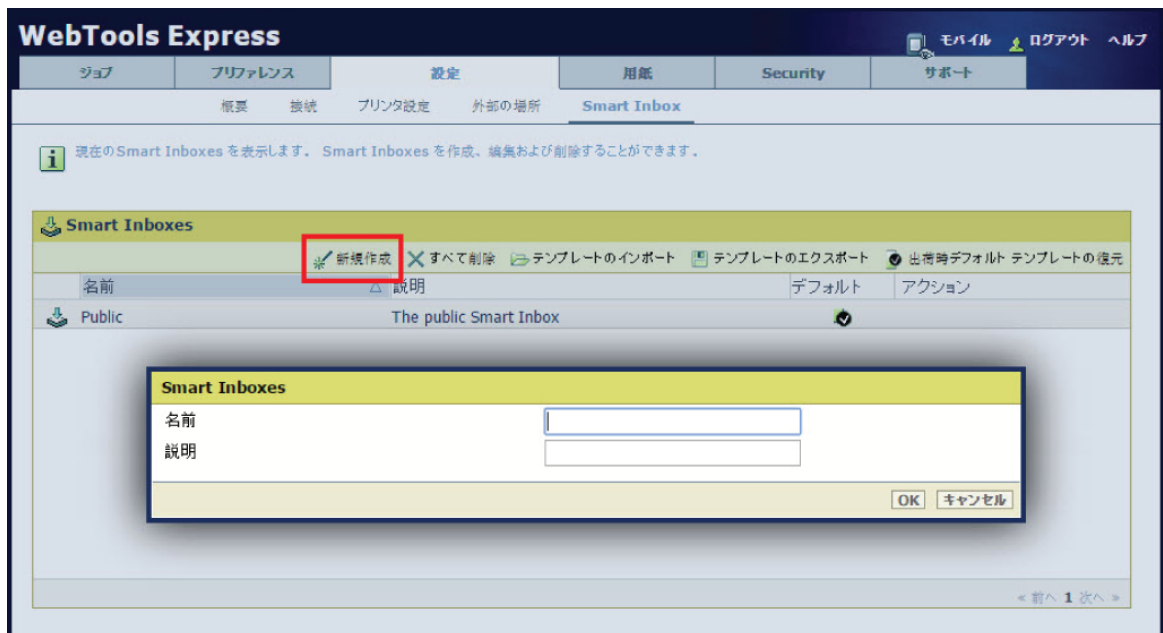


## メモ

- この手順では、Smart Inbox を作成するだけでなく、ジョブがプリンタに送信されます。
- Publisher Express で作成された Smart Inboxes は、空の時は個人ブラウザにのみ表示されます。特定の Smart Inbox にジョブがある場合、Smart Inbox は操作パネルおよび他のブラウザセッションにも表示されるようになります。
- 「Publisher Express」で作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox が空になると、操作パネルおよび非個人ブラウザセッションでは表示されなくなります。

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを選択します。
2.	Publisher Express セクションで [新しいジョブの作成] をクリックします。
3.	[ワークフロー] セクションで Smart Inbox フィールドをクリックします。1 つまたは複数のジョブが含まれた Smart Inboxes が表示されたドロップダウンリストが開きます。
4.	新しい Smart Inbox の名前を入力して、<Enter> を押します。
5.	「[OK]」をクリックすると、新しい Smart Inbox を経由してプリント ジョブをプリンタに送信します。
6.	Smart Inbox が「Smart Inbox」セクションおよび操作パネルに表示されるようになります。

「[設定]」タブ - 「[ Smart Inbox ]」セクションで Smart Inbox を作成



メモ  
「[設定]」タブ - 「[ Smart Inbox ]」セクションで作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox は空の場合でも、操作パネル上およびブラウザ セッション中で使用可能になります。

手順	アクション
1.	[設定] - [ Smart Inbox ] タブを開きます。
2.	[新規作成] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3.	ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。この名前はユーザ パネルに表示されます。
4.	「[説明]」を入力します
5.	「OK」をクリックして確定します。



## Smart Inbox を閉じるか削除します。

### はじめに

「WebTools Express」で、Smart Inbox を閉じたり削除したりすることができます。

- 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクション
- 「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクション



#### メモ

- Smart Inbox を削除した場合、Smart Inbox のみが表示されなくなり、スマート インボックス内のジョブは削除されません。Smart Inbox からジョブを完全に削除するには、Smart Inbox でジョブを選択して [削除] をクリックします。
- デフォルトの「公開」の Smart Inbox は削除できず、常に表示されます。

### 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクションで Smart Inbox を閉じます

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを開きます。
2.	[ Smart Inbox ] バーの右側で [X] ボタンをクリックします。

### 「[設定]」タブ - 「[ Smart Inbox ]」セクションで Smart Inbox を削除します

手順	アクション
1.	[設定] - [ Smart Inbox ] タブを開きます。
2.	削除する Smart Inbox を選択します。
3.	[アクション] の下の右側で、X をクリックします。 すべての Smart Inboxes を一度に削除するには、右上角で [すべて削除] をクリックします。

## ジョブ管理設定の構成

### はじめに

ジョブまたは Smart Inboxes に対して実行できる権限やアクションを管理したい場合に、[ジョブ管理] 設定を構成することができます。

### 注意：

- 個々の設定名の上をクリックすると、各設定の完全な説明を読むことができます。
- [ユーザー認証] 設定を有効にした場合、権限および使用できる設定が異なる場合があります。詳細については、[ユーザー認証の有効化 \(89 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. 「[ジョブ管理]」セクションで「[編集]」をクリックするか、特定の設定を選択します。
3. 値を変更し、好みの設定を作成します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

# ネットワークおよびセキュリティ設定の構成

## WebTools Express のネットワーク設定の構成

### はじめに

一部のネットワーク設定は、システムのインストール時に構成されます。その他のネットワーク設定は、「[設定]」タブで定義できます。



#### メモ

ネットワーク設定の詳細については、ColorWave-Plotwave Connectivity Manual for Windows を参照してください。

### 手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [ネットワーク アダプタ] セクションの右上隅の [編集]、または [ネットワーク アダプタ: IPv4] セクション、あるいは [ネットワーク アダプタ: IPv6] セクションをクリックします。ここでは、ひとつのウィンドウでグループのすべての設定を編集することができます。  
または
3. ひとつの設定のみを編集するには、リスト内でひとつの設定をクリックします。



#### メモ

ツールチップでは、設定に関する簡単な説明をいつでも検索できます。

4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## Microsoft Internet Explorer 用のセキュリティ設定を設定する

### はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ  
Cookie を有効にする必要があります。

### 手順

手順	アクション	値
1	「ツール」/「インターネット オプション」/「セキュリティ」/「ローカルイントラネット」/「レベルのカスタマイズ」を選択します	
2	<b>ActiveX コントロールとプラグイン</b>	
	バイナリ ビヘイビアーとスクリプト ビヘイビアー	有効にする
3	<b>ダウンロード:</b>	
	ファイルのダウンロード	有効にする
4	<b>その他の関連事項</b>	
	ページの自動読み込み	有効にする
	アプリケーションと安全でないファイルの起動	有効にする
	暗号化されていない形式のデータを送信	有効にする
	ポップアップ ブロックの使用	無効にする
5	<b>スクリプト</b>	
	アクティブ スクリプト	有効にする

## Mozilla Firefox 用のセキュリティ設定を設定する

### はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



#### メモ

すべてのクッキーをブロックしないでください。ブロック可能なものは、クロスサイト、ソーシャルメディア トラッカー、見ていないサイトからのクッキー、およびすべてのサードパーティ クッキーです。

### 手順

手順	アクション	値
1	Firefox の選択 / オプション / プライバシー & セキュリティ	
2	<b>Enhanced Tracking Protection (強化されたトラッキング防止機能：標準、厳格、カスタム)</b> 「カスタム」の場合、クッキーのブロックは「すべてのクッキー」に設定されてはいけません。	

## Google Chrome 用のセキュリティ設定を設定する

### はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ  
Cookie を有効にする必要があります (サードパーティ クッキーのブロックは許可されています)。

### 手順

手順	アクション	値
1	Chrome の選択 / 設定 / プライバシー & セキュリティ	
2	<b>サイトの設定</b>	
	クッキーおよびサイトデータ	クッキーデータの保存と読み込みがサイトで許可 (サードパーティ クッキーのブロックは許可されています)
	JavaScript	許可
	画像	すべてを表示

## Microsoft Edge 用のセキュリティ設定を設定する

### はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



#### メモ

すべてのクッキーをブロックしないでください。サードパーティ クッキーのみ、ブロックすることができます。

### 手順

手順	アクション	値
1	端の選択 / 設定 / プライバシー & セキュリティ	
2	プライバシー & セキュリティ / クッキー	
	すべてのクッキーをブロックしないでください。サードパーティ クッキーのみ、ブロックすることができます。	

## リンク速度およびデュプレックスモードの設定

### はじめに

WebTools Express を使用して、ネットワーク アダプタの送信速度およびデュプレックス モードを設定します。

### 始める前に



メモ

ネットワーク カードの種類によって、選択可能な値のリストが異なります。

### 手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [ネットワーク アダプタ] セクションの [編集] をクリックするか、[リンク速度と双方向モード] 設定をクリックします。
3. 値を選択します。[自動検出] がデフォルトです。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。



## ユーザー認証の有効化

### はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にできます。

ユーザー認証を有効にすると、

- ユーザーはシステムにアクセスする際に認証を受ける必要があります。
- ユーザーが見ることができるのは自分のジョブだけです。
- コントローラ上にローカルに保存されたスキャン済みのファイルは、取得できなくなります。
- 「[ダイレクト プリント]」が無効化されます。
- さまざまな [ジョブ管理] 設定が無効化されます。
- さまざまな Smart Inbox 権限が無効化されます。
- さまざまな [その他のネットワーク インターフェース] 設定が無効化されます。



#### メモ

ユーザー認証についての詳細および無効化された設定の完全なリストについては、PlotWave-ColorWave 『Systems Security』 マニュアルを参照してください。

### 手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. 「[ユーザ アクセス モード]」 セクションで「[ユーザー認証]」設定をクリックします。
3. 「[ユーザー認証]」設定を変更して、認証を必須にします。
  - [ユーザー名とパスワード]：ユーザーはシステムにアクセスする際にドメインを選択し、資格情報 (ユーザー名およびパスワード) を入力する必要があります



#### メモ

- 「Domains (ドメイン)」タブで少なくとも 1 つのドメインを構成する必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
- ユーザー認証を「[ユーザー名とパスワード]」に設定し、ドメインを構成した場合、IT 部門により可能であれば、「[Home フォルダ]」も外部の場所として使用可能になります。
- [スマート カード]：ユーザーはシステムにアクセスする際にスマート カードを使用する必要があります。



#### メモ

- 「Trusted certificates (信頼される認証)」タブで少なくとも 1 つのルート認証をアップロードする必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
- [非接触型カード]：ユーザーはシステムにアクセスする際に非接触型カードを使用する必要があります。



#### メモ

- 「Domains (ドメイン)」タブで少なくとも 1 つのドメインを構成する必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
  - [ユーザー名およびパスワード、またはスマートカード]：ユーザーはシステムにアクセスする際にユーザー名およびパスワードを入力するか、またはスマート カードを使用する必要があります。
  - [ユーザー名およびパスワード、または非接触型カード]：ユーザーはシステムにアクセスする際にユーザー名およびパスワードを入力するか、または非接触型カードを使用する必要があります。
4. 「OK」をクリックして確定します。

## アクセスコントロールの有効化

### はじめに

プリンタへのアクセスをコントロールする場合、WebTools Express でアクセス コントロールを有効にする必要があります。アクセス コントロールを有効にすると、お客様のネットワークを介したプリンタとの通信が許可される、最大 5 つのホストを選択することができます。このホストの数については、柔軟な構成が可能です。

各ホストに対して、このホストからシステムへの通信を IPsec. によって暗号化する必要があるのかどうかを判断することができます。

### 手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [アクセス コントロール] セクションで [アクセス コントロール] 設定をクリックします。
3. [アクセス コントロール] 設定を [無効] から [有効] に変更します ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. 「OK」 をクリックして確定します。

---

## IPsec を有効にする

### はじめに

IPsec により暗号化するためのプリンタとの通信が必要な場合、IPsec を有効にします。

### 手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [アクセス コントロール] セクションで、[IPsec] 設定をクリックします。
3. [IPsec] 設定を [無効] から [有効] へと変更します。ボックスをチェックして、設定を有効にします。
4. 「OK」をクリックして確定します。

## アクセスコントロールと IPsec の設定

### はじめに

アクセスコントロールが有効な場合、アクセスコントロールの設定を編集することができます。

### [アクセスコントロール] および IPsec の設定

[セキュリティ] - [設定] - [アクセスコントロール] で、5つのステーションのそれぞれに以下の設定を設定できます。

設定	説明
[アクセスコントロールステーション 1]	このホストのプリンタとの通信を有効または無効にします。
[アクセスコントロールステーション 1:IPv4 アドレス]	ホストの IPv4 アドレスはプリンタとの通信を許可されています。
[アクセスコントロールステーション 1:IPv6 アドレス]	ホストの IPv6 アドレスはプリンタとの通信を許可されています。
[IPsec ステーション 1]	IPsec の有効化または無効化 IPsec はセキュリティ プロトコルであり、ホストとプリンタの間の通信を暗号化します。
[IPsec ステーション 1:事前共有キー]	このホストの暗号化キーが IPsec を介して接続されています。空白の場合、デフォルトの事前共有キーが使用されます。

IPsec の場合、以下の設定を指定できます。

設定	説明
[IPsec デフォルトの事前共有キー]	これは IPsec を介して接続されたホストの暗号化のためのデフォルト キーです。このキーは、事前共有キーが特定されていないすべてのステーションを保留にします。
[IPsec 認証方法]	IPSec 認証タイプの選択：事前共有キー、証明書、または両方。
[IPsec 証明書の署名アルゴリズム]	IPSec 署名アルゴリズムの選択：RSA、ECDSA P256 または ECDSA P384。
[IPsec 証明書のタイプ]	証明書タイプの選択：ルートまたは中間。
[IPsec 証明書]	編集不可。デフォルトとして「証明書がない」、またはある場合、証明書の共通名。



メモ  
これらの設定の詳細については、PlotWave-ColorWave Systems Security マニュアルを参照してください。

## 電子断裁機能の有効化または無効化

### はじめに

電子断裁機能により、システムからジョブを安全に消去することができます。これにより、削除済みのジョブを不正に復旧することができなくなります。電子断裁機能が有効の場合、電子断裁アルゴリズムを選択することができます。WebTools Express で電子断裁機能を有効にすることができます。工場出荷時のデフォルトでは、電子断裁機能は無効になっています。



#### メモ

これらの設定の詳細については、『PlotWave-ColorWave Systems Security』マニュアルを参照してください。

### 手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] セクションで [電子断裁] 設定をクリックします。
3. 「[有効]」または「[無効]」を選択します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。



#### メモ

電子断裁が有効の場合、ジョブの処理にかかる時間が長くなる場合があります。

4. 「OK」をクリックして確定します。

## 電子断裁アルゴリズムの選択

### はじめに

電子断裁機能により、システムからジョブを安全に消去することができます。これにより、削除済みのジョブに不正にアクセスすることができなくなります。

次のいずれかのアルゴリズムを選択することができます。

- [Gutmann]。  
システム上のすべてのジョブが 35 回の上書きパスで消去されます。
- [DoD 5220.22-M]。  
システム上のすべてのジョブが 3 回の上書きパスで消去されます。
- [カスタム] では、上書きパスを手動で定義することができます。

工場出荷時のデフォルト設定は [DoD 5220.22-M] です。



#### メモ

セキュリティ ポリシーの要件である場合にのみ、上書きパスの回数に 1 を超える数字を設定します。パスの回数を増やすと、パフォーマンスに影響することがあります。

### 手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] セクションの右上角の [編集] をクリックします。
3. [電子断裁アルゴリズム] に適した方法を選択します。
4. 「OK」 をクリックして確定します。

## 上書きパスの回数の指定

### はじめに

電子断裁機能により、システムからジョブを消去することができます。これにより、削除済みのジョブに不正にアクセスすることができなくなります。必要な上書きパスの回数を手動で入力することができます。1～35の任意の数字を入力することができます。工場出荷時のデフォルトは3です。



#### メモ

- セキュリティ ポリシーの要件である場合にのみ、上書きパスの回数に1を超える数字を設定します。パスの回数を増やすと、パフォーマンスに影響することがあります。
- パスの回数が多くなればなるほど時間がかかることに注意してください。

### 始める前に

[電子断裁] が有効化されていることを確認します。詳細については、「[電子断裁機能の有効化または無効化 \(93 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] で [電子断裁アルゴリズム] をクリックして [カスタム] を選択します。
3. [電子断裁] で [電子断裁カスタム パス数] をクリックします。
4. 目的の上書きパスの回数を入力します。
5. 「OK」 をクリックして確定します。

## リモートセキュリティ

### はじめに

デフォルトでは、HTTPS の使用に提供される最初の証明書は、自身が署名した証明書です。

完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。WebTools Express では、ユーザー自身が証明書リクエストを生成したり、その後認証機関から受け取った CA 署名の証明書のインポートをすることができます。

証明書を使用する際は、プリントを送信するクライアントのステーションがコントローラの ID をチェックできます。

### リモートセキュリティ: 認証

- デフォルトでは、Canon は Canon 自身が署名した証明書を提供します。この証明書は、クライアントとコントローラの間においてプリントデータの暗号化を提供します。これは簡単に使用できます。この自己署名された証明書は認証機関によって署名されていないため、HTTPS プロトコルを初めて使用する際に、Web ブラウザに「証明書エラー」メッセージが表示されます。
- お客様のセキュリティポリシーによって推奨される場合、管理者は認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。これを実行する方法の詳細については、[証明書リクエストを生成する \(97 ページ\)](#) および [CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のチェックおよびインポート \(101 ページ\)](#) を参照してください。



## 証明書リクエストを生成する

### はじめに

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書リクエストを生成するには、次の手順を実行してください。

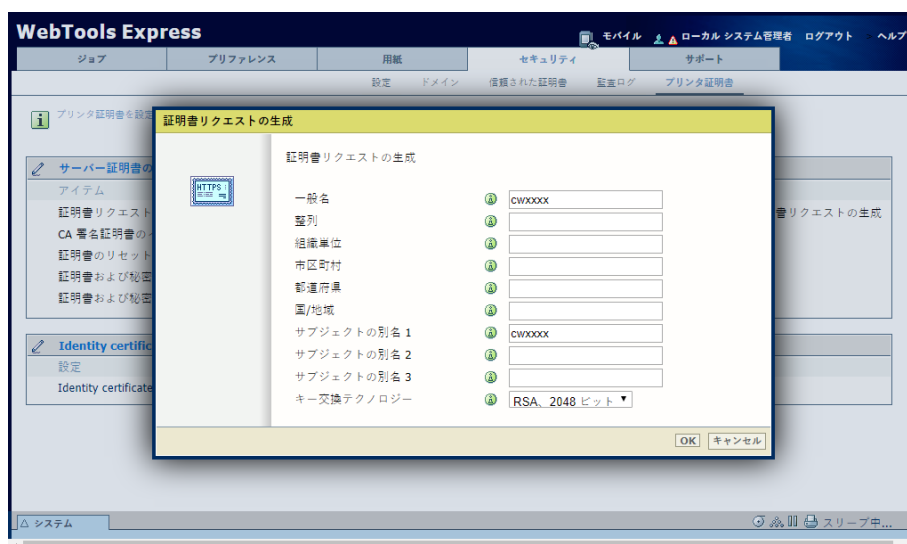


#### メモ

まず最初に、証明書リクエストにどの値が必要なのか、IT 部門に確認してください。これらの設定の詳細については、PlotWave-ColorWave『Systems Security』マニュアルを参照してください。

### 手順

1. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
2. [証明書リクエストの生成] をクリックします。ウィンドウが開きます。



3. 必要な設定を行います。完全修飾ドメイン名または IP アドレスおよび追加情報を入力します。
4. [OK] をクリックして保存します。  
Web サーバーが証明書リクエストを生成します。リクエストの内容が表示されます (プレーン テキスト)。  
例 (偽のリクエスト):  
-----BEGIN NEW CERTIFICATE REQUEST-----  
MIIBvDCCASQAwfDELMAkGA1UEBMCRIIxDDAKBgNVBAgTAOIERjEQMA4GA1UEBxMHQ1JFVEVJ  
TDEBEGA1UEChMKT2NIIFBMVCBTQTEMMAoGA1UECXMMDUO5TMSowKAYDVQQDEyF0ZHM3MDAtNz  
Qw  
LnNucy5vY2VjcmVOWlsm9jZS5uZwZ8wDQYJKoZIhvcNAQEBBQADgYOAMIGJAoGBAJ2NKQMd  
HjiDZ1khzTJTORxHqjKl3AtE3PXqRsiHouTH5JTceYtaBjCnxCJ4pGKY5iKN8KJiJuZG8PHxY7o  
W/+zpvxN2VtX7TcyTAvyCThUwL+cqo75tvODo5HMCUa2sLdl8GO9WMLpgZkxH5KzliO+Lcl4  
yQbqhENynywSOC2ObXCq3yksF74+XIO0swhoA2yfDp4T+LuF3wxys8IUH3ZhhkOYg==  
-----END NEW CERTIFICATE REQUEST-----
5. [ファイルへ保存] をクリックしてリクエストの内容を .csr ファイル内に保存します (デフォルト名は 'req.csr')。
6. このリクエストの内容を認証機関に送信します。

## CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のインポート

### はじめに

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

CA 署名の証明書をインポートするには、次を実行してください。

- ルート証明書のインポート
- 中間証明書のインポート
- CA 署名の証明書のインポート
- ルート証明書のチェックおよびインポート

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。



#### メモ

これらの設定の詳細については、『PlotWave-ColorWave Systems Security』マニュアルを参照してください。

### 手順

1. WebTools Express を開きます。
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書の種類で [ルート証明書] を選択します
5. ルート証明書ファイルを参照し、「開く」をクリックします。



#### メモ

ルート証明書は、Web サーバー証明書リスト内にすでに存在している場合があります。

6. 検証して、インポートを確定します。
7. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] がポップアップ表示されたら、[中間証明書] のインポートを実行します。
8. [OK] をクリックして保存します。

## CA 署名の証明書のインポート: 中間証明書のインポート

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下が必要となります。

- ルート証明書のインポート
- **中間証明書のインポート**
- CA 署名の証明書のインポート
- ルート証明書のチェックおよびインポート

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

### 手順

1. WebTools Express を開きます。
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [中間証明書] を選択します。
5. 中間証明書ファイルを参照し、[Open (開く)] をクリックします。
6. [証明書は正常にインポートされました。] のメッセージが開いたら、メインページに戻り、次をインポートします [CA 署名証明書]

## CA 署名の証明書のインポート

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下が必要となります。

- ルート証明書のインポート
- 中間証明書のインポート
- **CA 署名の証明書のインポート**
- ルート証明書のチェックおよびインポート

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

### 手順

1. WebTools Express を開きます。
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [CA 署名証明書] を選択します。
5. [Yes (はい)] を選択して、Java ルート証明書に対する証明書を有効にし、[Open (開く)] をクリックします。
6. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] が表示されたら、コントローラを再起動します。  
これで証明書はサーバーにインストールされました。  
必要に応じて CA ルート証明書を確認して、ワークステーションの Web ブラウザにもインポートします。これにより、ワークステーションとサーバーの間の完全なデータワークフローを確実なものにします。

## CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のチェックおよびインポート

HTTPS を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下の手順に従う必要があります。

- ルート証明書のインポート
- 中間証明書のインポート
- CA 署名の証明書のインポート
- **ルート証明書のチェックおよびインポート**

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

### 手順

1. 各ワークステーションで、Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザの「証明書」オプションを開きます。  
Internet Explorer 用: 「ツール」 - 「インターネット オプション」 - 「コンテンツ」ウィンドウで、「証明書」を開きます。
3. CA ルート証明書が「信頼されるルート認証機関」リスト内にすでに表示されているかどうかを確認します。
4. リストに含まれていない場合、CA ルート証明書をインポートします。

## 証明書認証に関する情報を見つける

### はじめに

証明書がアップロードされたら、証明書の詳細を表示することができます。

### 手順

1. [セキュリティ]-[プリンタ証明書] タブを開きます。  
証明書がアップロードされたら、以下の詳細を [証明書認証] セクションで見ることができます。

設定	説明
[証明書認証の存在]	証明書認証ファイルがコントローラ上に存在するかどうかを表示
[有効開始日]	有効期間の開始日を表示
[有効終了日]	有効期間の終了日を表示
[HTTPS に対して有効]	認証機関による HTTPS のために署名済み
[IPsec に対して有効]	認証機関による IPsec のために署名済み
[共通名]	証明書の共通名
[キー交換テクノロジー]	使用されている署名アルゴリズム

# プリセットの設定

## プリセットについて知っておくべきこと

### はじめに

プリセットは事前定義された設定で、ユーザー パネルで選択するとプリントまたはコピー ジョブを簡単に実行できます。プリセットの概念は、グリーン ボタン アプローチをサポートしています。デフォルトのプリセットが操作パネルで自動的に選択されるため、グリーン ボタンを押すだけで、事前定義された設定でジョブを開始できます。

### ユーザ パネルのプリセット

ユーザー パネルでコピー タイルをタップすると、プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。プリント タイルをタップして、リストに表示されたジョブの設定をタップすると、プリントのプリセットが表示されます。

プリセットのカテゴリごとに、デフォルトのプリセットがプリセット タイルとして表示されます。デフォルトのタイルをタップすると、他の利用可能なプリセットが表示されます。

### WebTools Express でのプリセットの設定

「WebTools Express」では、プリントまたはコピーのプリセットの設定を指定できます。設定は一回行うだけで、ユーザー パネルにプリセットとして表示されます。

プリセット	説明
デフォルトのプリセット	デフォルトのプリセットは、グリーン ボタン アプローチをサポートしています。設定を指定しない場合、プリンタはプリントまたはコピー ジョブにデフォルトのプリセットを使用します。WebTools Express でデフォルトのプリセットを設定できます。
カスタム プリセット	カスタマイズした設定を使用したい場合は、WebTools Express でカスタム プリセットを設定できます。操作パネルでカスタム プリセットを利用可能にするか、またはデフォルトのプリセットに設定します。

## デフォルトのコピープリセットの設定

### はじめに

プリセットを使用して、コピージョブに必要な設定を事前定義することができます。

コピーは4つのプリセットカテゴリを備えています。[用紙]、[レイアウト]、[イメージ]、および[仕上げ]です。それぞれのカテゴリに対して、WebTools Expressで1つのデフォルトプリセットを設定できます。デフォルトプリセットは、ユーザパネルでグリーンボタンを押すと、自動的に使用されます。



#### メモ

ツールチップでは、設定に関する簡単な説明をいつでも検索できます。

### 手順

1. [プリファレンス] - [コピージョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネル構成:コピー用のデフォルトのプリセット] で、たとえば [デフォルトのレイアウトプリセット] など、変更するプリセットのカテゴリを選択します。
3. たとえば [定型ハーフサイズ] など、デフォルトのプリセットとして使用する設定を選択します。カスタムプリセットをデフォルトにしたい場合は、[カスタム] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

### 終わった後に

ユーザパネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザパネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。



## カスタムのコピー プリセットの構成

### はじめに

プリセットを使用して、コピー ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

デフォルト プリセット以外の事前定義された設定を使用する場合、WebTools Express でカスタム プリセットを構成できます。プリセット カテゴリごとに 1 つのカスタム プリセットを構成できます。[用紙]、[レイアウト]、または [イメージ] です。カスタム プリセットはユーザ パネルで使用可能になり、デフォルト プリセットとして設定できるようになります。

### 手順

1. [プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. たとえば [コピー用のカスタムのイメージプリセット] など、カスタムのプリセットを含めるプリセットのカテゴリを選択して [編集] をクリックします。
3. [コピー用のカスタムのイメージプリセット] 設定の隣にあるボックスをチェックしてプリセットを有効化し、ユーザ パネルで使用可能にします。
4. ユーザ パネルでプリセットに使用される名前および説明を入力します。
5. カスタムのプリセットに使用する設定を選択します。たとえば、[原稿の種類] を [白黒反転原稿] に設定し、[背景補正機能] を [オン] に設定することを選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

### 終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。カスタム プリセットをデフォルト プリセットにしたい場合は、「[デフォルトのコピー プリセットの設定 \(104 ページ\)](#)」の手順に従います。

## デフォルトのプリント プリセットの設定

### はじめに

プリセットを使用して、USB または外部の場所からのプリント ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

プリントは 4 つのプリセット カテゴリを備えています。[用紙]、[レイアウト]、[イメージ]、および [仕上げ] です。それぞれのカテゴリに対して、WebTools Express で 1 つのデフォルト プリセットを設定できます。デフォルト プリセットは、ユーザ パネルでグリーンボタンを押すと、自動的に使用されます。



#### メモ

ツールチップでは、設定に関する簡単な説明をいつでも検索できます。

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネル構成:プリント用のデフォルトのプリセット] で、たとえば [デフォルトのレイアウト プリセット] など、変更するプリセットのカテゴリを選択します。
3. たとえば [定型ハーフ サイズ] など、デフォルトのプリセットとして使用する設定を選択します。  
[カスタム] を選択してカスタムのプリセットをデフォルトに設定します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

### 終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」 ボタンを押します。

## カスタムのプリントプリセットの構成

### はじめに

プリセットを使用して、プリントジョブに必要な設定を事前定義することができます。

デフォルトプリセット以外の事前定義された設定を使用する場合、WebTools Express でカスタムプリセットを構成できます。プリセットカテゴリごとに1つのカスタムプリセットを構成できます。[用紙]、[レイアウト]、または[イメージ]です。カスタムプリセットはユーザパネルで使用可能になり、デフォルトプリセットとして設定できるようになります。

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. たとえば [プリント用のカスタムのイメージプリセット] など、カスタムのプリセットを含めるプリセットのカテゴリを選択して [編集] をクリックします。
3. [プリント用のカスタムのイメージプリセット] 設定の隣にあるボックスをチェックしてプリセットを有効化し、ユーザパネルで使用可能にします。
4. ユーザパネルでプリセットに使用される名前および説明を入力します。
5. カスタムのプリセットに使用する設定を選択します。たとえば、[ミラー] を [オン] に設定することを選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

### 終わった後に

ユーザパネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザパネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。カスタムプリセットをデフォルトプリセットにしたい場合は、「[デフォルトのプリントプリセットの設定 \(106 ページ\)](#)」の手順に従います。

## 操作パネルでのカスタムのプリセットの使用

### はじめに

カスタムのプリセットを作成する場合、プリセットを操作パネルで使用できるように設定できます。

### 始める前に

最初にカスタムのプリセットを作成します。詳細については、「[カスタムのコピー プリセットの作成 \(105 ページ\)](#)」または「[カスタムのプリント プリセットの作成 \(107 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順

1. [プリファレンス] タブを開きます。
2. カスタムのプリセットに応じて、「[コピー ジョブのデフォルト]」または「[プリント ジョブのデフォルト]」タブを選択します。
3. 目的のカスタム プリセット カテゴリから、カスタムのプリセット設定を選択します。  
たとえば、[コピー用のカスタムのイメージ プリセット] から [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] 設定を選択します。
4. ボックスをオンにして設定を有効にし、[OK] をクリックします。  
カスタム プリセットが操作パネルに表示され、ローカルから選択できるようになりました。

# テンプレートの設定

## 折りおよびスキャン テンプレート

### はじめに

テンプレートとは、自分で構成できる事前定義された設定のグループです。ユーザー パネルでテンプレートを選択すると、最適化された設定で簡単にジョブを送信できます。

「[プリファレンス]」タブにある「WebTools Express」で、折りやスキャンに関するテンプレートを作成できます。さまざまなテンプレートを作成して、そのうちの 1 つをデフォルトとして選択できます。スキャン用テンプレートについては、工場インストールのテンプレートの 1 つを有効にすることもできます。






### 一般的テンプレート操作

テンプレートに対して一般的に実行できる操作がいくつかあります。次の操作を実行できます：

- [新規テンプレートの作成 \(110 ページ\)](#)
- [すべてのテンプレートの削除 \(111 ページ\)](#)
- [テンプレートのエクスポート \(112 ページ\)](#)
- [テンプレートのインポート \(113 ページ\)](#)
- [テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元 \(114 ページ\)](#)
- [スキャン テンプレートを有効または無効にする \(115 ページ\)](#)

### テンプレートごとの操作

この次に、テンプレートごとに操作を実行できます。リスト上のテンプレートにマウス ポインターを合わせると、使用可能な操作が表示されます。

アイコン	説明
	「[テンプレートの編集]」、設定または保存先を変更する 工場インストールされたスキャン テンプレートを変更することもできます。
	「[テンプレートのコピー]」、新しいテンプレートを作成する
	<p>「[テンプレートの削除]」、特定の 1 つのテンプレートを削除する</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 工場インストールされたスキャン テンプレートを削除した場合、工場出荷時のデフォルト設定を復元することで回復できます。詳細については、<a href="#">工場出荷時のデフォルトを復元 (69 ページ)</a> を参照してください。</li> <li>• 一部の保存先 (外部の場所と Smart Inbox) は、スキャンテンプレートでスキャン保存先として設定されている場合、削除できません。</li> </ul>
	「[このテンプレートをデフォルト テンプレートとして設定します]」、選択されたテンプレートをデフォルトに設定する

## 新規テンプレートの作成

### はじめに

「WebTools Express」で新しいテンプレートを作成します。



#### メモ

- 構成によって、使用可能な設定の数が異なる場合があります。
- 選択した内容によって、表示される設定の数が異なる場合があります。
- 操作パネル上のテンプレートはアルファベット順に並んでいますので、ご注意ください。テンプレートの配列を変更したい場合は、名前の前の番号 (01、02、03 など) の昇順に配列することをお勧めします。
- 操作パネルで「Home (ホーム)」ボタンをクリックし、テンプレートを更新します。

### 手順

1. 折りテンプレートには、WebTools Express で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。スキャンテンプレートには、WebTools Express で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[新規作成]」をクリックします。
3. ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。
4. 使用される設定の説明として「[説明]」を入力します。
5. フォルダテンプレート用：[テンプレートソース]を選択します。



#### 重要

可能な場合、最良の結果を得るには、折り装置に組み込まれているテンプレートを使用することをお勧めします。

- 折り設定を自身で定義する場合は、[カスタムテンプレート]を選択します。
  - 折り機で事前定義されているテンプレートを使用する場合は、[折り曲げ装置に組み込まれているテンプレート。]を選択します。
6. 目的の設定を選択します。テンプレートエディタでは、すべての設定について、簡単な説明を表示するツールチップを使用することができます。  
適切な設定の詳細については、[カスタム折りテンプレートの折り設定 \(139 ページ\)](#) および [組み込み折りテンプレートの折り設定 \(142 ページ\)](#) を参照してください。
  7. 「[OK]」をクリックしてテンプレートを保存するか、「[キャンセル]」をクリックして入力を取り消します。

---

## すべてのテンプレートの削除

### はじめに

「WebTools Express」を使用して、すべてのテンプレートを一度に削除することができます。

### 手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。  
スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[すべて削除]」をクリックします。
3. 画面にメッセージ [すべてのテンプレートを削除しますか?] が表示されます。
4. [OK] をクリックしてすべてのテンプレートを削除するか、[キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

## テンプレートのエクスポート

### はじめに

WebTools Express を使用して、テンプレートをエクスポートすることができます。

エクスポートは、zip ファイルとして保存されます。zip ファイルには、使用可能なすべてのテンプレートが含まれます。

### 手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[すべてエクスポート]」をクリックします。
3. [保存] をクリックしてエクスポートを zip ファイルとして保存するか、[キャンセル] をクリックしてエクスポートを中止します。



---

## テンプレートのインポート

### はじめに

WebTools Express を使用して、テンプレートをインポートすることができます。

以前に [テンプレートのエクスポート] 手順で作成した、テンプレートを含む zip ファイルを使用します。

### 手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[インポート]」をクリックします。
3. 既存のテンプレートを上書きするには、[既存のテンプレートを上書きする] チェックボックスを選択します。チェックボックスを選択しない場合、重複するテンプレートをインポートすると連番が付けられます。
4. 「参照」をクリックして、[zip ファイルの場所を選択します]。
5. [OK] をクリックしてすべてのテンプレートをインポートするか、[キャンセル] をクリックしてインポートをキャンセルします。

## テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元

### はじめに

WebTools Express を使用して、すべてのテンプレートの工場出荷時のデフォルトを復元することができます。

カスタム テンプレートは変更されません。

### 手順

1. 折りテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[折り]」タブを選択します。スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[工場出荷時のデフォルト値の復元]」をクリックします。
3. 画面にメッセージ [出荷時デフォルト テンプレートをすべて復元しますか?] が表示されます。
4. [OK] をクリックしてテンプレートを復元するか、[キャンセル] をクリックして復元を中止します。

## スキャンテンプレートを有効または無効にする

### はじめに

スキャンテンプレートを有効または無効にできます。テンプレートを有効にすると、ユーザーパネルで使用可能になります。

### 手順

1. 「[プリファレンス]」 - 「Scan (スキャン)」タブを開きます。
2. 「Actions (アクション)」で、優先テンプレートの隣にある [テンプレートの編集] アイコンをクリックします。テンプレートウィンドウが開きます。
3. 「[ファイル]」の下で、「[ユーザパネルに表示]」設定を「[はい]」または「[いいえ]」に設定します。
4. 「OK」をクリックして、入力内容を確認します。

### 結果

「[はい]」を選択すると、「Smart Access」の操作パネルでテンプレートが使用可能になります。



#### メモ

デフォルトのスキャンテンプレートは、無効になっている場合でも、常に操作パネルの Smart Access で利用できます。

# 場所の設定

## 場所の設定

### はじめに

ユーザー パネルには、スキャン先とプリント元の場所のリストがあります。

格納を目的としてこの場所にスキャン済みファイルを送信するか、この場所にファイルを保存してそれをプリンタに送信します。

外部の場所は、WebTools Express の [設定] - [外部の場所] タブで定義できます。

### 場所の種類

様々な場所の種類をスキャン先およびプリント元として設定できます。

場所の種類	場所の種類の説明
Smart Inbox	この場所を選択する場合、個人の Smart Inbox からプリントすることができます。あるいは、選択した Smart Inbox にスキャン済みファイルが送信されます。
[USB]	この場所を選択する場合、ユーザ パネルに挿入した USB 大容量ストレージ デバイスをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[FTP]	この場所を選択する場合、FTP 経由のリモート ワークステーション上の共有フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[SMB]	この場所を選択する場合、SMB 経由のリモート ワークステーション上の共有フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[WebDAV]	この場所の種類を選択する場合、WebDAV 経由でクラウドを入力して、ネットワーク ドライブとして使用できます。
[Home フォルダ]	この場所の種類を選択する場合、自分のワークステーション上のパーソナルホーム フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。   <b>メモ</b> ホーム フォルダは、「[ユーザー名とパスワード]」で「[ユーザー認証]」が有効になっている場合にのみ使用できます。 ホーム フォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成される必要があります。
[PlanWell® Collabo - rate] (オプション)	この場所を選択する場合、PlanWell Collaborate クラウド サービスをプリント元またはスキャン先として設定できます。

## USBの有効化または無効化

### はじめに

場所として USB を使用する場合、まず USB の設定を指定する必要があります。WebTools Express で設定を指定できます。

図



### 手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [USB] を選択して、[アクション] の下の [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。この名前はユーザパネルに表示されます。
4. 場所として USB の [説明] を入力します。
5. [有効な機能] で、USB に使用する機能を選択できます。
  - USB をプリント元およびスキャン先として有効にするには、「[プリント元およびスキャン先]」を選択します。
  - USB をプリント元としてのみ有効にするには、[プリント元のみ] を選択します。
  - USB をスキャン先としてのみ有効にするには、[スキャン先のみ] を選択します。
  - USB 機能を無効にするには、[なし] を選択します。
6. 外部の場所として USB の設定を保存するには、[OK] をクリックします。

### 結果

USB を有効にして、ユーザパネルに USB キーを挿入すると、外部の USB の場所をユーザパネルを経由して、または WebTools Express で使用できます。

USB を無効にすると、USB を外部の場所として使用できません。

## ホームフォルダの有効化および編集

### はじめに

場所としてホームフォルダを使用する場合、まずユーザー認証を有効にする必要があります。すると、外部の場所リストにホームフォルダが表示されます。ホームフォルダが表示されると、機能を設定できるようになります。



#### メモ

ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な自分用の安全な外部の場所です。資格情報 ([ユーザー名とパスワード]) を使ってユーザーパネルからログインすると、自分のホームフォルダのみが表示されます。ホームフォルダをスキャン先に指定すると、ファイルはネットワーク上の自分用の場所へ送信されます。典型的な構成では、ファイルはワークステーション上のホームドライブの下にあります。

### 始める前に

まず、[ユーザー認証] の値を選択して [ユーザー名とパスワード] 設定を有効化したことを確認します。詳細については、[ユーザー認証の有効化 \(89 ページ\)](#) を参照してください

### 手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [Home フォルダ] を選択して、[編集] の下の [アクション] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. 「[有効な機能]」で、ホームフォルダで使いたい機能を選択することができます。
  - ホームフォルダをプリント元およびスキャン先として有効にするには、「[プリント元およびスキャン先]」を選択します。
  - ホームフォルダをプリント元としてのみ有効にするには、「[プリント元のみ]」を選択します。
  - ホームフォルダをスキャン先としてのみ有効にするには、「[スキャン先のみ]」を選択します。
  - ホームフォルダを外部の場所として無効にするには、「[なし]」を選択します。
4. 外部の場所としてのホームフォルダの設定を保存するには、「[OK]」をクリックします。

## PlanWell Collaborate の有効化 (オプション)

### はじめに

PlanWell Collaborate (ARC クラウドのサポート) 用のライセンスをインストール済みの場合は、[設定] タブでこの外部の場所を有効化できます。

### 手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [PlanWell® Collaborate] を選択して、[アクション] の下の [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. 「[プロキシ設定を使用する]」のチェック ボックスをチェックします。ローカル ネットワーク上で場所を構成した場合、ボックスのチェックを外して、プロキシの設定を使わないようにしなければならない場合があります。
4. [有効な機能] で、PlanWell Collaborate に使用する機能を選択できます。
  - 「PlanWell Collaborate」をプリント元およびスキャン先として有効にするには、「[プリント元およびスキャン先]」を選択します。
  - PlanWell Collaborate をプリント元としてのみ有効にするには、[プリント元のみ] を選択します。
  - PlanWell Collaborate をスキャン先としてのみ有効にするには、[スキャン先のみ] を選択します。
  - 外部の場所として PlanWell Collaborate を無効にするには、[なし] を選択します。
5. 外部の場所として PlanWell Collaborate の設定を保存するには、[OK] をクリックします。

## 外部の場所の作成

### はじめに

WebTools Express で独自の FTP, SMB, WebDAV, の外部の場所を作成できます。



メモ  
ネットワーク設定の詳細については、ColorWave-Plotwave Connectivity Manual for Windows を参照してください。

### 始める前に



- メモ
- [SMB] プロトコルを有効にしていることを確認してください。
  - [FTP] - [設定] タブで、[接続] を有効にしていることを確認してください。
  - [WebDAV] の URL がブロックされていないことを確認してください。
  - この手順には、システム管理者としてログインする必要があります。

### 手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを選択します。
2. 左上角の [新規作成] をクリックします。

3. ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。この名前はユーザ パネルに表示されます。
4. 使用される設定の [説明] を入力します。
5. 外部の場所の [種類] を選択します。[FTP]、[SMB]、[WebDAV] または。
6. [パス] を入力します 外部の場所へのフォルダ パスまたは URL です。
  - [FTP] の場合、以下の構文を使用します。 ホスト名[/パス] (例: myhost/mydirectory/scantofile)。
  - [SMB] の場合、以下の構文を使用します。 \\ホスト名\共有名[/パス] (例: \\myhost\mysharedirectory\scantofile)。
  - [WebDAV] の場所の場合、完全な HTTP URL (例: http://example.webdav.org:8080/repository/) を使用します。
7. [認証情報] で、外部の場所にアクセスするために、ユーザーがログインする必要があるかどうかを選択します。
  - ユーザーにユーザ パネルへのログインを求める場合は、[ユーザー パネルでログインするようユーザーに指示します] を選択します。  
ユーザーがユーザ パネルで外部の場所へのアクセスを試行すると、ログインが表示されます。
  - ここで認証情報を設定する場合は、[自動ログインには以下の認証情報を使用します:] を選択します。  
ユーザーが外部の場所へのアクセスを試行する際に、ユーザ パネルへのログインを要求されることはありません。



8. [自動ログインには以下の認証情報を使用します:] を選択した場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。
  - [ユーザー名] によって、外部の場所へのアクセスが与えられます。ユーザーは、外部の場所について少なくとも読み込みおよび書き込み権限を持つ必要があります。SMB 保存先の場合のフォーマットは以下の通りです。ローカル ユーザー名: 「IP アドレス\ユーザー名」または「ホスト名\ユーザー名」。ドメイン ユーザー名: 「ドメイン\ユーザー名」
  - ユーザー名に対応する [パスワード] を入力します。
9. [有効な機能] を選択します。プリント ジョブまたはスキャン ジョブの選択された場所へのアクセスを有効または無効にします。
10. [OK] をクリックして外部の場所を保存します。

**メモ**

システムは外部の場所を検証し、検証に失敗するとエラー メッセージが表示されます。エラーが発生した場合、「保存」をクリックしてエラーが発生したままで外部の場所を保存するか、「変更」をクリックしてエントリを変更することができます。

**結果**

操作パネルおよび WebTools Express から外部の場所を使用することができます。

## デフォルトの外部の場所の設定

### はじめに

デフォルトの場所として外部の場所を設定することができます。ジョブに対して特定の外部の場所を選択しないと、デフォルトの場所が使用されます。

### 手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを選択します。
2. [外部の場所] でデフォルトとして設定する外部の場所を選択します。
3. [アクション] でチェックボックス アイコンをクリックします。

## デフォルトのプリント保存先を設定

### はじめに

WebTools Express でデフォルトのプリント保存先を設定することができます。プリント ジョブの保存先がジョブ チケット内で指定されていない場合やジョブチケットがない場合は、ジョブはデフォルトの保存先に送信されます。2つのデフォルトのプリント保存先から選択できます。

- ジョブは自動的にプリントされ、Smart Inbox に保存されます。
- ジョブが Smart Inbox に送信されるので、これをローカルに開始する必要があります。



#### メモ

[プリント ジョブの宛先を無効にする] 設定が [いいえ、ジョブ チケットで指定されたとおりに] に指定されている場合、デフォルトのプリント保存先を設定することができます。この設定は、[プリファレンス]-[システムのデフォルト]-[ジョブ管理] にあります。

### 手順

1. [プリファレンス]-[システムのデフォルト] タブを選択します。
2. [編集] セクションの [ジョブ管理] をクリックするか、[プリント ジョブのデフォルトの宛先] 設定をクリックします。
3. [キューと Smart Inbox の両方] または [Smart Inbox のみ] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

### 終わった後に

これで任意のプリント保存先がデフォルトになりました。他の設定を指定しない場合、すべてのプリント ジョブがこの保存先に送信されます。

## FTP での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

FTP で外部の場所の作成に失敗したことを通知するエラー メッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
ユーザー名またはパスワードが間違っています。	<p>リモート ユーザー名とパスワードを確認します。 ユーザー名とパスワードが正しい場合は、外部の場所の名前の構文も確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リモート ホスト ユーザーの場合: &lt;hostname&gt;\&lt;username&gt; または &lt;IP_address&gt;\&lt;username&gt;</li> <li>ドメイン ユーザーの場合: &lt;domainname&gt;\&lt;username&gt;</li> </ul>
リモート ホスト名を解決できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホスト名が正しく、有効であることを確認します。</li> <li>プリンタが顧客のネットワークに接続されていることを確認します。</li> <li>WebTools Express でプリンタのネットワーク設定を確認します。 プライマリ DNS サフィックス、優先 DNS サーバー、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ</li> <li>DNS サーバーがホスト名を IPv4 アドレスに解決できることをシステム管理者に確認します</li> <li>前述のいずれのチェックを実行しても問題が解決されない場合は、ホスト名の代わりにリモート ホストの IPv4 アドレスを入力します。</li> </ul>
パスが存在しないか間違っています。	<p>パスの構文が次の規則に従っていることを確認します:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>hostname/share[/folder/...] または</li> <li>&lt;IP_address&gt;/share[/folder/...]</li> </ul>
リモート ホストが見つかりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホスト名または IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。</li> <li>リモート ホストが稼動しており、ネットワークに接続されていることを確認します。</li> </ul>
リモート ホストにアクセスすることができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート ホストで FTP プロトコルが有効になっていることを確認します。</li> <li>顧客ネットワーク セキュリティ ポリシー (ファイアウォール/スイッチ) により FTP ポートが許可されていることを確認します。</li> <li>FTP 保存先の場合: FTP サーバーがポート 21 を使用していることを確認します。</li> </ul>
外部の場所をテストできません: リモート サーバーへの接続が最大数に達しています。	<p>外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。</p>

エラー メッセージ	実行する作業
<p>タイムアウト時間が経過したため、リモート保存先のテストが中止されました。</p>	<p>FTP サーバー ワークステーション上のファイアウォールが「FTP パッシブ モード」接続を妨げていないか確認します。</p> <p> <b>メモ</b> FTP パッシブ モード接続の詳細については、『Plot - Wave-ColorWave Systems Security』マニュアルを参照してください。</p> <p><b>FileZilla Server での例</b> FileZilla Server のインストール後、エラー メッセージが表示されることがあります。Windows ファイアウォール経由で FileZilla Server アプリケーションを許可するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Windows ファイアウォールのウィンドウを開きます。</li> <li>2. 「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックします。</li> <li>3. 「別のアプリの許可...」(または「別のプログラムの許可...」) ボタンをクリックします。 「アプリの追加」(または「プログラムの追加」) と名前が付いたウィンドウが表示されます。</li> </ol> <p> <b>メモ</b> リストから「FileZilla Server Interface」を選択しないでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 「参照...」 ボタンをクリックします。</li> <li>5. FileZilla Server をインストールしたディレクトリを検索します (通常は C:\Program Files (x86)\FileZilla Server\)</li> <li>6. 「FileZilla server.exe」をダブル クリックまたは選択します。</li> </ol> <p> <b>重要</b> 「FileZilla Server Interface.exe」を選択していないことを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 「Open」 をクリックします。 「アプリの追加」または「プログラムの追加」ウィンドウが再度表示されます。</li> <li>8. 表示されたリストを下方向にスクロールして、「FileZilla server.exe」を選択します。</li> <li>9. 「追加」をクリックします。 Windows ファイアウォールの許可されたアプリのウィンドウが再度表示されます。 「FileZilla server.exe」が「許可されたアプリ (またはプログラム) および機能」リストに追加されていることを確認します。「プライベート」、「パブリック」、または「ドメイン」のいずれかにチェックマークが付いていることを確認します (アクセスするネットワークの種類によって異なる)。</li> <li>10. 「OK」をクリックして、Windows ファイアウォールのウィンドウを閉じます。</li> </ol>
<p>指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保存先フォルダへのパスが正しく入力されていることを確認します。</li> <li>• 保存先フォルダがリモート ホストに存在していることを確認します。</li> </ul>

エラー メッセージ	実行する作業
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	スキャン to ファイルの場合は、リモート共有でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持していることを確認します。
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で、「スキャン to」操作用の空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません: 内部エラーが発生しました。	システムを再起動し、リトライします。

## SMB での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

SMB で外部の場所の作成に失敗したことを通知するエラー メッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
ユーザー名またはパスワードが間違っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート ユーザー名とパスワードを確認します。ユーザー名とパスワードが正しい場合は、外部の場所の名前の構文も確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>リモート ホスト ユーザーの場合: &lt;hostname&gt;\&lt;username&gt; または &lt;IP_address&gt;\&lt;username&gt;</li> <li>ドメイン ユーザーの場合: &lt;domainname&gt;\&lt;username&gt;</li> </ul> </li> <li>保存先のワークステーションで NTLMv1 認証が受け付けられることを確認してください。 (Windows 環境: ローカル セキュリティ ポリシー - セキュリティの設定 - ローカル ポリシー - セキュリティ オプション - ネットワーク セキュリティ - LAN Manager 認証レベル: この設定は、「LM を拒否する」または「LM と NTLM を拒否する」以外の値に設定する必要があります)</li> </ul>
リモート ホスト名を解決できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホスト名が正しく、有効であることを確認します。</li> <li>プリンタが顧客のネットワークに接続されていることを確認します。</li> <li>WebTools Express でプリンタのネットワーク設定を確認します。 プライマリ DNS サフィックス、優先 DNS サーバー、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ</li> <li>DNS サーバーがホスト名を IPv4 アドレスに解決できることをシステム管理者に確認します</li> <li>前述のいずれのチェックを実行しても問題が解決されない場合は、ホスト名の代わりにリモート ホストの IPv4 アドレスを入力します。</li> </ul>
パスが存在しないか間違っています。	<p>パスの構文が次の規則に従っていることを確認します:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>\\hostname\share[\folder\...] または</li> <li>\\&lt;IP_address&gt;\share[\folder\...]</li> </ul>
リモート ホストが見つかりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホスト名または IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。</li> <li>リモート ホストが稼動しており、ネットワークに接続されていることを確認します。</li> </ul>
リモート ホストにアクセスすることができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート ホストで SMB プロトコルが有効になっていることを確認します。</li> <li>ファイアウォールで SMB ポートが許可されていることを確認します。 (TCP 445)</li> <li>保存先ワークステーションで NetBIOS over TCP/IP が有効になっていることを確認します。 (Windows 環境: ネットワークと共有センター - アダプターの設定の変更でネットワーク接続を右クリック - プロパティ - IP V4- プロパティ - 全般 - 詳細設定 - WINS)</li> </ul>



エラー メッセージ	実行する作業
リモート保存先をテストできません: リモート サーバーへの接続が最大数に達しています。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	<ul style="list-style-type: none"><li>共有が正しく入力されていること、および共有がリモート ホストに存在することを確認します。</li><li>保存先フォルダへのパスが正しく入力されていることを確認します。</li><li>保存先フォルダがリモート ホストに存在していることを確認します。</li></ul>
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	スキャン to ファイルの場合は、リモート共有でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持していることを確認します。
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で、「スキャン to」操作の空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません: 内部エラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"><li>システムを再起動し、リトライします。</li><li>保存先ワークステーションで SMB1 が有効になっていることを確認します。 (Windows 環境: HKLM\System\CurrentControlSet\Services\LanmanServer\Parameters キー)。</li></ul>



## WebDAV での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

WebDAV で外部の場所の作成に失敗したことを通知するエラー メッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
プロキシ認証が必要です。プロキシの設定を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシが必要か否かを確認します。</li> <li>プロキシの設定を確認します。</li> </ul>
リモート ホスト名を解決できません。	プロキシが必要か否かを確認します。
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスが存在することを確認します。</li> <li>WebDAV サーバーでインターネット アクセスが不要な場合は (ローカル ネットワーク)、「プロキシ設定」機能のチェックをオフにしてください。</li> <li>WebDAV の外部の場所の構文を確認します。これがクラウドの WebDAV の構文に従っていることを確認します。</li> </ul> <p> <b>重要</b> 「Box.com」クラウドの場合、WebDAV の構文は変更されています。新しい構文は、<code>https://dav.box.com</code> です。新しい構文を使用する必要があります。これにより、<code>https://apps.box.com/dav</code> が置き換えられます。</p>
パスが存在しないか間違っています。	パスおよび URL 構文を確認します。パスに不正な文字が存在するか、URL が間違っています。
ユーザー名またはパスワードが間違っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート ユーザー名とパスワードを確認します。</li> <li>ユーザー名とパスワードが正しい場合は、パスの構文も確認します。</li> </ul>
外部の場所をテストすることができません。リモート サーバーへの接続が最大数に達しています。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキャン to ファイルの場合は、リモート ホスト上でリモートユーザーが「書き込み」権限を所持しているか否かを確認します。</li> <li>WebDAV の外部の場所の構文を確認します。</li> </ul> <p> <b>メモ</b> <code>http://</code> を <code>https://</code> で置き換えます。</p>
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません。内部エラーが発生しました。システムを再起動し、リトライします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パス設定で入力した URL の構文を確認します。</li> <li>WebDAV サーバーでインターネット アクセスが不要な場合は (ローカル ネットワーク)、「プロキシ設定」のチェックがオフになっていることを確認します。</li> <li>システムを再起動し、リトライします。</li> </ul>

# プリンタ設定の構成

## 地域設定の指定

### 目的

地域設定は、プリンタのインストール時に構成されます。初期構成を変更する場合、[地域設定] で変更することができます。

次の順序で、プリンタの地域設定を定義します。

- ユーザパネルの [第 1 言語] および [第 2 言語]。
- [測定単位]
- [タイムゾーン]  
[タイムゾーン]を変更した場合、[現在の日付と時間] を設定する前に、まずシステムを再起動する必要があります。
- [現在の日付と時間]
- [時刻フォーマット]



### メモ

[測定単位] を変更するたびに、コントローラによって mm およびインチ単位間で値が再計算されます。この設定を頻繁に変更すると、四捨五入の際の丸め誤差により、計算値が若干変化する可能性があります。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [地域設定] セクションの [編集] をクリックするか、編集する設定の値をクリックします ([第 1 言語] など)。
3. 設定を変更します。次のいずれかを選択できます。
  - 米国で一般的に使用される設定
  - 米国以外で一般的に使用される設定
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

---

## ユーザーセッションタイムアウトの設定

### はじめに

操作パネルは、自動的に「ホーム」画面およびそのデフォルト構成に戻ります。ユーザーセッションに制限時間を設定できます。

### 使用する場合

プリンタの生産性を低下させない適切なタイムアウト時間を指定します。

### 手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [ユーザアクセス構成] セクションの [編集] をクリックするか、[ユーザーセッションタイムアウト] 設定をクリックします。
3. タイムアウト時間を入力します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## 作業時間の設定

### はじめに

プリンタの作業時間を WebTools Express で設定できます。

プリンタを自動的にウェイクアップさせるには、最初に [自動オン] を有効にします。[最初の作業日] 設定を使用して作業日を指定します。たとえば、「月曜日」となり、[最後の作業日] 設定では「金曜日」などとなります。また、[起動タイム] および [作業日の終了の時刻] 設定でウェイクアップ時間とシャットダウン時間を設定します。たとえば、「06:30」や「19:00」となります。

この方法では、設定した日付と時刻にプリンタの電源が自動的にオン/オフされます。



#### メモ

たとえ [自動オン] が無効であったとしても、[作業日の終了の時刻] 設定は有効で、プリンタの電源を設定時間に自動的に切ります (省電力規制のため、プリンタは 24 時間に一度はシャットダウンする必要があります)。



#### メモ

設定された作業時間以外にプリンタの電源を手動で入れた場合、プリンタは選択された[スリープモード]に切り替わるまでの時間]期間が経過した後、スリープモードに入らず、自動的に電源が切れます。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションで [編集] をクリックします。
3. [自動オン] 設定を [有効] に設定します。
4. [起動タイム]、[作業日の終了の時刻]、[最初の作業日] および [最後の作業日] 設定を任意に設定します。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

### 結果

これで、プリンタは自動的にウェイクアップするようになり、設定した日の設定した時間帯の間はアクティブになります。

## 省電力モードを設定する

### はじめに

ColorWave 3800 には、2 種類の省電力モードがあり、プリンタが一定時間アイドル状態になると省電力モードに入るよう設定できます。タイマーの設定により、不必要な電力消費を防ぎます。タイマーの値を調整できます。

### 使用する場合

スリープモードタイマー (デフォルト値は 45 分)。

プリンタの電源がオフになり、プリンタの消費電力が最小になります。コントローラの電源はオンのままです。スリープモードからウェイクアップするには、プリンタをウォームアップする必要があります。

省電力モードタイマー (デフォルト値は 1 分)。

プリンタおよびコントローラの電源はオンのままです。プリンタの消費電力は通常のオペレーティングモードより小さくなりますが、スリープモードより大きくなります。省電力モードがスリープモードよりも有利な点は、通常、数秒でプリンタをウェイクアップできることです。



#### メモ

設定された作業時間以外にプリンタの電源を手動で入れた場合、プリンタは選択された[スリープモード]に切り替わるまでの時間]期間が経過した後、スリープモードに入らず、自動的に電源が切れます。



#### メモ

スリープモードタイマーの設定値は、省電力モードの設定値より大きくしなくてはなりません。スリープモードの設定値が省電力モードよりも小さい場合、プリンタは省電力モードをスキップしてスリープモードに入ります。消費電力は小さくなりますが、プリンタのウェイクアップに必要な時間が長くなります。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[スリープモードに切り替わるまでの時間] 設定または [後で省電力モードに移行します。] 設定をクリックします。
3. 新しい値を入力します。



#### メモ

設定の値をクリックして「編集」ウィンドウにアクセスした場合、「編集」ウィンドウには選択可能な最小値および最大値が表示されます。

4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。



#### メモ

プリンタが省電力モードの場合、いくつかの方法でシステムを有効にすることができます。

- ユーザパネルでウェイクアップボタンを押す
- プリントジョブを送信する
- スキャナに原稿を挿入する

## 用紙要求タイムアウトの設定

### はじめに

プリンタで使用できない用紙が要求された場合、ユーザ パネルに用紙要求が含まれたメッセージが表示されます。

- [用紙要求タイムアウト]設定が無効になっている場合、問題が解消されるまで、ユーザ パネルに用紙要求が表示されたままになります。
- [用紙要求タイムアウト]設定が有効になっている場合 (デフォルト)、用紙要求タイムアウト値を秒単位で入力できます。用紙要求タイムアウト期間中に用紙要求が解消されなかった場合、[用紙要求タイムアウト後のアクション]設定に基づいて、プリンタによってジョブ キューからジョブが削除されるか、ジョブが注意状態になります。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [編集] セクションの [プリンタのプロパティ] をクリックするか、[用紙要求タイムアウト] 設定をクリックします。
3. 設定を有効にする場合、時間も入力しなくてはなりません。設定を無効にする場合、時間は調整できません。
4. [用紙要求タイムアウト後のアクション] 設定をクリックします。
5. 「[ジョブを注意状態にします]」または「[ジョブを削除します]」を選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## 用紙ロールのコアサイズの構成

### はじめに

ColorWave 3800 の用紙ロールの標準コア サイズは 3 インチです。

2 インチ コア のロール紙も使用する場合、[コア直径が 2 インチのロール] 設定を有効にします。

[コア直径が 2 インチのロール] を有効にすると、ロール紙の取り付け時に、プリンタによって使用するコア サイズの確認を求められます。

### 手順

1. [設定] - [プリンタ設定] タブを開きます。
2. [用紙] セクションの [編集] をクリックするか、[コア直径が 2 インチのロール] 設定をクリックします。
3. 正しい値を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## ペン設定の構成

### はじめに

ペン設定は、図面の作成に使用するアプリケーションで定義できます。アプリケーションでペン設定が定義されていない場合、WebTools Express でデフォルトのペン設定を構成できます。

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. ペン番号のリストを確認していきます。
3. 変更するペン番号の値をクリックします。  
ペン設定のウィンドウが開きます。このペンのカラー、幅およびパターンを設定できます。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。



## WebTools Express での「ロール ツー ロール」モードの設定

### はじめに

巻き取りユニットを使用する場合、プリンタが「ロール ツー ロール」モードに設定されている必要があります。「ロール ツー ロール」モードを有効にすると、ページの間でカットは行われません。ユーザパネルで「ロール ツー ロール」モードを構成することもできます。



#### メモ

- 「ロール ツー ロール」モードが有効の場合、プリントの排紙先として [上部排紙トレイ] が設定されている場合でも、プリント ジョブは [背面出力] に排紙されます。
- プリンタの調整を行う場合、「ロール ツー ロール」モードを無効にする必要があります。
- プリンターが「ロール ツー ロール」モードである場合、トナー カートリッジを交換する前に、用紙をカットする必要があります。

### 手順

1. [プリファレンス]- [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [ジョブ管理]セクションの[編集] をクリックするか、[ロールツーロール モード] 設定をクリックします。
3. 「[有効]」または「[無効]」を選択します。
4. [OK]をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

# 仕上げ設定の構成

## Finishing Assistant の設定

### はじめに

この設定は、折り機がインストールされている場合にのみ使用できます。

[フィニッシング アシスタント] によって図面のタイトルが自動的に検出され (タイトルがある場合)、タイトルが折りパッケージの表紙にプリントされるように、図面が回転および位置合わせされます。タイトルが検出されなかった場合、プリントは折りなしで排紙されます。

有効にすると、[フィニッシング アシスタント] の動作が、折り出力用のデフォルトの回転およびアライメントよりも優先されます。

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[フィニッシング アシスタント] 設定をクリックします。
3. プリンタによって自動的にタイトルが検出され、図面が適切に折られるようにするには、[有効] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## カスタム折りテンプレートの折り設定

### はじめに

折りオプションは、[プリファレンス] - [折り] タブの折りテンプレートで設定できます。テンプレートの作成方法については、「[新規テンプレートの作成 \(110 ページ\)](#)」を参照してください。

折りオプションを設定する場合、折り機が正しく機能するように設定したことを確認してください。以下の設定の概要の説明を使います。

「[テンプレート ソース]」 - 「[カスタム テンプレート]」を選択すると、以下の設定が使用可能になります。


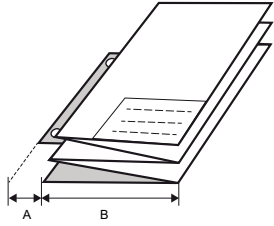
### 折り

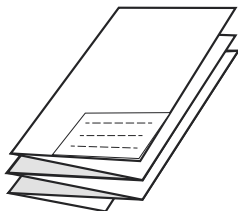
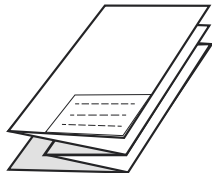
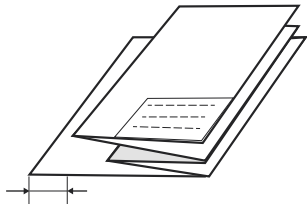
[折りパッケージ]	説明	例
[ファン+クロス折り]	ファン折り (Z 折り) + クロス折り。	
[ファン折り専用]	ファン折り (Z 折り) のみ。	




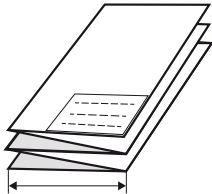
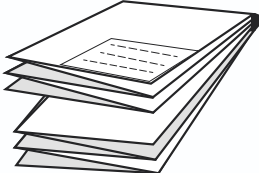
#### メモ


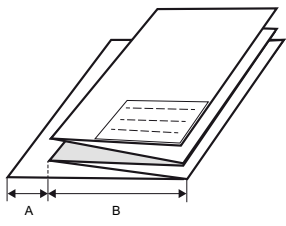
[補強] 設定は、選択したフィニッシャが補強ユニットを含んでいる場合にのみ使用可能です。

[補強]	説明	例
[有効]	<p>パンチ前の余白を折りパッケージの背面にのり付けします。</p> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補強テープは 12 mm (A) のとじしろサイズを使用します。</li> <li>パッケージ幅のサイズ (B) では、[とじしろサイズ] (A) を除きます。このため、裏パネルはパッケージ幅のサイズにとじしろのサイズを加えたもの (A + B) になります。</li> <li>[折り方法] が [同サイズの裏表紙あり] の場合にのみ可能です。</li> </ul>	

[補強]	説明	例
[無効]	のり付き余白なし	
[折り方法]	説明	例
[コンパクト折り]	折りパッケージですが、最後の折り (背面) が短くなります。	
[同サイズの裏表紙あり] (DIN-B)。	折りパッケージですが、最後の折り (背面) が全幅よりも長くなります。前の折りが短くなる場合があります。	
[とじしろ付き] (DIN-A)。	折りパッケージですが、最後の折り (背面) の幅が長くなります。前の折りが短くなる場合があります。	

### パッケージサイズ

[パッケージサイズ]	説明	例
[幅]	Z 折りの折り幅を定義します。   <b>メモ</b> パッケージ幅のサイズでは、[とじしろサイズ]を除くことに注意してください。このため、裏パネルはパッケージ幅のサイズにとじしろのサイズを加えたものになります。	
[長さ]	クロス折りの折り幅を定義します。折り機の [ファン+クロス折り] モードにのみ該当します。	

[パッケージサイズ]	説明	例
[とじしろサイズ]	<p>とじしろがパッケージからはみ出す量を定義します。折り装置によって、値を選択することができます。</p> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージ幅のサイズ (B) では、[とじしろサイズ] (A) を除きます。このため、裏パネルはパッケージ幅のサイズにとじしろのサイズを加えたもの (A + B) になります。</li> <li>[折り方法] での選択が [とじしろ付き] に設定されている場合にのみ表示されます。</li> </ul>	

## 排紙



**メモ**  
使用可能なオプションは選択した[折りパッケージ]の値によって異なることに注意してください。

[折り排紙]	説明
[ベルト]	出力がベルト ユニットに排紙されるように定義します ([ファン + クロス折り]の場合のみで、ベルト ユニットが取り付けられている場合)。
[スタッカ]	出力の排紙先がスタッカになるように定義します (スタッカが取り付けられている場合のみ)。
[ファン折り出力]	出力の排紙先がファン折り部になるように定義します ([ファン折り専用]の場合のみ)。

## 組み込み折りテンプレートの折り設定

### はじめに

折りオプションは、[プリファレンス] - [折り] タブの折りテンプレートで設定できます。テンプレートの作成方法については、[新規テンプレートの作成 \(110 ページ\)](#) を参照してください。

折りオプションを設定する場合、折り機が正しく機能するように設定したことを確認してください。

内蔵テンプレートが排紙先を決定します。



#### メモ

ユーザーがテンプレートを認識できるテンプレート名を入力することをお勧めします。

「[テンプレート ソース]」 - 「[折り曲げ装置に組み込まれているテンプレート。]」を選択すると、以下の設定が使用可能になります。

	説明
[組み込みテンプレート ID]	折り機に組み込まれているプログラムの ID 番号。 折り機では、使用可能な折りプログラムの完全なリストがあります。
[折りたたみ後のパッケージの上部]	縦長シートが折り機に入れられている場合、タイトルの位置を定義します ( <a href="#">デフォルト折りテンプレート (143 ページ)</a> を参照)。
[横長で印刷する場合の折りパッケージの一番上]	横長シートが折り機に入れられている場合、タイトルの位置を定義します ( <a href="#">デフォルト折りテンプレート (143 ページ)</a> を参照)。

## デフォルト折りテンプレート

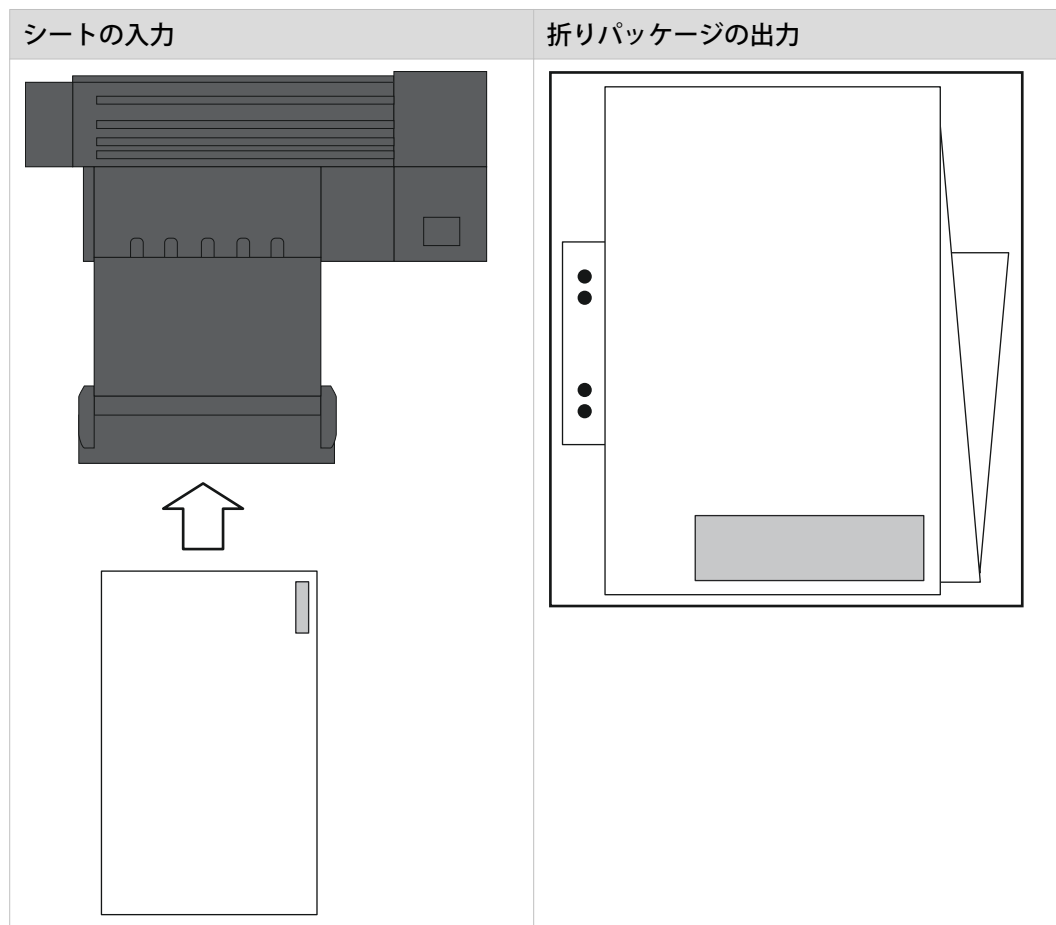
### はじめに

折り装置がフィニッシャとして構成されている場合 ([Folder Professional 6011]、[Folder Professional 6013 (補強ユニット付き)]、または [Folder Express 3011]) 工場でインストールされた利用可能な折りテンプレートがあります。



#### 重要

この[折りたたみ後のパッケージの上部]設定、または[横長で印刷する場合の折りパッケージの一番上]設定は、縦長シートが折り機に入れられている場合のタイトルの位置を定義します。これにより、折りの後、必ずタイトルが折りパッケージの一番上になります。たとえば、[折りたたみ後のパッケージの上部]が[右上]である場合、図に示すようにシートを折り機に入れる必要があります。



WebTools Express で [プリファレンス] - [折り] タブを選択すると、使用可能な折りテンプレートの概要が表示されます。

# プリント品質およびプリント生産性の調整

## プリント品質の設定

### はじめに

WebTools Express を使用してプリント品質を設定できます。プリント品質を選ぶと、ジョブの速度およびトナー カバレッジに影響します。

[プリント品質]	パスの回数	解像度 dpi	アプリケーション例
[高速]	1	300x300	CAD
[エコノミー - 高速]	1	300x300 (白黒用) 450x300 (カラー用)	CAD
[エコノミー]	1	450x300 (白黒用) 600x300 (カラー用)	CAD
[プロダクション - 高速]	2	450x600	地図/GIS、回路図、ストリートファニチャー、ディスプレイPOP
[プロダクション]	2	600x600	地図/GIS、回路図、ストリートファニチャー、ディスプレイPOP
[品質 - 高速]	4	450x600	主題的 POP、ポスター、ファインアート、フォトプリント、イベントバナー、ソフトサイネージ
[クオリティ]	4	600x600	主題的 POP、ポスター、インドアバナー、壁紙、イベントバナー、ソフトサイネージ
[高品質 - 高速]	6	450x600	インドアバナー、エコノミーバックリット
[高品質]	6	600x600	インドアバナー、エコノミーバックリット

[高速] から [高品質] までのプリント品質の範囲において、品質が高くなるほど、速度が低下します。

高速モードと標準モードの両方を利用できるすべての場合において:

- 高速モードは標準モードよりも高速
- 高速モードは標準モードよりもトナー消費量が少ないため、標準モードによる出力のほうがトナーカバレッジが高くなる

### プリントジョブのデフォルト設定のプリント品質を設定する

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [イメージ] セクションの [編集] をクリックするか、[プリント品質] 設定をクリックします。
3. [プリント アシスタント] (OPA) を選択すると、ファイルの内容に基づき、最適なプリント品質が自動的に選択されます。または、前述の表のリストからプリント品質を自分で選ぶこともできます。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。



## コピー ジョブのデフォルト設定のプリント品質を設定する

1. [プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [コピー用のカスタムのイメージプリセット] セクションの [編集] をクリックするか、[プリント品質] 設定をクリックします。
3. [自動] を選択すると、ファイルの内容に基づき、最適なプリント品質 ([エコノミー - 高速]、[プロダクション]、[クオリティ]) が自動的に選択されます。または、前述の表のリストからプリント品質を自分で選ぶこともできます。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## ロングプロットモードの設定

### はじめに

ロングプロットモードが有効な場合、システムは TIFF、HP-GL、HP-GL2、および HP-RTL のプロットを良い品質で最大 175m プリントできます。このモードでは、拡大/縮小および回転などの変換は保証されません。他の形式 (PS や PDF など) の場合、システムは「通常」モードでプリントし、最大プロット長は 22 m になります。

長いプリントをプリンタがプリントできるようにするため、プリント品質は低下します。

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [一般 (非 PostScript/PDF)] セクションの [編集] をクリックするか、[長尺プロット モード] 設定をクリックします。
3. 有効化または無効化します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## 自動ロール切り替えの設定

### はじめに

WebTools Express で、自動ロール切り替え設定を選択することができます。

- [ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき]  
次のいずれかの操作を選択できます。
  - [類似するロールに切り替え (同じタイプ・サイズのもの)]  
選択されたロールの用紙が終了した場合、プリンタは自動的に (サイズと用紙タイプが) 同一のロールに印刷を続けます。同一のロールが利用できない場合はジョブは停止し、プリンタから新しい用紙を装着する要求が出されます。
  - [空になったロールを交換するときは常に確認]  
ジョブは停止し、プリンタから新しい用紙を装着する要求が出されます。

この設定は、用紙サイズが選択されただけのジョブには、影響を及ぼしません。これらのジョブには、新しいロールを選択することが可能かどうかを、用紙選択ポリシーが決定します。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき] 設定をクリックします。
3. 目的の操作を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## スプールしきい値の設定

### はじめに

ジョブメモリが一杯の場合、プリンタは新しいジョブを受け付けることができないため、メモリを部分的に解放する必要があります。[スプールしきい値]設定を指定して、ジョブのスプール容量を定義します。

次のいずれかの値を選択できます。

- [低]  
数多くの小規模なプリントジョブがあり、より大きな容量を許可する場合、この値を選択します。
- [通常]  
これは、デフォルト設定です。小規模なジョブおよび大規模なプリントジョブの両方がある場合、この値を選択します。
- [高]  
数多くの大規模なプリントジョブがあり、ジョブメモリが一杯になったことが原因でファイル転送が中止される危険性を低減するには、この値を選択します。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[スプールしきい値] 設定をクリックします。
3. [低]、[通常] または [高] を選択します。  
プリント生産性が重要な要因である場合、[低] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## 回転モードを設定する

### はじめに

イメージを回転させる場合、回転の設定を使用できます。この設定では、事前定義された回転の値でイメージを回転させるか、プリンタに自動的に回転を実行させることができます。

次のいずれかの値を選択します。

- [回転なし]
- [90° ]
- [180° ]
- [270° ]
- [縦送り]
- [横送り]
- [180° 回転して縦送り]
- [180° 回転して横送り]
- [自動用紙節約]
- [自動用紙節約に 180 度の回転を追加]

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。[プリント ジョブのデフォルト]
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[回転] 設定をクリックします。
3. 次のいずれかの値を選択します。  
プリント生産性が重要な要因である場合、[自動用紙節約] または [自動用紙節約に 180 度の回転を追加] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## アライメントモードを設定する

### はじめに

シート上でイメージを移動させる場合、アライメントモードを変更できます。アライメントモードを使用して、プリントキャリッジの移動が必要な距離を削減することで、プリント生産性を最適化することもできます。たとえば、イメージをシート右上の隅に合わせることができます。

次のアライメント設定を選択できます。

アライメントモード		
[左上]	[上]	[右上]
[左]	[中央]	[右]
[左下]	[下]	[右下]

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[アライメント] 設定をクリックします。
3. 正しい値を選択します。  
プリント生産性が最も重要な要因である場合、[右上] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

---

## PDF レンダリング エンジンの設定

### はじめに

例えば Adobe Acrobat などとの最良な品質と互換性のために、[APPE: Adobe PDF Print Engine] を選択します。POWERSync ベースの PlotWave 製品との互換性のために、[Adobe PostScript interpreter] を選択します。

[PDF レンダリングエンジン] の両方の選択は、ワイプアウトの修正をサポートします。

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [PDF 汎用] セクションの [編集] をクリックするか、[PDF レンダリングエンジン] 設定をクリックします。
3. 正しい値を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## PDF の透明の平板化の設定

### はじめに

WebTools Express では、プリント前に PDF ドキュメント内の透明情報を平板化するための設定を選択できます。この設定は、透明情報が含まれる PDF ドキュメントにのみ使用されます。

以下の値のいずれかを選択できます。

- [クオリティ]  
プリント品質が最も重要な場合、この値を選択します。処理速度が低下し、必要なメモリ容量が増えます。
- [速度]  
プリント品質よりも PDF 処理のパフォーマンスが重要な場合、この値を選択します。大規模で複雑な PDF ファイルが高速に処理され、少ないメモリが使用されます。



#### メモ

[PDF レンダリングエンジン] 設定が [Adobe PostScript interpreter] に指定されている場合にのみ、透明度の平板化を変更できます。この設定は、[プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] - [PDF 汎用] にあります。

### 手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [PDF 汎用] セクションの [編集] をクリックするか、[透明の均一化] 設定をクリックします。
3. [クオリティ] または [速度] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。



## Print Assistant の動作の設定

### はじめに

[プリント品質] が [プリント アシスタント] に設定されている場合にのみ、この設定が使用されます。

[プリント アシスタント] によって、プリントの平均トナー カバレッジに基づいて、使用するプリント設定が決定されます。

Print Assistant はイメージを分析し、各ドキュメントに使用する最適なプリント設定を自動的に判断できます。[プリント アシスタントの動作] 設定により、Print Assistant の分析結果を固有のニーズに合わせて調整できます。モード間の切り替えしきい値は、[プリント アシスタントの動作]<sup>1</sup> によって変更できます。この方法で、キー オペレータは [プリント アシスタント] の設定を微調整し、個別のニーズに合わせてプリント速度および品質を最適化することができます。ColorWave 3800 のデフォルト モードは [プリント アシスタント] になります。

<sup>1</sup> [プリント アシスタントの動作] の数字は、0 ~ 100 までのスケール上の位置を表します。数字が大きいほどプリント品質が優先され、数字が小さいほどプリント速度が優先されます。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] をクリックします。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[プリント アシスタントの動作] 設定をクリックします。
3. プリント生産性が最も重要な場合、スライダを「0」に設定します。  
プリント品質が最も重要な場合、スライダを「100」に設定します。
4. [OK] をクリックして入力を確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## プリント生産性の最適化


### はじめに

用紙の取り付け時に、適切な用紙の種類とサイズをプリンタにインストールおよび定義したことを確認してください。必要に応じて、さまざまな方法でプリント生産性を最適化することができます。

#### 異なる用紙サイズでの生産性が最も重視される場合

1	用紙サイズは異なるが、用紙の種類は同じロール紙を最大で6つプリンタに装着します。
2	[横長] 方向を使用して、システムで定義された用紙より1サイズ大きい用紙サイズでジョブをプリントします。たとえば、A1はA0に横長でプリントし、A2はA1に横長でプリントします。手動で用紙をカットする必要はありません。
3	ユーザパネルまたはWebTools Expressで[横送り]設定または[180°回転して横送り]を使って、方向を自動的に回転します。

#### 生産性のみが重視される場合

1	<p>用紙サイズと用紙の種類が同じである複数のロール紙をプリンタに装着して定義します。</p> <p> <b>メモ</b>                  ロール1が空の場合、プリンタは自動的にロール2に切り替わります。                  ジョブで特定のロール数が設定された場合、動作は[ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき]の設定により異なります。</p>
---	--

---

# カラー管理について

## カラー管理とは？

### 定義

カラー マネジメント設定では、プリント出力上で、入力されたカラーを可能な限り正確に再現できるようにします。

カラー マネジメント設定を使用して、プリントするファイルのカラー情報 (入力色空間: RGB、CMYK、またはグレイの色空間) を ColorWave 3800 (CMYK 色空間) の出力色空間に変換する方法を定義します。この変換では、イメージで最も重要なカラー品質を維持するため、近似が必要となる場合があります。

カラーを再現するには、次の項目を定義することが重要です。

- 入力プロファイル/標準化
- カラー フィールド/カラー レンダリング
- 出力プロファイル

## 入力プロファイル/標準化とは？

### 定義

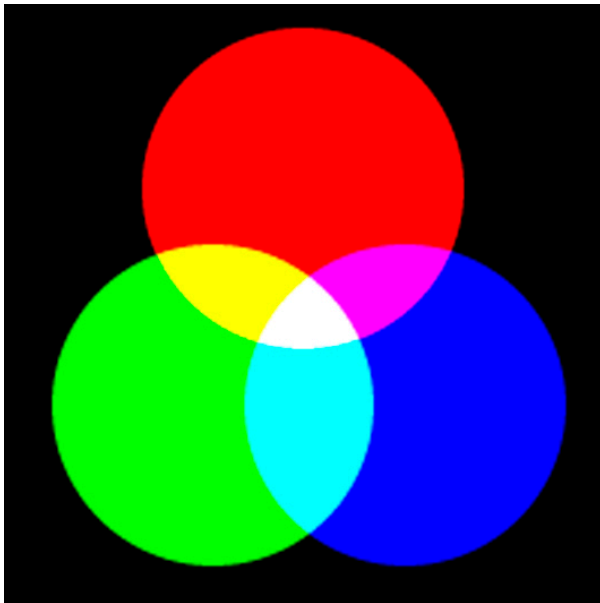
入力プロファイル/標準化では、適切な方法でプリントするファイルのカラー情報の解釈に使用する色空間を定義します。

主要な入力プロファイル (色空間) は次のとおりです。

- **RGB**

RGB 色空間は RGB カラー モデルに基づいています。RGB (赤 (R)、緑 (G)、青 (B)) は、人間の視覚と同様のしくみであるため、コンピュータ グラフィックスに適したカラー モデルです。

RGB 色空間は、**加法系色空間**であり、光の合成により混色が実現されます。赤、緑、青の 3 原色をすべて混色すると、白色の光を生成できます。白を生成するには 3 原色すべてが必要となり、3 原色のいずれも存在しない場合は黒が生成されます。加法混色では、RGB カラーが原色、シアン、マゼンタおよびイエロー (CMY) が等和色となります。



- **CMYK (プリントで使用されるカラー)**

CMYK 色空間は CMYK カラー モデルに基づいています。CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック) 色空間は、**減法系色空間**であり、スペクトルから特定の色の光を取り除くことで混色が実現されます。CMY トナーを使用して RGB カラーが生成されます。黒を生成するには 3 色のインクがすべて必要となり、3 色のいずれも存在しない場合は白が生成されます。減法混色では、CMY カラーが原色、RGB が等和色となります。



• グレイ

グレイスケール (色) 空間では、明度に関する情報のみが提供されます。明度の範囲は 0 (黒) から 100 (白) になります。

「[カラー フィールド]」設定 「[グラフィックス カラー]」を使用する場合、入力プロファイルを定義できません。

次の表に、使用可能な入力プロファイル/標準化設定の概要を示します。

入力プロファイル/標準化	説明
RGB - [sRGB]	標準コンピュータ モニタの色空間を指定するには、この設定を使用します。sRGB は、最もよく使用される RGB 色空間であり、特に消費者向けのデジタル カメラで使用されます。ほとんどの消費者向けアプリケーションで sRGB を使用できます。sRGB は、標準コンピュータ モニタで簡単にプレビューできるよう設計されています。
RGB - [Adobe RGB]	この設定では、Adobe 社によって 1998 年に開発された RGB 色空間を指定します。Adobe RGB では、sRGB よりも色域が広がっています。Adobe RGB は、中級のデジタルカメラでよく使用されており、色域の広さから、多くのプロフェッショナル グラフィック アーティストに好まれています。
CMYK - [Euroscale coated]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [Euroscale uncoated]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [US Web coated (SWOP)]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、米国でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [US Web uncoated]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、米国でかつて用いられた旧式のオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [ISO Coated v2 300% (ECI)]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で一般的なオフセット印刷標準を使用します。Fogra39 ベースで、インク制限は 300% です。

入力プロファイル/標準化	説明
CMYK - [ISO Coated v2 (ECI)]	この設定では、コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で用いられているオフセット印刷標準を使用します。Fogra39ベースで、インク制限は 330% です。
CMYK - [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で用いられているオフセット印刷標準を使用します。Fogra47ベースです。
CMYK - [Uncoated FOGRA29]	この設定では、非コート紙への色分離および校正のプリント用に、欧州で用いられているオフセット印刷標準を使用します。Fogra29ベースです。
CMYK - [GRACoL2006 Coated1v2]	この設定では、コート紙グレード 1 への色分離および校正のプリント用に、米国で一般的なオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [SWOP2006 Coated3v2]	この設定では、コート紙グレード 3 への色分離および校正のプリント用に、米国で用いられているオフセット印刷標準を使用します。
CMYK - [SWOP2006 Coated5v2]	この設定では、コート紙グレード 5 への色分離および校正のプリント用に、米国で用いられているオフセット印刷標準を使用します。
グレイ - [なし (プロファイルが使用されません)]	この設定を使用すると、グレイスケール情報が直接黒色トナーの使用量にのみ変換されます。
グレイ - [sGray]	この設定を使用すると、sGray プロファイル (ガンマ値 2.2 の明度スケール sRGB) に基づくグレイスケール情報が CMYK のトナー使用量に変換されます。
グレイ - [Adobe Gray 20%]	この設定を使用すると、Adobe Gray 20% プロファイル (Adobe 固有のドット ゲイン 20%) に基づくグレイスケール情報が CMYK のトナー使用量に変換されます。

## カラー フィールドとは？

### 定義

[カラー フィールド] 設定を使用すると、プリントされる出力の「ルックアンドフィールド」を微調整することができます。

[カラー フィールド] 設定では、色空間の変換方法を定義します。

[カラー フィールド]	説明
[CAD カラー]	<p>この設定を使用すると、明るく飽和したカラーでプリントされます。</p> <p>ベクタ図面 (HP-GL など) に適しています。</p> <p>すべての原色および等和色は、それぞれ単一のインクでプリントされるため、クリーンになります。このことは、イエローインクのみでイエローをプリントした場合にはっきり確認できます。</p> <p>カバレッジが大きくなると、インクが (ほぼ) 同量増加します。</p> <p>ブルーは紫がかかることなく、クリーンなブルーになります。</p> <p>このモードは、AutoCAD や ArcView などのアプリケーションで作成された CAD 図面に適しています。</p> <p>このモードで写真をプリントすると、グレイがかかった濁った色になります。</p>
[グラフィックス カラー]	<p>この設定を使用すると、写真画質のカラーでプリントされません。</p> <p>展示用の写真またはグラフィックアートに適しています。</p> <p>[グラフィックス カラー] を選択した場合、詳細カラー マネジメント設定も調整することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [グラフィックス カラー:RGB 入力カラー プロファイル]</li> <li>• [グラフィックス カラー:CMYK 入力カラー プロファイル] (TIFF および JPEG ファイルの場合、または PostScript および PDF ファイルの場合のみ)</li> <li>• [グラフィックス カラー:グレイスケール入力カラー プロファイル] (PostScript および PDF ファイルの場合のみ)</li> <li>• [グラフィックス カラー: カラー レンダリング]</li> </ul>
[なし、アプリケーションによる管理]	<p>プリント ファイルを生成したアプリケーションによってカラー マネジメントが完全に実行された場合、この設定を使用します。</p> <p>アプリケーションによってカラー マネジメントが適切に処理されなかった場合、次のような問題が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• - ブルーが紫がかかる (ほとんどのインクジェットプリンタと同様)</li> <li>• - ラスタ ファイル情報 (写真など) が暗く濁る</li> </ul>

## カラーレンダリングとは？

### カラーレンダリングの定義

通常、プリントファイルの色空間は、ColorWave 3800の色空間よりも広くなります。つまり、入力色空間は、出力色空間よりも広くなります。したがって、定義された入力カラーの一部は、ColorWave 3800の色空間からはみ出てしまいます。このような「色域外のカラー」は、色域ミスマッチと呼ばれます。

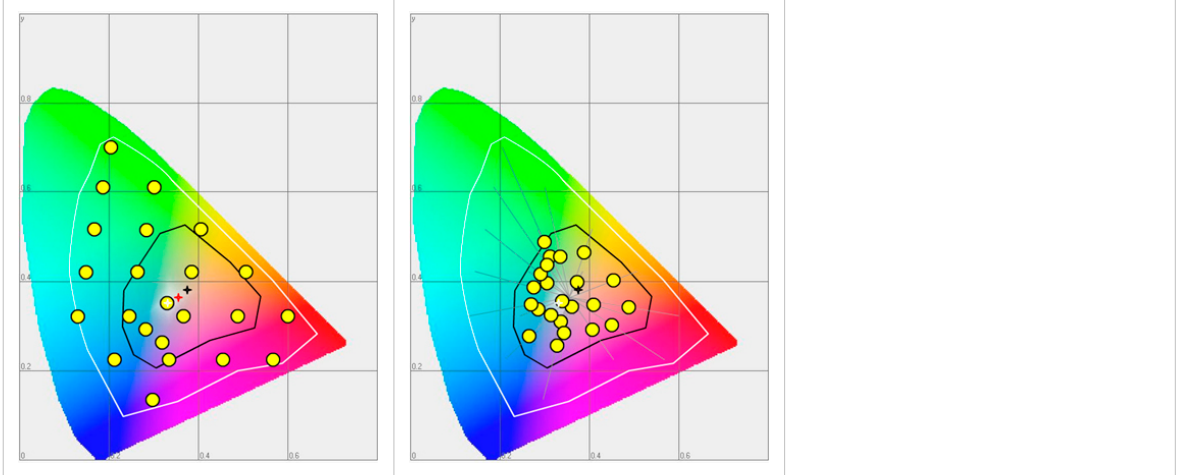
色域ミスマッチが発生した場合、「カラーレンダリング」設定によって、イメージのどの品質が優先されるかが決定されます。「カラーレンダリング」設定では、他のカラーのプロパティを犠牲にして、特定のカラーのプロパティが維持されます。



## カラー レンダリング: 知覚的 (フォト)

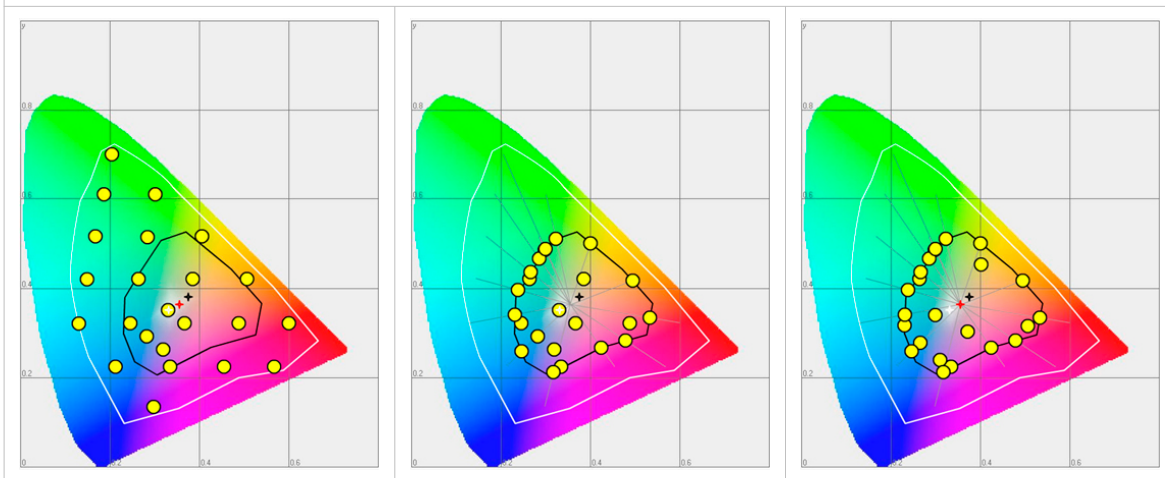
この設定では、写真、アートワーク、GIS またはイメージで最高の結果が得られるよう、出力を最適化します。

「知覚的」レンダリングでは、色域内のカラーの精度が低下する場合であっても、色域外のカラーの間の関係にある程度維持しようと試みます。



## カラーレンダリング:彩度(ビジネスグラフィックス)

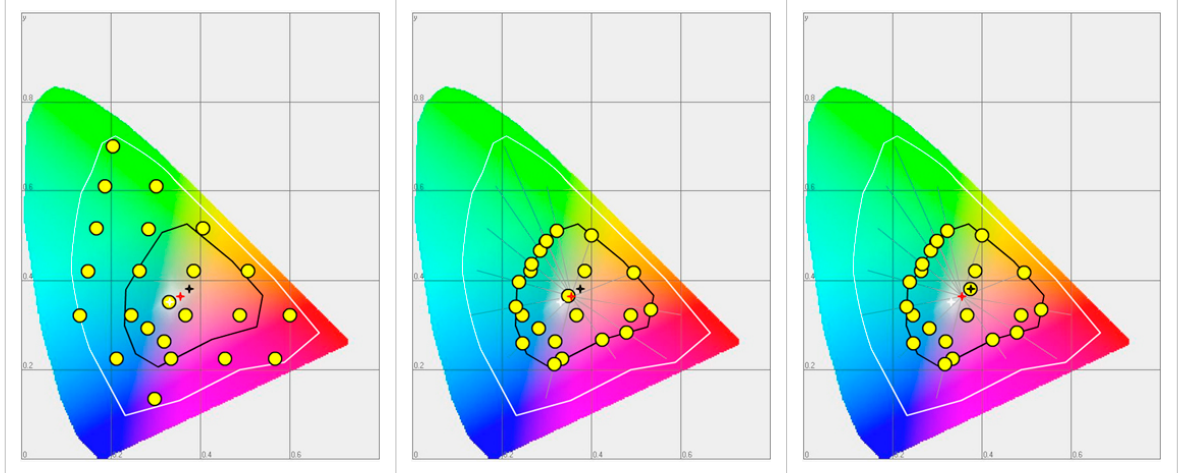
この設定では、明るく飽和した色の出力を最適化します。  
「彩度」カラーレンダリングでは、飽和したカラーが維持されます。コンピュータグラフィックスのカラー純度を維持したい場合に推奨されます。元の RGB デバイスにおいて純粋な飽和したカラーは、やや極端なカラーが生成される場合であっても、出力色空間でも飽和したカラーとなります。  
「彩度」カラーレンダリングでは、カラーの写実性を維持しようとは試みないため、写真には適しません。色相および明度の変化と引き替えにカラー彩度が維持されますが、このようなトレードオフは、通常の写真印刷では許容されません。  
コンピュータグラフィックスをプリンタでプリントする必要がある場合、ディザリングを回避するために「彩度」カラーレンダリングを使用することもできます。プリンタにすべてのカラーに一致するインクが搭載されているわけではないため、ディザリングをすべて回避することはできません。「彩度」カラーレンダリングでは、純粋なカラーに非常に近いカラーについて、ディザリングを最小化します。



## カラーレンダリング: 相対カラーメトリック

相対カラーメトリックでは、色域外のカラーがクリッピングされる場合であっても、色域内のカラーの関係がほぼ正確に維持されます。

「相対カラーメトリック」カラーレンダリング法では、古い白点 (色空間で最も純粹で明るい白の場所) と新しい白点を調整し、カラーの相対的な位置を維持するためにカラーが置換されます。「相対カラーメトリック」カラーレンダリングは、ロゴ、スポットカラーまたは PowerPoint プレゼンテーションに推奨されます。ただし、写真およびイメージではコントラストの低下による問題が生じる場合があります。



## カラーレンダリング:絶対カラーメトリック

絶対カラーメトリックは相対カラーメトリックと似ていますが、白点の処理に使用する方法が異なります。

色域内のカラーは維持され、色域外のカラーはクリッピングされる点では絶対カラーメトリックも相対カラーメトリックも同様ですが、絶対カラーメトリックでは白点も維持されます。

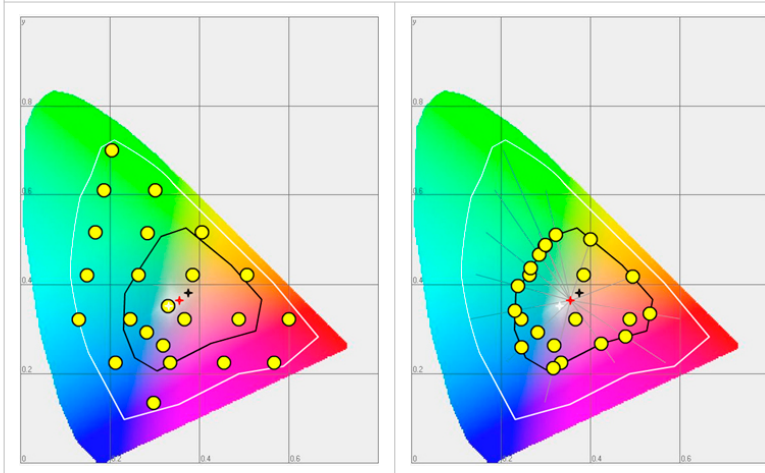
絶対カラーメトリックは、良好なカラー マッチに加えて用紙の白のエミュレーションも必要とされる校正用途に推奨されます。プリンタが入力プロファイルの白点のエミュレーションを試みるため、白のエリアが黄色みを帯びる場合があります。

この設定では、ソース ホワイトのレンダリングを含め、RGB カラーを CMYK カラーにレンダリングする際の精度が最高になります。



### メモ

モニター背景が若干青みを帯びている場合、プリント出力では最も明るいトーンが青みを帯びた白になる場合があります。PDF/TIFF 原稿または HP-GL タイプの文書で、白のトーンが黄色みを帯びる可能性があります。



## 出力プロファイルとは？

出力プロファイルは、出力デバイス (ColorWave 3800 プリンタ キャリブレーション モジュール経由) および選択した用紙の種類 (Media Profile (OMP) ファイル経由) に基づいて、変換された CMYK 色空間を調整するために使用されます。

出力プロファイルは自動的に適用されますが、ColorWave 3800 に適切な用紙を装着し、コントローラで正しい OMP ファイルが使用できるようにすることが重要です。

( [用紙プロファイルを設定する \(183 ページ\)](#) を参照)

( [用紙プロファイルをインストールする \(184 ページ\)](#) を参照)

## WebTools Express のカラー マネジメント設定

プリントするファイルのタイプに応じて、ColorWave 3800 では、異なるカラー情報変換が提供されます。カラー情報変換について最適な結果が得られるカラー マネジメント設定を選択できます。

[プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開き、ファイル タイプ ([HP-GL/2 カラー マネジメント設定]、[PostScript カラー マネジメント設定]、[PDF カラー マネジメント設定] または [TIFF および JPEG カラー マネジメント設定]) ごとにデフォルトのカラー マネジメント設定を定義します。

Driver Select for Microsoft® Windows® および Publisher Select ジョブ送信アプリケーションにも同じカラー マネジメント設定がありますが、ファイル タイプには依存しません。



### メモ

WebTools Express で定義されたカラー マネジメント設定を使用したい、または使用する必要がある場合、プリント ジョブのファイル タイプを知っておくことが重要です。Driver Select for Microsoft® Windows® または Publisher Select ジョブ送信アプリケーションでカラー マネジメント設定を定義した場合、カラー マネジメント設定は自動的に適切なファイル タイプに指定されます (WebTools Express で定義されたカラー マネジメント設定は無効になります)。

## カラー マネジメント 設定およびジョブの送信


ほとんどの場合、プリンタにプリント ジョブを送信する方法は、文書のファイル タイプによって決定されます。プリンタ ドライバを使用する場合、オリジナルのファイル タイプがドライバにより標準ファイル タイプに変更されます。

ジョブ チケットがない場合やジョブ チケットにカラー マネジメント 設定が含まれていない場合は、プリンタが文書のファイル タイプを確認し、ファイル タイプに応じて、WebTools Express のデフォルトのカラー マネジメント 設定を適用します。

FTP、LPR、Publisher Select または Publisher Express を使用してプリンタにジョブを送信する場合、ファイル タイプは変更されません。ファイルは、作成または編集に使用したアプリケーションで保存された通りにプリンタに送信されます。文書にカラー プロファイルが埋め込まれていない場合、プリンタが文書のファイル タイプを確認し、ファイル タイプに応じて、WebTools Express のデフォルトのカラー マネジメント 設定を適用します。

プリント ジョブにカラー プロファイルを埋め込む場合 (Adobe® Illustrator を使用して埋め込みプロファイルを作成する場合など)、2 つのオプションのいずれかを選択できます。Microsoft® Windows® 用の Driver Select を使用すると、アプリケーションによるカラー マネジメント 設定に従うよう指定できます。ジョブは、FTP、LPR、Publisher Select (「文書のカラー フィール」を選択) または Publisher Express 経由で送信することもできます。コントローラが埋め込まれたカラー プロファイルを認識した場合、それが適用されます。埋め込まれたカラー プロファイルが認識されない場合、コントローラは、WebTools Express により管理されたデフォルトのカラー 設定を適用します。

下の表に、ジョブ送信方法、ファイル タイプおよびカラー マネジメント 設定の関係の概要を示します。

ジョブ送信方法	ファイルの種類	カラー マネジメント 設定
Driver Select for Microsoft® Windows®	ドライバがすべてのファイルを HP-GL/2 に変換	カラー 設定を指定できる場所: <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタ ドライバ</li> <li>WebTools Express、ドライバ設定でプリンタのデフォルトを選択した場合</li> <li>アプリケーション、ドライバで [なし、アプリケーションによる管理] 設定を選択した場合</li> </ul>
LPR FTP Publisher Select Publisher Express	ファイル タイプを変換せずに文書がプリンタに送信されます。コントローラは以下のファイル タイプを認識します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>HP-GL - .hp, .hpg, .hpgl</li> <li>HP-GL/2 - .hp2</li> <li>HP RTL - .rtl</li> <li>CALS - .cls, .cal</li> <li>NIRS - .nir, .nif</li> <li>CalComp - .cc, .906, .907, .951, .crf, .pci</li> <li>Edmics (C4) - .c4</li> <li>TIFF - .tif</li> <li>PostScript 3 - .ps (licensed)</li> <li>PDF - .pdf (licensed)</li> <li>JPEG - .jpg, .jpeg</li> </ul>	ファイルにカラー プロファイルが埋め込まれていない場合、ジョブのファイル タイプにより、WebTools Express の 4 つのファイル タイプ パスのいずれかのデフォルト設定が使用されます。WebTools Express を使用して、プリント ジョブのカラー 設定を調節します。 <p> <b>メモ</b> Publisher Select を使用する場合、Publisher Select でカラー マネジメント 設定を定義します。</p>

## カラー設定の優先順位

ColorWave 3800 で文書をカラーでプリントする場合、ファイルで定義されたカラー情報は、文書作成から文書生産のプロセスにおける異なる手順で設定された可能性があります。最適な出力結果を得るために、プリントする文書のカラー情報の定義方法について留意する必要があります。

以下で説明するさまざまな手順で作成可能なカラー情報には、それぞれ異なる優先順位があります。カラーでプリントする文書を作成する場合、下の表では、カラー設定の優先順位についても説明されています。

カラー プリントを作成するプロセスの段階	優先順位
<p>ドキュメント カラー設定は既に文書に埋め込まれています (PDF ファイルにのみ該当)。</p>	1
<p>アプリケーション カラー設定は、文書の作成または編集に使用するアプリケーションで定義できます。アプリケーションで次のパラメータを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カラーまたはモノクロ設定。</li> <li>• 入力プロファイルの指定、RGB または CMYK 入力データ。 (<a href="#">入力プロファイル/標準化とは？ (156 ページ)</a> を参照)</li> <li>• カラー レンダリングの定義。 (<a href="#">カラー レンダリングの定義 (160 ページ)</a> を参照)</li> </ul>	2
<p>Publisher Select カラー設定は、Publisher Select で定義できます。Publisher Select で次のパラメータを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カラーまたはモノクロ設定。</li> <li>• 入力プロファイルの指定、RGB または CMYK 入力データ。 (<a href="#">入力プロファイル/標準化とは？ (156 ページ)</a> を参照)</li> <li>• カラー レンダリングの定義。 (<a href="#">カラー レンダリングの定義 (160 ページ)</a> を参照)</li> </ul>	
<p>プリンタ ドライバ Driver Select for Microsoft® Windows® は、カラー マネジメント設定を提供します。ドライバで目的のカラー マネジメント設定を選択するか、プリンタのデフォルト設定を使用するよう指定できます。カラー設定が、プロセスの別の段階で設定されるカラー設定と矛盾しないよう留意してください。</p>	3
<p>文書のファイル タイプに応じて、WebTools Express はカラー設定に 4 つのデフォルト パスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [HP-GL/2 カラー マネジメント設定] <a href="#">HP-GL、HP-GL/2 および HP-RTL ファイルのカラー マネジメント設定 (170 ページ)</a></li> <li>• [TIFF および JPEG カラー マネジメント設定] <a href="#">TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (RGB 入力) (171 ページ)</a> <a href="#">TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (CMYK 入力) (172 ページ)</a></li> <li>• [PostScript カラー マネジメント設定] <a href="#">PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力) (173 ページ)</a> <a href="#">PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力) (174 ページ)</a></li> <li>• [PDF カラー マネジメント設定] <a href="#">PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力) (175 ページ)</a> <a href="#">PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力) (176 ページ)</a> <a href="#">PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (グレイ入力) (177 ページ)</a></li> </ul> <p>これらの設定は、コントローラがプリントするファイルのカラー設定を認識または検出できない場合に適用されます。</p>	4





## メモ

プリント ジョブを開始する前に、各段階で指定されたカラー マネジメント設定を調整することをお勧めします。文書の色空間およびプリント用の設定は一致してはなりません。したがって、プロセスの複数の段階でカラー設定を指定する場合、各段階のカラー設定が矛盾しないことを確認してはなりません。

## HP-GL、HP-GL/2 および HP-RTL ファイルのカラー マネジメント設定

デフォルト設定は強調表示されています。

イン プ ット プ ロ フ ア イ ル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
RGB	<ul style="list-style-type: none"><li>• [sRGB]</li><li>• [Adobe RGB]</li></ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"><li>• [知覚的 (フォト)]</li><li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li><li>• [絶対カラーメトリック]</li><li>• [相対カラーメトリック]</li></ul>
		[なし、アプリケーションによる管理]	

## TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (RGB 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
RGB	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [sRGB]</li> <li>• [Adobe RGB]</li> </ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [知覚的 (フォト)]</li> <li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li> <li>• [絶対カラーメトリック]</li> <li>• [相対カラーメトリック]</li> </ul>
		[なし、アプリケーションによる管理]	

## TIFF および JPEG ファイルのカラー マネジメント設定 (CMYK 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

イン プ ット ブ ロ フ ア イ ル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
CMYK	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [Euroscale coated]</li> <li>• [Euroscale uncoated]</li> <li>• [US Web coated (SWOP)]</li> <li>• [US Web uncoated]</li> <li>• <b>[ISO Coated v2 300% (ECI)]</b></li> <li>• [ISO Coated v2 (ECI)]</li> <li>• [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)]</li> <li>• [Uncoated FOGRA29]</li> <li>• [GRACoL2006 Coated1v2]</li> <li>• [SWOP2006 Coated3v2]</li> <li>• [SWOP2006 Coated5v2]</li> </ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [知覚的 (フォト)]</li> <li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li> <li>• [絶対カラーメトリック]</li> <li>• [相対カラーメトリック]</li> </ul>
		[なし、アプリケーションによる管理]	

## PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプ ット プロ ファイル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
<b>RGB</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [sRGB]</li> <li>• [Adobe RGB]</li> </ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [知覚的 (フォト)]</li> <li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li> <li>• [絶対カラーメトリック]</li> <li>• [相対カラーメトリック]</li> </ul>
		[なし、アプリケーションによる管理]	

## PostScript ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
<b>CMYK</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [Euroscale coated]</li> <li>• [Euroscale uncoated]</li> <li>• [US Web coated (SWOP)]</li> <li>• [US Web uncoated]</li> <li>• <b>[ISO Coated v2 300% (ECI)]</b></li> <li>• [ISO Coated v2 (ECI)]</li> <li>• [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)]</li> <li>• [Uncoated FOGRA29]</li> <li>• [GRACoL2006 Coated1v2]</li> <li>• [SWOP2006 Coated3v2]</li> <li>• [SWOP2006 Coated5v2]</li> </ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[知覚的 (フォト)]</b></li> <li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li> <li>• [絶対カラーメトリック]</li> <li>• [相対カラーメトリック]</li> </ul>
		[なし、アプリケーションによる管理]	

## PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (RGB 入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	カラー レンダリング
		[CAD カラー]	
RGB	<ul style="list-style-type: none"><li>• [sRGB]</li><li>• [Adobe RGB]</li></ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"><li>• [知覚的 (フォト)]</li><li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li><li>• [絶対カラーメトリック]</li><li>• [相対カラーメトリック]</li></ul>
		[なし、アプリケーションによる管理]	

## PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (CMYK 入力)


デフォルト設定は強調表示されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	レンダリング イントント
		[CAD カラー]	
CMYK	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [Euroscale coated]</li> <li>• [Euroscale uncoated]</li> <li>• [US Web coated (SWOP)]</li> <li>• [US Web uncoated]</li> <li>• <b>[ISO Coated v2 300% (ECI)]</b></li> <li>• [ISO Coated v2 (ECI)]</li> <li>• [PSO Uncoated ISO12647 (ECI)]</li> <li>• [Uncoated FOGRA29]</li> <li>• [GRACoL2006 Coated1v2]</li> <li>• [SWOP2006 Coated3v2]</li> <li>• [SWOP2006 Coated5v2]</li> </ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[知覚的 (フォト)]</b></li> <li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li> <li>• [絶対カラーメトリック]</li> <li>• [相対カラーメトリック]</li> </ul>
		[なし、アプリケーションによる管理]	



## PDF ファイル用のカラー マネジメント設定 (グレイ入力)

デフォルト設定は強調表示されています。

インプットプロファイル	標準化	[カラー フィールド]	レンダリング イントント
		[CAD カラー]	
グレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [なし (プロファイルが使用されません)]</li> <li>• [sGray]</li> <li>• <b>[Adobe Gray 20%]</b></li> </ul>	[グラフィックス カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[知覚的 (フォト)]</b></li> <li>• [彩度 (ビジネス グラフィックス)]</li> <li>• [絶対カラーメトリック]</li> <li>• [相対カラーメトリック]</li> </ul> <p> メモ カラーレンダリングは、標準化 [sGray] および [Adobe Gray 20%] のみ有効です。</p>
		[なし、アプリケーションによる管理]	

## 用紙の管理

### 用紙プロファイルとは？

#### 定義

用紙プロファイルは Media Profile (OMP) ファイルとも呼ばれます。用紙プロファイルには、システムで使用可能な用紙の種類ごとに最適なプリント結果を得るための多数の事前設定値が含まれます。システムには、インストール後にすでにデフォルトでいくつかの用紙プロファイルが入っていますが、用紙の製造方法の変更によって、時間とともにプロファイルが変更されることがあります。最寄りの代理店にお問い合わせのうえ、新しいプロファイルをダウンロードできます。

お使いの ColorWave 3800 で設定したい用紙の種類が新しく使用可能になると、対応する用紙プロファイルをインストールできます。

また、カスタムの用紙の種類を作成できます。この結果、新しい用紙の種類をキャリブレーションした後にカスタムの用紙プロファイルが生成されます。

#### 属性

用紙の種類ごとに、用紙プロファイルでは多数の設定が最適化されます。

- カラーの混合 (システム設定、変更できません)
- 最適な用紙の取り扱いおよび可用性のための設定

## カスタムの用紙種類の作成

### はじめに

お使いのシステムでカスタムの用紙を使用する場合、まず WebTools Express でカスタムの用紙の種類を作成する必要があります。

### 手順

1. [用紙] - [用紙タイプ] タブ を選択します。
2. [用紙の作成] をクリックします。
3. ユーザーが認識可能な名前を入力します。この名前は、WebTools Express と操作パネルに表示されます。
4. 新しい用紙の [カテゴリ] を選択します。  
新しい用紙の種類に対して、用紙プロパティが自動的に選択されます。適切な用紙カテゴリの選択については、「[適切な用紙カテゴリの選択 \(180 ページ\)](#)」を参照してください。
5. [詳細] を選択します。
6. 認識可能な [用紙タイプ ID] を入力します。  
この ID は OJT チケットに表示されるので、用紙の種類 ID と用紙名を合わせることをお勧めします。
7. 必要に応じて、デフォルトの用紙プロパティを変更します (上級ユーザの場合のみ)。



#### 重要

デフォルトの用紙プロパティの変更は自己責任です。プリント品質に影響が生じたり、紙詰まりを招く可能性があるので注意してください。詳細については、「[用紙プロパティの調整 \(181 ページ\)](#)」を参照してください。

8. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

### 結果

[用紙] - [用紙タイプ] タブに、新しいカスタムの用紙の種類が表示されます。

ユーザ パネルで用紙の種類を使用可能にするには、この用紙の種類を有効にする必要があります。 [用紙プロファイルを設定する \(183 ページ\)](#) を参照してください。

## 適切な用紙カテゴリの選択

### はじめに

カスタム用の紙の種類を作成する場合、適切な用紙カテゴリを選択することが重要です。特定の用紙カテゴリに属する用紙プロパティが自動的に選択されます。詳細については、「[用紙プロパティの調整 \(181 ページ\)](#)」を参照してください。

### 用紙カテゴリ

用紙ボックスのステッカーに記載の情報に基づいて、適切な用紙カテゴリを選択します。決定しづらい場合は、概要を参照して適切なカテゴリを選択します。

用紙カテゴリ	特徴
用紙	<ul style="list-style-type: none"><li>手で引き裂くことができる。</li><li>湿気に弱い。一度水に濡れると、用紙が変形して戻らない。</li></ul>
フィルム	<ul style="list-style-type: none"><li>手で引き裂きにくい。</li><li>表面が滑らか。</li></ul>
キャンバス	<ul style="list-style-type: none"><li>手で引き裂くことができない。</li><li>表面がざらざら。</li><li>用紙の重量が重い。</li></ul>
布	<ul style="list-style-type: none"><li>手で引き裂くことができない。</li><li>剛性が低い。</li><li>しなやかである。</li></ul>

## 用紙プロパティの調整

### はじめに

カスタムの用紙の種類を作成し、適切な用紙カテゴリを選択すると、用紙プロパティが自動的に選択されます。これらの用紙プロパティは、選択された用紙カテゴリに最適化された設定です。

場合によって、用紙プロパティを調整することができます。概要を参照して、適宜プロパティを変更します。



#### 重要

デフォルトの用紙プロパティの変更は自己責任です。プリント品質に影響が生じたり、紙詰まりを招く可能性があるので注意してください。

### 用紙プロパティ

設定	値
[キャリッジの上昇]	<p>デフォルト値は「[自動]」です。次の場合は、[最大]を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用紙が接触する。</li> <li>用紙の端が波打っている。</li> <li>用紙の応力または高いインク カバレッジにより、用紙の端がカールしている (トランスペアレントな用紙など)。</li> <li>用紙の種類が本来平らでない。確認するには、大きなシート (1 m<sup>2</sup>) をテーブルの上に平らに置きます (Tyvek など)。</li> <li>しわにより、用紙が接触する。特殊な用紙 (ビニールやフィルムなど) または湿度が高い状態 (紙や粘着用紙など) によるしわ。</li> </ul>
[内蔵型ナイフと互換性あり]	<p>用紙をカットできる場合は、[はい] を選択します。次の用紙をカットできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手で引き裂くことができる用紙</li> <li>普通紙 60 - 120 g/m<sup>2</sup></li> </ul> <p>用紙をカットできない場合は、[いいえ] を選択します。次の用紙はカットできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>布</li> <li>キャンバス</li> </ul> <p>高重量の紙、厚みのあるフィルム、厚みのある粘着用紙はカットしづらいです。選択を間違え、用紙をカットできない場合は、ユーザ パネルにエラー メッセージが表示されます。</p>
[折り曲げ装置と互換性あり]	<p>フォルダーで使用可能な用紙の場合は、[はい] を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通紙 60 - 120 g/m<sup>2</sup></li> <li>ベラム (品質は保証されません)</li> <li>トランスルーセント (品質は保証されません)</li> <li>Tyvek (品質は保証されません)</li> </ul>

設定	値
[上部排紙トレイの出力に適合]	<p>ほとんどの用紙は上部排紙トレイで使用できます。パフォーマンスは、用紙の種類、用紙の幅、または環境条件によります。</p> <p>上部排紙トレイで用紙を使用できない場合は、[いいえ]を選択します。次の用紙は使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 2 インチ コア ロールの用紙。</li><li>• 布などの非常にしなやかな用紙。</li><li>• キャンバスなどの非常に硬い紙や厚みのある用紙。</li><li>• 粘着性のコーティングが施された用紙。</li><li>• カットできない用紙。</li><li>• トナーの結晶性が高い用紙は出力時に跡が示されます。</li></ul>
[真空吸着]	<p>真空状態により、プリント面に用紙が吸引され、確実なカットが保証されます。次の 4 つの値のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [超低] 非常に薄く軽量の用紙。</li><li>• [低] フィルムや薄い布。</li><li>• [中] 普通紙。</li><li>• [高] 厚く、硬い、高重量の用紙。</li></ul>
[用紙タイプ ID]	<p>用紙の種類 ID を入力します。この ID は OJT チケットに表示されるので、用紙の種類 ID と用紙名を合わせることをお勧めします。</p>

## 用紙プロファイルを設定する

### はじめに

WebTools Express では、プリンタ上の用紙プロファイルを設定できます。

### 手順

1. [用紙] - [用紙タイプ] タブを選択して、ColorWave 3800 プリント システムで使用可能な用紙プロファイルの概要を表示します。
2. 用紙の種類をクリックし、用紙情報を確認します。
3. 用紙の種類のチェック ボックスをチェックし、[有効化] ボタンをクリックして、操作パネルおよびプリント ジョブ送信アプリケーションで用紙プロファイルを使用できるようにします。用紙プロファイルを [無効化] にした場合、操作パネルおよびプリント ジョブ送信アプリケーションでは使用できなくなります。
4. 新しい用紙プロファイルをインストールする必要がある場合、[インストール] をクリックします。



メモ

新しい用紙プロファイルを ColorWave 3800 内蔵コントローラにインストールする場合は、事前にダウンロードしておく必要があります。新しい用紙プロファイルについては、最寄りの代理店にお問い合わせください。

5. 不要になった用紙プロファイルを削除するには、[削除] をクリックします。



メモ

この操作は元に戻せません

## 用紙プロファイルをインストールする

### 使用する場合

新しい用紙プロファイルまたは更新された用紙プロファイルをダウンロードした後、この用紙プロファイルを ColorWave 3800 内蔵コントローラにインストールする必要があります。

### 手順

1. [用紙] - [用紙タイプ] タブを選択します。
2. メディア プロファイルを更新するには、更新するメディア プロファイルのチェック ボックスをチェックします。
3. [インストール] ボタンをクリックします。
4. 「参照」をクリックして、ワークステーション上の該当するファイルを参照します。
5. 用紙プロファイルを選択して「開く」をクリックします。
6. 新規または更新した用紙プロファイルのチェック ボックスをチェックし、[有効化] ボタンをクリックして、操作パネルで用紙プロファイルを使用できるようにします。

### 結果

送信済みのジョブに与える影響について通知する警告メッセージが表示されます。ファイルは、ColorWave 3800 の内蔵コントローラ上に保存されます。新しいファイルは、「[用紙タイプ]」タブの用紙プロファイル リストに表示されます。



#### メモ

古いバージョンのファイルがコントローラ上でアクティブだった場合、古いファイルが新しいファイルで上書きされます。



---

## カスタムの用紙サイズの作成

### はじめに

定型ロール サイズ以外のロール幅を持つカスタム用紙を使用する場合は、WebTools Express でシステムにカスタム用紙サイズを作成することができます。システムはこのカスタムの用紙サイズを使用して、カスタムの用紙ロールの取り付け時にロール幅を自動的に検出します。

### 手順

1. [用紙] - [用紙サイズ] タブを開きます。
2. [サイズの作成] をクリックします。
3. ユーザーが認識可能な名前を入力します。この名前は、WebTools Express と操作パネルに表示されます。
4. 目的の用紙サイズのプロパティを入力します。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

## 用紙サイズの構成

### はじめに

プリンタには様々な用紙サイズを取り付けることができます。WebTools Express では、用紙サイズを示して、プリンタが認識できるようにすることができます。

カスタムの用紙サイズを作成することも可能です。

### 手順

1. [用紙] - [用紙サイズ] タブを開きます。
2. [サポートされる用紙サイズ] に、サポートされている用紙サイズの一覧が表示されます。
3. 用紙サイズを有効または無効にして、環境に合わせてシステムを微調整することができます。



メモ

現在プリンタに取り付けられている用紙サイズを無効にすることはできません。

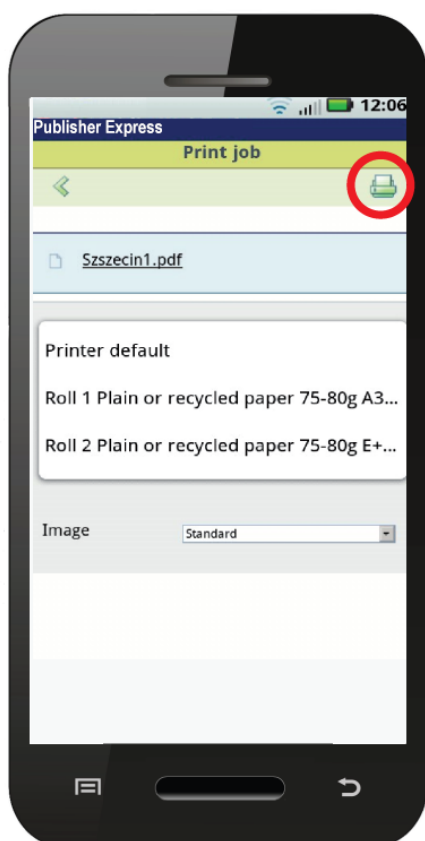
# モバイル プリントおよびスキャンの構成

## Publisher Express

### はじめに

Publisher Express では以下の機能が提供されます:

- モバイル デバイスからプリンタへのプリント可能ファイルの送信
- プリンタからモバイル デバイスへのスキャン済みファイルの保存
- プリンタ上のスキャン済みファイルの削除



### 要件

Publisher Express には、モバイル デバイスのブラウザからアクセスすることができます。

動作要件は以下の通りです:

- プリンタのネットワークに接続された Wi-Fi インフラが必要です
- システムへのアクセスおよび参照が可能な対応モバイル デバイスが必要です
- 対応モバイル OS が必要です
- 対応モバイル Web ブラウザが必要です

オプション:

- 保存されたファイルをプリントするにはモバイル ファイル エクスプローラ アプリケーションが必要です。
- QR コードをスキャンするためのモバイル アプリケーションが必要です

### 機能を使用するには

Publisher Express を使用する場合:

- ネットワークおよび Wifi インフラの構成はシステム管理者が行います。
- システム管理者は、構成情報をプリンタ コントローラ インターフェースに入力します。この情報を使用して QR カードを生成およびプリントすることができます。QR カードには Publisher Express への接続方法に関する情報が含まれる QR コードが含まれます。
- ユーザーは、モバイル デバイスで Wifi 機能を有効にして、ネットワークに接続します。ユーザーは、デバイスの Web ブラウザで Publisher Express を開きます。
- Publisher Express を使用して、ユーザーはモバイル デバイスからのファイルをプリントしたり、スキャン済みドキュメントを保存したりできます。

### インフラおよびモバイル デバイスの互換性に関する最新情報の入手

接続要件に関する情報については、<http://downloads.cpp.canon> 製品ページの「PlotWave-ColorWave Systems Connectivity」マニュアルを参照してください。モバイル接続に関する詳細情報については、<http://www.canon.com/support/> をご覧ください。

## モバイル接続用の WebTools Express 設定の指定

### はじめに

ユーザーが Publisher Express に簡単にアクセスできるようにするには、最初に設定を構成する必要があります。入力された情報に基づいて QR カードを作成し、簡単にアクセスできるようにします。



#### メモ

- この手順には、キー オペレータまたはパワーユーザーとしてログインする必要があります。
- Wi-Fi ネットワークが構成され、ネットワークにプリンタが接続されていることを確認します。

### 手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [モバイル] セクションの画面右上隅の [編集] をクリックします。
3. 設定を入力します。この情報は QR カードにもプリントされます:



#### メモ

IT ポリシーに従って情報を入力します。詳細については、システム管理者にご連絡ください。

#### WebTools Express のモバイル セクション

設定	アクション
[QRC シート上の Wi-Fi 名]	Wifi ネットワークの名前を入力します。 QR カードに名前が表示されます。
[QRC シート上の Wi-Fi キー]	必要に応じて、Wifi ネットワークのパスワードを入力します。 QR カードにキーが表示されます。

4. [OK] をクリックして、設定を確定します。



#### メモ

プリンタが Windows ドメイン ネットワーク上にある場合は、WebTools Express にドメイン名を入力します:

- [設定] - [接続] タブを開きます
- [ネットワーク アダプタ] セクションに移動します。 - [プライマリ DNS サフィックス] フィールドにドメイン名を入力します。

## クイックレスポンスカードを生成します

### はじめに

ユーザーがモバイル デバイスからプリンタに簡単にアクセスできるようにするため、QR (クイック レスポンス) カードを作成することができます。QR カードには、モバイル デバイスとプリンタの間で接続を確立するために必要な情報がすべて含まれます。カードには、すべての設定と生成された固有の QR コードが含まれます。プリンタの URL が表示されるため、モバイル デバイスの Web ブラウザから Publisher Express にアクセスすることもできます。

QR カードを個別のカードまたはポスターにプリントして、プリンタへの簡単なアクセスを提供します。

### 始める前に

最初に、WebTools Express で接続情報用の設定を編集する必要があります。システム管理者またはパワーユーザーのみがこの情報を編集することができます。



#### メモ

下の図は一例です。お使いのプリンタ用にこの QR カードをプリントして使用することはできません。設定に基づき、プリンタによって、ユーザー固有の QR コードを含む QR カードが生成されます。



#### How to use Publisher Express

1. Connect your mobile device to the Wifi
2. Enter the URL or scan the QR code

Print

Upload the file \*

Scan

Scan to Smart Inbox

\*The web browser on your mobile device must support local uploading.

[1] QR カードの例

### 手順

1. [サポート] - [バージョン情報] タブを開きます。
2. [ダウンロード] セクションで [Quick Response Card] をクリックします。  
新しいウィンドウが開きます。QR カードが自動的に生成され、ウィンドウに表示されます。
3. QR カードをプリントします。

## モバイル デバイスを Publisher Express に接続する

### 接続する前に:

- システムが構成されていることを確認します。
- QR カードを生成していることを確認します。
- モバイル デバイスで Wi-Fi 接続が有効になっていることを確認します。



#### メモ

- iOS モバイル デバイスの場合、より拡張された WebTools Express にアクセスするには、iCab Mobile ブラウザにプリンタの IP アドレスを入力する必要があります。
- 互換性に関する最新情報については、Canon Web サイトの [サポート] タブをご覧ください。
- モバイル デバイスで接続に失敗し、接続を確立できない場合は、システム管理者にご連絡ください。

### Publisher Express への接続

Publisher Express には 3 通りの方法で接続できます。以下の手順に従って接続します。

接続方法:	ステップ
QR コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• モバイル デバイスで QR コード スキャン アプリケーションを開きます。</li> <li>• QR カードに表示された QR コードをスキャンします。モバイル デバイスの Web ブラウザで Publisher Express が開きます。</li> <li>• 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。</li> </ul>
URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>• モバイル デバイスの Web ブラウザを開きます。</li> <li>• QR カードに表示されたプリンタの URL を入力します。 (例) 「http://hostname(.com)/v2/MobileWebTools」</li> <li>• 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。</li> </ul>
IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• モバイル デバイスの Web ブラウザを開きます。</li> <li>• プリンタの IP アドレスを入力します。IP アドレスはシステム管理者から入手します。</li> <li>• 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。</li> </ul>
	<p>モバイル デバイスの Web ブラウザで Publisher Express が開きます。このツールを使用してモバイル デバイスからプリントしたり、スキャン済みファイルをモバイル デバイスに保存できるようになります。</p>





## 第4章

### プリント システムの使用

# 原稿を挿入する方法

## はじめに

コピーまたはスキャンする際は、原稿をプリンタに正しく挿入することが重要です。



### 重要

- スキャナでは、厚さが 0.8 mm 以上の原稿、または硬質の原稿をスキャンすることはできません。
- スキャナに引き込まれた原稿をプリンタから引き戻さないでください。原稿をリリースするには、操作パネルの停止ボタンを押し、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

## 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。



2. スキャナが原稿を引きこみます。

原稿の幅は自動的に検出され、Smart Access に表示されます。ライブ スキャン表示には、スキャン処理が表示されます。

## 結果

WebTools Express で選択された [原稿リリース モード] に応じて、スキャン手順の実行後に、スキャナによって原稿が保持またはリリースされます。スキャナから文書をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

原稿がリリースされると、次の原稿を挿入することができます。

# 原稿を自動挿入するには

## はじめに

自動挿入機能を有効にした場合は、文書をスキャンするたびにグリーン ボタンを使用する必要はありません。この方法によって、生産性が向上します。スキャナが自動的にアクティブになり、スキャン手順の完了後、原稿がリリースされます。



### メモ

- プリント タイルを選択する場合、あるいは指定された時間の経過後に操作パネルがホーム画面に戻っている場合は、自動挿入機能が無効になります。
- 原稿を挿入する前に、コピーまたはスキャン ジョブの設定を変更することができます。

## 手順

1. 最初の原稿を上向きで、原稿フィード テーブルの中央に位置合わせして挿入します。
2. スキャナが原稿を引きこみます。
3. グリーン ボタンを 2 回タップします。グリーン ボタンにメッセージ [自動] が表示されます。
4. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。
5. 操作パネルにメッセージ [原稿の挿入] が表示されたら、次の原稿を挿入できます。
6. 自動挿入機能を無効にするには、グリーン ボタンをタップします。グリーン ボタンから [自動] が消えます。

## 「ロール ツー ロール」モードでの用紙のカット方法

### はじめに

システムが「ロール ツー ロール」モードの場合、ジョブが完了した後に用紙をカットすることができます。

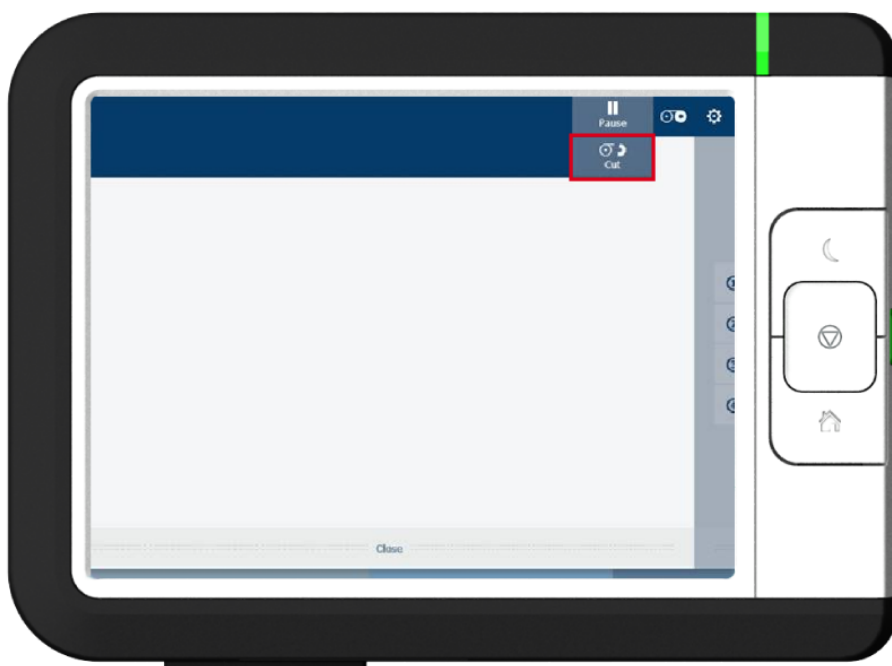


#### メモ

用紙を自動的にカットするには、用紙のプロパティ「[内蔵型ナイフと互換性あり](内蔵のナイフとの互換性)」が「[はい] (あり)」である必要があります。

### 手順

1. 操作パネルの動的なバーをタップします。  
キューが開き、カットのアイコンが動的なバーに表示されます。



2. 動的なバーのカットのアイコンをタップして、用紙を自動的にカットします。

### 結果

カスタム用紙では、手動でカットすることもできます。詳細については、「[手動でのカット \(292 ページ\)](#)」を参照してください。

# プリントジョブ - ジョブ送信ツール

## Publisher Express を使用してプリントジョブを送信する

### はじめに

Publisher Express は、WebTools Express に統合されているジョブ サブミッタです。



メモ

Publisher Express を使用してプリントジョブを送信する場合、ジョブの最大サイズは 2 GB となります。



### 手順

手順	アクション	注意事項
1	[ジョブ] - タブを開きます。	このタブには次の項目が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Publisher Express セクション</li> <li>• ジョブおよびスキャンのキューで現在使用可能なすべてのジョブの概要です。</li> <li>• 現在 1 つまたは複数のジョブが含まれているすべての Smart Inboxes の概要です。</li> </ul>
2	Publisher Express セクションで [新しいジョブの作成] をクリックします。	新しいウィンドウが開きます。

手順	アクション	注意事項
3	[ファイルの追加] をクリックし、[参照...] ボタンを使用して、プリントするファイルを選択します。 この操作を繰り返し、必要な数のファイルをジョブに追加します。	次のデータ フォーマットの文書のみをプリントできます。他のフォーマットを使用する場合、ファイルはプリンタに送信できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• HP-GL - .hp, .hpg, .hpgl</li> <li>• HP-GL/2 - .hp2</li> <li>• HP RTL - .rtl</li> <li>• CALS - .cls, .cal</li> <li>• NIRS - .nir, .nif</li> <li>• CalComp - .cc, .906, .907, .951, .crf, .pci</li> <li>• Edmics (C4) - .c4</li> <li>• TIFF - .tif</li> <li>• PostScript 3 - .ps (licensed)</li> <li>• PDF - .pdf (licensed)</li> <li>• JPEG - .jpg, .jpeg</li> </ul>
4	[事前設定] を選択し、必要に応じて [設定] を変更します。	Publisher Express で変更されたジョブ設定は、WebTools Express で定義されたデフォルト設定よりも常に優先されます。
5	[ワークフロー] セクションで、プリント先となるスマート インボックスの名前を入力して [OK] をクリックし、スマート インボックスにプリント ジョブを送信します。	新しい Smart Inbox 名を入力すると、簡単に新しい Smart Inbox を作成することができます。

## Smart Inbox を使用してプリント ジョブを送信する

### はじめに

WebTools Express 内の Smart Inbox にジョブを追加した後、Smart Inbox 経由でこのジョブをプリントできます。



#### メモ

Smart Inbox を作成する方法については、[Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(78 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

1. WebTools Express で [ジョブ] タブを選択します。
2. Smart Inbox に対して「開く」をクリックします。
3. 空白のフィールドをクリックして、正しい Smart Inbox をクリックします。
4. ジョブを選択して、[プリント] をクリックします。ジョブがキューにコピーされます。

## Publisher Select 3 を使用してプリント ジョブを送信する

### はじめに

Publisher Select 3 は、ColorWave 3800 用のジョブを作成、プレビュー、プリントおよび管理するためのジョブ送信アプリケーションです。



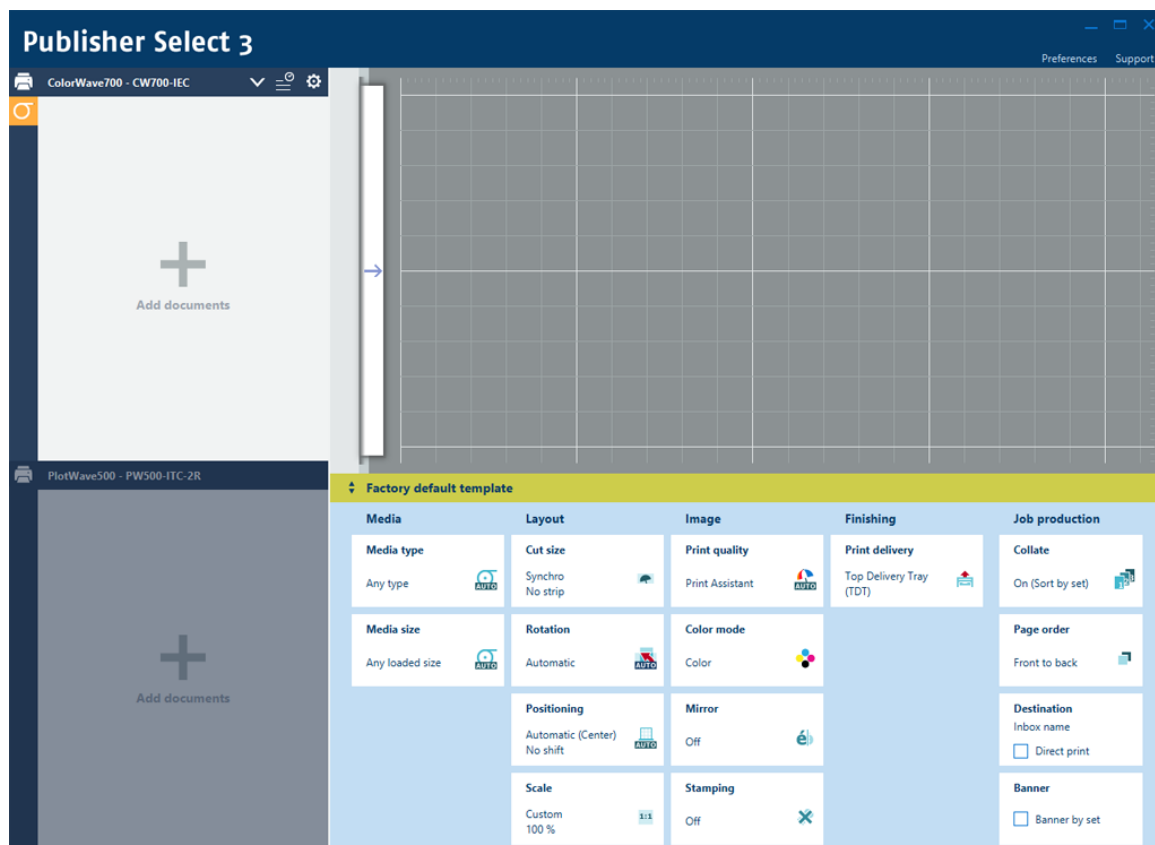
#### メモ

製品ページの下の "<http://downloads.cpp.canon>" で Publisher Select 3 ソフトウェアをダウンロードできます。ここでは、詳細情報に関する操作ガイドもダウンロードできます。

### Publisher Select 3

Publisher Select 3 は次の作業を行う際に使用します。

- プリンタへの接続。
- アプリケーション設定をプリファレンスに設定。
- プリンタで利用可能な用紙とインクを確認。
- ジョブの作成。
- ジョブをプリンタに送信。



### Publisher Select 3 を使用してプリント ジョブを送信する

1. Publisher Select 3 を起動してプリンタに接続します。  
ホーム画面が開きます。
2. 左の画面で、利用可能なインクおよび用紙のプリンタ ステータスを確認します。
3. テンプレートを選択するか、またはカスタム テンプレートを作成して選択します。
4. ジョブに文書を追加します。



5. ジョブの文書を選択し、プリント設定を確認または調整できます。
6. プリント プレビューを確認します。
7. 緑色のプリント ボタンをクリックして、ジョブをプリントします。
8. 送信済みジョブ リストで送信済みジョブを追跡し、管理します。

## Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する

### はじめに

Driver Select for Microsoft® Windows® は、ご使用の Canon プリンタ用のジョブを作成、プレビュー、プリントおよび管理できる、混合ラスタ-ベクタ HP-GL/2 プリンタ ドライバです。



#### メモ

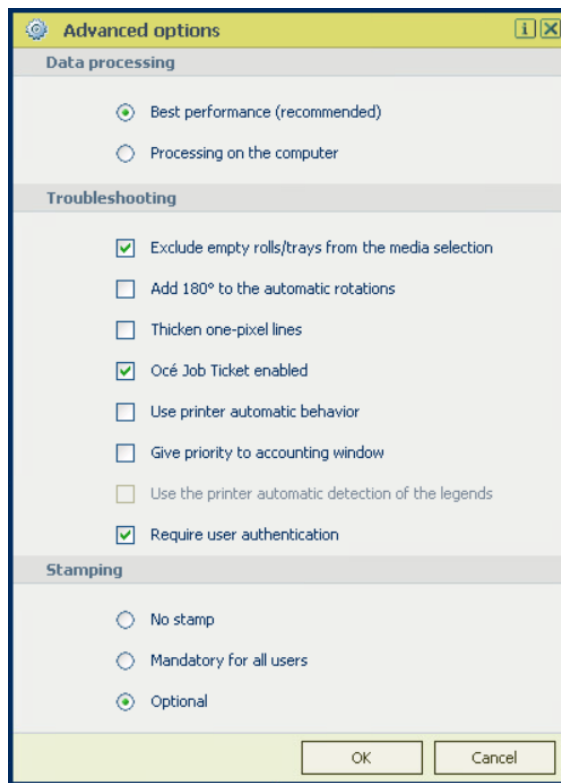
Driver Select for Microsoft® Windows® の詳細については、"<http://downloads.cpp.canon>"に移動し、ご使用の製品を選択してください。



### 手順

1. プリントするファイルをソース アプリケーションで開きます。  
AutoCAD® またはその他の任意の Windows アプリケーション
2. アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。
3. [プリント] ダイアログ ボックスの [プリンタ] エリアでプリンタの製品名を選択します。
4. [プロパティ] をクリックします。  
WebTools Express でデフォルトのプリント ジョブ設定を定義することができます。

5. 画面の右上角の [オプション] メニューで、[詳細オプション] を選択します。ジョブ設定のデフォルト値を無効にするには、[トラブルシューティング] セクションの [Océ Job Ticket 有効] ボックスをチェックします。



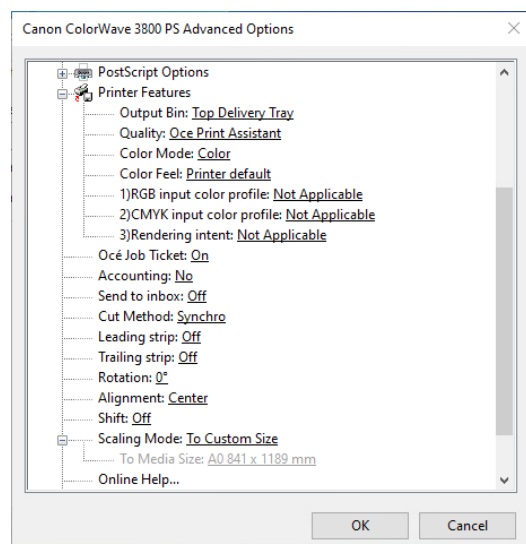
6. プリンタ ドライバのすべてのタイルを確認し、必要に応じて設定を変更します。
7. [Smart Inbox] またはプリント キューにプリント ジョブを送信するには、[OK] をクリックします。

## Driver Express for Adobe® Postscript® 3™を使用してプリント ジョブを送信する

### はじめに

Canon が提供する Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ を使用し、プリント ジョブをご使用のプリンタに送信することができます。

プリンタで PostScript ファイルをプリントするには、別途ライセンスが必要です。



### 手順

1. プリントするファイルをソース アプリケーションで開きます。
2. アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。
3. [プリント] ダイアログ ボックスの [プリンタ] エリアでプリンタの製品名を選択します。
4. [プロパティ] および [詳細] をクリックします。  
「プロパティ」を選択して、プリント ジョブの設定を行うことができます。
5. ジョブ設定のデフォルト値を無効にするには、Job Ticket を有効にします。
6. 必要に応じてプリンタ機能の設定を確認および変更します。
7. Smart Inbox またはプリント キューにプリント ジョブを送信するには、[OK] をクリックします。

## Publisher Mobile を使用してプリントジョブを送信する

### はじめに

Publisher Mobile は、iPhone、iPad、または Android デバイス経由でシステムから簡単にプロットすることができるようになるアプリケーションです。

すべての TCS、TDS、ColorWave および PlotWave のシステムがサポートされます。ユーザーは、すべての PDF\*、PLT (HPGL1/2)、TIFF、JPEG および DWF\* をプロットすることができます。

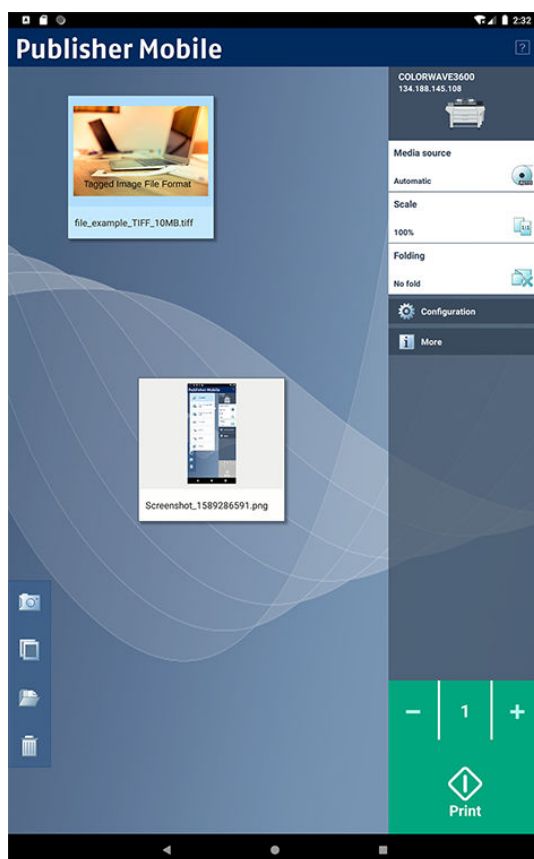


#### メモ

\* お使いのシステムやアクティブなライセンスによって、サポートされるファイルの種類は異なる可能性があります。


### 始める前に

Android デバイスの場合は Play Store から、iOS デバイスの場合は App Store から Publisher Mobile をダウンロードします。



### 手順

Publisher Mobile にプリンタを追加する

手順	アクション	注意事項
1	モバイル デバイスで Publisher Mobile を開きます。	
2	プリンタ ボタンをタップします。	Publisher Mobile により、ネットワーク内で使用可能な互換性のあるプリンタが検出されます。
3	「接続」アイコンで示される検出されたプリンタがプリンタ リストに追加されます。	プリンタが検出されない場合は手動で追加することができます。 「追加」プリンタ ボタンをタップします。
4	プリンタ リストから、プリンタを選択します。	
5	プリンタ名の横の「設定」アイコンをタップします。	プリンタ設定ウィンドウが開きます。
6	プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力する	
7	プリンタについて設定を追加します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前の入力</li> <li>• プリンタ モデルのチェックまたは定義</li> <li>• ロール数の定義</li> <li>• 折り機の有無の指定</li> </ul>
8	設定を保存します。 プリンタが追加されます。	 <p>メモ WebTools Express を開くことも可能です。設定のウィンドウでハイパーリンクをタップします。これは以下の場合に便利です。 -プリンタ ステータスを確認する -アカウント情報を入力する - Smart Inbox を表示する -エラーが発生しているかどうかを表示する</p>

Publisher Mobile からプリント ジョブを送信する

手順	アクション	注意事項
1	Publisher Mobile でプリントするファイルを開きます。	
2	ご使用のプリンタを選択します。	
3	必要なプリント設定を定義します。	選択可能な主な設定: <ul style="list-style-type: none"> <li>• 用紙ソース</li> <li>• スケール</li> <li>• 折り</li> </ul>
4	コピー部数を表示します。	
5	グリーン ボタンをタップする。	ジョブがプリンタに送信されます。

## モバイル デバイスからのプリント

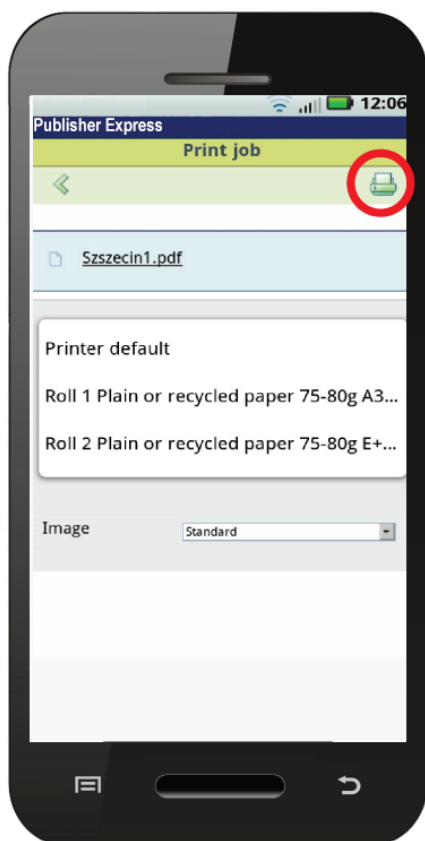
### はじめに

Publisher Express にアクセスできる場合、モバイル デバイスからのファイルをプリンタでプリントすることができます。



#### メモ

- モバイル デバイスのファイル レポジトリを参照することができます。必要に応じて、ファイル エクスプローラ アプリケーションをインストールします。詳細については、Canon Web サイトを参照してください。
- 有効な接続があることを確認します。
- システムでアカウント情報が必要な場合は、プリント ジョブが WebTools Express の [モバイル] という名前の Smart Inbox に送信されます。ジョブはプリントされません。ワークステーションから WebTools Express に接続します。ジョブをプリントするには、アカウント情報を入力します。



### 手順

1. [プリント] セクションに移動し、[新しいジョブ] を選択します。  
[プリント ジョブ] ウィンドウが表示されます。
2. [ファイルを選択してください] をクリックします。
3. プリントするファイルを参照して、「開く」をクリックします。
4. プリント ジョブの設定を定義して、「OK」をクリックします。

5. 設定の指定後、右上のプリンタ アイコンをクリックします。ジョブがプリンタに送信されます。

## 結果

ドキュメントがプリントされます。プリント中は、プリント ジョブが操作パネルおよび WebTools Express のジョブ キューに表示されます。



## FTP を使用してプリント ジョブを送信する

### はじめに

プリンタは、FTP 経由のプリントをサポートしています。

FTP 経由でプリント ジョブを送信すると、デフォルトの WebTools Express 設定が優先されます。



#### メモ

- WebTools Express で、FTP 経由でのプリントを有効にする必要があります。
- 操作パネルで FTP 経由の外部の場所を作成する方法については、[外部の場所の作成 \(120 ページ\)](#) を参照してください。

### 始める前に

操作パネルでプリンタのネットワーク設定と IP アドレスを検索します。

システム メニューのサムネイルをタップし、リスト内で [ネットワーク設定] を選択します。必要な情報が含まれたウィザードが開きます。

### FTP 経由でプリント ジョブを送信するには

以下の手順を使用して、FTP 経由でファイルをプリントできます。

- コマンドライン プロンプト経由
- FTP アプリケーション経由、または
- Windows ファイル エクスプローラ経由  
Windows ファイル エクスプローラに、「**ftp://<ホスト名または IP アドレス>/ジョブ**」と入力します。

プリンタには専用の FTP ジョブ フォルダがあります。このフォルダは削除または変更できません。インストール時に作成され、保護されます。FTP 経由でファイルをプリントする最も簡便な方法は、Windows ファイル エクスプローラにある [ジョブ] フォルダにファイルをドラッグ アンド ドロップするかコピー アンド ペーストする方法です。このフォルダ内の文書は、プリンタでプリントされます。

## LPR を使用してプリント ジョブを送信する

### はじめに

プリンタは、LPR 経由のプリントをサポートしています。

LPR 経由でプリント ジョブを送信した場合、デフォルトの WebTools Express 設定が優先されます。



メモ

WebTools Express で、LPR を使用するプリントを有効にする必要があります。

### LPR 経由でプリント ジョブを送信するには

コマンド プロンプトに続いて次の行コマンドを入力します。「`lpr -S <ホスト名または IP アドレス> -P <プリント キュー名> <ファイル名>`」。



メモ

<プリント キュー名> には、「`jobs`」など、任意の名前を使用できます。

## クラウドを使用してプリント ジョブを送信する

### はじめに

クラウドは、ファイルの送信先として使用する仮想ネットワーク ドライブとして見なすことができますが、ファイルの保存と共有の場所としても見なすことができます。

SharePoint などの汎用のクラウド アプリケーションや HTTP URL 経由のアプリケーションなどがありますが、企業は独自のプライベート クラウドや社内クラウドを使用することもできます。

### 始める前に

WebTools Express で [WebDAV] 経由の外部の場所を作成し、プリンタとのクラウド接続を確立できるようにします。詳細については、[外部の場所の作成 \(120 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

1. モバイル デバイス上でクラウド アプリケーションを開きます。
2. 使用するアプリケーションに従って以下を実行します。
  - プリントするファイルを追加して保存します。あるいは、
  - プリンタにファイルを送信します。

## ホームフォルダを使用してプリントジョブを送信する

### はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にした場合、ホームフォルダをプリント元またはスキャン先として使用することができます。



#### メモ

ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な、自分用の安全な外部の場所です。

### 始める前に

構成された[ユーザー認証]を使用して[ユーザー名とパスワード]を有効にし、まず場所としてホームフォルダを有効にします。詳細については、[ホームフォルダの有効化および編集 \(118 ページ\)](#) を参照してください。

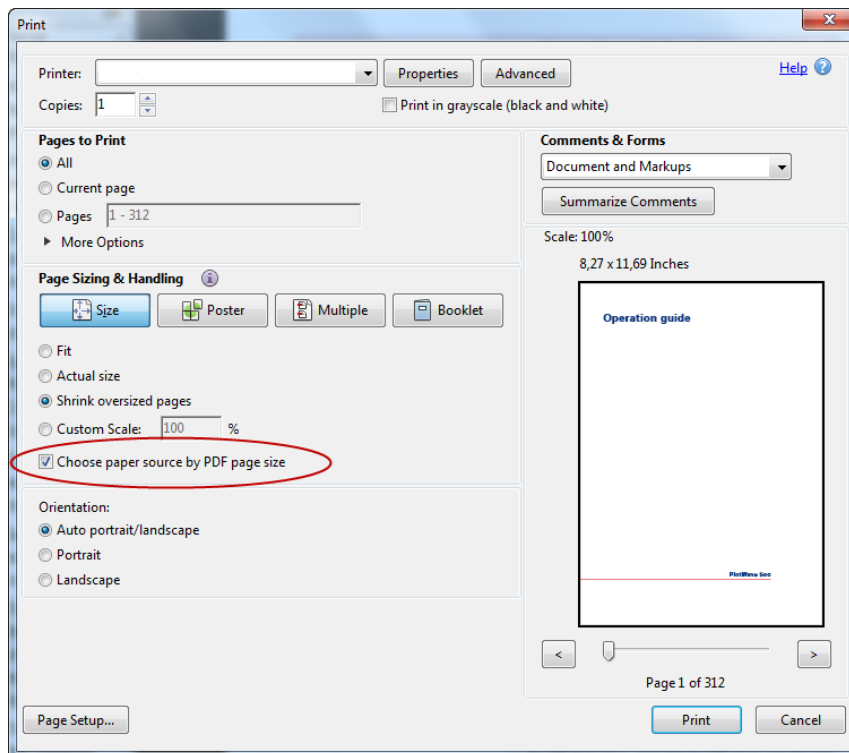
### 手順

1. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用して、Publisher Express または他のジョブサブミッタにログインします。
2. ホームフォルダからファイルと共にジョブを作成し、プリンタに送信します。
3. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用してプリンタ操作パネルにログインします。自分の場所を見ることができるのは本人だけです。
4. ジョブを選択し、グリーンボタンをクリックします。

## プリントジョブ送信のトラブルシューティング

### はじめに

プリントジョブ送信をトラブルシューティングするために、問題およびソリューションを確認します。



問題	解決法:
Adobe Acrobat Reader を使用して PDF ファイルをプリントできない。	プリントジョブを送信する場合 (「ファイル」 - 「プリント」)、プリントダイアログ内で「PDF ページサイズごとに用紙ソースを選択する」のボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。

# プリント ジョブ

## デフォルトのプリント ジョブを実行する

### はじめに

ジョブをプリントする際に設定を指定しない場合、デフォルトのプリセットが使用されます。ジョブを開始するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるプリセットを表示できます。

### 始める前に

以下のいずれかのジョブ サブミッタ経由でジョブを送信するようにしてください。

Publisher Express	<a href="#">Publisher Express</a> を使用してプリント ジョブを送信する (197 ページ)
Publisher Select	<a href="#">Publisher Select 3</a> を使用してプリント ジョブを送信する (200 ページ)
Wide format Printer Driver for Microsoft® Windows®	<a href="#">Driver Select for Microsoft® Windows®</a> を使用してプリント ジョブを送信する (202 ページ)
Driver Express for Adobe® Postscript® 3™	<a href="#">Driver Express for Adobe® Postscript® 3™</a> を使用してプリント ジョブを送信する (204 ページ)
Publisher Mobile	<a href="#">Publisher Mobile</a> を使用してプリント ジョブを送信する (205 ページ)
Publisher Express (モバイル バージョン)	モバイル デバイスからのプリント (207 ページ)

あるいは、以下を経由してジョブを送信します。

LPR	<a href="#">LPR</a> を使用してプリント ジョブを送信する (210 ページ)
FTP	<a href="#">FTP</a> を使用してプリント ジョブを送信する (209 ページ)
クラウド (WebDAV)	クラウドを使用してプリント ジョブを送信する (211 ページ)
ホーム フォルダ	ホーム フォルダを使用してプリント ジョブを送信する (212 ページ)
PlanWell Collaborate	クラウドを使用してプリント ジョブを送信する (211 ページ)
USB	<a href="#">USB キー</a> からのプリント (217 ページ)



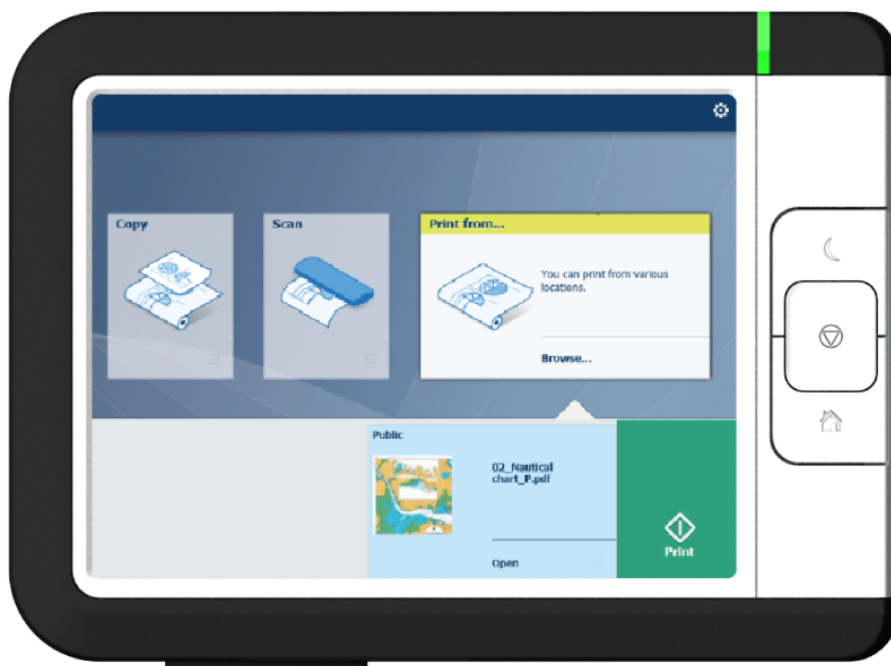
#### メモ

ダイレクト プリントを有効にする設定を指定していない場合、以下の手順が適用されます。ダイレクト プリントを使用すると、ジョブは直ちにプリントされます。詳細については、[ダイレクト プリント \(216 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

1. ジョブをプリンタに送信したら、操作パネルでプリント タイルをタップして場所のリストを開きます。

2. ジョブの場所を選択します。デフォルトでは、パブリック Smart Inbox です。



- ジョブは、新しいウィンドウ内にリストで表示されます。
3. リストからジョブを選択します。
  4. ジョブ設定の横のグリーン ボタンをタップします。

## ダイレクトプリント

### はじめに

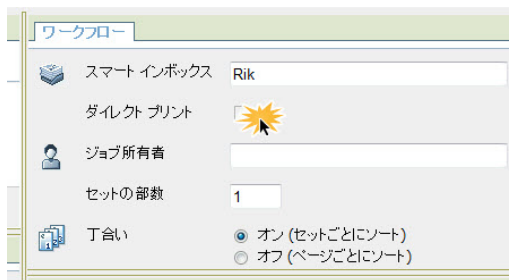
デフォルトのプリント ジョブを実行する場合:

- ダイレクトプリントを使用してプリントすることができます。  
ダイレクトプリントを使用してプリントすると、プリントジョブは直ちにキューに送信されます。
- ダイレクトプリントを使用しないでプリントすることができます。  
ダイレクトプリントを使用しないでプリントすると、プリンタでジョブをローカルに開始できます。



#### メモ

- [プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] - [プリントジョブの宛先を無効にする] が [はい、Smart Inbox にのみ送信します] に設定されると、直接的にプリントすることができないため、プリンタでプリントジョブを開始する必要があります。ダイレクトプリントを使用してプリントする場合、この設定を WebTools Express. で変更する必要があります。
- Publisher Express を使用してプリントジョブを送信する方法については、[Publisher Express を使用してプリントジョブを送信する \(197 ページ\)](#) を参照してください。



### ダイレクトプリントを使用してデフォルトのプリントジョブを実行する

手順	アクション
1	いずれかのジョブサブミッタ経由でプリンタにジョブを送信し、ジョブチケット内で「ダイレクトプリント」を選択します。通常は、WebTools Express 内の Publisher Express を経由します。
2	プリンタに移動し、プリントを収容します。

### ダイレクトプリントを使用しないでデフォルトのプリントジョブを実行する

手順	アクション
1	いずれかのジョブサブミッタ経由でプリンタにジョブを送信し、指定した Smart Inbox を場所として選択します。
2	プリンタに移動し、操作パネル上の Smart Access 経由で Smart Inbox を開きます。
3	Smart Inbox でジョブを選択します。
4	グリーン ボタンをタップして、ジョブをプリントします。



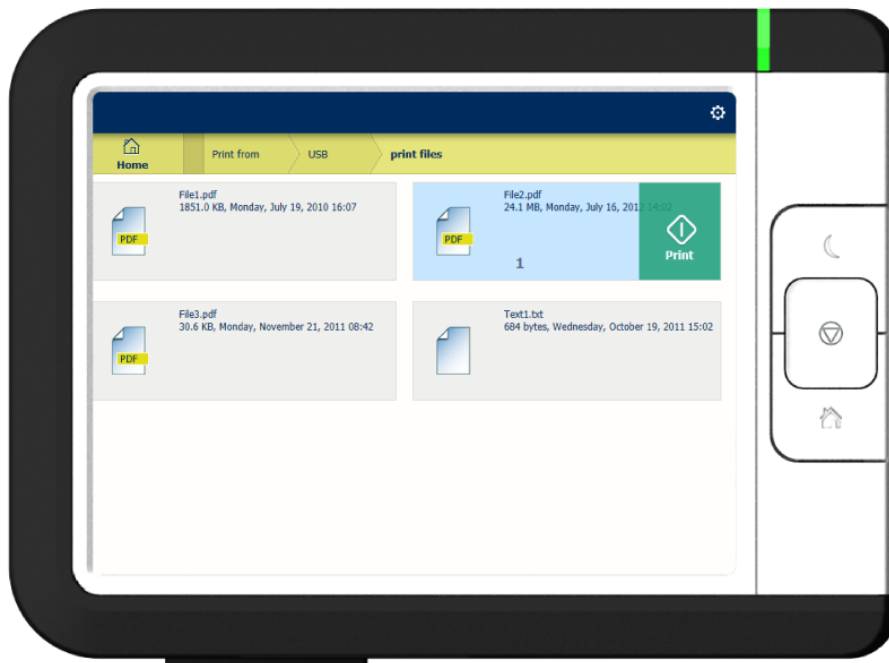
## USB キーからのプリント

### はじめに

USB キーを使用すると、プリンタでプリントとスキャンのジョブを実行できます。

### 手順

1. USB キーをマルチタッチ ユーザ パネルの USB ポートに差し込みます。  
操作パネルで、プリント タイルが自動的に選択され、USB の場所が有効になります。
2. プリント Smart Access 内で USB の場所をタップします。  
USB キー上にあるフォルダとファイルのリストが表示されたウィンドウが開きます。 リスト全体をスワイプして、正しいファイルを検索します。



3. グリーン ボタンをタップして、ジョブを開始します。  
さらに多くの設定を指定するには、ジョブ名およびジョブの設定をタップできます。プリセット ウィンドウが開き、追加の設定を指定できます。

## 操作パネルでのプリントプリセット

### はじめに

プリンタは、異なる設定を指定しない場合、プリントおよびコピーのジョブにデフォルトのプリセットを使用します。プリントプリセットは4つのカテゴリに分けられます。

- [用紙]
- [レイアウト]
- [イメージ]
- [仕上げ]

これらのカテゴリすべてのプリセットは、WebTools Express で変更できます。詳細は、[を参照してください](#)。

プリセットの概念	<a href="#">プリセットについて知っておくべきこと (103 ページ)</a>
プリセット設定を変更するには	<a href="#">デフォルトのプリントプリセットの設定 (106 ページ)</a>

## プリントジョブに対するイメージプリセット

### はじめに

[イメージ]プリセットでは、プリントジョブの品質および生産性を定義できます。事前定義のプリセットが5つと、WebTools Expressで作成できる6番目のカスタムプリセットがあります。

### イメージプリセット

概要を参照して、ジョブに最適な [イメージ] プリセットを選択します。

イメージプリセット	プロパティ
[Print Assistant]	このプリセットはデフォルトで使用されます。ほとんどの原稿に対して、高品質のカラープリントを作成できます。 Print Assistant がジョブに対して最高のプリント品質を自動的に決定します。
[高速 CAD カラー]	生産性が重要な要因である場合、カラー CAD 図面のプリセットを使用します。
[標準 CAD/ポスター]	品質が重要な要因である場合、カラー CAD 図面およびポスターのプリセットを使用します。
[高品質ポスター/写真]	品質が重要な要因である場合、高い色精度を持つフォトライクな原稿のフルレンジに対するプリセットを使用します。
[高速 CAD B/W]	生産性が重要な要因である場合、白黒 CAD 図面のプリセットを使用します。


## プリント ジョブのための詳細設定

### はじめに




マルチタッチ ユーザ パネルでプリント タイルをタップすると、独自の設定を指定できます。


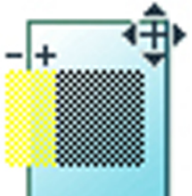
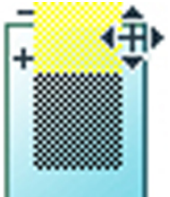
プリセット タイル以外に、[すべての設定を表示] で詳細設定を選択できます。これらの設定は、拡張プリント ジョブに使用されます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。

### プリセット カテゴリ:[用紙]

設定	設定値	機能
[用紙の種類]	任意の種類 用紙の種類のリスト	使用する用紙の種類です。
[用紙サイズ]	任意のサイズ 用紙のサイズのリスト	使用する用紙のサイズです。
[用紙ソース]	[自動] 「ロール 1 から 6」(特定のロールに取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明)	コピーまたはプリントする用紙の給紙元を定義します。[自動] を選択した場合、プリンタによって用紙ロールが自動的に選択されます。 

プリセット カテゴリ:[レイアウト]


設定	設定値	機能
[カット サイズ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [シンクロ]</li> <li>• [定型]</li> <li>• [カスタム]</li> </ul>	<p>[シンクロ] に設定されると、イメージのサイズに従ってプリントがカットされます。</p> <p>[定型] に設定されると、定型用紙サイズにプリントがカットされます。</p> <p>[カスタム] に設定されると、サイズを手動で入力する必要があります。</p> 
[カスタム カット長]		<p>定義された長さでプリントをカットします。 210 ~ 20000 mm、または 8.3 ~ 7874 インチ。</p>
[先端余白の追加]		<p>出力の上部に余白を追加します。 0 ~ 400mm、または 0 ~ 16 インチ。</p> 
[後端余白の追加]		<p>出力の下部に余白を追加します。 0 ~ 400mm、または 0 ~ 16 インチ。</p> 
[回転]	<ul style="list-style-type: none"> <li>[0° ]</li> <li>[90° ]</li> <li>[180° ]</li> <li>[270° ]</li> <li>[縦送り]</li> <li>[横送り]</li> <li>[自動回転用紙節約]</li> <li>[自動回転用紙節約 - 180° 回転]</li> </ul>	<p>イメージを反時計回りに回転します。</p> <p>最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動回転用紙節約] を選択します。</p>

設定	設定値	機能
[位置決め]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [左上]</li> <li>• [上]</li> <li>• [右上]</li> <li>• [左]</li> <li>• [中央]</li> <li>• [右]</li> <li>• [左下]</li> <li>• [下]</li> <li>• [右下]</li> </ul>	<p>[シートのイメージのアライメントを実行します。]</p> 
[横シフト]	[横シフト]	<p>[イメージを横方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。]</p> <p>1067 ~ 1067 mm、または 42 ~ 42 インチ。</p> 
[縦シフト]	[縦シフト]	<p>[イメージを縦方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。]</p> <p>1219 ~ 1219 mm、または 48 ~ 48 インチ。</p> 


設定	設定値	機能
[スケール]	[1:1]	イメージをスケールして、原稿のサイズにフィットさせます。
	[用紙サイズに合わせる]	選択された用紙幅をスケールします。  メモ この設定を使用できるのは、特定の用紙ロールを選択した場合のみです。
	[定型サイズに]	イメージをスケールして、リストから選択する用紙サイズにフィットさせます。 
	[カスタム]	カスタム パーセンテージにイメージをスケールします。 10 ~ 1000% 

プリセット カテゴリ:[イメージ]

設定	設定値	機能
[プリント品質]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [プリント アシスタント]</li> <li>• [高速]</li> <li>• [エコノミー - 高速]</li> <li>• [エコノミー]</li> <li>• [プロダクション - 高速]</li> <li>• [プロダクション]</li> <li>• [品質 - 高速]</li> <li>• [クオリティ]</li> <li>• [高品質 - 高速]</li> <li>• [高品質]</li> </ul>	出力のプリント品質を定義します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動的に最適なプリント品質の選択には、[プリント アシスタント] を選択してください。</li> <li>• [高速] から [高品質] の範囲でプリント品質を選択します。品質が高くなるほど、速度が低下します。</li> </ul> 高速モードと標準モードでは、高速モードのほうが標準モードよりも高速で、トナー消費量が少ない一方、標準モードによる出力のほうがトナー カバレッジが高くなります。
[カラー モード]	[カラー] [グレースケール]	カラーまたはグレースケールでデフォルトの出力を定義します。

設定	設定値	機能
[ミラー]	[オン] [オフ]	<p>「オン」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。</p> <p>スキャナに上下逆に挿入する必要がある強くカールしたトランスペアレント原稿は、[オン] に設定してください。裏側に情報がプリントされた (濃い) トランスペアレント原稿も同様です。</p> 

プリセット カテゴリ:[仕上げ]

設定	設定値	機能
[排紙]	[上部排紙トレイ]	<p>プリンタの上部の場所であり、シートを下向きで挿入します。</p> <p> <b>メモ</b> 一部の用紙の種類は [上部排紙トレイ] に排紙することはできません。</p>
	[背面出力] または [折り]	<p>出力を上向きにプリンタの背面に排紙するには、[背面出力] を選択します。</p> <p>折り機が構成され、出力を折る段階にきたら、折り機を選択します。</p>
	[折りテンプレート]	<p>折り機が構成されたら、指定した折りテンプレートを選択して、事前定義された設定で折ることができます。</p>



# コピージョブ

## デフォルトのコピージョブを実行する

### はじめに

原稿をコピーする際に設定を指定しない場合、デフォルトのプリセットが使用されます。ジョブを送信するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるプリセットを表示できます。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。  
コピー Smart Access が含まれたコピー タイルが操作パネルで自動的に選択されます。



2. コピー部数を選択して、グリーン ボタンをタップします。



メモ

スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

## 操作パネルでのコピー プリセット

### はじめに

プリンタは、異なる設定を指定しない場合、プリントおよびコピーのジョブにデフォルトのプリセットを使用します。コピー プリセットは 4 つのカテゴリに分けられます。

- [用紙]
- [レイアウト]
- [イメージ]
- [仕上げ]

これらのカテゴリすべてのプリセットは、WebTools Express で変更できます。詳細は、[を参照してください](#)。

プリセットの概念	<a href="#">プリセットについて知っておくべきこと (103 ページ)</a>
プリセット設定を変更するには	<a href="#">デフォルトのコピー プリセットの設定 (104 ページ)</a>

## コピー ジョブのイメージプリセット

### はじめに

[イメージ] プリセットでは、コピー ジョブの品質および生産性を定義できます。事前定義のプリセットが5つと、WebTools Express で作成できる6番目のカスタム プリセットがあります。

### イメージプリセット

概要を使って、ジョブに最適な [イメージ] プリセットを選択します。

イメージプリセット	プロパティ
[標準カラー]	このプリセットはデフォルトで使用されます。ほとんどの原稿に対して、高品質のカラー コピーを作成できます。品質設定は、色精度と、背景を抑制しながら微細情報をエンハンスメントすることの間でバランスされます。
[写真/ポスター]	高い色精度を持つフォトライクな原稿のフルレンジに対するプリセットを使用します。
[高速 CAD]	生産性が重要な要因である場合、カラー CAD 図面のプリセットを使用します。線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[標準カラー] プリセットを選択します。
[標準 CAD B/W]	品質が重要な要因である場合、白黒 CAD 図面のプリセットを使用します。線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[高速 CAD B/W]	生産性が重要な要因である場合、白黒 CAD 図面のプリセットを使用します。線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある白黒 CAD 原稿には、[標準 CAD B/W] プリセットを選択します。


## コピージョブの詳細設定

### はじめに




マルチタッチユーザパネルでコピータイルをタップすると、独自の設定を指定できます。

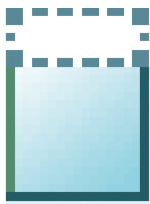
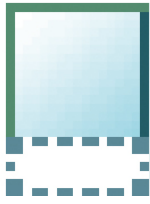
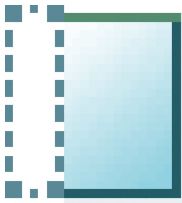
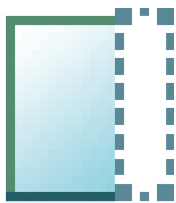
プリセットタイル以外に、[すべての設定を表示]で詳細設定を選択できます。これらの設定は、拡張コピージョブに使用されます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Expressを参照してください。


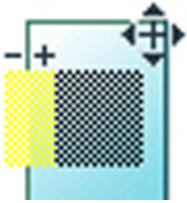
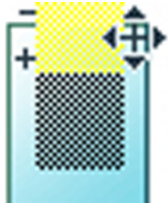
### プリセットカテゴリ:[用紙]




設定	設定値	機能
[用紙の種類]	任意の種類 用紙の種類のリスト	使用する用紙の種類です。
[用紙サイズ]	任意のサイズ 用紙のサイズのリスト	使用する用紙のサイズです。
[用紙ソース]	[自動] 「ロール 1 から 6」(特定のロールに取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明)	コピーまたはプリントする用紙の給紙元を定義します。[自動]を選択した場合、プリンタによって用紙ロールが自動的に選択されます。 

## プリセット カテゴリ:[レイアウト]

設定	設定値	機能
[カット サイズ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [シンクロ]</li> <li>• [定型]</li> <li>• [カスタム]</li> </ul>	<p>[シンクロ] に設定されると、イメージのサイズに従ってプリントがカットされます。</p> <p>[定型] に設定されると、定型用紙サイズにプリントがカットされます。</p> <p>[カスタム] に設定されると、サイズを手動で入力する必要があります。</p> 
[カスタム カット長]		<p>定義された長さでプリントをカットします。</p> <p>210 ~ 20000 mm、または 8.3 ~ 7874 インチ。</p>
[先端余白の追加]		<p>出力の上部に余白を追加します。</p> <p>0 ~ 400mm、または 0 ~ 16 インチ。</p> 
[後端余白の追加]		<p>出力の下部に余白を追加します。</p> <p>0 ~ 400mm、または 0 ~ 16 インチ。</p> 

設定	設定値	機能
[余白の消去]	[上]	<p>[原稿の上部から余白を消去します。] 0～400mm、または0～16インチ。</p> 
	[下]	<p>[原稿の下部から余白を消去します。] 0～400mm、または0～16インチ。</p> 
	[左]	<p>[原稿の左側から余白を消去します。] 0～400mm、または0～16インチ。</p> 
	[右]	<p>[原稿の右側から余白を消去します。] 0～400mm、または0～16インチ。</p> 





設定	設定値	機能
[位置決め]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [左上]</li> <li>• [上]</li> <li>• [右上]</li> <li>• [左]</li> <li>• [中央]</li> <li>• [右]</li> <li>• [左下]</li> <li>• [下]</li> <li>• [右下]</li> </ul>	<p>[用紙上でイメージのアライメントを実行します。]</p> 
	[横シフト]	<p>[イメージを横方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。]</p> <p>1067 ~ 1067 mm、または 42 ~ 42 インチ。</p> 
	[縦シフト]	<p>[イメージを縦方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。]</p> <p>1219 ~ 1219 mm、または 48 ~ 48 インチ。</p> 


設定	設定値	機能
[スケール]	[1:1]	イメージをスケールして、原稿のサイズにフィットさせます。
	[用紙サイズに]	選択された用紙幅をスケールします。  <b>メモ</b> この設定を使用できるのは、特定の用紙ロールを選択した場合のみです。
	[定型サイズに]	イメージをスケールして、リストから選択する用紙サイズにフィットさせます。 
	[カスタム]	カスタム パーセンテージにイメージをスケールします。 10 ~ 1000% 

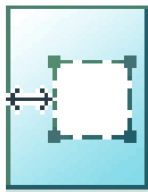
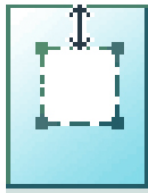




## プリセット カテゴリ:[イメージ]


設定	設定値	設定値	機能
[クオリティ]	[スキャン品質]	[通常] [高]	<p>スキャンの品質を定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より高い解像度でスキャンするには、[高] を選択します。これは、グレイやカラー領域を含む原稿でモアレパターンを防止します。</li> <li>純粋な CAD 原稿に対しては、ほとんどの場合 [通常] で十分です。</li> </ul> <p>プリント生産性が重要な要因である場合、[通常] を選択します。</p>
	[プリント品質]	[自動] [高速] [エコノミー - 高速] [エコノミー] [プロダクション - 高速] [プロダクション] [品質 - 高速] [クオリティ] [高品質 - 高速] [高品質]	<p>出力のプリント品質を定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動的に最適なプリント品質の選択には、[自動] を選択してください。</li> <li>[高速] から [高品質] の範囲でプリント品質を選択します。品質が高くなるほど、速度が低下します。</li> </ul> <p>高速モードと標準モードでは、高速モードのほうが標準モードよりも高速で、トナー消費量が少ない一方、標準モードによる出力のほうがトナーカバレッジが高くなります。</p>
	[カラーモード]	[カラー] [グレイスケール]	<p>カラーまたはグレイスケールでデフォルトの出力を定義します。</p>
[原稿]	[原稿の種類]	[折られた線/テキスト] [線/テキスト] [地図] [カラーの原稿] [アートワーク] [写真] [ブルー プリント] [濃い原稿]	<p>使用する原稿の種類を定義します。選択は選択した [カラーモード] によります。適切な原稿の種類の見つけ方については、「<a href="#">原稿の種類 (239 ページ)</a>」を参照してください。</p> 
	[背景補正]	[自動] [オン] [オフ]	<p>イメージのバックグラウンド ノイズを低減します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト設定は [自動] です。選択した [原稿の種類] に応じて、地肌補正は自動的に適用される場合と適用されない場合があります。</li> <li>[オン] または [オフ] を選択して、[自動] を上書きします。</li> </ul> <p>適用される地肌補正方法は選択された用紙の種類によります。</p> 

設定	設定値	設定値	機能
[原稿]	[原稿の幅]	[自動]	<p>原稿の幅は、スキャナによって自動的に検出されます。</p> 
		[定型]	<p>原稿の幅を定型サイズとして選択します。</p>  <p> <b>メモ</b> WebTools Express で構成した用紙の種類およびサイズによります。</p>
		[カスタム]	<p>原稿の幅は、カスタム サイズになります。 210 ～ 914mm あるいは 8.5 ～ 36 インチの範囲でサイズを入力することができます。</p> 

設定	設定値	設定値	機能
[イメージ]	[カラー強調表示]	[オン] [オフ]	<p>[オン] に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• マーカー ペンによる書き込みを見やすくする場合。</li> <li>• カラーの情報が入った CAD 図面のカラーを強調し、背景情報はグレースケール (ブラック) のみにする場合。</li> </ul> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [カラー モード] が [カラー] に設定されている場合、カラー強調表示はカラーをさらに飽和します。</li> <li>• [カラー モード] が [グレースケール] に設定されている場合、原稿のグレースケール情報よりもカラーが暗くコピーされます。</li> <li>• [写真]、[アートワーク]、[ブルー プリント] の種類の原稿には、設定は無効になります。</li> </ul>
	[薄い/濃い]	-5 ~ 5 の値	<p>コピーの明るさとコントラストを定義します。明るいプリントには大きい値、暗いプリントには小さい値を設定します。</p> <p>コピーを暗くすると、背景にはあまり影響しませんが、情報が暗くなります。コピーを明るくすると、弱い情報が白くクリップされません。</p>
	[ミラー]	[オン] [オフ]	<p>[「オン」] にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。]</p> <p>スキャナに上下逆に挿入する必要がある強くカールしたトランスペアレント原稿は、[オン] に設定してください。裏側に情報がプリントされた (濃い) トランスペアレント原稿も同様です。</p> <p></p>

設定	設定値	設定値	機能
[消去する領域]	[消去する領域:X 原点]	0 ~ 914 mm、または 0 ~ 36 インチ。	[左から開始される、横軸上で消去する領域の原点。] 
	[消去する領域:Y 原点]	0 ~ 6000mm、または 0 ~ 250 インチ。	[上から開始される、縦軸上で消去する領域の原点。] 
	[消去する領域:幅]	0 ~ 914mm、または 0 ~ 36 インチ。	[消去する領域の幅です。] 
	[消去する領域:長さ]	0 ~ 6000mm、または 0 ~ 250 インチ。	[消去する領域の長さです。] 

プリセット カテゴリ:[仕上げ]

設定	設定値	機能
[排紙]	[上部排紙トレイ]	プリンタの上部の場所であり、シートを下向きで挿入します。  <b>メモ</b> 一部の用紙の種類は [上部排紙トレイ] に排紙することはできません。
	[背面出力] または [折り]	出力を上向きにプリンタの背面に排紙するには、[背面出力] を選択します。 折り機が構成され、出力を折る段階にきたら、折り機を選択します。
	[折りテンプレート]	折り機が構成されたら、指定した折りテンプレートを選択して、事前定義された設定で折ることができます。

## コピー ジョブの推奨設定

### はじめに

推奨設定を使用してコピー ジョブの出力を最適化します。

カラーまたはグレイスケールのコピー ジョブに応じて、対応する設定を選択します。

### ワークフロー

- 最初に、ジョブに最適なイメージプリセットを選択します。以下の表で2つ目の列を使用します。詳細については、「[コピー ジョブのイメージプリセット \(227 ページ\)](#)」を参照してください。
- 設定をさらに最適化したい場合は、操作パネルの [すべての設定を表示] で詳細設定を選択できます。画像処理を調整することで出力品質を最適化したい場合は、ジョブに対応する [原稿の種類] を選択できます。以下の表で3つ目の列を使用します。詳細については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(228 ページ\)](#)」と「[原稿の種類 \(239 ページ\)](#)」を参照してください。

### カラー コピーの推奨設定

原稿文書	[イメージ] プリセット	[すべての設定を表示] での最適化
(折りのある) CAD 図面	[高速 CAD] 大面積の塗りつぶしがある: [標準カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>折りのある原稿の場合は、原稿の種類を [折られた線/テキスト] に設定します</li> <li>カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します</li> </ul>
(折りのある) マーカー ペンによるマーク付きの CAD 図面	[高速 CAD]。 大面積の塗りつぶしがある: [標準カラー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>折りのある原稿の場合は、原稿の種類を [折られた線/テキスト] に設定します</li> <li>カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します</li> </ul>
地図、GIS、ビジネス グラフィックスなど	[標準カラー]	
建築用インプレッション、アートワークなど	[標準カラー]	原稿の種類を [アートワーク] に設定します
フォト、ポスター、および高品位カラー プリント	[写真/ポスター]	
中品質カラー プリント	[標準カラー]	

### グレイスケール コピーの推奨設定

原稿文書	[イメージ] プリセット	[すべての設定を表示] での最適化
(折りのある) CAD 図面	[高速 CAD B/W] 大面積の塗りつぶしがある: [標準 CAD B/W]	折りのある原稿の場合は、原稿の種類を [折られた線/テキスト] に設定します
(折りのある) マーカー ペンによるマーク付きの CAD 図面	[高速 CAD B/W] 大面積の塗りつぶしがある: [標準 CAD B/W]	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿の種類を [カラーの原稿] に設定します</li> <li>カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します</li> </ul>

原稿文書	[イメージ] プリセット	[すべての設定を表示] での最適化
(折りのある) カラー CAD 図面、地図、ビジネス グラフィックスなど	[高速 CAD B/W] 大面積の塗りつぶしがある: [標準 CAD B/W]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 原稿の種類を [カラーの原稿] に設定します</li> <li>• カラーを強調したい場合は、[カラー強調表示] を [オン] に設定します</li> </ul>
不均一背景のある CAD 原稿	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [濃い原稿] に設定します
ジアゾ プリント/「青焼」	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [濃い原稿] に設定します
濃い (トランスペアレント) 原稿	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [濃い原稿] に設定します
写真および高品位カラー プリント	[写真/ポスター]	[カラー モード] を [グレースケール] に設定します
青い背景上に白い線を使用した青焼	[高速 CAD B/W]	原稿の種類を [ブルー プリント] に設定します

## 原稿の種類

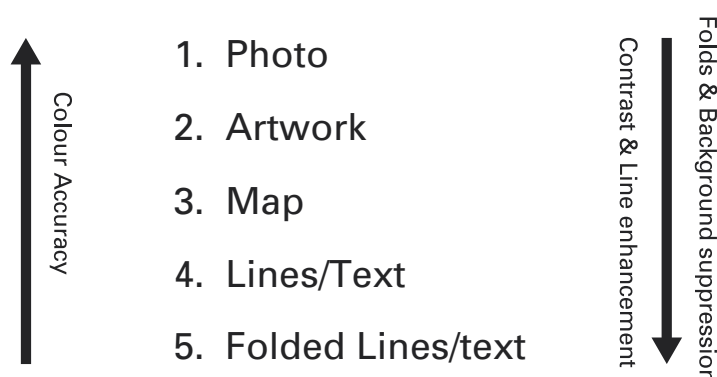
### はじめに

ユーザパネルで [すべての設定を表示] - [原稿] にある [原稿の種類] 設定を変更すると、ジョブの品質をさらに最適化することができます。

原稿の種類をカラーまたはグレイスケールに変更します。概要を参照して適切な種類を選択します。

### カラーの原稿の種類

- 原稿の種類を [写真] から [折られた線/テキスト] に変更すると、線画およびコントラストのエンハンスメントは増加し、折りおよび背景はより抑制されます。
- 原稿の種類を [折られた線/テキスト] から [写真] に変更すると、色精度が増します。



原稿の種類	定義
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。フォトはアートワークよりも穏やかなコントラストを提供します。
[アートワーク]	カラー領域の境界および色間の移行がよりはっきりしたアートワークのようなカラー原稿に使用します。
[地図]	カラー領域が大きく、同時に線画や細かい詳細もあるような原稿に使用します。
[線/テキスト]	CAD 図面に使用します。
[折られた線/テキスト]	折りのある CAD 図面に使用します。線画およびしわは抑制されます。

### グレイスケールの原稿の種類

原稿の種類	定義
[線/テキスト]	モノクロームの CAD 図面に使用します。
[カラーの原稿]	カラー CAD 図面など、ほとんどのカラー原稿に使用します。
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。フォトはカラー原稿よりも穏やかなコントラストを提供します。
[濃い原稿]	特に青焼きプリントに使用します。変化する「濁った」背景のある原稿。▶

原稿の種類	定義
[折られた線/テキスト]	折りのあるモノクロームの CAD 図面に使用します。線画およびしわは抑制されます。折りのあるカラーの CAD 図面には、[カラーの原稿] を使用します。
[ブルー プリント]	青い背景上に白い線を使用した典型的な反転原稿に使用します。



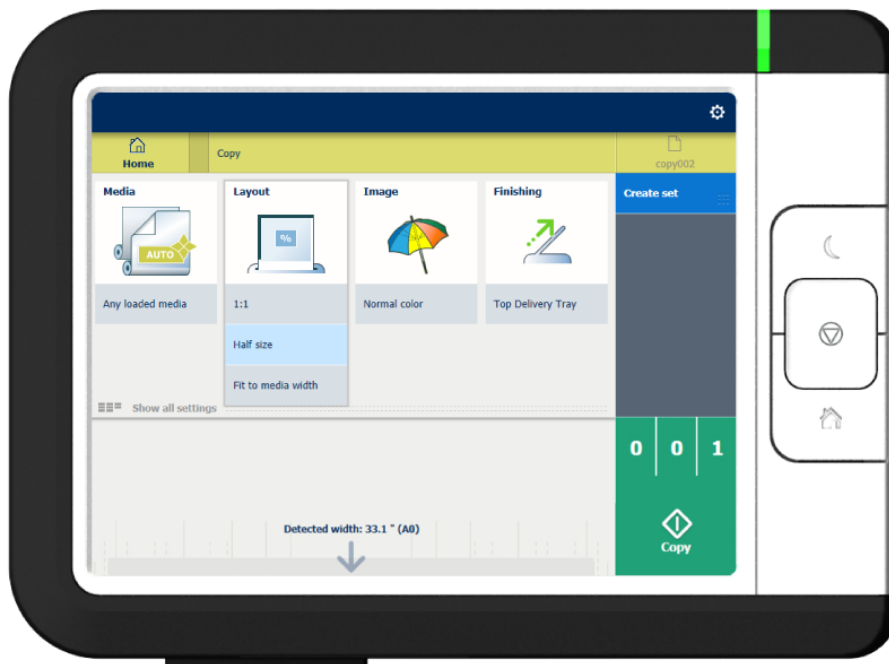
## ハーフサイズコピーを作成する

### はじめに

原稿を 50% のコピーにスケールする場合、ユーザ パネルでプリセットを変更することができます。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [レイアウト] プリセットをタップします。



4. [ハーフサイズ] をタップします。
5. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

### 結果

プリンタは 50% でコピーします。

## コピーを作成して余白を追加する

### はじめに

コピーを作成すると、文書に余白を追加できます。

[カット サイズ] を使用して、余白なしの原稿をコピーして、コピーに余白を追加することができます。コピーの先端または後端に余白を追加することができます。

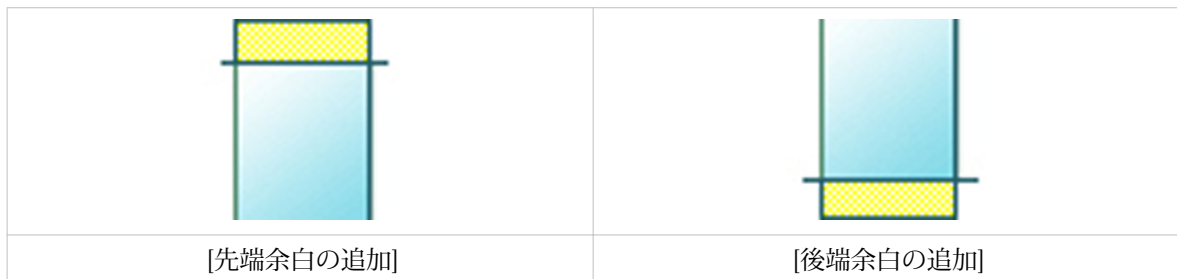


メモ

カット サイズの設定については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(228 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [カット サイズ] をタップします。



5. [先端余白の追加] または [後端余白の追加] をタップして、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

### 結果

先端または後端に余白が付いた文書がプリントされます。

## コピーを作成して余白を削除する

### はじめに

コピーしたくない部分のある原稿がある場合、コピーから余白を削除することができます。

操作パネル上のオプションを使用し、余白付きの原稿をコピーして、コピーから余白を削除します。原稿の先端、後端、左側および右側から余白を削除することができます。

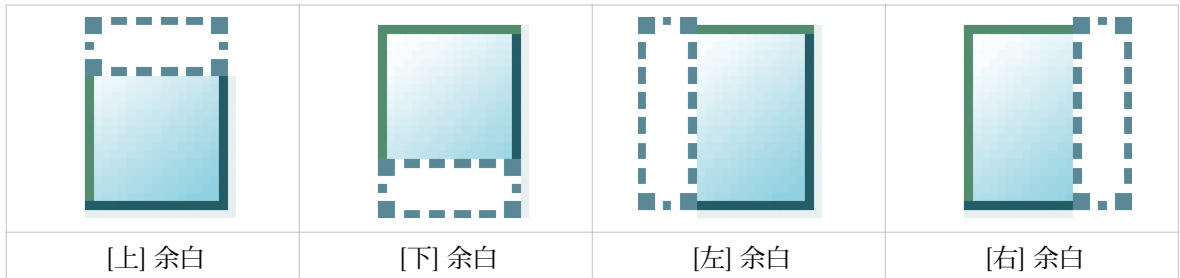


#### メモ

- カットサイズの設定については、「[コピージョブの詳細設定 \(228 ページ\)](#)」を参照してください。
- この設定を使用して、原稿の特定の領域をコピーすることもできます。詳細については、[原稿の特定の領域のコピーを作成する \(244 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [余白の消去] をタップします。



5. [上]、[下]、[左] または [右] を選択して、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

## 原稿の特定の領域のコピーを作成する

### はじめに

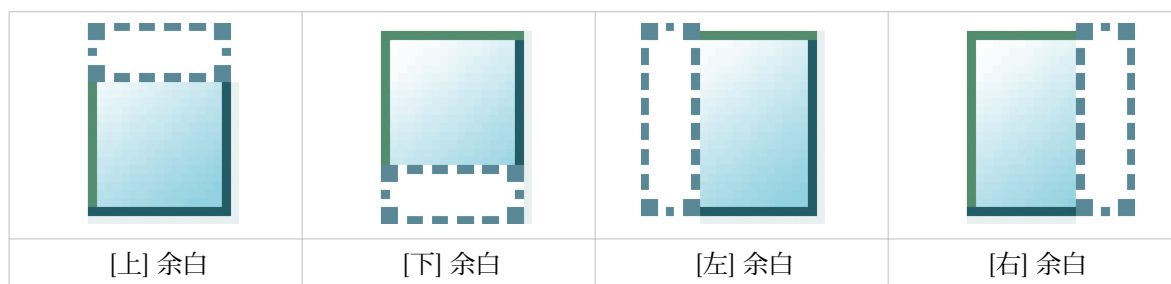
原稿の特定の領域のコピーを作成することができます。オプション [余白の消去] を使用して、特定の領域をコピーします。



メモ  
カット サイズの設定については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(228 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [余白の消去] をタップします。



5. [上]、[下]、[左] または [右] を選択して、特定の領域の値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. [位置決め] をタップしてから、[アラインメント] をタップします。
8. リストから [中央] を選択して、[OK] をタップします。
9. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

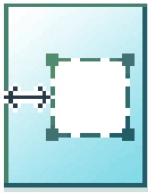
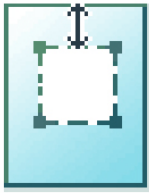


## コピーを作成して原稿の特定の領域を削除する

### はじめに

コピーを作成して原稿の特定の領域を削除することができます。以下の2つの設定を使用できます。[消去する領域:幅] および [消去する領域:長さ]。削除領域の寸法を定義します。また、以下の2つの設定を使用できます。[消去する領域:X 原点] および [消去する領域:Y 原点]。シートの削除領域の相対位置を定義します。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [イメージ] プリセットで [消去する領域] をタップします。

			
[消去する領域:X 原点]	[消去する領域:Y 原点]	[消去する領域:幅]	[消去する領域:長さ]

5. [消去する領域:X 原点]、[消去する領域:Y 原点]、[消去する領域:幅] または [消去する領域:長さ] を選択して、特定の領域の値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

## コピーを作成して別のサイズにスケールする

### はじめに

コピーを別のサイズにスケールする場合、詳細設定で変更を実行できます。カスタム設定を使用すると、10～1000%の範囲で任意のスケールパーセンテージを選択することができます。



#### メモ

他のスケールモードについては、「[コピージョブの詳細設定 \(228 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [スケール] をタップします。
5. 新しいウィンドウで [スケール] をタップして、[カスタム] を選択します。
6. [カスタム] で 10～1000% の範囲で任意のパーセンテージを選択します。
7. 設定を指定した後、[OK] をタップします。
8. コピー部数を入力して、グリーン ボタンをタップします。

## 濃い原稿のコピーの作成 (青焼き)

### はじめに

青焼き原稿から高品質のコピーを作成するのは困難な場合があります。明るさが変化する「濁った」背景のある青焼き原稿では、不明瞭な出力となる場合があります。ColorWave 3800 には特別な[ジアゾ]プリセットがあります。原稿の明るさと背景の変化に合わせてコピーし、均一で高品質な出力に仕上げます。

### 始める前に

変化する「濁った」背景のある原稿には、[ジアゾ]モードを使用します。

濃いまたは薄い青焼き原稿や、変化する背景のあるその他の濃いまたは薄い原稿は、[ジアゾ]モードでコピーできます。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [イメージ]プリセットをタップします。
4. [ジアゾ]をタップします。
5. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

## 強調表示されたカラーが含まれた原稿のコピーの作成

### はじめに

カラーが際立っていたり強調表示されていたりする原稿を使用する場合、強調表示がまだ見える状態の高品質のコピーを作成するのは困難な場合があります。ColorWave 3800 には、特別な設定 [カラー強調表示] が用意されており、原稿の際立ったカラーを白黒またはカラーで強調表示します。コピーには、カラー原稿と同様の強調表示および品質が実現されます。



#### メモ

- [カラー モード] が [カラー] に設定されている場合、カラー強調表示はカラーをさらに飽和します。
- [カラー モード] が [グレイスケール] に設定されている場合、原稿のグレイスケール情報よりもカラーが暗くコピーされます。
- 以下の原稿の種類には設定は無効になります、[写真]、[アートワーク]、[ブルー プリント]。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [イメージ] プリセットで [イメージ] をタップします。
5. [カラー強調表示] をタップします。
6. [オン] を選択して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。



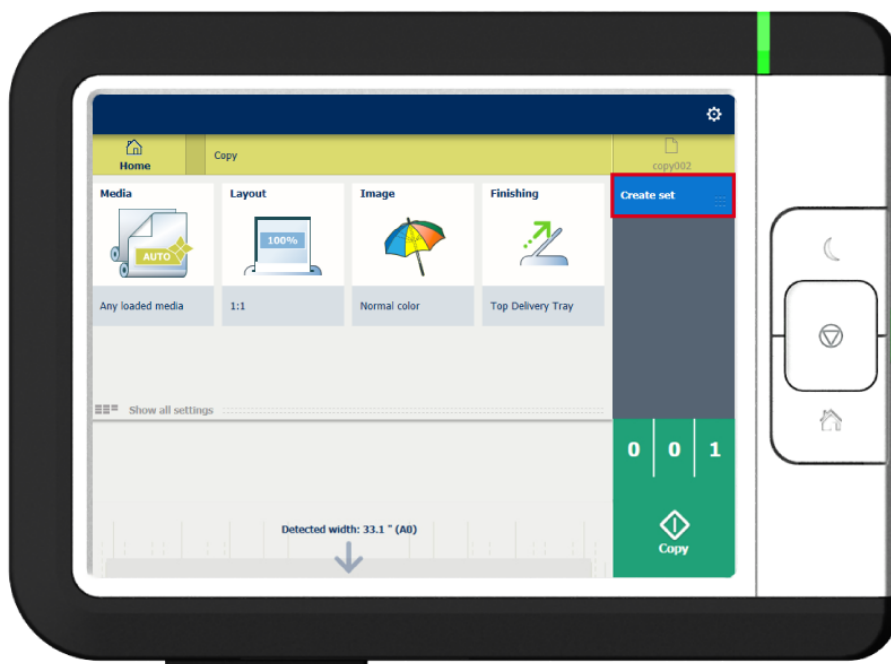
## セットごとのコピー

### はじめに

[セットの作成] オプションを使用すると、複数のスキャンを行って1つのセットでコピーすることができます。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。



3. 右側のジョブペインで、[セットの作成] をタップします。グリーン ボタンの色が変化し、[追加] が表示されます。
4. グリーン ボタンをタップして、スキャン処理を開始します。
5. プリンタが原稿をリリースしたら、次の原稿を挿入します。
6. グリーン ボタンをタップします。スキャンがセットに追加されます。セットが完了するまでこの手順を繰り返します。
7. [セットの終了] タイルをタップして、セットを完了します。

### 結果

プリンタは原稿のセットをコピーします。

# スキャンジョブ

## デフォルトのスキャンジョブを実行する

### はじめに

原稿をスキャンする際に設定を指定しない場合、デフォルトのテンプレートが使用されます。ジョブを送信するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるテンプレート設定の概要を表示できます。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルを選択します。スキャン Smart Access が表示されます。



3. Smart Access で指定したテンプレートを選択して、グリーン ボタンをタップします。



メモ

スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

### 結果

ファイルへのスキャンが実行され、テンプレートに定義した場所へ送信されます。

また、操作パネル上の「[最近のスキャン]」の下でジョブを確認することもできます。ファイルを表示またはプリントするには、これを開きます。

## 操作パネルでのスキャンテンプレート

### はじめに

テンプレートとは、自分で構成できる事前定義された設定のグループです。ユーザーパネルでテンプレートを選択すると、最適化された設定で簡単にジョブを送信できます。

### スキャンテンプレートワークフロー

プリンタは、WebTools Express 内で構成されるスキャンテンプレートを使用します。いくつかのテンプレートは工場インストールされており、操作パネルにデフォルトで表示されます。最初に、テンプレートの使用法をニーズに合わせてカスタマイズできます。

- 新規テンプレートを作成します。詳細については、[新規テンプレートの作成 \(110 ページ\)](#) を参照してください。
- 操作パネルでテンプレートを使用可能にします。詳細については、[スキャンテンプレートを有効または無効にする \(115 ページ\)](#) を参照してください。

次に、原稿をスキャナに挿入します。スキャンタイルをタップします。

Smart Access 内でテンプレートを選択します。スキャン保存先もテンプレート内で定義されることに注意してください。

## スキャンジョブの詳細設定

### はじめに

マルチタッチ操作パネルでスキャン タイルをタップすると、テンプレートを選択できます。

テンプレートを選択し、再びタップすると、すべての設定が表示されたウィンドウが開きます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。



#### メモ


圧縮モードおよび構成の値は、選択するカラー モードとファイルの種類に従って変更されます。状況によっては、あるいは一部のファイルの種類においては、圧縮と構成の設定を指定することができません。この詳細については、[ファイルの種類 \(262 ページ\)](#) を参照してください。





### カテゴリ:[ファイル]

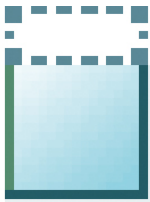

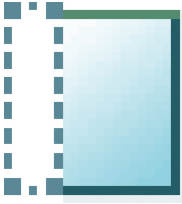


設定	設定値	設定値	機能
[ファイルの種類]	[ファイルの種類]	[TIFF] [PDF] [PDF/A] [JPEG] [CALS]	[スキャンされたイメージのファイルの種類。ファイルの種類のリストは、スキャンをカラー、グレースケール、白黒のどれで行うかによって異なります。白黒でスキャンする場合は、CALS のみを使用できます。白黒でスキャンする場合は、JPEG を使用できません。] 
	[圧縮]	[自動] [LZW] [Flate] [Packbits] [JPEG] [なし]	TIFF または PDF へのスキャン時の圧縮の種類は、選択した [ファイルの種類] によって決まります。
	[JPEG 品質]	[最高] [高] [中] [低]	[JPEG にスキャンする際のイメージ品質。品質を下げると圧縮が大きくなり、ファイル サイズが小さくなります。]
	[構成]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[TIFF でスキャンする際のファイル構成。]

設定	設定値	機能
[解像度]	[100] [200] [300] [400] [600]	[スキャンされたイメージの dpi 単位の解像度。] 
[カラー モード]	[カラー] [グレースケール] [白黒]	[カラー、グレースケールまたは白黒スキャンのいずれかを指定する必要があります。「カラー モード」と「ファイルの種類」の組み合わせのうち一部が無効です。「カラー モード」を変更すると、「ファイルの種類」、「TIFF 圧縮」、「PDF 圧縮」がリセットされる場合があります。] 

カテゴリ:[原稿]

設定	設定値	機能
[原稿の種類]	[折られた線/テキスト] [線/テキスト] [地図] [カラーの原稿] [アートワーク] [写真] [ブルー プリント] [濃い原稿]	使用する原稿の種類を定義します。選択は選択した [カラー モード] によります。適切な原稿の種類を選択については、「 <a href="#">原稿の種類 (239 ページ)</a> 」を参照してください。 

設定	設定値	機能
[原稿の幅]	[自動]	<p>原稿の幅は、スキャナによって自動的に検出されます。</p> 
	[定型]	<p>原稿の幅は、定型サイズになります。 使用可能な定型サイズを選択。</p>  <p> <b>メモ</b> WebTools Express で構成した用紙の種類およびサイズによります。</p>
	[カスタム]	<p>原稿の幅は、カスタムサイズになります。 210～914mm あるいは 8.5～36 インチの範囲でサイズを入力することができます。</p> 

設定	設定値	機能
[余白の削除]	[上の余白の削除]	[原稿の上部から余白を削除します。] 0～400mm、または0～16インチ。 
	[下の余白の削除]	[原稿の下部から余白を削除します。] 0～400mm、または0～16インチ。 
	[左の余白の削除]	[原稿の左側から余白を削除します。] 0～400mm、または0～16インチ。 
	[右の余白の削除]	[原稿の右側から余白を削除します。] 0～400mm、または0～16インチ。 
[ミラー]	[オン] [オフ]	<p>「[オン]」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。</p> <p>スキャナに上下逆に挿入する必要がある強くカールしたトランスペアレント原稿は、[オン] に設定してください。裏側に情報がプリントされた (濃い) トランスペアレント原稿も同様です。</p> 

カテゴリ:[クオリティ]

設定	設定値	機能
[スキャン品質]	[自動] [通常] [高]	<p>スキャンの品質を定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [自動] は、ジョブに対して最高のスキャン品質の値を自動的に選択するデフォルト値です。</li> <li>• より高い解像度でスキャンするには、[高] を選択します。これは、グレイやカラー領域を含む原稿でモアレパターンを防止します。</li> <li>• プリント生産性が重要な要因である場合、[通常] を選択します。 純粋な CAD 原稿に対しては、ほとんどの場合 [通常] で十分です。</li> </ul>
[薄い/濃い]	-5 ~ 5 の値	<p>スキャンの明るさとコントラストを定義します。明るいプリントには大きい値、暗いプリントには小さい値を設定します。</p> <p>スキャンを暗くすると、背景にはあまり影響しませんが、情報が暗くなります。スキャンを明るくすると、弱い情報が白くクリップされません。</p>
[背景補正]	[オン] [オフ] [自動]	<p>イメージのバックグラウンド ノイズを低減します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デフォルト設定は [自動] です。選択した [原稿の種類] に応じて、地肌補正は自動的に適用されたり適用されなかったりします。</li> <li>• [オン] または [オフ] を選択して、[自動] を上書きします。</li> </ul> <p>適用される地肌補正方法は選択された用紙の種類によります。</p> 
[カラー強調表示]	[オン] [オフ]	<p>[オン] に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• マーカー ペンによる書き込みを見やすくする場合。</li> <li>• カラーの情報が入った CAD 図面のカラーを強調し、背景情報はグレイスケール (ブラック) のみにする場合。</li> </ul> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [カラー モード] が [カラー] に設定されている場合、カラー強調表示はカラーをさらに飽和します。</li> <li>• [カラー モード] が [グレイスケール] に設定されている場合、原稿のグレイスケール情報よりもカラーが暗くスキャンされます。</li> <li>• 以下の原稿の種類には設定は無効になります、[写真]、[アートワーク]、[ブルー プリント]。</li> </ul>



## カテゴリ:[ワークフロー]

設定	設定値	機能
[保存先]	[種類]	スキャン先の場所を選択します。 詳細については、 <a href="#">場所の設定 (116 ページ)</a> を参照してください。
[スキャン名]		キーボードを使用してスキャンファイル名を変更します。
[プリントのチェック]	[オン] [オフ]	スキャンしたイメージのプリントを作成するには、[オン] にセットします。

## スキャンジョブの推奨設定

### はじめに

特定の種類の原稿文書を使用する場合、特定のテンプレートと、ジョブの品質と生産性に影響する設定を選択できます。最良の結果を得るには、以下の表の推奨設定を使用してください。

### ワークフロー

- 最初に、ジョブに最適なテンプレートを選択します。以下の表に、工場でインストールされたスキャンテンプレートを紹介しています。  
システムには 11 種類のスキャンテンプレートが工場でインストールされています。また、新しいスキャンテンプレートは WebTools Express で作成できます。最初の 5 種類の工場でインストールされたテンプレートは、インストールすると操作パネルに表示されます。テンプレートは WebTools Express から有効または無効にできます。詳細については、「[新規テンプレートの作成 \(110 ページ\)](#)」および「[スキャンテンプレートを有効または無効にする \(115 ページ\)](#)」を参照してください。
- 設定をさらに最適化したい場合は、操作パネルでスキャン タイルをタップし、詳細設定を選択できます。画像処理を調整することで出力品質を最適化したい場合は、ジョブに対応する [原稿の種類] を選択できます。詳細については、「[スキャンジョブの詳細設定 \(252 ページ\)](#)」および「[原稿の種類 \(260 ページ\)](#)」を参照してください。

### 推奨設定

スキャンテンプレート	原稿文書
01 - Fast CAD B/W	白黒 CAD 図面。生産性または小さいファイル サイズが重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある白黒 CAD 原稿には、[CAD 白黒] テンプレートを選択します。
02 - CAD B/W	白黒 CAD 図面。品質が重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[03 - Fast Color]	広範なカラー原稿の高生産スキャン用。 大面積の塗りつぶしがある原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
04 - Color	ほとんどすべての原稿。高品質のカラー スキャンを作成する場合に使用します。 品質設定は、色精度と、背景を抑制しながら微細情報をエンハンスメントすることの間でバランスされます。
[05 - CAD color]	カラー CAD 図面。品質またはファイル サイズが重要な要素である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[06 - Fast CAD color]	カラー CAD 図面。生産性またはファイル サイズが重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[07 - Diazo B/W]	ジアゾ原稿や青焼など、さまざまな背景の CAD 原稿。白黒スキャンを作成する場合に使用します。
[08 - CAD with fold - ings]	折りのあるモノクロームの CAD 原稿。白黒スキャンを作成する場合に使用します。

スキャンテンプレート	原稿文書
[09 - CAD color to B/W]	カラー CAD 図面、マップ、ビジネス グラフィックスなど。白黒スキャンを作成する場合に使用します。
[10 - CAD color + highlight]	マーカー ペンによるマーク付きのカラー CAD 図面。 カラーをさらに飽和します。
[11 - Photo color]	高い色精度を持つフォトライクな原稿。

## 原稿の種類

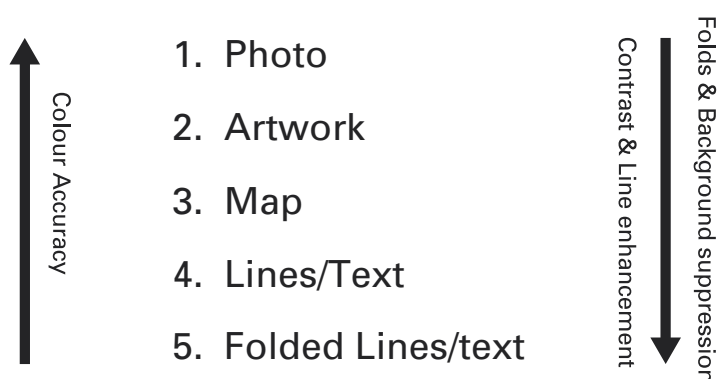
### はじめに

操作パネルでスキャン タイルをタップし、[原稿] - [原稿の種類] 設定を選択すると、ジョブの品質をさらに最適化することができます。

原稿の種類をカラーまたはグレイスケールに変更します。概要を参照して適切な種類を選択します。

### カラーの原稿の種類

- 原稿の種類を [写真] から [折られた線/テキスト] に変更すると、線画およびコントラストのエンハンスメントは増加し、折りおよび背景はより抑制されます。
- 原稿の種類を [折られた線/テキスト] から [写真] に変更すると、色精度が増します。



原稿の種類	定義
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。フォトはアートワークよりも穏やかなコントラストを提供します。
[アートワーク]	カラー領域の境界および色間の移行がよりはっきりしたアートワークのようなカラー原稿に使用します。
[地図]	カラー領域が大きく、同時に線画や細かい詳細もあるような原稿に使用します。このモードは、広範囲の原稿に対し、色精度と線画をエンハンスメントする上で最適なバランスをとります。
[線/テキスト]	CAD 図面に使用します。線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[折られた線/テキスト]	折りのある CAD 図面に使用します。線画およびしわは抑制されます。

### グレイスケールの原稿の種類

原稿の種類	定義
[線/テキスト]	モノクロームの CAD 図面に使用します。
[カラーの原稿]	カラー CAD 図面など、ほとんどのカラー原稿に使用します。
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。フォトはカラー原稿よりも穏やかなコントラストを提供します。
[濃い原稿]	特に青焼きプリントに使用します。変化する「濁った」背景のある原稿。▶

原稿の種類	定義
[折られた線/罫紙]	折りのあるモノクロームの CAD 図面に使用します。線画およびしわは抑制されます。折りのあるカラーの CAD 図面には、[カラーの原稿] を使用します。
[ブルー プリント]	青い背景上に白い線を使用した典型的な反転原稿に使用します。

## ファイルの種類

### はじめに

スキャン テンプレートを作成する時またはスキャンを行う時に選択したカラー モードおよびファイルの種類によって、圧縮モードおよび構成の値が変更されます。一部のファイルの種類および一部の状況では、圧縮および構成の設定を指定できません。以下のリストは適切なファイルの種類およびカラー モードを定義するのに役立ち、どの圧縮および構成設定が可能であるのかを示しています。



#### メモ

操作パネルおよび WebTools Express で自動圧縮値を設定できます。選択されたファイルの種類に応じて、最も一般的な圧縮方法がコントローラによって選択されます。

自動圧縮値は下記から確認できます:

- 操作パネル上のスキャン タイルの下部。スキャン タイルを 2 回タップし、「[ファイルの種類]」を選択します。
- WebTools Express のスキャンテンプレート。

次の場所で自動圧縮値を設定します:

- [PDF 圧縮] (PDF が選択された場合)
- [PDF/A 圧縮] (PDF/A が選択された場合)
- [TIFF 圧縮] (TIFF が選択された場合)

### カラー モード: カラー

[カラー モード]	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG 品質]
[カラー] 	[TIFF]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[LZW] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF]	該当なし	[Flate] [LZW] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[PDF/A]	該当なし	[Flate] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
[JPEG]	該当なし	該当なし	[最高] [高] [中] [低]	

## カラーモード: グレyscale

[カラーモード]	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG品質]
[グレイスケール] 	[TIFF]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[LZW] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF]	該当なし	[Flate] [LZW] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[PDF/A]	該当なし	[Flate] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
[JPEG]	該当なし	該当なし	[最高] [高] [中] [低]	

## カラーモード: 白黒

[カラーモード]	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG品質]
[白黒] 	[TIFF]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[グループ 4] [グループ 3] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF]	該当なし	[グループ 4] [LZW] [Flate] [なし]	該当なし
	[PDF/A]	該当なし	[グループ 4] [Flate] [なし]	該当なし
	[CALS]	該当なし	該当なし	該当なし

## スキャンを作成して余白を削除する

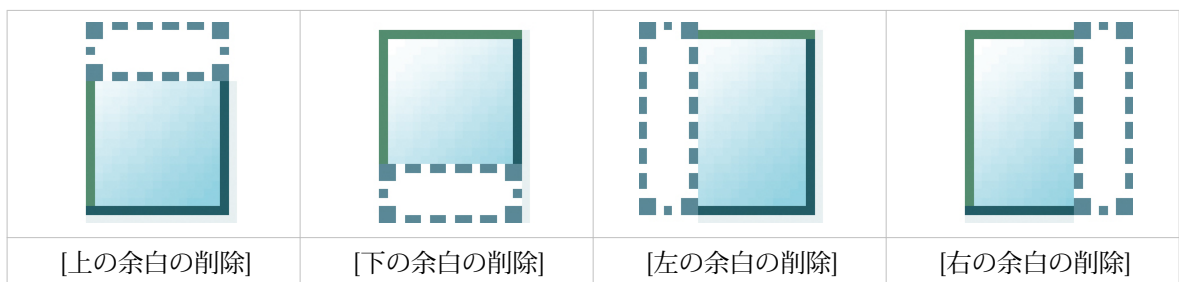
### はじめに

余白付きの原稿がある場合、スキャン済みファイルから余白を削除することができます。

操作パネル上のオプション [余白の消去] を使用し、余白付きの原稿をスキャンして、ファイルから余白を削除します。原稿の先端、後端、左側および右側から余白を削除することができます。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルをタップし、スキャン Smart Access 内で指定したテンプレートを選択します。
3. スキャン タイルをもう一度タップします。
4. 「[原稿] (原稿)」カテゴリで「[余白の削除] (余白を削除)」をタップします。



5. [上の余白の削除]、[下の余白の削除]、[左の余白の削除] または [右の余白の削除] を選択して、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. グリーン ボタンをタップします。

### 結果

プリンタは、定義された余白なしで原稿をファイルにスキャンします。テンプレートに定義した場所にファイルが送信されます。



## USB キーへのスキャン

### はじめに

ユーザ パネルに USB キーを差し込むと、USB にスキャンできます。

### 始める前に

- USB にスキャンする前に、適切な設定が有効になっていることを確認してください。詳細については、[USB の有効化または無効化 \(117 ページ\)](#) を参照してください。
- ジョブを送信しやすいように、USB を保存先とするテンプレートを作成できます。詳細については、[新規テンプレートの作成 \(110 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. ユーザ パネルの USB ポートに USB キーを差し込みます。  
スキャン タイルが操作パネルで自動的に選択されます。USB を保存先とするテンプレートを選択するか、または保存先を USB に変更します。
3. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。



メモ

USB ポートのライトの点滅が停止するまで待機してから、USB キーを取り外します。

### 結果

ファイルへのスキャンが実行され、USB キーに保存されます。USB キーからファイルを取得できます。

## ホームフォルダへのスキャン

### はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にすると、安全な場所としてホームフォルダにプリントまたはスキャン ジョブを送信できます。



メモ  
ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な自分用の安全な外部の場所です。

### 始める前に

構成された [ユーザー認証] を使用して [ユーザー名とパスワード] を有効にし、まず場所としてホームフォルダを有効にします。詳細については、[ホームフォルダの有効化および編集 \(118 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

1. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用してプリンタ操作パネルにログインします。
2. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
3. スキャン タイルを選択します。
4. ホームフォルダを保存先とするテンプレートを選択するか、または保存先をホームフォルダに変更します。
5. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。

### 終わった後に

ファイルはネットワーク上の自分用の場所へ送信されます。典型的な構成では、ファイルはワークステーション上のホーム ドライブの下にあります。

# モバイル デバイスにスキャン済みドキュメントを保存する

## はじめに

Publisher Express にアクセスできる場合、プリンタでドキュメントをスキャンして、モバイル デバイスに保存することができます。

## 始める前に

有効な接続があることを確認します。

## 手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルを選択します。スキャン Smart Access が表示されます。
3. Smart Access で、指定したテンプレートを選択し、「Smart Inbox 」が保存先として設定されていることを確認します。
4. グリーン ボタンをタップします。  
スキャン済みファイルが、選択した Smart Inbox に送信され、WebTools Express および Publisher Express に表示されます。
5. モバイル デバイスで Publisher Express を開きます。
6. 指定した Smart Inbox セクションを開きます。スキャンされたファイルがここに表示されます。Smart Inbox セクションは、数秒で自動的に更新されます。
7. ファイルを選択して、[保存] アイコンをクリックします。
8. モバイル デバイスのフォルダを参照して、[OK] をクリックします。



### メモ

保存場所またはフォルダは、モバイル デバイスのブラウザによって決定される場合があります。一部のモバイル デバイスのブラウザでは、保存時にファイル名または拡張子を変更される場合があります。

## 結果

ファイルがモバイル デバイスに保存されます。

プリンタのインボックスからファイルを削除するには、[削除] アイコンをクリックします。

# アクティブなジョブの一時停止、再開または停止

## はじめに

アクティブなジョブを一時停止、再開または停止する場合、実行できることがいくつかあります。

## 手順

### アクティブなプリント ジョブの一時停止または再開

手順	アクション
1.[一時停止]	<p>操作パネルの動的なバーでアクティブなジョブをタップします。キューが開き、[一時停止] が動的なバー内に表示されます。[一時停止] をタップして、プリンタを一時停止します。[一時停止] タイルが [再開] タイルに変化します。</p> <p> <b>メモ</b> 実行中のプリントはプリンタによって完了するため、プリンタが一時停止するまで時間がかかることがあります。</p> 
2.[再開]	<p>動的なバー内の [再開] をタップして、プリンタを再開します。</p> 

### ユーザパネルでのアクティブなジョブの停止および削除

手順	アクション	結果
1	停止ボタンを押します。	スキャン ジョブの場合: マシンがスキャン処理を直ちに停止します。
2	プリント ジョブの場合: ジョブの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。	プリント ジョブは保存されるか、削除されます。
3	プリント ジョブの場合: Smart Inbox からのジョブの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。	プリント ジョブは保存されるか、削除されます。
4	コピー ジョブとスキャン ジョブの場合: スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。	スキャナが原稿をリリースします。

### WebTools Express でのアクティブなジョブの停止および削除

手順	アクション	結果
1	[ジョブ] タブを開きます。	

手順	アクション	結果
2	ジョブ キュー セクションで、削除するジョブの前にあるボックスにチェックマークを付け、[削除] をクリックします。	システムによってジョブが中止され、削除されます。

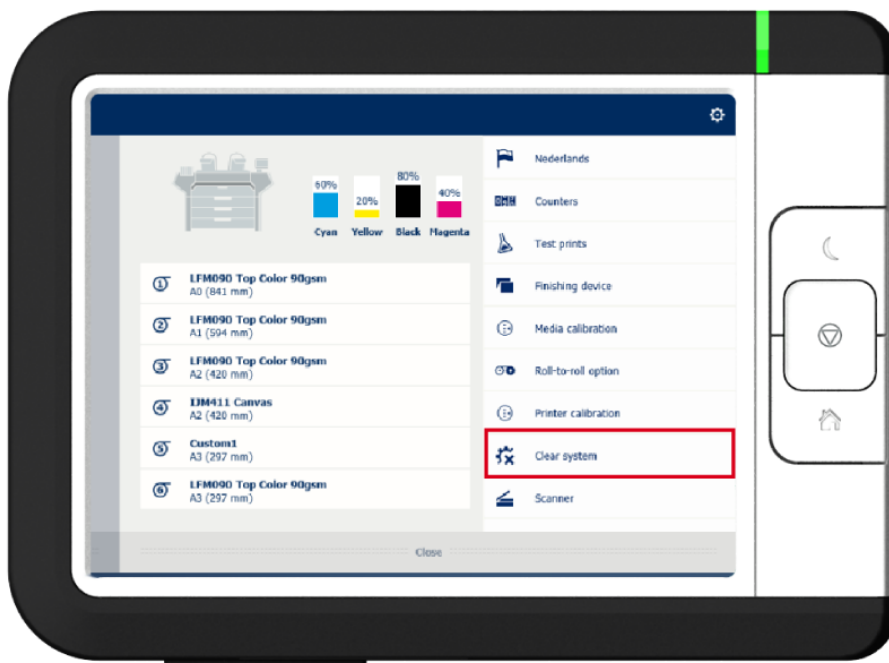
## システム設定のクリア

### 使用する場合

操作パネルで、システムからすべてのプリントとコピーのジョブを削除することができます。

### 手順

1. 動的なバーで、システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイの右側のリストで、「[システムのクリア] (システムのクリア)」をタップします。ウィザードが開きます。



#### メモ

すべての情報を保存していることを確認します。すべてのプリントとコピーのジョブが削除されます。

3. ウィザードの指示に従い、手順を完了します。

### 結果

手順に従った後、システムが再起動し、すべてのプリントとコピーのジョブが削除されます。

## 第5章

# プリント システムのメンテナンス

## システムの更新

### ソフトウェアを更新する

サービスまたは最寄りの代理店からリクエストがある場合、システム ソフトウェアを更新することができます。"<http://downloads.cpp.canon>"でお使いの製品向けのパッチが利用できる場合、セキュリティ用のシステム パッチをインストールします。更新は、操作パネルまたは WebTools Express から実行できます。

更新	場所
システム ソフトウェア	操作パネルまたは WebTools Express
システム パッチ (セキュリティ)	WebTools Express



## 操作パネルでのシステムソフトウェアの更新

### はじめに

ソフトウェアの新しいバージョンが含まれる USB デバイスを使用して、操作パネルでシステムソフトウェアを更新することができます。

### 始める前に

システムソフトウェアを更新する場合は、最寄りの代理店からシステムソフトウェア更新用のパッケージを入手します。

NTFS フォーマットされた USB デバイスが必要です。USB デバイスの [USB:\Packages] ディレクトリに、更新ファイル ([オープンソース パッケージ (\*\_os.sup)] および [ソフトウェア パッケージ (\*\_sw.sup)]) があることを確認します。



#### メモ

- この更新処理により、すべてのジョブがシステムから削除されます。
- 更新中は、約 20 分間このシステムを使用できなくなります。
- この更新には完全なオペレーティングシステムの更新が含まれます。このため、インストールされているサードパーティー製アプリケーションはすべて消去されます。サードパーティー製アプリケーションは更新後に再インストールできます。

### 手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. セットアップ メニューで「[システムの更新]」をタップします。
3. システム管理者またはパワーユーザーとしてログインします。更新ウィザードが開きます。
4. USB デバイスを操作パネルの USB ポートに挿入します。
5. ウィザードの指示に従います。  
更新中は、このシステムを使用できなくなります。更新が終了すると、プリンタが自動的に再起動します。
6. プリンタが再起動する前に USB デバイスを取り外します。

### 終わった後に

現在のソフトウェア バージョンは、操作パネルでシステム メニューから [システムの更新] を選択するか、WebTools Express で [サポート] から [更新] タブを選択すると確認できます。

## WebTools Express でのシステム ソフトウェアの更新

### はじめに

ソフトウェアは WebTools Express で更新できます。これらの設定は、[サポート] - [更新] タブに表示されます。

「[更新]」タブには以下の機能があります。

- システム ソフトウェアの**更新**
- システム パッチ (セキュリティ) の**インストール**
- 現在のソフトウェア バージョンの確認
- 適用された最新のパッチの実行ステータスの確認 (「成功」または「失敗」)

### 始める前に

システム ソフトウェアを更新する場合は、最寄りの代理店からシステム ソフトウェア更新用のパッケージを入手します。



#### メモ

- アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

### 手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [更新] ボタンをクリックして、現在のシステム ソフトウェアを更新します。
3. 必要なパッケージ ([オープン ソース パッケージ (\*\_os.sup)] または [ソフトウェア パッケージ (\*\_sw.sup)]) を参照します。  
必要なファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでソフトウェアを更新する準備ができました。警告メッセージが表示されます。  
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. 更新が開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。  
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. 更新が成功したかどうかが表示されます。

# WebTools Express へのシステム セキュリティ パッチのインストール

## はじめに

システム セキュリティ パッチ を WebTools Express. にインストールできます。

## 始める前に

システム セキュリティ パッチを "<http://downloads.cpp.canon>" からダウンロードします。



### メモ

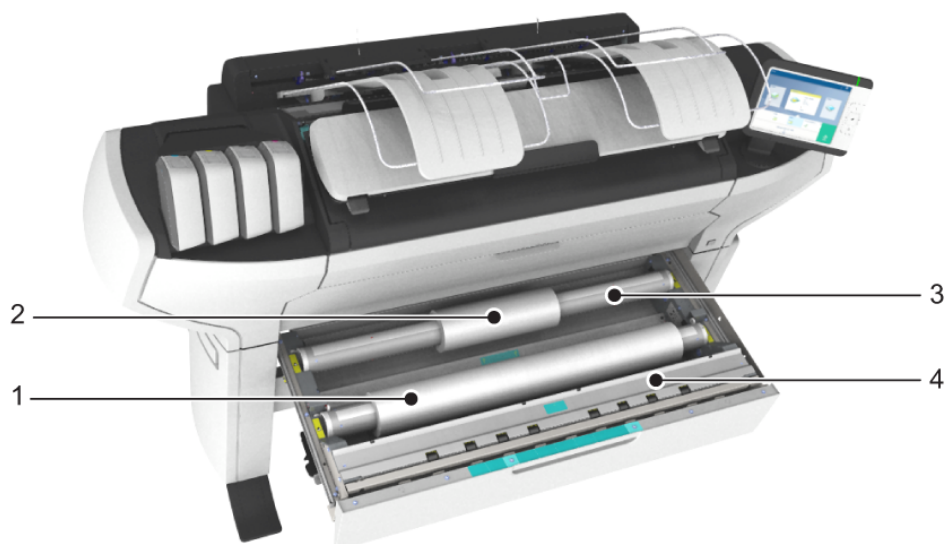
- アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

## 手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [インストール] ボタンをクリックして、システム パッチをインストールします。
3. [オペレーティング システムのパッチ ファイル (\*.msu)] 文書の保存場所を参照します。  
ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでパッチをインストールする準備ができました。警告メッセージが表示されます。  
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. インストールが開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。  
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. インストールが成功したかどうかが表示されます。

# 用紙の交換

## 用紙引き出し



### コンポーネント - 機能表



#### 重要

傷などのないロール紙のみを使用してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、[イメージングデバイス]が損傷する場合があります。

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[用紙ロール] 1	最初の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
2	[用紙ロール] 2	2番目の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
3	[ロールホルダ]	ロール紙を装着します。
4	[ロールローディングステーション]	用紙引き出しの前部カバーの後ろに統合された溝。

## ロール紙の取り外し



### 重要

- ロール紙の取り扱いには十分注意してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、プリンタが損傷する場合があります。
- プリント処理中に用紙引き出しを開かないでください。



### 注意

- ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。
- A0 ロール紙を位置 2 から取り外す場合は、腰を保護するために、図に示すように膝を曲げるようにしてください。

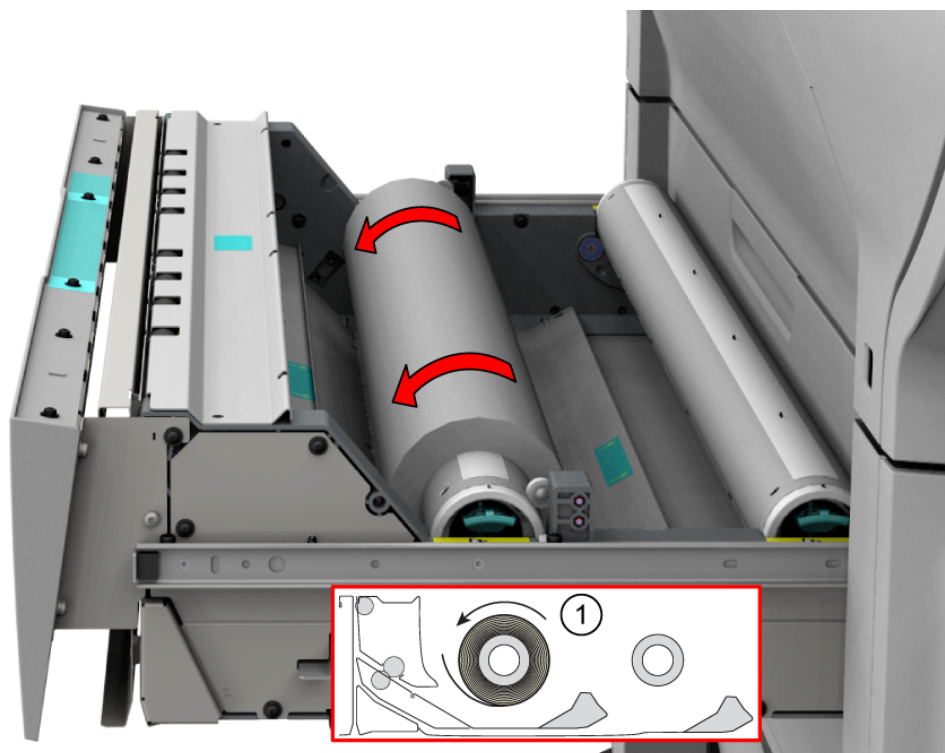


## 手順

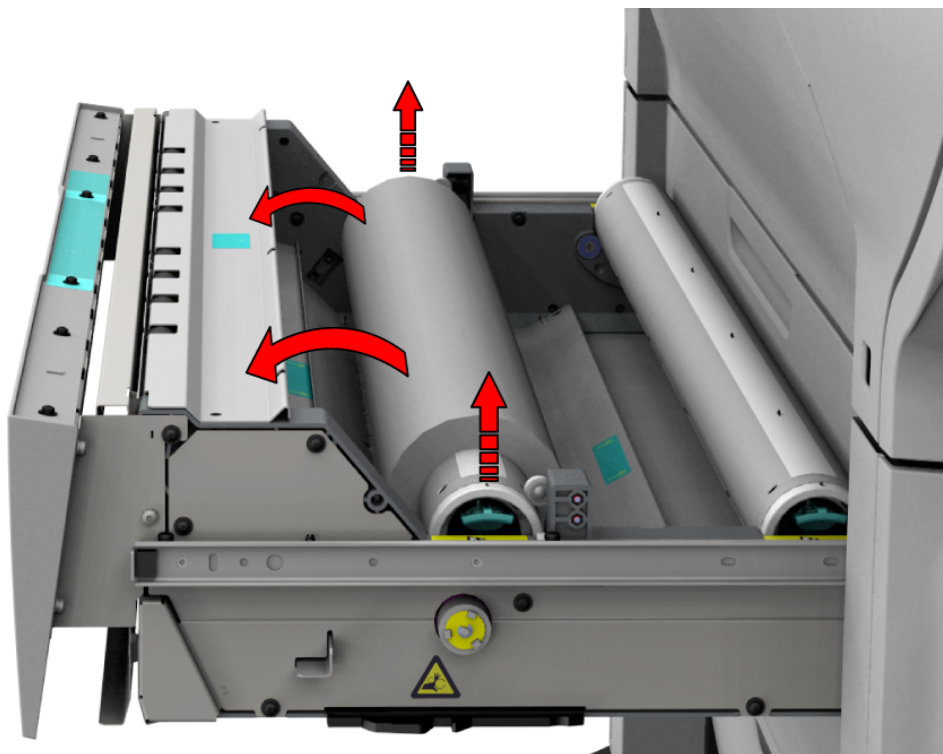
1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



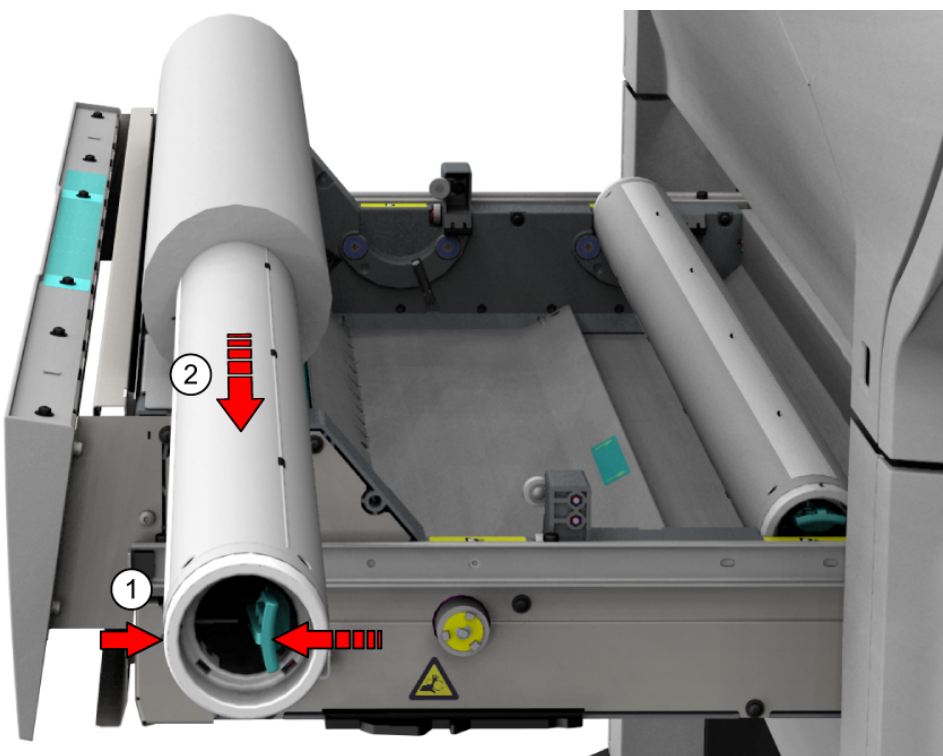
2. 手動で用紙を巻き戻し、金属製の用紙ガイドから用紙を取り外します。



3. 図に示すように両手を使用して、ロール紙とロール紙ホルダーを持ち上げ、ロール ローディング ステーションに置きます。



4. ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に引き、ロール紙のコアからロール紙ホルダーを取り出します。  
空のロール紙ホルダーを引き出しに戻します (図を参照)。



5. ロール ローディング ステーションからロール紙を取り出します。  
転落などを防ぐため、安全な場所に保管します。



## ロール紙をパッケージから取り出す



### 重要

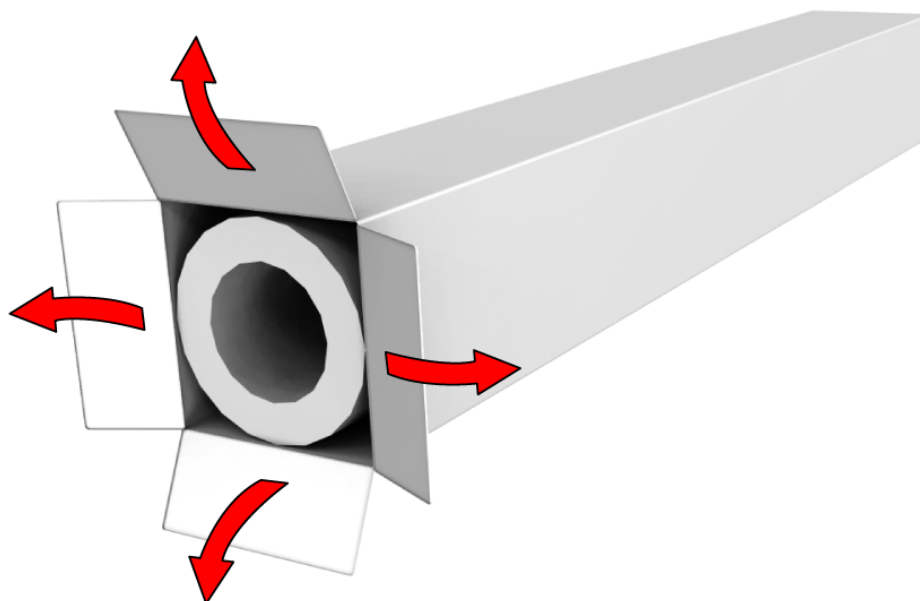
- ロール紙の取り扱いには十分注意してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、プリンタが損傷する場合があります。
- ロール紙をパッケージから取り出した後、コアの内側に正しい用紙名を必ずメモしてください。こうすることで、ロールが空になる前に交換して後から再利用する場合に、適切な用紙情報を使用することができます。

### 手順

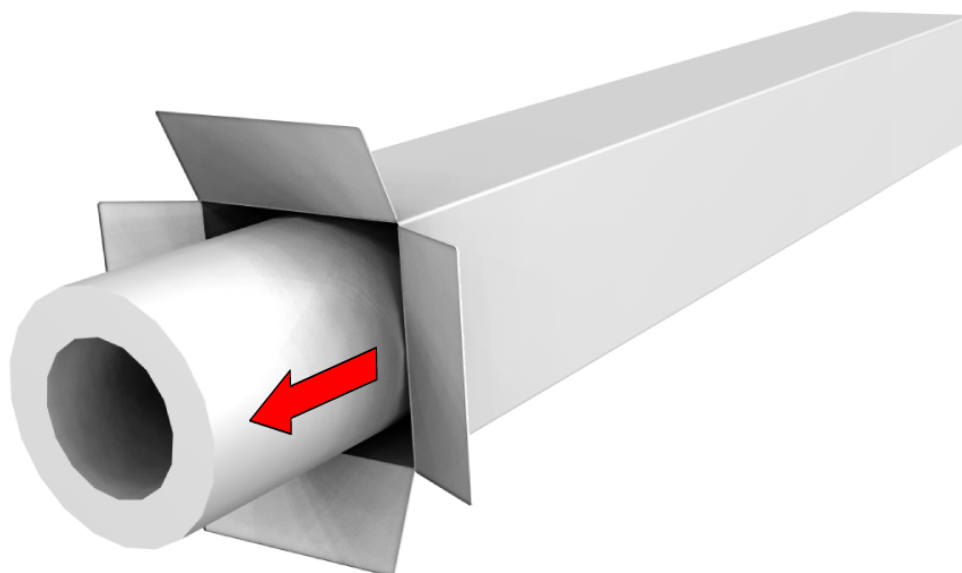
1. 用紙ボックスをテーブルに置きます。



2. ボックスを開いて、プラグがある場合は取り外します。



3. ボックスからロール紙を注意深く取り出します。



4. プラグがもう 1 つある場合はそれも取り外し、ロール紙のプラスチックのカバーを取り外します。

## ロール紙の装着

### はじめに

プリンタには定型用紙とカスタム用紙を取り付けることができます。

### 始める前に

プリンタにロールを取り付ける前に、用紙が有効であることを確認してください。

- 定型用紙では、WebTools Express で用紙プロファイルを有効にする必要があります。詳細については、[用紙プロファイルを設定する \(183 ページ\)](#) を参照してください。
- WebTools Express で、サイズが有効になっていることを確認してください。詳細については、[用紙サイズの構成 \(186 ページ\)](#) を参照してください。用紙サイズがリストにない場合は、カスタム用紙サイズを作成できます。詳細については、[カスタムの用紙サイズの作成 \(185 ページ\)](#) を参照してください。



#### 重要

- イメージング デバイスの損傷を防ぐため、凹凸のあるロール紙は使用しないでください。
- プリント処理中に用紙引き出しを開かないでください。
- プリンタの過度つりあいを防ぐため、複数のロール引き出しを一度に開けないでください。



#### 注意

ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。

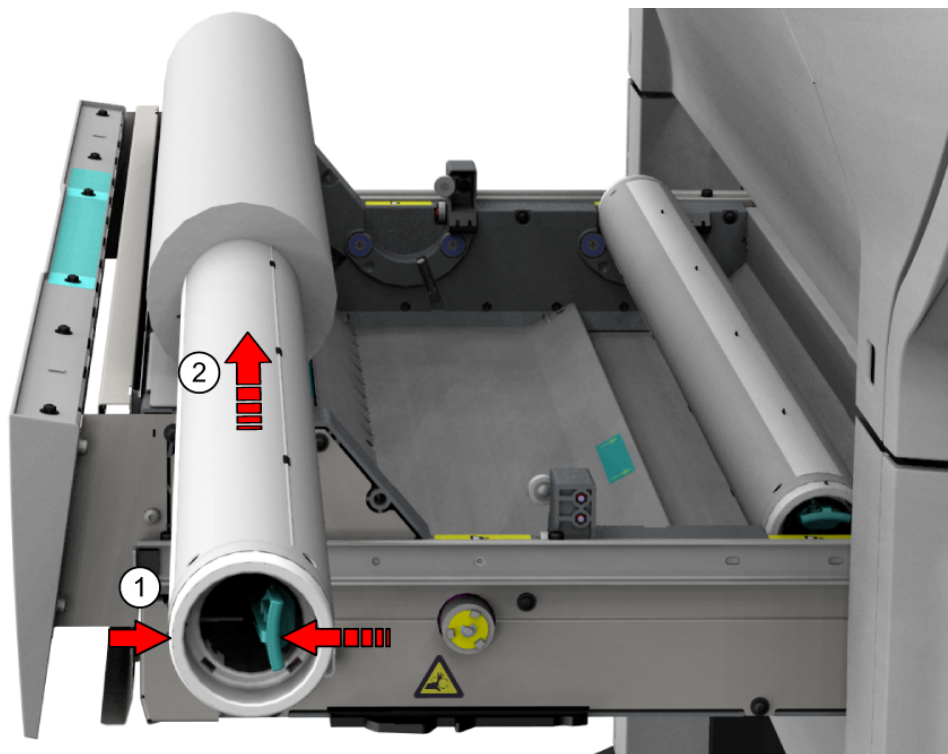
### 手順

1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



2. 新しいロール紙を、ロール ローディング ステーションに取り付けます。

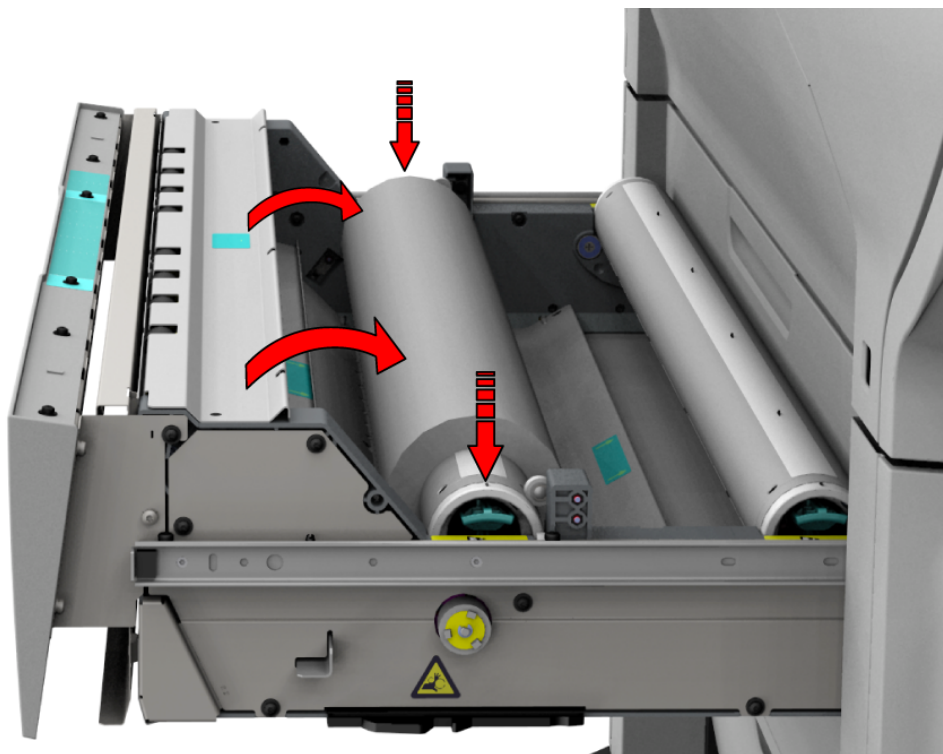
3. ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に押します (1)。  
ロール紙ホルダーを、新しいロール紙のコアの右側に差し込みます (2)。



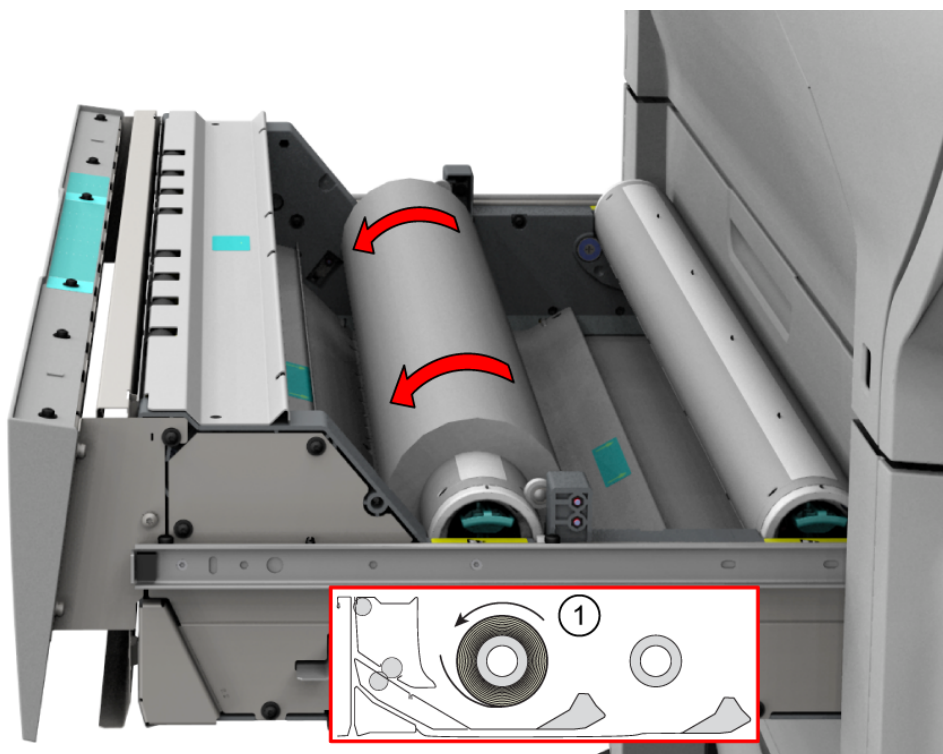
4. ロール紙ホルダーのロールの位置を合わせます。幅インジケータを使用して、対応する用紙サイズに取り付けます。ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを戻します。



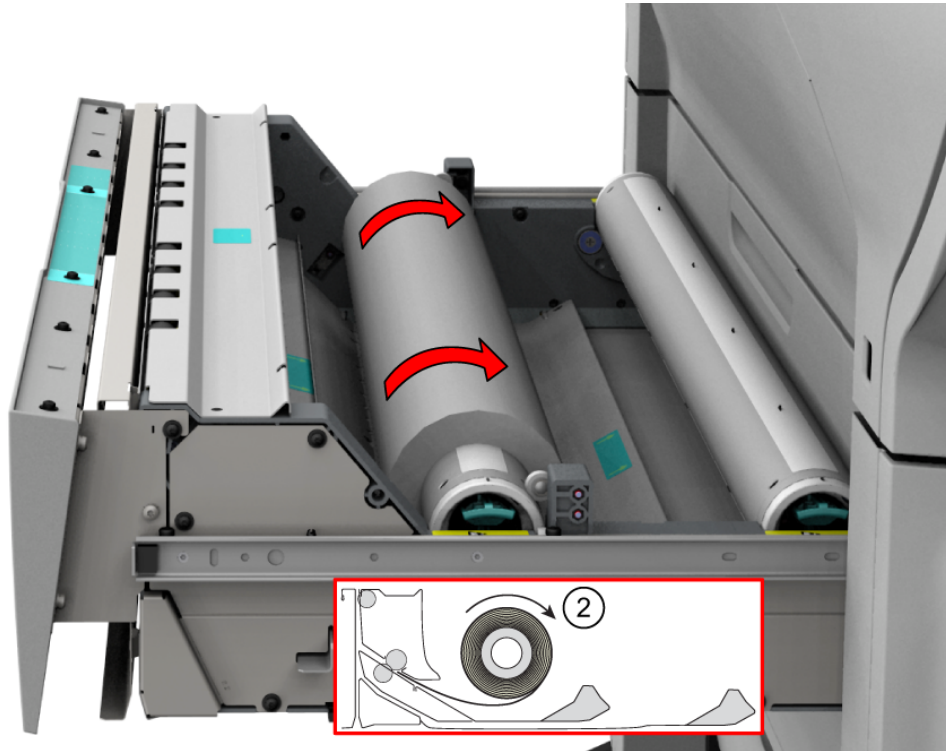
5. 新しいロール紙からテープを取り外します。  
図に示すように両手を使用して、ロール紙を用紙引き出しに取り付けます。



6. 両手を使用して、用紙のフラップが金属製の用紙ガイドを通り過ぎるまで、ロール紙を巻き戻します (1)。



7. 両手を使用して、用紙が自動的に搬送されるようになるまで、用紙ガイドの下に用紙をスライドさせます (2)。



8. 用紙引き出しを閉じます。操作パネルに新しい用紙が検出されたことを伝えるメッセージが表示されます。



メモ

装着中に用紙引き出しを開かないでください。

9. ウィザードの指示に従って適切な用紙を定義します。  
用紙の種類を選択 プリンタは適切なサイズを自動的に検出します。余白を短くするか、長くするか、なしにするかを選択し、[OK] をタップします。



メモ

- 最高の出力品質を得るため、新しい用紙の種類を取り付けるときには、必ず用紙調整を行うことをお勧めします。

## 結果

これで新しく取り付けた用紙にプリントできます。

## カスタム ロール紙の装着

### はじめに

プリンタには定型用紙とカスタム用紙を取り付けることができます。

### 始める前に

プリンタにロールを取り付ける前に、用紙が有効であることを確認してください。

- カスタム用紙は、WebTools Express で用紙の種類を作成および有効にする必要があります。新しいロールの用紙の種類は、用紙ボックスのステッカーに記載されています。詳細については、[カスタムの用紙種類の作成 \(179 ページ\)](#) を参照してください。
- WebTools Express で、サイズが有効になっていることを確認してください。詳細については、[用紙サイズの構成 \(186 ページ\)](#) を参照してください。用紙サイズがリストにない場合は、カスタム用紙サイズを作成できます。詳細については、[カスタムの用紙サイズの作成 \(185 ページ\)](#) を参照してください。



#### 重要

- イメージング デバイスの損傷を防ぐため、凹凸のあるロール紙は使用しないでください。
- プリント処理中に用紙引き出しを開かないでください。
- プリンタの過度つりあいを防ぐため、複数のロール引き出しを一度に開けないでください。



#### 注意

ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。

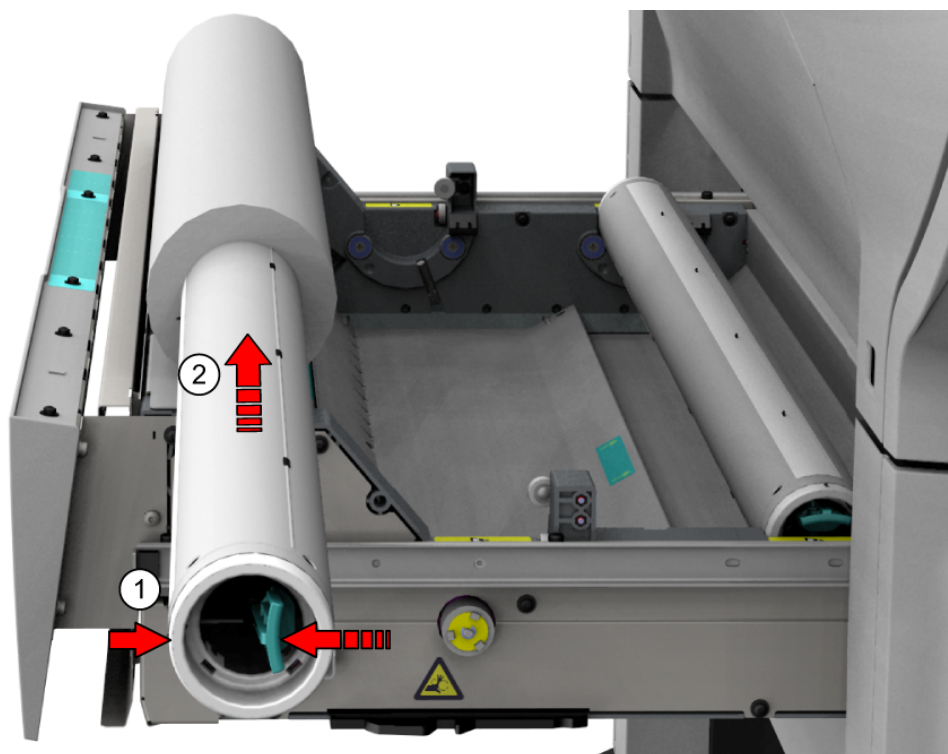
### 手順

1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



2. 新しいロール紙を、ロール ローディング ステーションに取り付けます。

3. ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に押します (1)。  
ロール紙ホルダーを、新しいロール紙のコアの右側に差し込みます (2)。



4. ロール紙ホルダーのロールの位置を合わせます。
  - ロール紙ホルダーに目的のサイズが示されている場合は、幅インジケータを使用して、対応する用紙サイズにロールを取り付けます。ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを戻します。

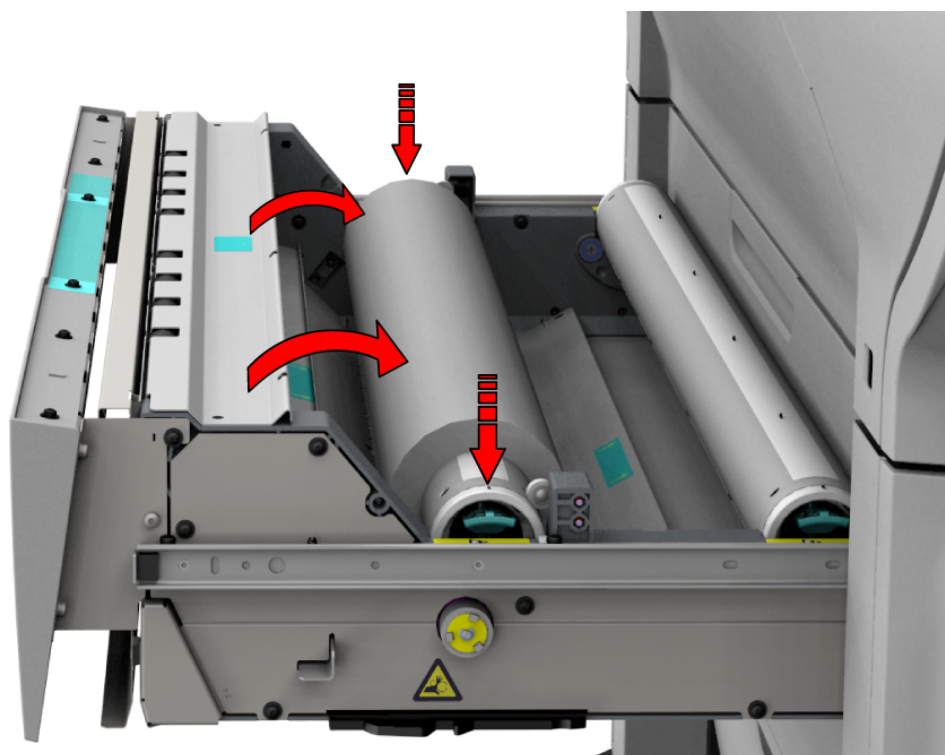




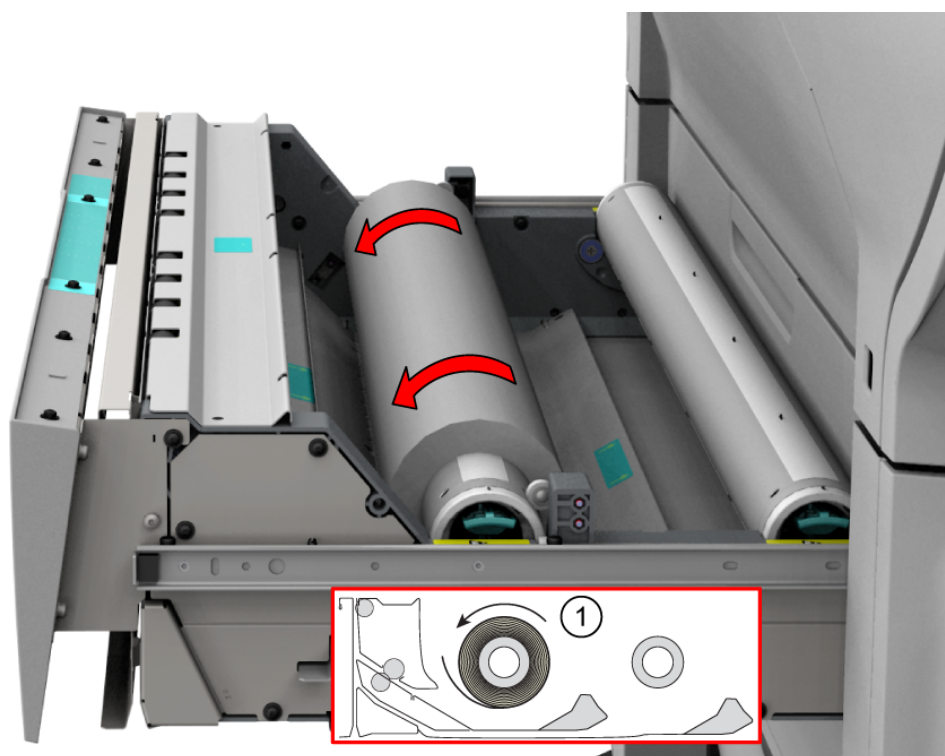
- ロール紙ホルダーに目的のサイズが示されていない場合は、ロール紙ホルダーの中央にロールの位置を合わせます。左右のロールの位置が縞模様のエリアにならないことを確認します。ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを戻します。



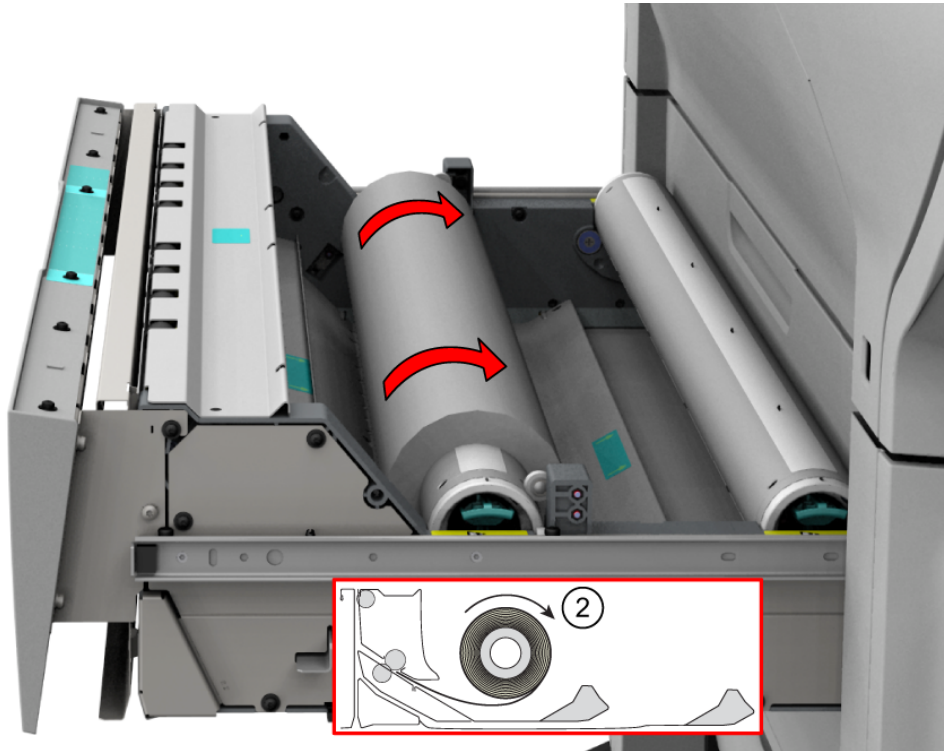
5. 新しいロール紙からテープを取り外します。  
図に示すように両手を使用して、ロール紙を用紙引き出しに取り付けます。



6. 両手を使用して、用紙のフラップが金属製の用紙ガイドを通り過ぎるまで、ロール紙を巻き戻します (1)。



7. 両手を使用して、用紙が自動的に搬送されるようになるまで、用紙ガイドの下に用紙をスライドさせます (2)。



8. 用紙引き出しを閉じます。操作パネルに新しい用紙が検出されたことを伝えるメッセージが表示されます。



メモ  
装着中に用紙引き出しを開かないでください。

9. ウィザードの指示に従って適切な用紙を定義します。  
用紙の種類を選択プリンタは適切なサイズを自動的に検出します。余白を短くするか、長くするか、なしにするかを選択し、[OK] をタップします。



メモ

- カスタムの用紙の種類を最初に使用する場合、プリンタが自動的に調整を行います。
- 最高の出力品質を得るため、新しい用紙の種類を取り付けるときには、必ず用紙調整を行うことをお勧めします。

## 結果

これで新しく取り付けられた用紙にプリントできます。カスタム用紙では、手動でカットすることもできます。詳細については、「[手動でのカット \(292 ページ\)](#)」を参照してください。

## 手動でのカット

### はじめに

カスタム用紙を使用する場合、背面出力で手動で用紙をカットすることができます。

### 始める前に

同梱のナイフ、またはその他のナイフや先の尖ったはさみを使用して、用紙をカットします。

### 手順

1. ユーザパネルに、手動でカットするためにナイフを用意するよう求める要求が表示されます。ナイフを用意し、ユーザパネルの [OK] をタップします。  
プリンタが用紙を搬送します。背面出力にわずかな余白が表示されます。



2. ナイフを使用して、用紙をカットします。できるだけ背面出力近くで用紙をカットします。



#### 重要

カット経路を遮る障害物がないことをチェックします。ケーブルやその他のコンポーネントをカットしないように注意してください。

3. カットが終了したら、ユーザパネルの [OK] をタップします。

## 用紙の種類

### はじめに

Canon の装置および用紙は最良な品質とパフォーマンスに調整されています。

以下の表は、アプリケーションと通常使用される用紙の種類の詳細を示しています。プリファレンスや入手可能性により、地域によっては取り合わせが異なる可能性があります。用紙の名前も異なる可能性があります。完全な用紙リストについては、最寄りの代理店にお問い合わせください。

用紙名は次の場所で選択できます:

- マルチタッチ操作パネル
- WebTools Express
- Driver Select for Microsoft® Windows®
- Driver Express for Adobe® Postscript® 3™
- Publisher Select

### 用紙の種類とアプリケーション



#### 重要

高温多湿の部屋に用紙を保管しないでください。最も優れたプリント品質に推奨される環境では、温度が摂氏 27 度または華氏 80 度を超えず、相対湿度は 30 ~ 60 パーセントです。ほこりの多い場所や直射日光の当る場所も避けてください。湿気を吸収しないようにするため、未使用の用紙をビニール袋で覆ってください。

アプリケーション	典型的な用紙の種類
CAD	非塗工紙 60 - 90 g/m <sup>2</sup> コーティングなし Tyvek 75 g/m <sup>2</sup> ポリエステル フィルム VELLUM (ベラム)
地図/GIS	非塗工紙 60 - 110 g/m <sup>2</sup> コーティングなし Tyvek 75 g/m <sup>2</sup> 地図布
回路図	非塗工紙 75 - 120 g/m <sup>2</sup>
ディスプレイザブル POP	非塗工紙 60 - 200 g/m <sup>2</sup> 粘着紙 粘着コーティング ビニール ブルーバック紙
主題的 POP	粘着紙 90 - 120 g/m <sup>2</sup> 非塗工紙 < 200 g/m <sup>2</sup> 粘着コーティング ビニール 布タイプ コーティングなし Tyvek 75 - 100 g/m <sup>2</sup>
ポスター	非塗工紙 60 - 200 g/m <sup>2</sup> ブルーバック紙 120 g/m <sup>2</sup>
インドア バナー	ポリプロピレン フィルム 150 - 200 μm ポリエステル フィルム 150 - 200 μm 遮光性フィルム
イベント バナー	コーティングなし Tyvek 50 - 100 g/m <sup>2</sup> コーティング ビニール コーティングなしビニール (フィルム ラミネートのみ)

アプリケーション	典型的な用紙の種類
ストリート ファニチャー	ブルーバック紙 120 g/m <sup>2</sup>
エコノミー バックリット	バックリット紙 100 - 120 g/m <sup>2</sup> トランスルーセント フィルム 100 - 150 μm
ファイン アート	キャンバス エンボス加工キャンバス状紙 ソフト バナー
フォト プリント	インスタント ドライ フォト ペーパー 120 - 190 g/m <sup>2</sup>
壁紙	コーティングなし不織布フリース 粘着 (布) 壁紙
ソフト サイネージ	一般的なコーティングなしおよびコーティング PET 布 綿、ポリアミド、ビスコースなどの天然布および合成布
特別なアプリケーション、カスタマイズされた Crystal - Point のアプリケーション	(例) カスタマイズされたギフト包装紙などの特殊なカスタム用紙 包装などに使用されるクラフト紙 テンポラリ テーブル リネン

## 用紙サイズ

### はじめに

Canon の装置および用紙は最良な品質とパフォーマンスに調整されています。

以下の表に、選択可能なすべての用紙サイズの概要を示します。用紙サイズがリストにない場合は、独自のカスタム用紙サイズを作成できます。詳細は、[カスタム用紙サイズの作成 \(185 ページ\)](#) を参照してください。



#### 重要

高温多湿の部屋に用紙を保管しないでください。最も優れたプリント品質に推奨される環境では、温度が摂氏 27 度または華氏 80 度を超えず、相対湿度は 30 ~ 60 パーセントです。ほこりの多い場所や直射日光の当たる場所も避けてください。湿気を吸収しないようにするため、未使用の用紙をビニール袋で覆ってください。

### 用紙サイズ

#### ISO A (DIN) 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
A3	297	420
A2	420	594
A1	594	841
A0	841	1189

#### ISO SRA 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
SRA3	320	450
SRA2	450	640
SRA1	640	900
SRA0	900	1280

#### ISO B (DIN) 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
B3	353	500
B2	500	707
B1	707	1000
B0	1000	1414

#### Carto B 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
CartoB3	350	500
CartoB2	500	700
CartoB1	700	1000

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
CartoB0	1000	1400

## ANSI 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
B	11	17
C	17	22
D	22	34
E	34	44

## ARCH 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
B+	12	18
C+	18	24
D+	24	36
E+	36	44

## ARCH1 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
15 インチ	15	21
21 インチ	21	30
E1 (30 インチ)	30	42
42 インチ	42	60

## その他

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
310 mm (x 340 mm)	310	340
330 mm (x 450 mm)	330	450
440 mm (x 594 mm)	440	594
440 mm (x 620 mm)	440	620
450 mm (x 625 mm)	450	625
620 mm (x 880 mm)	620	880
660 mm (x 841 mm)	660	841
800 mm (x 1189 mm)	800	1189
800 mm (x 1200 mm)	800	1200
880 mm (x 1230 mm)	880	1230
891 mm (x 1260 mm)	891	1260



## カスタム用紙の仕様

### はじめに

様々な種類の用紙をプリンタで使用できます。カスタム用紙を使用する場合は、下表にリストされている仕様に適合する用紙を必ず使用してください。



#### メモ

カスタム用紙の使用は自己責任です。用紙の種類および用紙サイズのリストについては、「[用紙の種類 \(293 ページ\)](#)」または「[用紙サイズ \(295 ページ\)](#)」を参照するか、または最寄りの代理店にお問い合わせください。



#### 重要

高温多湿の部屋に用紙を保管しないでください。最も優れたプリント品質に推奨される環境では、温度が摂氏 27 度または華氏 80 度を超えず、相対湿度は 30 ~ 60 パーセントです。ほこりの多い場所や直射日光の当たる場所も避けてください。湿気を吸収しないようにするため、未使用の用紙をビニール袋で覆ってください。

### 用紙の仕様



#### 重要

- 透明で完全にトランスペアレントな用紙はプリンタでは検出できません。
- 非常に暗い色の用紙はプリンタでは検出できません。
- 光沢のあるシルバーまたはゴールドでコーティングされた用紙はプリンタでは検出できません。
- ロール コアに巻き付けられていない用紙または半分巻き付けられている用紙を使用してください。ロール コアに巻き付けられた用紙は使用しないでください。
- 用紙のプリント側を外側に向けてロールに取り付ける必要があります。そうしないと、引き出しから給紙できません。
- 用紙にロール カールがある場合は、カールをロール中央に向けます。

要素	仕様
コア サイズ	A 3 インチ コアが標準です。オプションの 2 インチ コア ホルダーを使用できます (非推奨)。
幅	279 ~ 1067 mm (11 ~ 42 インチ) の用紙がサポートされます。
厚さ	用紙の最大の厚さは 800 $\mu$ m です。
直径	ロールの最大径は 180 mm (7 インチ) です。
重量	ロールの最大重量は 20 kg (40 lb) です。
長さ	ロールの最大長は用紙の厚さによって決まります (たとえば、60 グラムの LFM111 紙の場合は 220 m、90 グラムの LFM090 紙の場合は 175 m)。

# トナーの補充

## トナー カートリッジの交換

### はじめに

クローズド オフ トナー カートリッジを使用するため、簡単にトナーを補充できます。

### 使用する場合

「トナーを補充してください」というメッセージが操作パネルに表示されたら、トナーを補充する必要があります。このメッセージはトナーが補充されるまで表示されています。通常の状態では、プリントが停止する前にプリンタは現在のジョブを終了できます。



### 始める前に

- プリント中にトナーを追加することはできません。プリンタがプリントを停止するか、ジョブを中止するまでお待ちください。
- プリンタの電源を入れたまま、トナーを補充することができます。
- ColorWave 3800 に適しているトナーを使用していることを確認します。
- プリンターが「ロール ツー ロール」モードである場合、トナー カートリッジを交換する前に、用紙をカットする必要があります。

### 手順

1. トナー カートリッジをパッケージから取り出します。



メモ

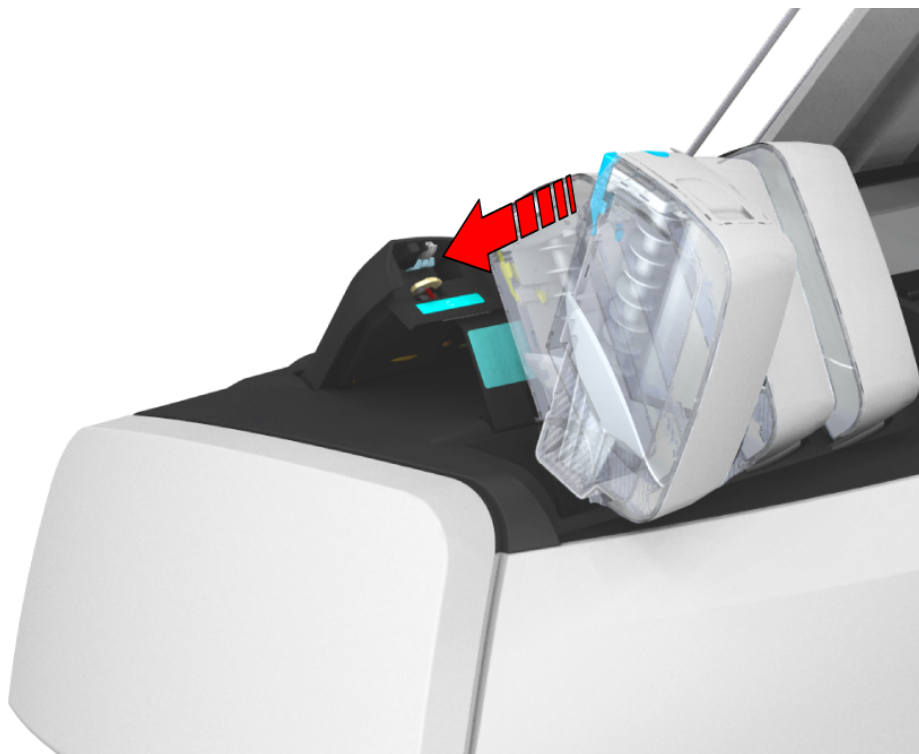
新しいトナー カートリッジのパッケージを捨てないでください。このパッケージは、メンテナンストレイとして使用します。

2. トナー カセットから赤い搬送クリップを取り外します。

3. プリンタから空のトナーカートリッジを取り外します。



4. 新しいトナーカートリッジを取り付けます。



5. 適切なカラーの位置にトナーカートリッジを取り付けてください。  
[1] シアン、[2] イエロー、[3] ブラック、[4] マゼンタ。



6. 新しいトナーカートリッジが適切に取り付けられると、ユーザパネルにメンテナンストレイのウィザードが表示されます。ウィザードの指示に従います。詳細については、「[メンテナンストレイの交換 \(301 ページ\)](#)」を参照してください。

## メンテナンストレイの交換

### はじめに

ユーザパネルに要求メッセージが表示された場合は、メンテナンストレイを交換します。メンテナンストレイは、トナーカートリッジのパッケージです。詳細については、「[トナーカートリッジの交換 \(298 ページ\)](#)」を参照してください。



番号	説明
1	メンテナンストレイの引き出しはプリンタの背面にあります。プリンタが開始したときに、イメージングデバイスがプリント品質の最適化を行うためにいくつかのトナーが必要です。これは、プレッシャーパルスワイプシーケンスと呼ばれる手順で実行されます。「プリントできます」という状態に到達するのに使われたトナーはメンテナンストレイに回収されます。このプロセスは1日数回繰り返され、イメージングデバイスを最高の状態に維持します。

### メンテナンストレイの交換

#### 手順

1. メンテナンストレイの交換が必要になると、ユーザパネルディスプレイにメッセージが表示されます。ウィザードの指示に従います。

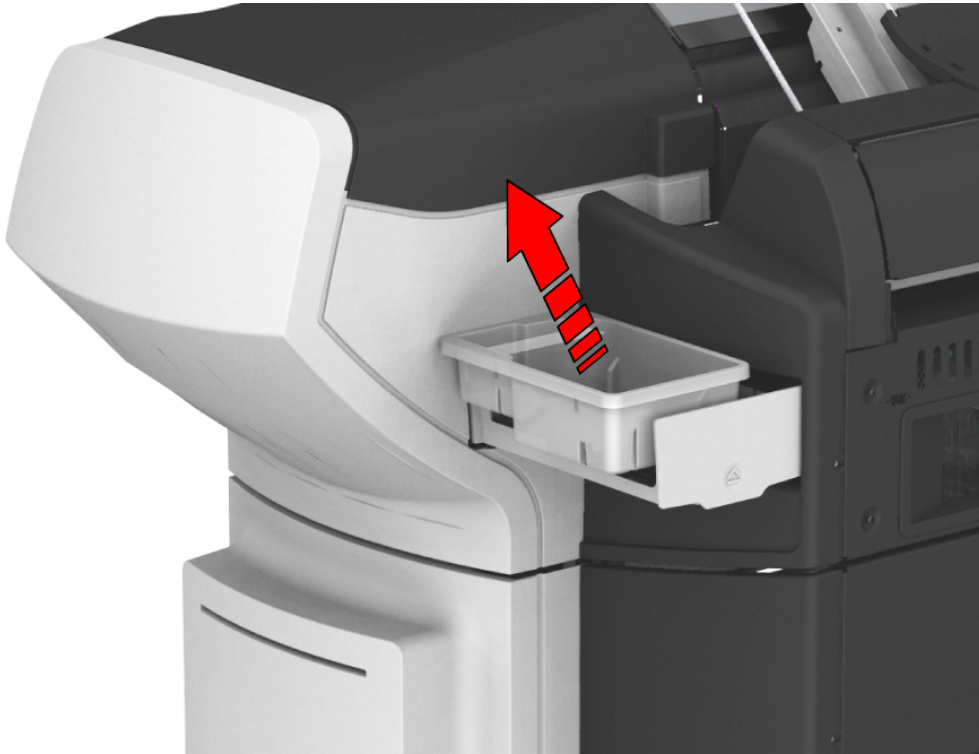
2. メンテナストレイの引き出しを押してロックを解除します。



3. 引き出しを開きます。



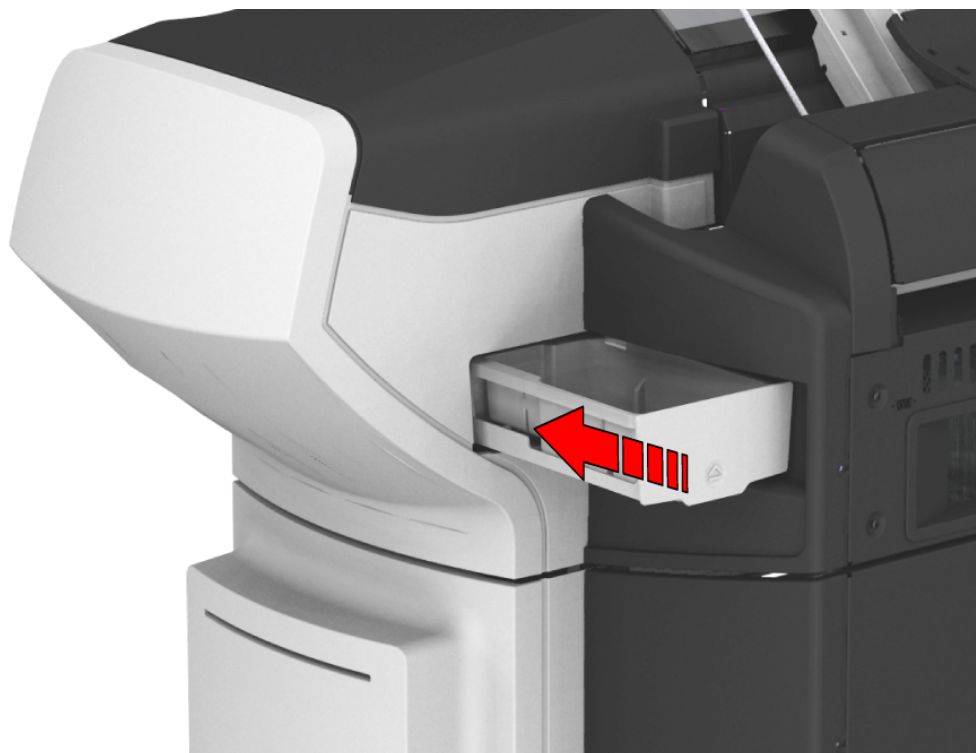
4. メンテナンストレイを取り外します。



5. 新しいメンテナンストレイを取り付けます。



6. 引き出しを押しつけて閉じます。



7. 新しいメンテナンストレイを適切に取り付けたら、ウィザードで [OK] をタップします。古いメンテナンストレイは、事業系一般廃棄物として処分することができます。



# スキャナのメンテナンス

## スキャナのクリーニング

### はじめに

コピーおよびスキャンの品質の低下を避けるために、スキャナを定期的にクリーニングします。

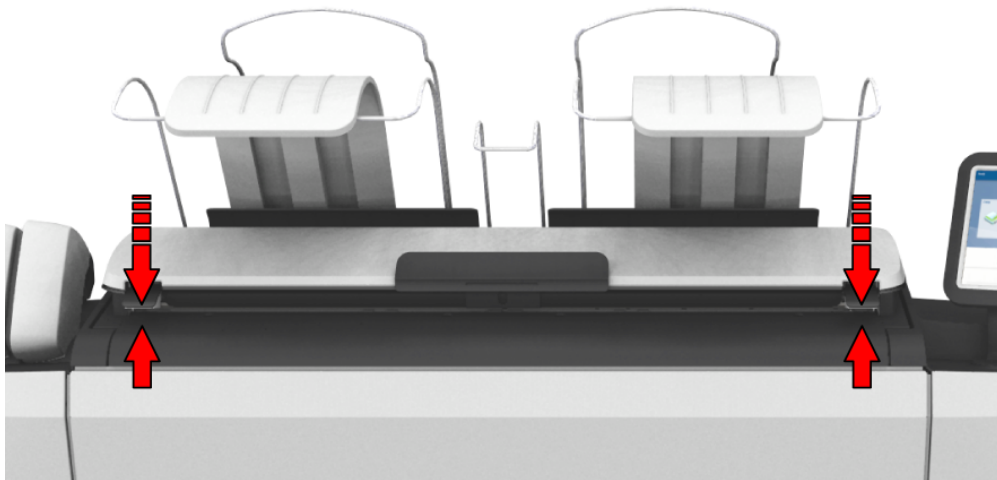
### 使用する場合

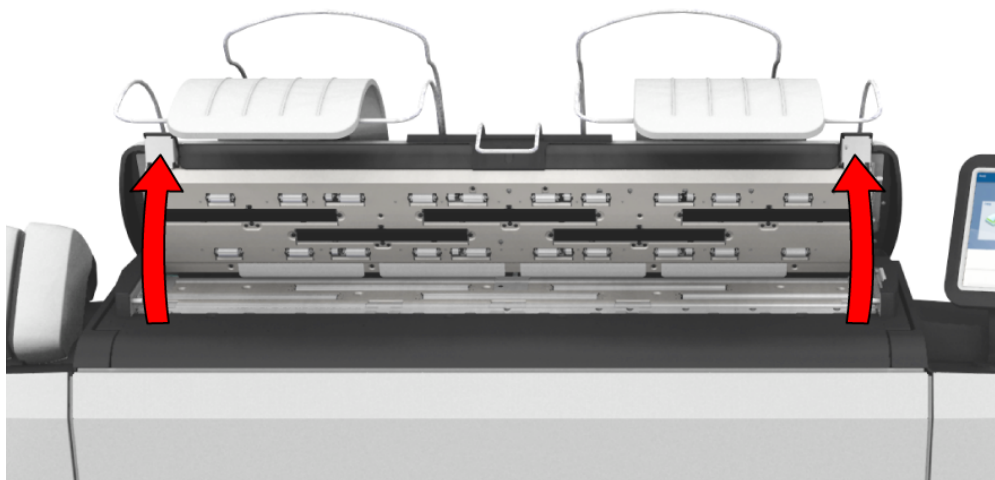
以下の場合にクリーニングします。

- トランスペアレント接触プレートが汚れていて、静電気を帯びている
- 原稿サポート ローラーが汚れており、トランスペアレント原稿を使用している

### 手順

1. 両手を使用して左右のスキャナ オープン レバーを押し上げ、スキャナ上部カバーを完全に開きます。ロック メカニズムが作動し、スキャナ上部カバーは開いたまま閉じません。

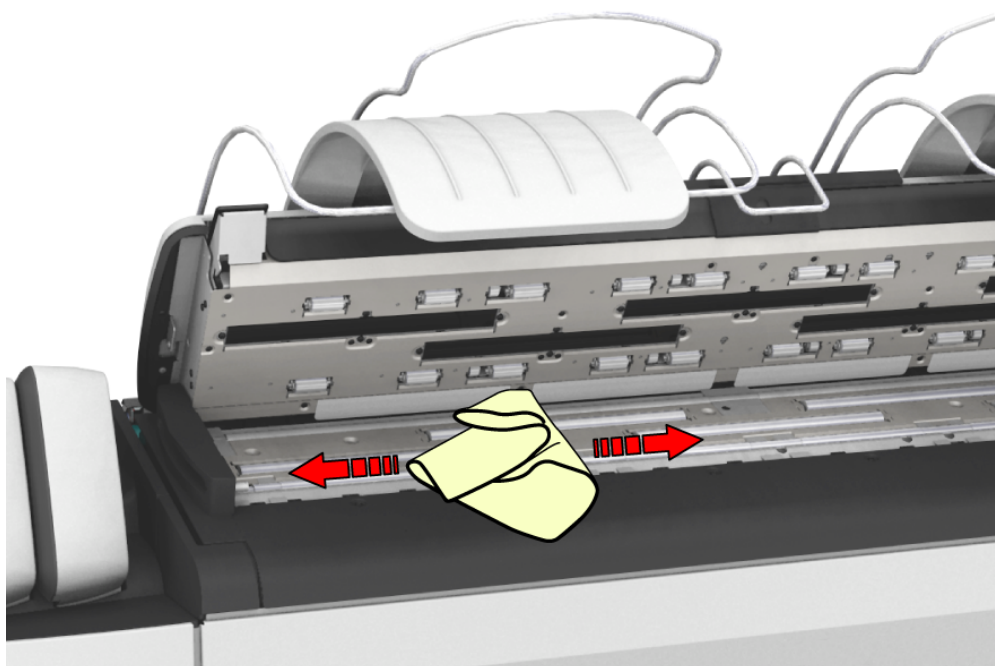




**重要**

スキャナのクリーニングには、スキャナ クリーニング キットに付属の柔らかくてけば立ちのないモスリン タオルを使用します。

2. 水で湿らせてからしっかり絞ったモスリン タオルを使用し、以下に示すスキャナの各部をクリーニングします。
  - 原稿サポート ローラー  
ローラーを回転させてクリーニングします。
  - トランスペアレント コンタクト プレート  
汚れた部分を拭きます。



3. 乾いたモスリン タオルを使用して、クリーニング済みの各部をから拭きします。



**注意**

指をスキャナ上部カバーに挟まないよう注意してください。

4. 両手を使用して、スキャナ上部カバーをゆっくりと押し下げて閉じます。



**メモ**

左右のスキャナ オープン レバーが所定の位置でロックされたことを確認します。

## スキャナの調整

### はじめに

コピーまたはスキャン品質に満足できない場合は、スキャナの調整を実行することができます。キャリアブレーション ウィザードを使用してスキャナを調整します。

### 始める前に

調整手順を実行する前に、スキャナをクリーニングします。スキャナの各部が汚れると、コピーおよびスキャン品質が低下します。詳細については、「[スキャナのクリーニング\(305 ページ\)](#)」を参照してください。



#### 重要

- 調整シートの取り扱いには十分注意してください。
- 調整シートの黒の領域には指を触れないでください。
- 調整シートを使用する前に、調整シートに付着したほこりなどを拭き取ります。

### 手順

1. システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイの右側のリストで、「[スキャナの調整] (スキャナ調整)」をタップします。
3. キー オペレータまたはパワー ユーザーとしてログインします。ウィザードが開きます。
4. ウィザードの指示に従います。
5. ウィザードの指示に従って、調整シートを挿入します。
6. グリーン ボタンをタップして、スキャナの調整を開始します。



#### メモ

[調整には 5-10 分かかります]

## 第6章

### ライセンス管理

# ライセンス管理について

## はじめに

プリンタが使用する一部のアプリケーションには、ライセンスをアクティブにする必要があります。ColorWave 3800 には、製品ライセンスが常に必要です。ライセンスについては、いくつかの操作を実行できます。

## 手順

1. 現在アクティブなライセンスを表示します。  
すでに持っているライセンスと、持ちたいライセンスを表示します。必要な新しいオプションのリストを作成し、ライセンス番号をメモすることができます。最寄りの代理店では、新しいライセンス ファイルを作成するために、新しいオプションのリストとライセンス番号が必要になります。
2. お使いのシステムのホスト ID を取得します。  
新しいライセンス ファイルを作成するには、ホスト ID が必要です。
3. 新しいオプションのリスト、ライセンス番号、およびホスト ID をお近くの代理店に送信します。  
最寄りの代理店が新規ライセンス ファイルを作成し、お届けします。
4. 必要に応じて現在アクティブなライセンスのバックアップを作成します。  
そのために、現在アクティブなライセンスを保存します。
5. ライセンスをアクティベートします。  
ライセンス アクティベーション ジョブでは、以下の手順が示されます。
  - 1. ライセンス ファイルの場所を参照します。
  - 2. 新たにアクティブなライセンスをプレビューします。
  - 3. エンド ユーザー ライセンス契約に同意します。
  - 4. ライセンス アクティベーション ジョブを終了します。
  - 5. システムを再起動します。

# ライセンスを確認する

## ライセンスについて

WebTools Express のライセンス セクションを使用すると、システム上でアクティブなライセンスを管理することができます。プリンタの特定の機能を起動するには、ライセンスが必要です。

## ライセンス情報の概要

WebTools Express で [サポート] - [ライセンス] タブを開き、使用できるライセンスを表示します。

次のような目的のためにライセンス情報を表示することができます。

- アクティブなライセンスについて、ライセンスの状態、ライセンスの種類、ライセンスの有効期間をチェックします。
- ライセンスの有効期間をチェックします。
- 使用しているシステムで使用可能なオプションをすべて表示します。
- 必要な新規オプションのリストを作成します。
- ライセンス番号のリストを作成します。

情報	説明
[オプション]	このフィールドには、オプションの名前が表示されます。
[都道府県]	このフィールドには、次のライセンス状態のいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [権限あり].機能を使用する権限があります。</li><li>• [権限なし].機能を使用する権限がありません。該当する機能についてライセンスを取得する必要があります。</li></ul>
[ライセンスの種類]	このフィールドには、次のライセンスの種類の内いずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [再販売].</li><li>• 再販禁止。</li></ul>
[有効期限 (日数)]	このフィールドには、ライセンスが有効な残り日数が表示されます。
[ライセンス番号]	このフィールドには、ライセンス番号が表示されます。

## 現在アクティブなライセンスの保存

### はじめに

すべてのアクティブなライセンスを 1 つのファイルに保存できます。

### 使用する場合

ライセンス アクティベーション ジョブを開始する前に、または現在のライセンスの状態を保存する際に、現在アクティブなライセンスを保存します。

### 手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開きます。
2. [保存] ボタンをクリックします。  
zip ファイルがダウンロードされます。
3. ワークステーション上のディレクトリを選択して、zip ファイルを保存します。
4. 新しいファイル名を入力し、「[保存]」をクリックして現在アクティブなライセンスのバックアップを作成します。



# 新しいライセンス ファイルの取得

## はじめに

Canon アプリケーションとオプション機能は、権限のないユーザが使用できないよう保護されています。様々なオプションを有効にするには、ライセンスをアクティベートする必要があります。新しいライセンスをご希望の場合は、お近くの代理店に正しい情報をお伝えいただく必要があります。

## 手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開いて、ライセンス情報ページを表示します。
2. 持っているライセンスと持っていないライセンスを表示します。希望するライセンスに記載された [オプション] 情報およびライセンス番号をメモしてください。
3. 「[ホスト ID]」をクリックして、下側のホスト ID 情報をメモします。
4. お近くの代理店にライセンス情報とホスト ID を送信します。
5. 代理店からライセンス ファイルを受け取ったら、ファイルをネットワーク上に保存します。

## 結果

新しいライセンス ファイルを保存したら、ライセンスをアクティベートできます。詳細については、[新しいライセンスをアクティベート \(314 ページ\)](#) を参照してください。

## 新しいライセンスをアクティベート

### はじめに

「WebTools Express」にある「[ライセンス]」タブで新しいライセンス ファイルをアクティベートできます。



#### メモ

- 新しいライセンス ファイルを起動する前に、現在起動されているライセンス ファイルのライセンス情報をバックアップファイルに保存することをお勧めします。「[保存]」ボタンを使用して、現在のライセンス ファイル情報を保存します。
- ライセンスを起動するには、ライセンス ファイルのアップロード後、システムを再起動する必要があります。

### 手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開いて、ライセンス情報ページを表示します。
2. [起動] をクリックしてブラウザ ウィンドウを開き、ネットワーク上のライセンス ファイルを検索します。
3. ネットワークを参照し、ライセンス ファイルを選択します。
4. 「[次へ]」をクリックして手順を確認し、再び「[次へ]」をクリックします。
5. 使用許諾契約が表示されたら一番下までスクロールして、「[同意する]」の前のチェックボックスをチェックします。



#### メモ

使用許諾契約のボックスにチェックマークを付けない場合、ライセンスはインストールされません。

6. [次へ] をクリックします。
7. [OK] をクリックして、ライセンス ファイルの起動を開始します。処理が完了すると、メッセージが表示されます。
8. システムを再起動して、変更を有効にします。

### 結果

- 有効期限切れのライセンスを更新すると、新しいライセンス ファイルで古いライセンス ファイルが上書きされます。
- 新しいライセンスをアップロードすると、概要に表示されるライセンスの状態が [権限なし] から [権限あり] に変化します。

## 第7章

### アカウント管理

## アカウント管理について

プリント システムはアカウント管理をサポートしています。アカウント管理は WebTools Express で有効および無効にできます。有効にすると、プリント、スキャン、および/またはコピー ジョブに対するアカウント情報を入力する必要があります。プリント ジョブ、スキャン ジョブ、コピー ジョブに対して別々に有効にすることもできます。

どのアカウント情報が必要かは、Océ Account Console、Repro Desk、または uniFLOW のようなサードパーティ アプリケーションで顧客側で決定されます。

この章には、Océ Account Console についての概要が記載されています。他のアプリケーションでのアカウント管理の詳細については、そのアプリケーションのマニュアルをご参照ください。

# WebTools Express でのアカウント管理の有効化

## Introduction

アカウント管理を有効にするために、WebTools Express で値を定義できます。

## 定義


アカウント情報要件は管理者によって定義および管理されます。

### 「ログおよびアカウント」設定を指定するには

[プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開き、[ジョブ管理] で [プリント ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] または [コピーおよびスキャン ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] を有効にします。次に、[アカウントングログ] でアカウントの設定を定義します。

設定	値	説明
[プリント ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] [コピーおよびスキャン ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする]	[はい]	[はい] にすると、有効なアカウント データを持つジョブのみがプリント可能になるか、あるいは有効なアカウント データを持つコピー ジョブとスキャン ジョブのみが作成可能になります。 すべてのプリント ジョブが Smart Inbox に送られます。 Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する場合、「新規ジョブの作成」ウィンドウに必要なアカウント データを入力する必要があります。 ユーザ パネルからコピーまたはスキャンする場合、あるいは USB キーからジョブをプリントする場合、ユーザ パネルで必要なアカウントング情報を入力する必要があります。アカウント データ フィールドは操作パネルに表示されます。
	[いいえ]	アカウント データは必要ありません。
[ログ ファイルのフォーマット]	[ASCII (7 ビット)] [Unicode (UTF-16)]	アカウント ログ データのエクスポート ファイル用のファイルフォーマットを定義します。このファイルは、アカウント管理のために Océ Account Console アプリケーションによって取得されます。
[ログ データ フィールド分離記号]	[コンマ] [セミコロン] [タブ]	ログ ファイルで使用するフィールド区切りを定義します。
[ログ ファイルを保持する日数]	数値	日数として 1 ~ 99 の値を入力します
[アカウント ダイアログのアップロード: ホスト]	[任意のホストから] [単一ホストから]	いずれかのホストまたは単一のホストのみからアカウントング ダイアログ更新を受け取った場合に定義します。
[アカウント ダイアログのアップロード: 単一ホスト]	ホスト名	アカウント ダイアログのアップロード元のホスト名または IP アドレス。[アカウント ダイアログのアップロード: ホスト] に [単一ホストから] の値がある場合にのみ有効。

## アカウント データがありません

必要なアカウント データがない場合、Smart Inbox 内のジョブの前に  アイコンが表示されます。アカウント データを入力するには、ジョブを選択して [編集] をクリックします。

# Océ Account Center の概要

## はじめに

Océ Account Center を使用して、ご使用のデバイスのプリント ジョブ、コピー ジョブ、およびスキャン ジョブのアカウント情報を管理します。



### メモ

このアプリケーションについては、ユーザー ガイドと Readme が別冊で提供されます。["http://downloads.cpp.canon"](http://downloads.cpp.canon) をご覧になり、プリンタを選択して、リストから文書を検索してください。

## 定義

Océ Account Center はソフトウェア モジュールを含みます。

- Océ Account Console.  
Océ Account Console はサーバーとして機能する PC で実行します。Océ Account Console アプリケーションへのアクセスはパスワードによって保護され、権限のある担当者のみ限定されます。管理者は、Océ Account Console を使用して、アカウント情報ダイアログを作成します。管理者は、WebTools Express、操作パネルおよびその他のアプリケーション向けにアカウント情報ダイアログを発行します。  
ブックキーパーは Océ Account Console を使用して、ログ データを取得およびエクスポートします。ブックキーパーはアカウント目的でログ データを使用します。

## Océ Account Center におけるユーザーの役割とタスク

ユーザー	タスク
1) 管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アカウント ダイアログを作成、管理および削除します。</li> <li>• WebTools Express および操作パネル向けにアカウント情報ダイアログを発行します。</li> </ul>
2) ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• WebTools Express のダイアログを使用して、プリント ジョブ、コピー ジョブおよびスキャン ジョブのアカウント情報を入力します。</li> </ul>
3) ブックキーパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイスの内蔵コントローラに格納されているプリント ジョブ、コピー ジョブおよびスキャン ジョブのアカウント情報を取得および使用します。ログ データは、アカウント レポートおよびインボイスの入力として使用されます。</li> </ul>

# Océ Account Console®

## Océ Account Console について

### 定義

Océ Account Console は、管理者のワークステーションにインストールされます。

### 目的

Océ Account Console には次の機能があります。

- アカウント情報ダイアログの管理、プレビュー、発行
- ログ ファイルの取得とエクスポート
- デバイスの管理



### メモ

このアプリケーションについては、ユーザー マニュアルが別冊で提供されます。



The screenshot shows the Account Console interface. At the top, there is a navigation bar with 'Account Console' and links for 'ライセンス', '管理', 'ログアウト', and 'バージョン情報'. Below this, there are three tabs: 'ダイアログ', 'デバイス', and 'フィルタのエクスポート'. The 'ダイアログ' tab is active. Underneath, there are two sub-sections: 'フィールド' and '値'. The 'フィールド' section contains a tree view with 'User ID' selected, and sub-items like 'Project', 'Phase', 'Billable', 'Account ID', 'Remarks', and 'User name'. The '値' section contains a table with two columns: '名前' and 'id'. The table lists two users: 'Jeff' with 'je' and 'Arthur' with 'ar'. Below the table, it says '前回発行: なし'.

名前	id
Jeff	je
Arthur	ar



## Océ Account Console の概要

### Océ Account Console の主な部分

管理者は、Océ Account Console を使用して多数のメンテナンスおよび構成タスクを実行します。

次の表では、Océ Account Console の主な機能エリアについて説明します。

#### Océ Account Console の主な部分

部品	説明
[ダイアログ] タブ	<p>[フィールド] セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アカウント ダイアログを作成します。アカウント ダイアログは、多数のアカウント フィールドで構成されます。</li> <li>• アカウント ダイアログを保存します。アカウント ダイアログは、参照、バックアップまたはアップロード用に .xml で保存されます。</li> <li>• アカウント ダイアログをロードします。アカウント ダイアログは、使用を目的としてアップロードすることができます。</li> <li>• アカウント ダイアログを削除します。この操作は元に戻せませんので注意してください。</li> <li>• アカウント ダイアログを編集します。アカウント フィールドの種類を変更することができます。</li> <li>• リストのアカウント フィールドの順序を変更します。</li> <li>• アカウント ダイアログのプレビューを作成して、妥当性をテストします。</li> <li>• アカウント ダイアログを発行します。アカウント ダイアログを外部アプリケーションおよびデバイスで使用できるようにします。</li> </ul> <p>[値] セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各アカウント フィールドの値を作成します。</li> <li>• CSV ファイルを使用して値をインポートします。</li> <li>• 各アカウント フィールドの値を追加します。アカウント フィールドに既存の値を追加します。</li> <li>• 各アカウント フィールドの値を削除します。この操作は元に戻せませんので注意してください。</li> <li>• 選択したアカウント フィールドの値を編集します。</li> <li>• リストで選択した値を上下に移動します。</li> <li>• [ソート (昇順)]。このオプションを使用して、リストを昇順にソートします。</li> <li>• [ソート (降順)]。このオプションを使用して、リストを降順にソートします。</li> </ul>

部品	説明
[デバイス] タブ	<p>[デバイス] セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [作成...]。このオプションを使用して、新しいデバイスを作成します。</li> <li>• [削除]。このオプションを使用して、デバイスを削除します。デバイスのログ データも削除されます。この操作は元に戻せませんので注意してください。</li> <li>• [編集...]。このオプションを使用して、デバイスの値を変更します。</li> <li>• [ログ データの削除]。このオプションを使用して、デバイスのログ データを削除します。</li> </ul> <p>[タスク] セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「データベースの圧縮」。このオプションを使用して、データベースをクリーンアップします。</li> <li>• [起動]。このオプションを使用して、ダイアログを実行または更新するか、ログ データを取得します。</li> <li>• [編集...]。このオプションを使用して、ダイアログ更新およびログ データ取得の条件を変更します。</li> </ul>
[フィルタのエクスポート] タブ	<p>[概要] セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [作成...]。このオプションを使用して、新しいフィルタを定義します。</li> <li>• [削除]。エクスポート フィルタを削除します。</li> <li>• [編集...]。フィルタ定義を変更します。</li> <li>• [コピー...]。フィルタ設定を複製し、別のエクスポート フィルタを作成します。</li> <li>• [実行...]。必要なフィルタを選択し、ログ データのエクスポートを開始します。</li> </ul> <p>「統計」セクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [作成...]。Océ Account Console 内のすべてのデータの統計概要 (統計エクスポート) を作成します。</li> <li>• [削除]。統計エクスポートを削除します。</li> <li>• [編集...]。統計エクスポートを作成するフィールドを選択します。</li> <li>• [実行...]。統計エクスポートの作成を開始します。</li> </ul>
[ライセンス] 画面	<p>「ライセンス」画面では、次の操作を実行することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効なライセンス ファイルの受信に必要なホスト ID の決定。</li> <li>• ライセンス ファイルを選択し、有効にします。</li> <li>• ライセンス ファイルのバックアップを作成する。</li> </ul>
[管理] 画面	<p>「管理者」画面では、次の操作を実行することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• パスワードの変更。</li> <li>• 他のアプリケーションから受信したデータの発行。</li> <li>• Océ Account Console のその他の設定の指定。</li> <li>• 地域設定の指定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>-アプリケーション言語</li> <li>-計測単位 (小数点、メートル法またはヤード・ポンド法の値)</li> <li>-プリントエリアの計測単位 (小数点、メートル法またはヤード・ポンド法の値)</li> </ul> </li> </ul>

## アカウントワークフロー

### はじめに

管理者が設定を指定した後、アカウントをワークフローに統合することができます。

### 手順

1. アカウント ダイアログを定義して発行します。
2. ColorWave 3800 を Océ Account Console 内のデバイスに追加して、タスクを設定します。



メモ

プリンタのスイッチを入れたときに、「ログ データ取得」のタスクを毎日実行するように設定します。

3. ColorWave 3800 のタスク更新ダイアログを実行して、プリンタにダイアログを供給します。
4. WebTools Express でアカウントを有効にします。

### 結果

ドライバ、Publisher Express または Publisher Select 経由でプリントする場合は、プリントする前にアカウント情報提供する必要があります。

USB からコピー、スキャン、またはプリントする場合、ジョブを開始する前にユーザ パネルからアカウント情報提供する必要があります。

## プリンタでのワークフロー

### 手順

1. コピー、スキャンおよびプリントのジョブを作成します。
2. グリーン ボタンを押して、ジョブを開始します。  
ダイアログが表示され、必要なアカウント情報の入力が必要になります。  
ユーザーが情報を入力しないと、ジョブを完了できません。



## 第8章

### 問題の解決

## ジョブに関する問題を解決するには

### 手順

1. ジョブに問題がある場合、WebTools Express のジョブ キューの緑のバーが赤に変わります。WebTools Express のシステム モニタ セクションにメッセージが表示されます: [ユーザーによる操作が必要です]。  
問題が発生し、キューにアクティブなジョブとして止まっているジョブは、太字のフォントで表示されます。
2. 操作パネルに、問題に関する詳細な情報が表示されます。この情報を利用して問題を解決できます。



#### メモ

紙詰まりが頻繁に発生する場合は、次のことを確認します。

- 用紙が適切に取り付けられていること
- 正しい用紙の種類を使用していること 詳細については、「[用紙の種類 \(293 ページ\)](#)」を参照してください。
- 用紙搬送路から用紙を完全に取り除いたこと



#### メモ

解決不能なエラーが発生した場合は、操作パネルに表示されるエラー コードをメモするなどして、ヘルプデスクにお問い合わせください。

# プリントサーフェスをクリーニングします

## はじめに

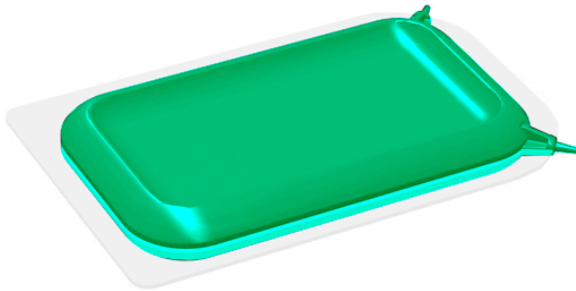
プリント面を定期的にクリーニングする必要があります。

## 使用する場合

紙詰まりが頻繁に発生する場合、またはプリント出力に汚れがある場合、プリント面をクリーニングすると効果がある場合があります。

## 必要なツール

供給された クリーン カードを使用します。クリーンカードは、[トランスペアレント上部カバー] の下のカードホルダーに入っています。

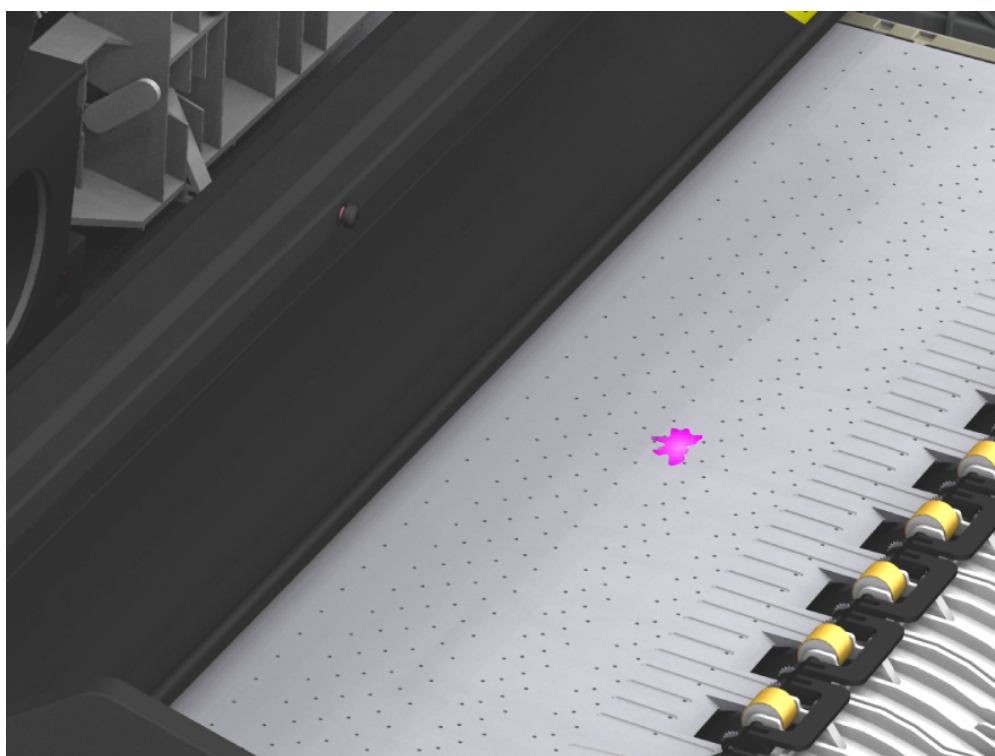


## 手順

1. 上部排紙トレイを後方に押してロックします。
2. [トランスペアレント上部カバー] を開きます。  
これでクリーンカードとプリント面にアクセスできます。

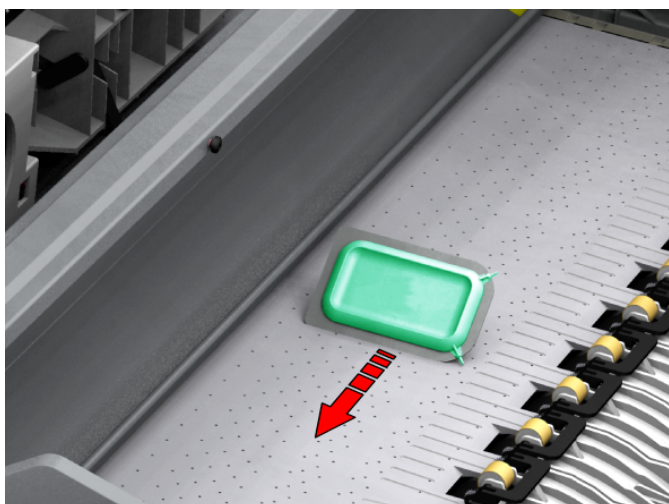


3. プリント面にトナーが付着していないか確認します。

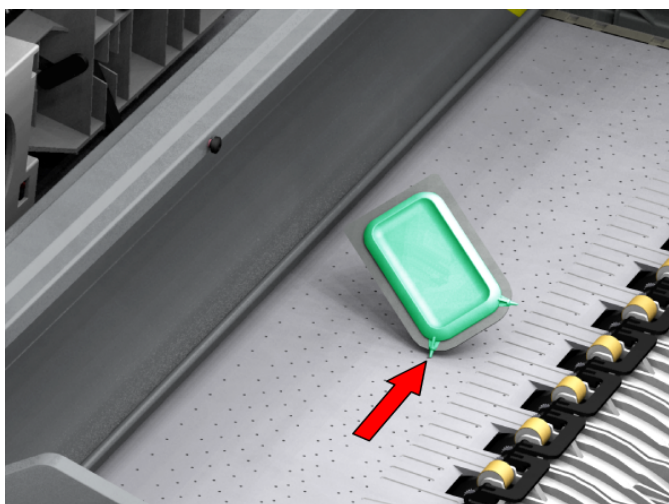


4. クリーンカードを使用してトナーを取り除きます。  
カードをトナーカートリッジの方向に動かして、プリント面から汚れを取り除きます。





5. プリント面の穴が開いていない場合は、クリーンカードのピンを使って穴を開けてください。



6. クリーンカードをカードホルダーに戻します。

7. [トランスペアレント上部カバー] を閉じ、上部排紙トレイを元の位置に取り付けます。



# スキャナで原稿の詰まりを解消するには

## はじめに

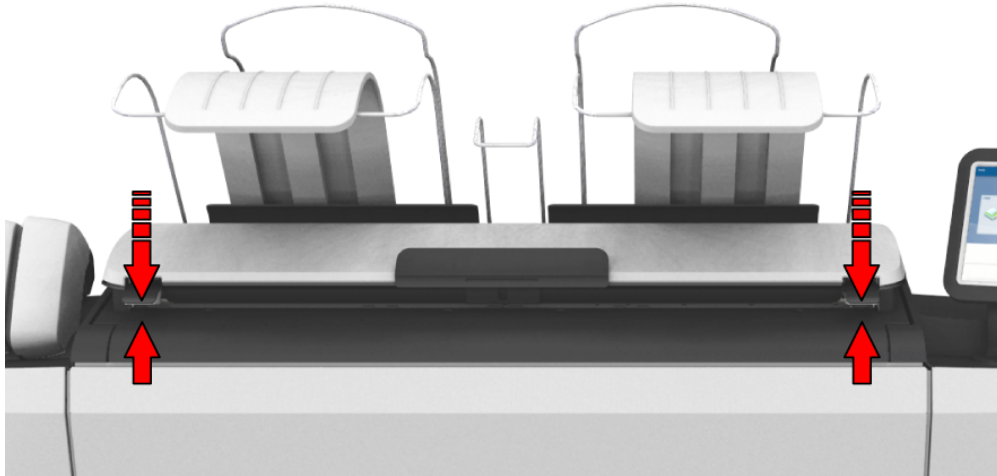
スキャナで原稿の詰まりが発生した場合は、[原稿詰まり] というメッセージが操作パネルに表示されます。スキャナから原稿を取り除く必要があります。操作パネル上のウィザードの指示に従い、詰まりを取り除きます。

原稿の詰まりが頻繁に発生する場合は、次の点を確認します。

- 使用原稿の種類がスキャナに適切かどうか
- 挿入する前に原稿がダメージを受けていないかどうか。

## 手順

1. 両手を使用して左右のスキャナ オープン レバーを押し上げ、スキャナ上部カバーを完全に開きます。ロック メカニズムが作動し、スキャナ上部カバーは開いたまま閉じません。



2. 原稿を取り除きます。  
スキャナまたは前面の原稿排紙から原稿を引き出します。
3. 両手を使用して、スキャナ上部カバーをゆっくりと押し下げて閉じます。



メモ

左右のスキャナ オープン レバーが所定の位置でロックされたことを確認します。

4. 原稿を平らに伸ばして挿入します。

## ネットワークケーブルおよび電源ケーブルの取り外し

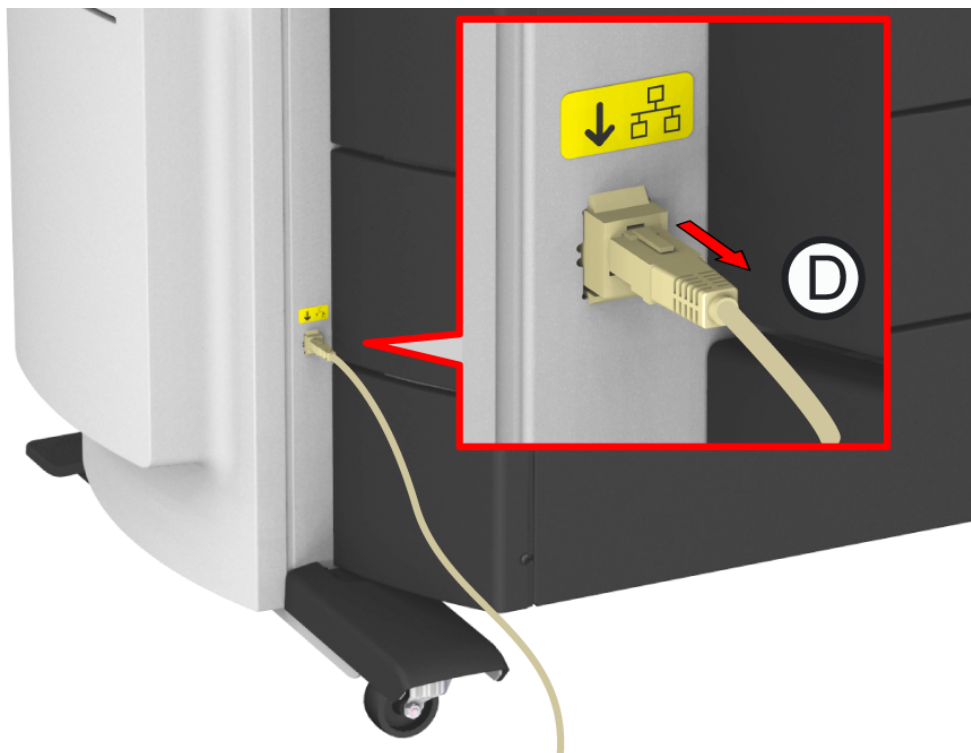
### 手順



#### 重要

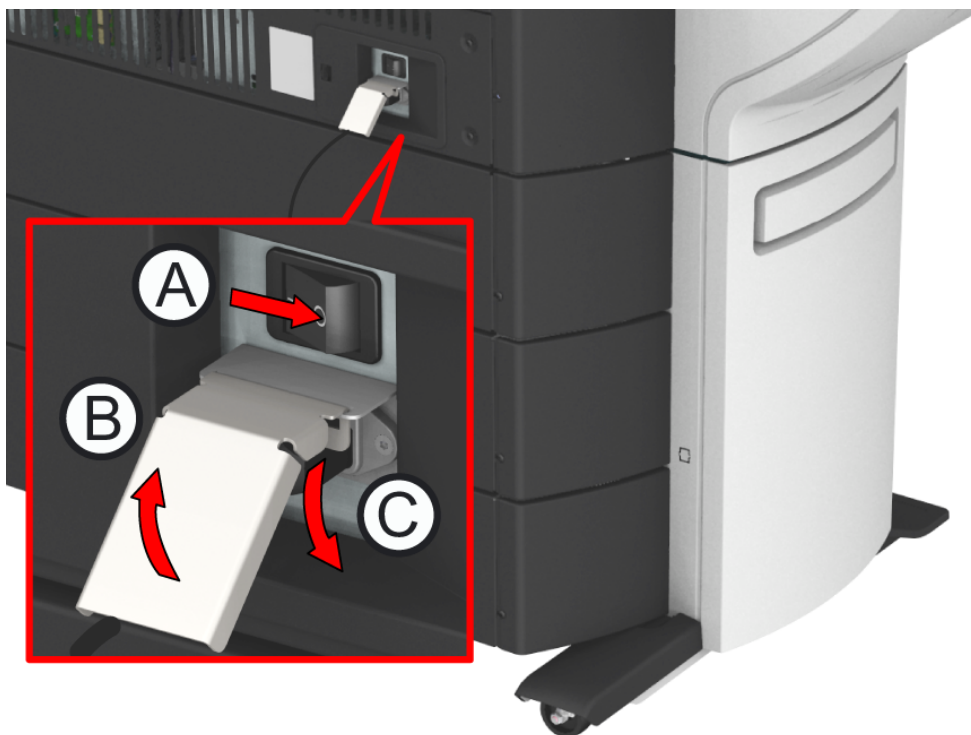
電源スイッチ (A) が「オフ」の位置にあることを確認してください。

1. プリンタ背面右側のネットワーク接続端子 (D) から、ネットワークケーブルを取り外します。



2. コンセントから主電源ケーブルを取り外します。
3. 保護カバーを持ち上げます (B)。

4. プリンタ (C) 背面右側の電源接続端子から、主電源ケーブルのもう一方の端を取り外します。



# イベントメッセージ

## はじめに

プリント ジョブに関連するエラーについてのフィードバックは、イベント リストに表示されます。

WebTools Express でジョブ タブの右上の [イベントの表示] をクリックすると、イベント リストを開くことができます。

## 手順

イベントメッセージ	トラブルシューティング
[受信の問題 (プロトコル エラー、接続の不具合、フルであるスプール) が原因で、部分的にプリント済みのジョブが中止されました]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Job Ticket の構造およびキーワードを確認します。</li> <li>• 操作パネルに [ジョブ メモリが一杯です] メッセージが表示された場合、システムからいくつかのジョブを削除します。</li> <li>• プリンタがネットワークにアクセスできることを確認します。</li> </ul>
[受信の問題 (プロトコル エラー、接続の不具合、フルであるスプール) が原因で、ジョブが中止され、何もプリントされませんでした]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Job Ticket の構造およびキーワードを確認します。</li> <li>• 操作パネルに [ジョブ メモリが一杯です] メッセージが表示された場合、システムからいくつかのジョブを削除します。</li> <li>• プリンタがネットワークにアクセスできることを確認します。</li> </ul>
[ドキュメントをプリントできませんでした。特定の TIFF/CALS モードはサポートされません]	<p>ドキュメント タイプがプリンタによってサポートされていません (タイプ 2 の CALS ファイルなど)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しいファイルを生成します。</li> </ul>
[プリント ジョブの処理ができません (メモリーまたはディスク スペースの空きが不足).]	<p>ファイルが複雑で、プリンタにはその処理に十分なメモリがありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。</li> <li>• 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
[ドキュメントに PS/PDF データがないか、無効です。正しくプリントされないページがあります]	<p>PostScript または PDF ファイルが破損しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 元のファイルを Adobe Reader からプリントするか、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してアプリケーションから直接プリントを試みます。</li> <li>• ファイルの生成をもう一度試みます。</li> <li>• 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
[PS/PDF の制限。正しくプリントされないページがあります]	<p>PostScript または PDF ファイルが原因で、内部プリンタ エラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。</li> <li>• 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>

イベントメッセージ	トラブルシューティング
[PS/PDF リソースの問題 (メモリ、ディスク)、正しくプリントされないページがあります]	<p>PostScript または PDF ファイルが複雑で、プリンタにはその処理に十分なメモリがありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。</li> <li>問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
[PS/PDF リソースまたは言語の問題。正しくプリントされないページがあります]	<p>PostScript または PDF ファイルが複雑すぎるか、破損しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションから、Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。</li> <li>問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
[ドキュメントの処理中、ページが生成されませんでした]	<p>ファイルに、プリント不能なページが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルのグラフィック コマンドが失われている可能性があり、ファイルが破損しています。</li> <li>シフト設定が、イメージが完全に用紙の外にはみ出す値に設定された可能性があります。</li> </ul>
[回復できないため、ジョブは削除されました (データが破損しているか不完全です)]	<p>このメッセージは、電力障害の後にプリンタが再起動され、プリンタ スプール内の一部のドキュメントが破損した場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>送信アプリケーションまたはスマート インボックスからジョブをリプリントします。</li> </ul>
[プリンタ内でのソフトウェア クラッシュの原因となるため、ジョブは削除されました]	<p>このメッセージは、電力障害の後にプリンタが再起動され、プリンタ スプール内の一部のドキュメントがソフトウェア問題の原因となっている場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルをもう一度生成します。</li> <li>問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
[用紙要求のタイムアウト後、キューからジョブが削除されました]	<p>用紙要求タイムアウトが経過し、[用紙要求タイムアウト後のアクション] が [ジョブを削除します] に設定されているため、ジョブがプリント キューから削除されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>送信アプリケーションまたはスマート インボックスからジョブをリプリントします。</li> </ul>
[必要な PS/PDF ライセンスが使用できないため、ジョブをプリントできません]	<ul style="list-style-type: none"> <li>PostScript および PDF ファイルについては、ライセンスがインストールされているかどうかを確認します。</li> </ul>
[必要な PDL が無効なため、ジョブをプリントできません]	<ul style="list-style-type: none"> <li>[設定] - [プリンタ設定] をクリックして、このページ記述言語のプリントを [有効] にします。</li> </ul>

イベントメッセージ	トラブルシューティング
[折りが無効です:タイトルが検出されないか、回転したドキュメントが使用可能な用紙に合っていません。]	<p>[フィニッシング アシスタント] によって、折りが無効化されています 使用可能な用紙では、折りの後にタイトルが見えるようにイメージを回転できない場合、この状態が発生する可能性があります。また、[フィニッシング アシスタント] によってタイトル位置が自動検出されない場合にも、この状態が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 手動で折ることができます。</li> <li>• 折りの後にタイトルが見えなくてもよい場合や、タイトルなしで図面を折る場合には、[フィニッシング アシスタント] を無効にします。</li> <li>• 回転した図面が、折りを適用可能な最大用紙幅にフィットする場合 (フィニッシャ仕様を確認してください)、より大きな用紙サイズを取り付けます。</li> </ul>
[折りが無効です:折り機はプリント出力を折れません(互換性のないサイズまたは用紙の種類)。]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 折り機がこの用紙サイズまたは用紙の種類をサポートしていないため、折りは無効になりました。折りが可能な正しい用紙を使用してください。</li> </ul>
[シートの長さがクロス折りの限界を超えています。ファン折りのみ用いられます。]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文書にはファン折りのみが実行されます。</li> <li>• ファン折りパッケージを行う場合は、2 番目の折りの最大長さ設定を確認して準拠します。</li> </ul>
[ドキュメントが PDL でないか、PDL がサポートされていません]	<p>送信されたジョブの形式をプリンタが認識するかどうかを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ジョブ サブミッタでファイルを送信します。</li> <li>• アプリケーションから直接プリントします。</li> </ul>
[スキャン ジョブを外部の場所に配信できません。ジョブが削除されています。]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部の場所からの資格情報、ユーザ名、およびパスワードを確認します。</li> <li>• 外部の場所の設定ウィンドウでチェック機能を使用します。</li> <li>• 外部の場所のその他の設定をすべて確認します。</li> </ul>
[スキャンされた原稿からファイルを生成することはできません。出力ファイルの解像度を下げてスキャンを再度実施してください。それでもエラーが発生する場合は、原稿が長すぎないか確認してください。]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 出力ファイルの解像度を下げます。</li> <li>• ファイル タイプを変更します。</li> <li>• 元のサイズが長すぎる場合は縮小します。</li> <li>• スキャン解像度と圧縮を確認します。</li> <li>• 複数ページのドキュメントの場合: 複数のスキャン済みファイルに分割します。</li> </ul>
[ジョブのアカウントング データが無効です。ジョブは印刷されていません。]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 送信アプリケーションでアカウントング データを修正し、Smart Inbox からジョブをリプリントします。</li> <li>• アカウントング パラメータがジョブの送信ツールまたはドライバで正しく同期されているかどうかを確認します。</li> </ul>



イベント メッセージ	トラブルシューティング
[プリント設定の競合: ドキュメントはファイルに埋め込まれた設定を使用して識別およびプリントされます]	<p>Job Ticket を追加したアプリケーションからジョブが送信されましたが、すでにファイルに Job Ticket が含まれていました。送信アプリケーションで選択された設定は使用されません。代わりに、ファイルに埋め込まれた Job Ticket 設定を使用してジョブが識別およびプリントされます。ジョブは、元の名前でプリント キューおよびスマート インボックスに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ファイルに埋め込まれた設定にスマート インボックス名が含まれている場合、ジョブはそのスマート インボックスに保持されます。</li><li>• ファイルに埋め込まれた設定にスマート インボックス名が含まれていない場合、ジョブは、[システムのデフォルト]- [ジョブ管理] で定義されたデフォルトのスマート インボックスに保持されます。</li><li>• ファイルに埋め込まれた元の設定を使用しない場合、Publisher Select を使用してジョブをプリントします。</li></ul>



## エラーの場合の設定

### はじめに

プリント ジョブで問題が発生した場合、いくつか役に立つ設定があります。

### 手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [エラーが発生した場合] では、以下の設定を指定できます。

設定	値	説明
[次回起動時にシステムをクリア]	[はい]	プリンタでキュー内のジョブを処理できない場合は、この設定を有効にします。システムを再起動すると、自動的にシステムからすべてのジョブが削除されます。次に、この設定を無効にして、もう一度システムを再起動します。
[受信ジョブ データをサービス用に保存]	[はい]	この設定が有効の場合、システムによって、すべての受信ジョブのデータが保存されます。[サポート] - [メンテナンス] のデータをダウンロードし、[ジョブ データのダウンロード] をクリックします。問題が発生した場合やメンテナンスを目的として、サービス担当者がジョブ データにアクセスできます。   メモ <ul style="list-style-type: none"> <li>• ジョブの作成で問題が発生した場合にのみ、この設定を有効にします。</li> <li>• パフォーマンスの低下を防ぐため、サービスの終了後は設定を無効にします。</li> </ul>
[WebTools Express のジョブイベント通知を表示]	[はい]	この設定が有効の場合、システムによって、プリント ジョブに関連する注意メッセージが、WebTools Express のキュー表示に表示されます。   メモ <p>注意メッセージをクリックすると、使用している Web ブラウザのキュー表示からメッセージが削除されます。別の Web ブラウザの注意メッセージは、ユーザーがクリックするまで表示されたままになります。</p>

3. 設定を指定したら、「OK」をクリックします。

---

# デモ プリントの作成

## 使用する場合

デモ プリントを使用して、プリンタが正常に動作しているかどうか確認することができます。

## 手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。ウィンドウが開きます。
2. 右側のリストで、「[プリントのテスト]」を選択します。ウィザードが開きます。
3. [デモプリント] を選択します。
4. 「OK」をタップします。

# テストプリントの作成

## 使用する場合

ヘルプデスクのリクエストに従って、特定のロールからテストプリントを作成します。テストプリントは、品質問題を解決するのに役立つ情報を提供します。

## 手順

1. 操作パネルでシステムメニューサムネイルをタップします。ウィンドウが開きます。
2. 右側のリストで、「[プリントのテスト]」を選択します。ウィザードが開きます。
3. プリントに使用するロールを選択します。
4. 「OK」をタップします。

# 第9章

## サポート

# カウンタ履歴

## はじめに

[サポート] - [カウンタ履歴] タブを参照して、プリントされたジョブごとに使用された消耗品の概要を表示します。

下の表に、必要な情報をソート、グループ化、保存またはプリントするためにカウンタ履歴でアクセス可能な様々な機能の概要を示します。

## 手順

機能	説明
[カウンタ履歴]	カウンタ履歴リストのヘッダで、ドロップダウンリストを使って期間(日数または週数)を選択できます。 カウンタ履歴リストは、選択された期間中にプリントされたジョブについての情報を表示します。
[ジョブ名]、[ジョブ所有者]、[Smart Inbox] または [プリント時間] でのソート	カウンタ履歴リストをソートする場合、次のカウンタ履歴リストの列のヘッダーをクリックできます ([ジョブ名]、[ジョブ所有者]、[Smart Inbox]、[プリント時間])。この方法で、必要に応じてリストをソートできます。
[リスト表示] または [グループ表示]	プリントされたすべてのジョブを表示する場合、カウンタ履歴リストの一番下で [リスト表示] を選択します。  ソート基準に基づいたグループのみを表示する場合、カウンタ履歴リストの一番下で [グループ表示] を選択します。 たとえば、[ジョブ所有者] 列でカウンタ履歴リストをソートして [グループ表示] をクリックすると、カウンタ履歴リストには、選択した期間にプリンタにプリントジョブを送信したすべてのジョブ所有者のリストが表示されます。 [ジョブ所有者] グループを展開すると、選択した期間に [ジョブ所有者] によって送信されたすべてのジョブのリストが表示されます。
[集計情報の表示]	ジョブカウンタ情報が含まれた全概要が必要な場合、カウンタ履歴リストの右上角で [集計情報の表示] を選択します。  グループ内のすべてのジョブについて、カウンタ情報を表示するグループ名をクリックします。  選択されたジョブについて、カウンタ情報を表示するジョブ名をクリックします。
[すべて保存]	リストに含まれるすべてのジョブについて、カウンタ履歴を保存する場合、カウンタ履歴リストの右上角にある [すべて保存] を選択します。 カウンタデータを [XML ファイル] または [CSV ファイル] として保存することができます。
[すべてプリント]	リストに含まれるすべてのジョブについて、カウンタ履歴をプリントする場合、カウンタ履歴リストの右上角にある [すべてプリント] を選択します。

---

# 監査ログ

## 定義

システム管理者として、システムのすべてのセキュリティ関連イベントの監査を含む CSV (カンマ区切り) ファイルをダウンロードできます。

## **[監査イベントのダウンロード] および [監査イベントのクリア] にあります。**

システム管理者としてログインし [監査ログ] タブの [セキュリティ] を選択します。

[監査イベントのダウンロード] ボタンをクリックし、監査イベントを含む CSV (カンマ区切り) ファイルをダウンロードします。

[監査イベントのクリア] をクリックし、システムに保存されたイベントのリストをクリアします。

# リモート サービス: プロキシの設定

## はじめに

WebTools Express は、プリンタからサービス組織へ、またはサービス組織からプリンタへリモート サービスを提供します。

これらの設定は、[サポート] - [リモート サービス] タブで編集できます。

リモート サービスには次の機能があります。

- プロキシ サーバーを経由して、プリンタとサービス組織との間に安全なインターネット接続を構成します。
- プリンタとサービス組織間の接続を確認します。
- サービス組織からプリンタへのリモート アシスタンスを許可します。

## プロキシの設定

### 手順

1. [サポート] - [リモート サービス] タブを開き、[プロキシを設定する] をクリックします。
2. 「Proxy server (プロキシ サーバー)」のセットアップ:
  - 「自動プロキシ検出」: すべてのプロキシ設定を認識していない場合、この設定を選択します。この設定を選択して、システムにプロキシを自動的に検出させることができます。
  - プロキシ設定を認識していて、自分自身でプロキシを有効にする場合、この設定を選択します。 [プロキシ ホスト名] および [プロキシ ポート] を入力する必要があります。
  - プロキシ サーバーの完全修飾ホスト名を入力します
  - プロキシのポートを入力します。
3. 認証の設定:
  - 認証が必要な場合、この設定を選択します。
  - 認証用のユーザー名を入力します。
  - 認証用のパスワードを入力します。
  - 認証用のドメインを入力します。
4. 「OK」 をクリックして、プロキシ構成を終了します。



## リモート サービス: 接続の確認

プロキシの構成後、プリンタとサービス組織の間で接続をテストすることができます。

### 手順

1. [サポート] - [リモート サービス] タブを開き、[接続を確認する] をクリックします。
2. メッセージには、回答が 30 秒以内に表示されます。適切に構成されている場合、メッセージには [システムがリモート サービスに接続されています。] が表示されます。
3. システムからデータをサービス組織に送信できるようになりました。たとえば、Canon Meter Manager、または [リモート サービス] 情報。



#### メモ

- メーター読み取り値のオンライン表示および承認、または Web からのサービス コール エントリについては、当社の Web サイトをご覧ください。Web サイトでは、アカウント (「マイ アカウント」) を作成して、両方のサービスに対するアクセスを要求できます。
- システム モニタでは、接続のステータスに関するフィードバックおよびツールチップ情報を取得できます。

## リモート サービス: リモート アシスタンスの許可

必要なすべての設定が指定済みであり、サービス組織によるリモートでのプリンタへのアクセスを許可する場合、リモート アシスタンスを有効にすることができます。

### 手順

1. [サポート] - [リモート サービス] タブを開き、[リモート アシスタンスを許可する] をクリックします。
2. メッセージには、接続が確立されているかどうかが表示されます。正しく構成されると、メッセージ「システムへのリモート アシスタンスが有効になっており、現在、接続を受け入れています」および2つの矢印が表示されます。

サービス組織との接続が確立されると、リモート サービス オペレータ (サービス技術者) はシステムを操作して、リモートから支援を提供することができます。



#### メモ

- ポイントツーポイント接続を介したリモート アシスタンス セッションが確立されてからは、お客様の現場にある他のシステムではなく、この特定のシステムのみにアクセスすることができます。
- サービス組織との接続を終了する場合は、[リモート アシスタンスを停止する] をクリックします。この方法によって、お客様は常にコントロールを維持することができます。

# 製品のダウンロードとサポート

## ダウンロード

ユーザー マニュアル、プリンタ ドライバ (プリンタ用) およびその他のリソースは、予告なしに変更されることがあります。最新の情報については、以下からダウンロードすることをお勧めします。

["http://downloads.cpp.canon"](http://downloads.cpp.canon)

製品をご使用になる前に、ご使用の製品に関する最新の安全情報を必ずダウンロードしてください。「安全ガイド」のマニュアルにあるすべての安全に関する情報を必ず読み、理解したことを確認してください。

## サポート

サポート情報については、お近くの Canon 代理店にお問い合わせください。

サポートの問い合わせ先については、以下を参照してください。

["http://www.canon.com/support/"](http://www.canon.com/support/)

Canon のサポート ページから、Canon プリンタのプリンタ ドライバ、ドライバに関連するユーザー マニュアルおよびその他のリソースをダウンロードしてください。





# Canon

**Canon Inc.**

[canon.com](https://www.canon.com)

**Canon U.S.A., Inc.**

[usa.canon.com](https://usa.canon.com)

**Canon Canada Inc.**

[canon.ca](https://www.canon.ca)

**Canon Europe Ltd**

[canon-europe.com](https://www.canon-europe.com)

**Canon Latin America Inc.**

[cla.canon.com](https://cla.canon.com)

**Canon Production Printing Australia Pty. Ltd.**

[anz.cpp.canon](https://anz.cpp.canon)

**Canon China Co., Ltd.**

[canon.com.cn](https://www.canon.com.cn)

**Canon Singapore Pte. Ltd.**

[sg.canon](https://sg.canon)

**Canon Hongkong Co., Ltd.**

[hk.canon](https://hk.canon)